University Book

学生要覧

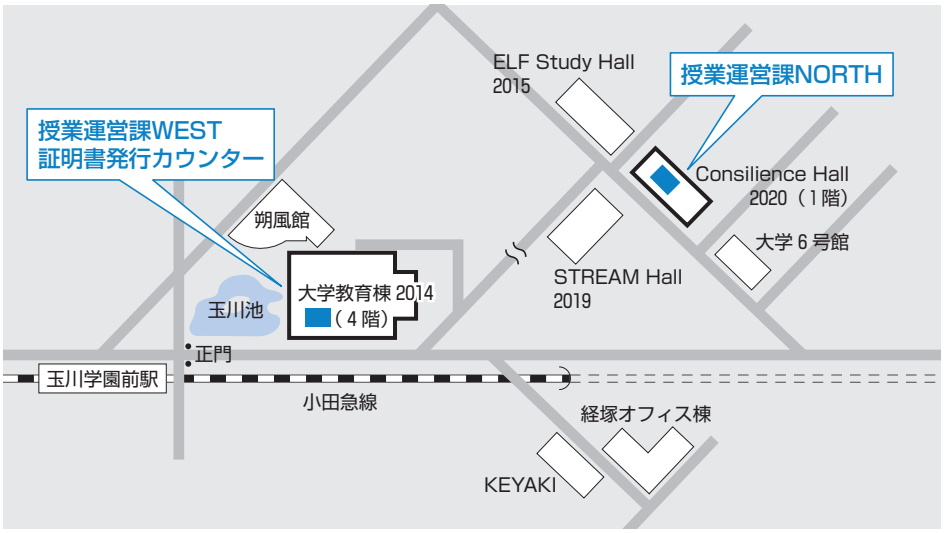
for entry in 2021 履修ガイド

令和３年度 入学生用

玉川大学

履修に関する問い合わせ先

窓口取扱時間　月～金曜日　8：30～17：00
（平常授業が行われる土曜・祝休日を含む）
※土・日・祝日、大学が定める休日を除く



本冊子のTOEIC名称使用について

TOEICはエデュケーショナル・テスティング・サービス（ETS）の登録商標です。
本冊子はETSの検討を受け、またその承認を得たものではありません。以下テスト名称につきましては、ETSのガイドラインに従い、短縮名称にて表記しております。

TOEIC®Listening & Reading Test	（短縮名称：*TOEIC*® L&R）
TOEIC®Speaking & Writing Tests	（短縮名称：*TOEIC*® S&W）
TOEIC Bridge® Test	（短縮名称：*TOEIC Bridge*® Test）
TOEIC®Listening & Reading 公開テスト	（短縮名称：*TOEIC*® L&R公開テスト）
TOEIC®Speaking & Writing 公開テスト	（短縮名称：*TOEIC*® S&W公開テスト）
TOEIC Bridge® 公開テスト	（短縮名称：*TOEIC Bridge*® 公開テスト）
TOEIC®Listening & Reading IPテスト	（短縮名称：*TOEIC*® L&RIPテスト）
TOEIC®Speaking & Writing IPテスト	（短縮名称：*TOEIC*® S&WIPテスト）
TOEIC Bridge® IPテスト	（短縮名称：*TOEIC Bridge*® IPテスト）

for entry in 2021 履修ガイド

令和３年度 入学生用

玉川大学

大学生に望む　2021

学 長　小原　芳明

いよいよ大学での教育が始まります。大学は高等教育（Higher EducationとかHigher Learning）とも言うように、より高度な学修を行う場であり、そのための機会の場です。

しかし、今までの学びと共通なのは 7つのW（What, When, Where, Why, Who, Which, Whom）と 1つのH（How）です。大学においても、人間のこと、社会のことへの知的好奇心が基盤にあってこそです。

先人たちも知的好奇心を満たすために多くのテーマに挑戦してきました。そしてその結果が社会に蓄積され、こうして今の高度情報化社会があるのです。

孔子の教えに「温故知新」がありますが、この時代にあっても過去（基礎基本）から学び、そして新しい価値を作り出していくのが学びです。大学には過去からの知識が集積されていますから、それらを通して新しい価値を創造する機会なのです。

これから君たちは自身の知的好奇心に応えるために新しい知識を得るのですから、その学び舎（知識）に対して

“Enter with Respect, Leave with Knowledge”

の心構えを大学生の基本としてください。この学問への畏敬と謙虚さはいかなる時代にあっても、学修の基本だからです。

学校は英語でSchoolですが、それはラテン語のscoleから派生した言葉です。そのscoleには「ヒマ」という意味があります。ヒマとは、人間が生きていく上で必要な衣食住確保のために働く必要性から解放されて生じる時間です。その暇（余った時間）を活かして「読み、書き、計算」を身に付けるために生まれたのがschool（学校）の始まりです。それが学校教育の不易と言われていることですが、昔と違い、現代は「K－20教育の時代」と称されるほどに修得すべき知識の量が多く学修する時間数も増えてきています。それは学校（幼稚園から大学まで）の教育の根底にあるのは子供たちが将来社会で働いていくのに必要な知識と技術を修得させることにあるからです。

今君たちは大学でさらなる学修のスタート台に立っていますが、こうして大学で学ぶ機会（学修に必要な「ヒマ」）を親から与えられたことへ改めて感謝してください。これは学生にとっての「飲水思源」です。

これからの大学機会を「あと 4 年もある」と観るか、それとも「 4 年しかない」とするかでは大きな差が出ます。昔から「少年老い易く、学なり難し」と言われているように、学問の道は遠く、また険しいものです。中学校の数学で学ぶ方程式にX＋Y＝ a がありますが、これを大学生活に当てはめ、Xを学修時間、Yを遊びの時間、そしてaを24時間とすると、どちらか一つのために日々の時間を使うということの大切さが理解されるでしょう。大学生には、学修のために得られた時間を自分で管理することが期待されています。

さて、今の日本では昨年 2 月よりCOVID-19 が蔓延しており、その対応に国を挙げて苦戦しています。その一つに高校生活にも多々制約があり、満足のいく学校生活に至りませんでした。大学でも同様に、入学式を中止したことに始まり、授業はオンライン化を余儀なくされました。

このコロナ・パンデミックの勢いは一向に下降しません。更には新たに変異し、これはあたかもワクチン開発と競争しているかのようです。恐らく令和 3 年度も昨年度同様の措置は免れないでしょう。従来、大学は対面型授業を基本としてきました。それは教室という閉ざされた空間に大勢の学生たちが集い机を並べて学ぶ集合・近接・閉室（集・近・閉）型スタイルでした。一つにはそれが唯一効果的な知識伝達の手法だったからです。ですからもし仮にパンデミックが2000年に起きていたならば、大学も高等学校と同じく休校となっていたでしょう。

しかし、本学では2002年からMyPC（一人PC一台必携）を推進してきましたから、昨年度早々にオンライン授業を開始し学修の遅れを生じさせませんでした。履修主義では教室へ来ること＝学修と見なしていますが、本学の修得主義はオンライン型であれ対面型、そしてハイブリッド型でも、学生たちが学修し内容を修得することをもって学修としています。

確かにボローニャ大学以来、学生たちが教室に集い机を並べて学ぶスタイルが続いてきた大学です。しかし、パンデミック収束のためには、それにも限界があるのです。遠隔教育の教授法は年々改善改良されています。これはこれからの大学教育のスタイルとなる勢いもあるのです。過去において、パンデミックは当時の社会構造を大きく変革させました。今回も同じように社会変化が起こりつつあります。新しい生活様式が問われていますが、パンデミックを契機に組織の多くは新しい働きの様式となるDX（Digital Transformation）化を推し進めています。その流れに相応して学校と大学は新しい学びの様式となるであろう教育のDX化を進めようとしています。ある意味で、今の学生たちは新しい学びの様式が誕生する歴史の証人でもあるのです。

近代の大学は社会へ入り口にもなっています。そのために多くのリソースが大学に集積されていますが、それらを有益に活用してください。しかし、そのためには、まず各人が将来社会でどういった人材になりたいのか夢を持つことです。昔からこの丘で学ぶ生徒と学生を「玉川っ子」と呼んでいます。そして玉川っ子には「一画多い夢」を持ってもらいたいと創立者は願っていました。また、吉田松陰も夢の大切さについて次のように言っています。

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。
故に、夢なき者に成功なし

自分の夢（大志）を描き、その実現へ向けて大学で新たに学ぶその道は厳しいですが、その厳しさを乗り越えてこそ新しい時代に相応しい新しい知識と技術を修得するのです。そしてそれは社会人としての評価へと繋がります。その意味で、大学では君たちが自分の課題を持って必要な知識をプロアクティブ（より積極的）に学修することを期待しています。

すべての科目には授業計画（シラバス）が用意されていますので、これからはそれに従って君たちはより主体的に学修していくことになります。君たちが大学での授業スタイルに馴染み、よりアクティブに勉学を進めていくことを促進するため用意された科目がFYE（First Year Experience）です。（なお大学では、15週に渡り各週１時間の授業に対し２時間の予習と復習の計45時間が１単位、実験実習科目は週３時間で15週の計45時間が１単位となっています）

最後に、社会（日本国内外）活動では、一層の自己管理が求められます。その一つは自分の健康と安全の確保です。日本社会の国際化にともない、昔のような「日本の水と安全はタダ」ではなくなってきています。ヒト、モノ、カネに加えて悪も国境を越えて動いているのです。本学の周辺の街も、昼から夜への状況変化は著しく、夜は決して安全と健康的であるとは言えません。ひと時の快楽への誘惑も一段と強くなってきますが、そうした勧誘に打ち勝とうという気持ちを持つのは大学生としての自覚と責任です。高等教育を社会へ巣立つ前に自己管理能力を身に付ける機会としてください。

この丘では大学生の他に３歳の幼稚園児（K）から高校生（12年生）までの玉川っ子たちも一緒に学校生活を送っています。そうした玉川の教育環境を踏まえ、今日から最高学府に学ぶ者としての自覚、誇り、そして責任を持ってこの丘での生活を送ってください。

目　次

大学生に望む …… 2

こんな時どうする？ …… 8

Ⅰ 学修にあたって 11

1. 玉川大学のディプロマ・ポリシーと カリキュラム・ポリシー …… 12
2. 学士課程教育と学士力 …… 13
3. 学位の授与 …… 13
4. カリキュラムの概要 …… 14
5. 授業のしくみ …… 16
6. 年間授業スケジュール …… 18
7. 単位のしくみ …… 19
8. 授業時間割 …… 20
9. 科目の記号と番号 …… 21
10. 初年次教育 …… 22
11. 学修支援 …… 23
12. ルーブリック …… 24
13. 講義要覧 …… 25
14. シラバス …… 26
15. 教員一覧 …… 27
16. 定期試験 …… 28
17. 追試験 …… 29
18. 成績評価 …… 30
19. 成績照会 …… 31
20. GPA制度 …… 32
21. 成績確認制度 …… 33
22. 単位の認定 …… 34
23. 修得単位数から見た学年 …… 36
24. 警告制度 …… 37
25. 履修条件（進度チェック） …… 38
26. 卒業見込み …… 39
27. 卒　業 …… 40
28. 転・編入学 …… 41

Ⅱ 履修案内 43

1. 履修計画 …… 44
2. 履修の制限 …… 45
3. 特別学期の履修 …… 46
4. 他学部・他学科科目の履修 …… 46
5. 大学院科目の履修 …… 47
6. 外国語科目の科目履修免除制度 …… 48
7. 履修登録科目の取り消し制度 …… 49
8. C・F評価科目の再履修制度 …… 49
9. 教育課程表の見方 …… 50

ユニバーシティ・スタンダード科目 51

教育課程表 …… 52

1. 履修上の留意事項 …… 56

文学部 59

ディプロマ・ポリシー …… 60

1. カリキュラム・ポリシー …… 61
2. カリキュラムの特徴 …… 61
3. 警告制度および履修条件（進度チェック） …… 61
4. 卒業要件 …… 61

国語教育学科 …… 62

1. はじめに …… 62
2. カリキュラム・ポリシー …… 62
3. 卒業要件 …… 63
4. 卒業までの単位配分 …… 64
5. 警告制度と履修条件（進度チェック） …… 65
6. 履修上の留意事項 …… 66
7. 取得可能な資格 …… 67
8. 教育課程表 …… 68

英語教育学科 …… 70
1. はじめに …… 70
2. カリキュラム・ポリシー …… 70
3. 卒業要件 …… 71
4. 卒業までの単位配分 …… 72
5. 留学許可条件 …… 73
6. 警告制度と履修条件（進度チェック）…… 74
7. 履修上の留意事項 …… 74
8. 「Overseas Study A/B/C」「School Internship A/B/C」「Internship A/B/C」認定申請条件 …… 75
9. 教育課程表 …… 76

農学部 79

ディプロマ・ポリシー …… 80

生産農学科 …… 81
1. カリキュラム・ポリシー …… 81
2. カリキュラムの特徴 …… 81
3. 卒業要件 …… 82
4. 卒業までの単位配分 …… 83
5. 履修条件 …… 83
6. 履修上の留意事項 …… 84
7. 生産農学科理科教員養成プログラム …… 84
8. カリキュラム・ポリシー（生産農学科理科教員養成プログラム）…… 84
9. 卒業要件（生産農学科理科教員養成プログラム）…… 85
10. 教育課程表 …… 86

環境農学科 …… 88
1. カリキュラム・ポリシー …… 88
2. カリキュラムの特徴 …… 88
3. 卒業要件 …… 90
4. 卒業までの単位配分 …… 91
5. 履修条件 …… 91
6. 履修上の留意事項 …… 91
7. 教育課程表 …… 92

先端食農学科 …… 94
1. カリキュラム・ポリシー …… 94
2. カリキュラムの特徴 …… 94
3. 卒業要件 …… 95
4. 卒業までの単位配分 …… 96
5. 履修条件 …… 96
6. 履修上の留意事項 …… 97
7. 資　格 …… 97
8. 教育課程表 …… 98

工学部 101

ディプロマ・ポリシー …… 104

情報通信工学科 …… 106
1. カリキュラム・ポリシー …… 106
2. カリキュラムの特徴 …… 106
3. 卒業要件 …… 107
4. 卒業までの単位配分 …… 107
5. 卒業プロジェクト着手条件 …… 108
6. 教育職員免許状 …… 108
7. 教育課程表 …… 110

ソフトウェアサイエンス学科 …… 112
1. カリキュラム・ポリシー …… 112
2. カリキュラムの特徴 …… 112
3. 卒業要件 …… 113
4. 卒業までの単位配分 …… 113
5. 卒業研究着手条件 …… 114
6. 教育職員免許状 …… 114
7. 資　格 …… 114
8. 教育課程表 …… 116

マネジメントサイエンス学科 …… 118
1. カリキュラム・ポリシー …… 118
2. カリキュラムの特徴 …… 118
3. 卒業要件 …… 119
4. 卒業までの単位配分 …… 119
5. 進度チェック …… 120
6. 教育職員免許状 …… 120
7. 教育課程表 …… 122

エンジニアリングデザイン学科 …… 124
1. カリキュラム・ポリシー …… 124
2. カリキュラムの特徴 …… 124
3. 卒業要件 …… 125
4. 卒業までの単位配分 …… 125
5. 卒業研究着手条件 …… 125
6. 教育課程表 …… 126

目　次

経営学部 129

ディプロマ・ポリシー …… 130

国際経営学科 …… 131
1. カリキュラム・ポリシー …… 131
2. カリキュラムの特徴 …… 131
3. 卒業要件 …… 140
4. 卒業までの単位配分 …… 141
5. 資格取得等による単位認定 …… 142
6. 警告制度と注意 …… 143
7. 履修上の留意事項 …… 144
8. 教育課程表 …… 146

教育学部 149

ディプロマ・ポリシー …… 150

1. カリキュラム・ポリシー …… 152
2. カリキュラムの特徴 …… 153
3. 履修条件 …… 153
4. 履修上の留意事項 …… 154
5. 教育職員免許状および各種資格の登録に関する規定 155
6. 資　格 …… 156

教育学科 …… 158
1. カリキュラム・ポリシー …… 158
2. 卒業要件 …… 159
3. 卒業までの単位配分 …… 159
4. 履修モデル …… 160
5. ELFの４単位免除の条件 …… 160
6. 教育課程表 …… 161

乳幼児発達学科 …… 164
1. カリキュラム・ポリシー …… 164
2. 卒業要件 …… 164
3. 卒業までの単位配分 …… 165
4. 履修モデル …… 165
5. 教育課程表 …… 166

芸術学部 169

ディプロマ・ポリシー …… 170

1. はじめに …… 171
2. カリキュラムの特徴 …… 171
3. 卒業要件 …… 171
4. 卒業までの単位配分 …… 172
5. 警告制度と注意 …… 173
6. 履修モデル …… 173

音楽学科 …… 174
1. カリキュラム・ポリシー …… 174
2. 卒業要件 …… 174
3. 履修上の留意事項 …… 175
4. 取得可能な資格 …… 175
5. 履修モデル …… 176
6. 教育課程表 …… 178

アート・デザイン学科 …… 182
1. カリキュラム・ポリシー …… 182
2. 卒業要件 …… 182
3. 履修上の留意事項 …… 183
4. 取得可能な資格 …… 183
5. 履修モデル …… 184
6. 教育課程表 …… 186

演劇・舞踊学科 …… 188
1. カリキュラム・ポリシー …… 188
2. 卒業要件 …… 188
3. 履修上の留意事項 …… 189
4. 取得可能な資格 …… 189
5. 履修モデル …… 190
6. 教育課程表 …… 194

リベラルアーツ学部 197

ディプロマ・ポリシー …… 198

リベラルアーツ学科 …… 199

1. カリキュラム・ポリシー …… 199
2. 卒業要件 …… 201
3. 卒業までの単位配分 …… 202
4. 進度チェック …… 203
5. 資　格 …… 203
6. 教育課程表 …… 204

観光学部 211

ディプロマ・ポリシー …… 212

観光学科 …… 213

1. カリキュラム・ポリシー …… 213
2. 観光学部留学プログラム …… 213
3. 卒業要件 …… 215
4. 卒業までの単位配分 …… 216
5. 警告制度と注意 …… 217
6. 観光学部が養成を目指す 3 つの人材像と履修モデル 218
7. 履修上の留意事項 …… 219
8. 教育課程表 …… 220

Ⅲ 資格を取得するために 223

1. 資格の種類 …… 224
2. 取得できる各種資格・修了証等一覧 …… 225
   - 1 保育士 …… 226
   - 2 学校図書館司書教諭 …… 231
   - 3 図書館司書 …… 232
   - 4 社会教育主事・社会教育士 …… 233
   - 5 学芸員 …… 234
   - 6 日本語教員 …… 236
   - 7 環境再生医初級 …… 238
   - 8 IB教員 …… 239
   - 9 食品衛生管理者および食品衛生監視員 …… 240
   - 10 基本情報技術者 …… 241
   - 11 ピアヘルパー …… 242
   - 12 キャンプインストラクター …… 243
   - 13 小学校英語指導者 …… 244
   - 14 社会調査士 …… 245
   - 15 宗教文化士 …… 246
   - 16 TAPリーダー …… 247

Ⅳ 規　程 249

玉川大学特別学期に関する規程 …… 250
玉川大学試験規程 …… 251
玉川大学学位規程（抄） …… 253

こんな時どうする？Q&A

履修計画

Q 高校と大学では、授業はどのように違うのですか？

A
- 自分で授業を選び、時間割を自分で作り上げることが特徴的な違いでしょう。
- 授業内容が高度で専門的になることはもちろんですが、**授業から単位認定までを春と秋それぞれの独立した学期で行うセメスター制で実施**していることなど、制度的にも大きく違います。

Q 卒業するにはどうすればよいですか？

A
- 各学科で定める「卒業要件」をすべて充足させる必要があります。**自分の所属する学科の卒業要件を常に確認しておきましょう。**

Q 「単位」を取るにはどうすればよいですか？

A
- **まず、「履修登録」という手続きが必要です。**履修登録は4年間で8回（各セメスターが始まる前に）行います。履修登録を行わないと、そのセメスターはすべての科目の履修ができず、単位の認定もされません。**必ず指定された期間内に所定の手続きをしてください。**
- **授業を受け、レポート・試験に合格すると単位が認定されます。**授業に全部出席していたとしても、「学ぶべき内容が身についていない」と成績評価は不可（F評価）となり、単位は修得できません。

Q 授業はどのように選択すればよいですか？

A
- **各学科の教育課程表に「必修」と記載されている科目は、指定された時期までに必ず履修し、単位を修得しなければなりません。**「必修」以外の科目でも、いろいろな条件があるので、**卒業まで見据えてしっかりと履修計画を立てましょう。**
- UNITAMAで公開されている「講義要覧」や「シラバス」で、具体的に授業内容を確認する必要もあります。
- 履修登録期間前にガイダンス等で具体的な注意事項や履修のアドバイスがあります。

履修登録

Q 履修登録した授業時間割を確認するには、どうすればよいですか？

A
- UNITAMAの「学生時間割表」で確認できます。

Q 履修している授業で、Blackboard@Tamagawaのコースに表示されていない授業があるのですが、履修登録されていないのでしょうか？

A
- Blackboard@Tamagawa（以下Bbとする）コースへの登録は、**履修登録の最終確定後**になりますので、授業開始後にはまだ登録されていない場合があります。また、Bbを利用しない授業に関しては、Bbにコースの表示がされません。**履修登録の内容を確認するには、UNITAMAもしくは授業運営課での確認が必要です。**

科目の履修

Q どうしても履修したい選択科目と必修科目が重なってしまったのですが、どうすればよいですか？	**A** • **必修科目を優先して履修してください**。選択科目は複数年度にわたって開講している場合が多いので、翌学期以降に履修してください。
Q 他学年に開講されている科目を受講することはできますか？	**A** • 自分の学年より**上の学年に開講されている科目は受講できません**が、下の学年に開講されている科目は受講することができます。
Q 他学科で開講されている科目は受講可能ですか？	**A** •「履修ガイド」に掲載されている「教育課程表」の「他学科受講」欄に○印が付いている科目は受講可能です。
Q 学期履修単位数の上限は何単位ですか？	**A** • **16単位です**。一部上限対象から除外される科目がありますので確認してください。
Q 再履修とはなんですか？	**A** • 単位の修得ができなかった授業科目を**翌学期以降に再度履修することです**。
Q 再履修科目と必修科目が重なってしまいましたが、どうすればよいですか？	**A** • **学科の教務担当教員に相談してください**。

成績の確認

Q 自分の成績（GPA含む）を確認するには、どうすればよいですか？	**A** • **成績はUNITAMAで随時確認できます**。履修した科目の評価、修得した単位数、GPAなどについて、しっかりと確認してください。 • 電話で成績の問い合わせをすることはできません。
Q「F評価」以外の成績確認はできますか？	**A** • **成績確認期間に科目担当教員**（非常勤講師の場合は、所属学部の教務主任）**に直接質問することはできます**。 • 成績の問い合わせができるのは、学生本人のみです。

教員との連絡

Q 科目担当教員（専任および非常勤）に連絡をするにはどうすればよいですか？	**A** • **「教員一覧」（「研究者情報検索サービス」）または「シラバス」に記載されているメールアドレスに連絡することが可能です**。 •「教員一覧」や「シラバス」に連絡先が記載されていない専任教員および非常勤教員の場合は、電話・Eメール等の連絡先を授業運営課等でお伝えすることはできません。 • 授業期間中にあらかじめ科目担当教員に、連絡がつく曜日、時限等を聞いておきましょう。

I

学修にあたって

1 玉川大学のディプロマ・ポリシーと
カリキュラム・ポリシー …… 12
2 学士課程教育と学士力 …… 13
3 学位の授与 …… 13
4 カリキュラムの概要 …… 14
5 授業のしくみ …… 16
6 年間授業スケジュール …… 18
7 単位のしくみ …… 19
8 授業時間割 …… 20
9 科目の記号と番号 …… 21
10 初年次教育 …… 22
11 学修支援 …… 23
12 ルーブリック …… 24
13 講義要覧 …… 25
14 シラバス …… 26
15 教員一覧 …… 27
16 定期試験 …… 28
17 追試験 …… 29
18 成績評価 …… 30
19 成績照会 …… 31
20 GPA制度 …… 32
21 成績確認制度 …… 33
22 単位の認定 …… 34
23 修得単位数から見た学年 …… 36
24 警告制度 …… 37
25 履修条件（進度チェック） …… 38
26 卒業見込み …… 39
27 卒業 …… 40
28 転・編入学 …… 41

1 玉川大学のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

本大学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、更にキリストの教えに従い、玉川学園建学の理想にかんがみ、「全人教育」をもって教育精神とし、広い教養と深い専門の学術の理論及び応用を教授する。宗教、芸術教育を重んじ魂を醇化し、浄らかな情操を養成し、厳粛な道義心を涵養することをもって人格を陶冶し、併せて人類の幸福と世界の文化の進展に寄与するものとする。（学則第１条）

●本学は、上記学則第１条に基づき、以下のとおり学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針を定めます。

1 卒業認定・学位授与の方針（DP：ディプロマ・ポリシー）

本学の創立者小原國芳は、人間を「生まれながらにして、唯一無二の個性を持ちつつも、万人共通の世界をも有する存在である」と定義しました。玉川教育の使命は、１つにこの人間像を実現させることです。そして２つに、日本社会さらには世界へ貢献する気概を持った人材を養成することです。そのために、12の教育信条（全人教育、個性尊重、自学自律、能率高き教育、学的根拠に立てる教育、自然の尊重、師弟間の温情、労作教育、反対の合一、第二里行者と人生の開拓者、24時間の教育、国際教育）を掲げて教育活動を展開しています。

これらの活動をとおして、各学位プログラムの課程を修め、124単位以上を累積 GPA2.00以上の成績で修得した者には卒業を認め、学士の学位を授与します。あわせて、以下の学士力を修得している人材を養成することを教育目標とします。

1 知識・理解
- 多文化・異文化に関する知識の理解
- 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解

2 汎用的技能
- コミュニケーション・スキル
- 数量的スキル
- 情報リテラシー
- 論理的思考力
- 問題解決力

3 態度・志向性
- 自己管理力
- チームワーク、リーダーシップ
- 倫理観
- 市民としての社会的責任
- 生涯学習力

2 教育課程編成・実施の方針（CP：カリキュラム・ポリシー）

玉川大学では、学生が卒業認定・学位授与の方針に掲げる学士力を身につけることを目指して、さまざまな学問分野にふれ、自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけ、学士課程教育において重要な役割を果たす教養教育と専門教育の連動を目指した「ユニバーシティ・スタンダード科目」を編成します。それぞれの学部においては、教養豊かな幅広い知識を持ち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力を持った有為な人材を育成するために「学科科目」を編成します。また、教育課程（カリキュラム）については、整合性や体系性・系統性が容易に理解できるように、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す記号・番号をつけ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。授業の履修にあたっては、大学設置基準に定められた単位の基準*1を踏まえ、１日８時間の授業および授業外学修*2を標準とし、半期の履修上限単位を16単位とします。また、半期ごとに学修状況判定を設け、一定のGPAをクリアすることを求めます。

各授業科目については、各授業科目の到達目標と、その授業をとおしてどのような力（卒業認定・学位授与の方針で示した学士力）が身につくのかをカリキュラム・マップおよびシラバス（授業計画）に明示します。また、授業をとおして身につく力を学生が効果的に修得できるようアクティブ・ラーニングなどの教育方法を取り入れて授業を展開します。成績評価は本学の成績評価基準に基づき、ルーブリック等を活用し、各授業科目の到達目標の達成状況により行います。

＊１　単位の基準：１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とする。（大学設置基準第21条第２項）

＊２　１日８時間の学修：上記の基準では、１時間の授業に対し、２時間の授業外学修を15回行うことで１単位を計算しています。本学では50分授業で半期の履修登録が16単位となりますので、１日８時間の学修は次に示すとおりです。
16単位×150分＝2400分　⇒　40時間÷５日＝８時間（480分）

2 学士課程教育と学士力

大学での4年間の学修をとおして、
「学士」にふさわしい力=「学士力」を身につけましょう。

●大学を卒業すると「学士」という学位が授与されます。そこで、大学の4年間を「学士課程（学士という学位を取得するための課程）」という言葉で表わします。この「学士」という学位は単に卒業時の修得単位数が124単位以上あることを示すものではありません。

●本学では、学部学科の学生を履修対象にした全科目の授業シラバスに、学士力（授業をとおして修得できる力）の項目を記載しています。その目的は、本学での学びを、大学卒業生に対する社会の要請によく応えうるものにするためです。学士力は以下の3種類に分類されます。

① 知識・理解（多文化・異文化に関する知識の理解、人類の文化・社会と自然に関する知識の理解）
② 汎用的技能（コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
③ 態度・志向性（自己管理力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力）

●シラバスにある「授業の到達目標」がその授業で獲得できる学問的な力だとすれば、「学士力」に示されている力は、その授業をとおして身につけることができる、社会人として身につけるべき力のことです。

●「学士力」は4年間、8セメスターの学修を積み重ねて身につけていくものです。科目の評価とあわせて、内容をともなった学士になるよう、しっかり勉強してください。

▶124単位
（卒業要件の1つ）
参照『履修ガイド』p.40

▶シラバス
参照『履修ガイド』p.26

▶セメスター
参照『履修ガイド』p.16

3 学位の授与

本学の学部・学科を卒業した者には、学士の学位を授与します。

●各学部・学科ごとに学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）が定められているので確認してください。学士の種類は、次のとおりです。

学　部	学　科		学　位
文学部	• 国語教育学科	• 英語教育学科	学士（文　学）
農学部	• 生産農学科 • 先端食農学科	• 環境農学科	学士（農　学）
工学部	• 情報通信工学科 • マネジメントサイエンス学科	• ソフトウェアサイエンス学科 • エンジニアリングデザイン学科	学士（工　学）
経営学部	• 国際経営学科		学士（経営学）
教育学部	• 教育学科	• 乳幼児発達学科	学士（教育学）
芸術学部	• 音楽学科 • 演劇・舞踊学科	• アート・デザイン学科	学士（芸術学）
リベラルアーツ学部	• リベラルアーツ学科		学士（リベラルアーツ）
観光学部	• 観光学科		学士（観光学）

▶ディプロマ・ポリシー
学部・学科が教育活動の成果として、学生に保証する最低限の基本的な資質を記した卒業認定・学位授与に関する基本的な方針。
参照『履修ガイド』p.60、p.80、p.104 p.130、p.150、p.170 p.198、p.212

4 カリキュラムの概要

幅広い知識をもち、学際的な勉学に取り組めるよう、
所属学科以外の学部・学科も選択履修できます。

▶カリキュラム
大学教育の目的を達成するために、教科の配列や時間配当などの教育計画を示したもの。「教育課程」ともいいます。

●教養豊かな幅広い知識をもち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力をもった有為な人材を育成するために、本学では下記の構成からなるカリキュラムを用意しています。

ユニバーシティ・スタンダード科目

玉川教育・FYE科目群	人文科学科目群	社会科学科目群	自然科学科目群
学際科目群	言語表現科目群	教職関連科目群	資格関連科目群

学科科目

100番台科目	200番台科目	300番台科目	400番台科目

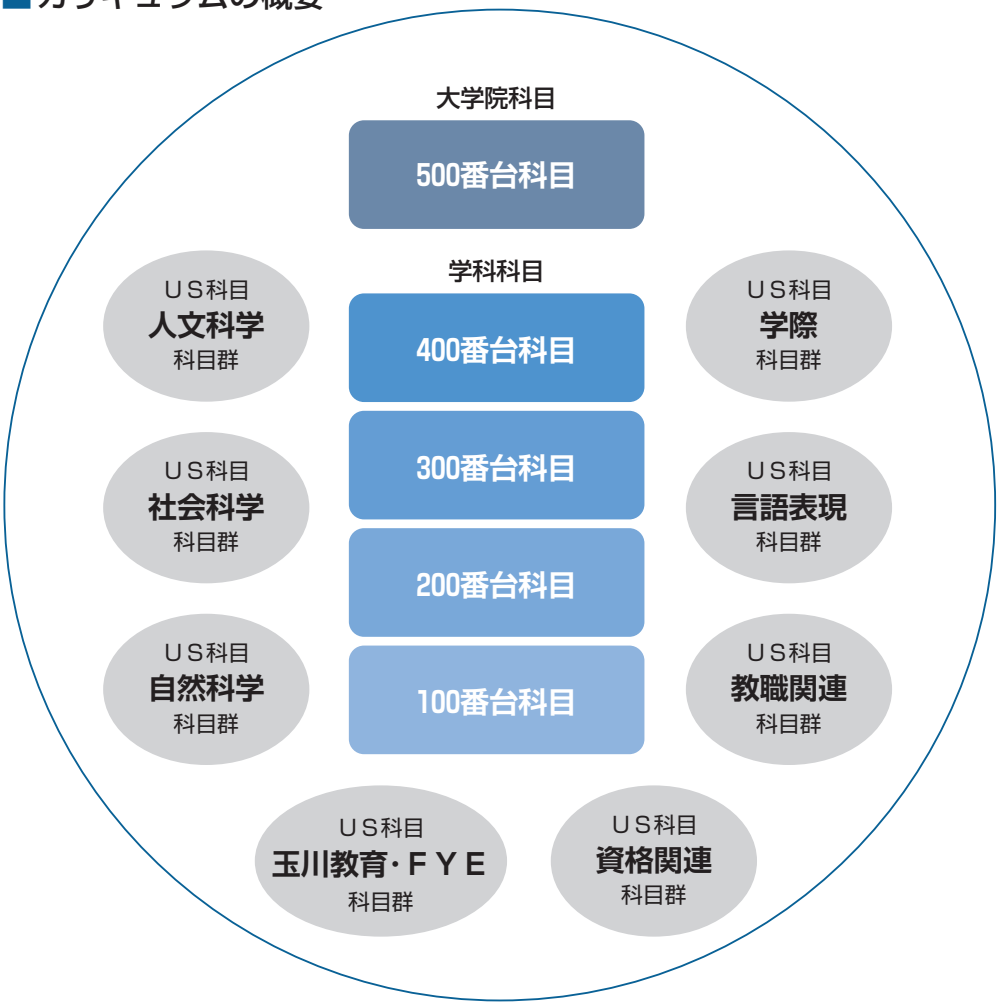
大学院科目

500番台科目

●特色としては、誰もが学際的な勉学に取り組めるよう、所属する学科以外の学部・学科で開設されている科目も選択履修できるよう配慮されていることが挙げられます。

＊ただし、各学部の教育課程表で、他学部・他学科科目受講欄に「○」がついているかどうかを確認すること。

■カリキュラムの概要



＊ユニバーシティ・スタンダード（US)科目の中には、学部が指定する科目があります。

ユニバーシティ・スタンダード科目

- 学士課程教育において重要な役割を果たす教養教育と専門教育の連動をめざして構成されています。
- 諸科目は、広い教養の世界に旅立つ学生の原点となる科目です。専攻領域と並行して、ユニバーシティ・スタンダードの諸科目を学ぶことで、学生はさまざまな学問分野にふれることができると同時に、それぞれの分野を自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけて理解する機会が与えられます。
- 諸科目の学修は、みなさんが専攻する学問領域の知識体系の意味を明確にするだけでなく、自己の存在を歴史・社会・自然と関連づけて理解するうえで有益です。
- 「玉川教育・FYE科目群」「人文科学科目群」「社会科学科目群」「自然科学科目群」「学際科目群」「言語表現科目群」「教職関連科目群」「資格関連科目群」の 8 群から構成されています。

玉川教育・FYE科目群	玉川大学の教育は、創立者小原國芳の提唱した「全人教育」の理念のもとに実践されています。玉川教育・FYE科目群の各科目は、全人教育の核あるいは基底となるものです。
人文科学科目群	言語表現科目群と併せ、広く人類の文化について研究します。多文化・異文化についての造詣を深めると同時に、これまで人類が積み重ねてきた文化について学びます。
社会科学科目群	政治学や経済学に代表されるように社会現象を考察、分析、総合し、そこに一定の法則を見出すことをめざします。学修をとおして市民の社会的役割と責任を理解することが求められます。
自然科学科目群	自然現象の法則を学ぶと同時に、人間の社会を発展させる自然科学の社会的機能を理解することが求められます。科学の素養を身につけるために、実際に演習および実験を行う科目も用意されています。
学 際 科 目 群	人類がこれまで積み重ねてきた人文科学、社会科学、自然科学の知識をふまえ、社会の新たな課題にたいし、総合的に取り組む科目群です。特に、既存の学問領域の枠組みだけではとらえきれない事象についてさまざまな学問の知見を援用しながら学んでいきます。
言語表現科目群	日本語を含めた諸言語の運用能力、言語によるコミュニケーション能力の養成を目的としています。言語コミュニケーション能力は「聞く」「話す」「読む」「書く」の諸要素で構成され、人間が社会生活を営む際に、欠かすことのできないものです。
教職関連科目群	教育職員免許状を取得するために開設されている科目です。
資格関連科目群	各種資格を取得するために開設されている科目です。

＊FYEとは、First Year Experience®の略で、米国サウスカロライナ大学付属初年次教育研究機関（National Resource Center for The First-Year Experience & Students in Transition, University of South Carolina）の商標です。

学 科 科 目

- 各学科の教育目標に従って設けられた授業科目です。100番台から400番台まで 4 群に区分され、学修進度に合わせて順に履修するよう開設されています。
- 大学院進学希望者のためには「大学院科目」が開設されています。
- 自分の適性や将来の進路を早い時期に見定めて、その目標に向かって、計画的かつ体系的に科目を履修するよう心がけてください。

100番台科目	入門レベル。主に大学 1 年次を対象とした授業です。
200番台科目	中級レベル。主に大学 2 年次を対象とした授業です。
300番台科目	専門レベル。主に大学 3 年次を対象とした授業です。
400番台科目	専門上級レベル。主に大学 4 年次を対象とした授業です。
500番台科目	大学院レベル。大学院・芸術専攻科への進学希望者で、一定以上の優秀な成績を収めた学生が履修できる科目です。

5 授業のしくみ

平常授業（春学期・秋学期）以外に、
再履修科目及び集中で行う必要のある科目の授業を行う特別学期があります。

1 開 講 期

●本学の授業は、春学期・秋学期（平常授業期間に実施される授業）と期間外に実施される特別学期（サマーセッション・ウィンターセッション）に開講されます。

1 平常授業

●春学期と秋学期の２学期（セメスター）を平常授業期間に開講しています。
●授業期間を15週確保するために、学事日程の都合上、土曜日・祝日に授業を行う場合や平日に授業がない場合があります。
●詳細については「年間授業計画」を確認してください。

▶**セメスター制**
１年間を独立した２つの学期に分けて構成する制度。第１セメスターから第８セメスターの指定されたセメスターで開講され、完結し、成績評価がつきます。

2 特別学期（サマーセッション・ウィンターセッション）

●平常授業期間外に、特別学期（サマーセッション・ウィンターセッション）を設けて、授業を行っています。
●受講にあたっては、UNITAMAなどの案内を参照してください。なお、特別学期内に受講する科目は有料となります。

2 開講形態

●本学の授業時間割は、50分を１時限（１コマ）として、９時から18時50分まで計10時限（10コマ）で構成されています。

1 時 限	9：00 ～ 9：50
2 時 限	10：00 ～ 10：50
3 時 限	11：00 ～ 11：50
4 時 限	12：00 ～ 12：50
5 時 限	13：00 ～ 13：50
6 時 限	14：00 ～ 14：50
7 時 限	15：00 ～ 15：50
8 時 限	16：00 ～ 16：50
9 時 限	17：00 ～ 17：50
10 時 限	18：00 ～ 18：50

＊講義や演習科目については、計100分授業となるものがあります。

50 分（授業） ＋ 10 分（休憩） ＋ 50 分（授業） ＝ 計 100 分授業

＊実験・実習等科目については、計150分授業となるものがあります。
＊科目によっては、50分＋50分の計100分の授業が、50分ずつ異なる曜日に開講される場合もあります。
＊休憩時間は、各時限と時限との間の10分間です。
＊全学共通の昼食休憩時間は、特に設定されていません。各自が１日の授業日程を上手に工夫して、昼食の時間を確保してください。

3 休　講

●科目担当教員の体調不良などの理由により、授業が休講となる場合があります。

休講の通知 ▶ UNITAMAで連絡

●緊急の場合には「急告」として各校舎に掲示するか、職員が直接教室にて口頭で連絡します。

＊なお、授業開始時刻になっても担当教員が入室しないときは、事故等で遅れていることも考えられるので、各校舎最寄の事務室窓口に申し出るか、授業運営課で指示を受けてください。

▶休　講
科目担当教員の都合や緊急事態により、授業を休みにすること。

▶掲示による連絡
参照『学生生活ガイド』p.24

▶緊急事態への対応
参照『学生生活ガイド』p.25

4 補　講

●休講となった授業は、補講として授業が行われます。

補講の通知 ▶ UNITAMAで連絡

▶補　講
定められた授業回数を補うために行う授業のこと。

5 授業時間割の変更

●授業科目について、開講曜日・時限・教室等の変更が生じた場合は、UNITAMAで連絡します。

6 出席・欠席・遅刻

●授業には、所定の時間割に従って毎時間必ず出席しなければなりません。
●科目担当教員の許可を得たうえで授業開始後20分以内（50分授業の場合は10分以内）に入室した場合は、遅刻とします。
（ただし、交通機関の遅延に伴う場合は、遅延証明書の提示があれば免除されます）
●病気等種々の事情により、授業を欠席あるいは遅刻した場合は、次のような取り扱いとします。

**① 出席回数が 4 分の 3 に満たない科目の単位は認定されません。
また、その科目の定期試験の受験も認められません。
② 遅刻 3 回を欠席 1 回として扱います。なお、遅刻した場合は、科目担当者の責任において入室を断ることもあります。**

▶単　位
参照『履修ガイド』p.19、p.34

■通学区間の交通機関の遅延等による手続き

当該交通機関が発行する遅延証明書を受け取る

遅刻の場合 → **科目担当教員へ申し出る**

状況によっては、自宅住所・最寄り駅等を確認する場合があります。
科目担当教員の指示に従ってください。

↓

欠席の場合

授業運営課に「欠席届」を提出

＊欠席日の翌日から 7 日以内
（土・日、大学が定める休日を含む）

「遅延証明書」は、当日駅で受け取ってください。
交通機関のWebページに掲載してあれば、ダウンロードして提出してもかまいません。

▶欠席の手続き
参照『学生生活ガイド』p.48 ～ 49

6 年間授業スケジュール

春 学 期

4月	●入学式 ●健康診断 ●春学期授業開始
5月	●体力テスト
6月	
7月	●春学期授業終了 ●春学期定期試験
8月	●夏季休暇開始 ●サマーセッション開始
9月	●サマーセッション終了 ●夏季休暇終了 ●特別教育期間 ●秋学期履修登録 ●秋学期授業開始

秋 学 期

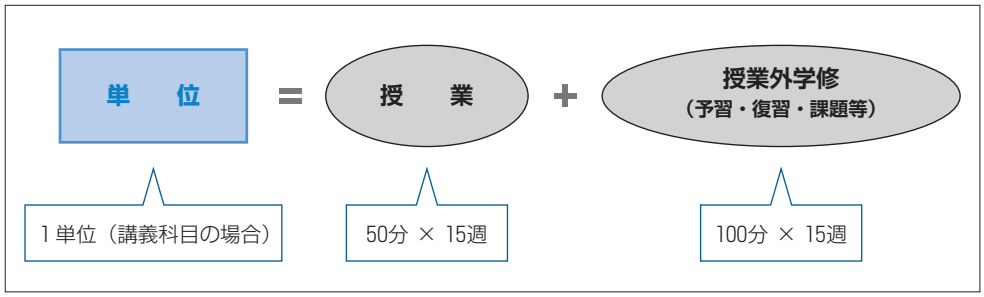
10月	●体育祭
11月	●コスモス祭 学部展 収穫祭 テクノフェスタ 課外活動展
12月	●大学音楽祭 ●クリスマス礼拝 ●冬季休暇開始
1月	●冬季休暇終了 ●秋学期授業終了 ●秋学期定期試験
2月	●春季休暇開始 ●ウィンターセッション開始
3月	●卒業式 ●特別教育期間 ●次年度春学期履修登録 ●ウィンターセッション終了 ●春季休暇終了

※こちらに示しているスケジュールは一例です。各年度の年間授業スケジュール詳細につきましては「年間授業計画」を確認してください。

▶**特別教育期間**
ガイダンスや履修登録、集中講義、研修行事などを実施するために定められた期間。
原則として授業はありませんが、必要に応じて登校することになります。

7 単位のしくみ

●各授業科目における単位とは、科目の授業時間と学修の量を数値で示したものです。１単位は、卒業研究等を除き45時間の学修（授業・授業外学修）を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

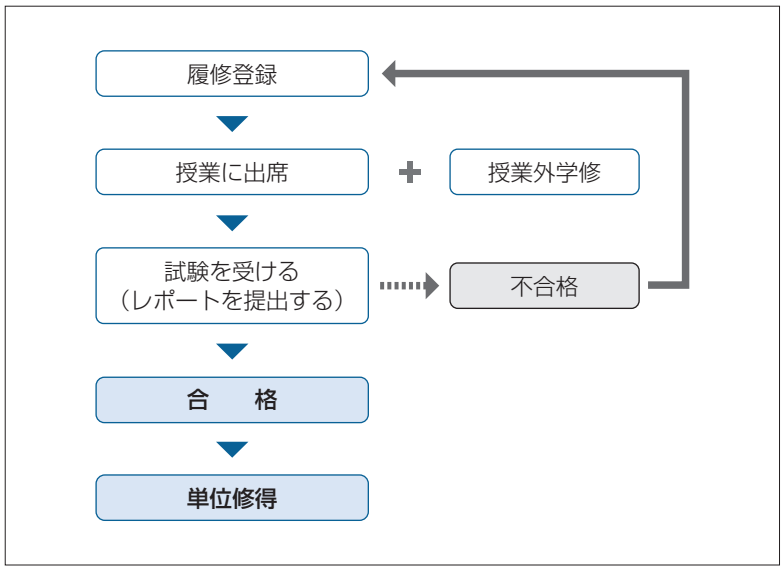


●なお、本学では、原則として次のように授業科目を区分し、単位を定めています。

■授業科目の区分

	１単位の授業における学修時間
講　　義	１単位＝50分×15週
演　　習	１単位＝50分×15週
実技・実験・実習	１単位＝（50分×３回）×15週 または１単位＝（50分×２回）×15週
卒業研究（論文／演奏・制作）	学修の成果を評価して、定められた単位を授与

■単位修得までの流れ



▶単　位
単位数は、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して定められています。
授業に出席し、試験やレポート等にて成績評価を受け、合格することにより、「単位を修得する」ことができます。

▶授業のしくみ
参照『履修ガイド』p.16

▶履修登録単位数の制限
参照『履修ガイド』p.45

▶単位の認定
参照『履修ガイド』p.34、p.35、p.41

8 授業時間割

▶授業時間割の変更
参照『履修ガイド』p.17

- 当該年度の授業時間割は、UNITAMAで閲覧することができます。
- 教室変更など記載事項の変更については、UNITAMA掲示で連絡します。
- また、授業時間割に掲載されている6桁の数字は授業コードといい、履修登録などで使用するコードです。

■自分の時間割表を作成してみましょう

		月	火	水	木	金
1時限	9:00〜9:50					
2時限	10:00〜10:50					
3時限	11:00〜11:50					
4時限	12:00〜12:50					
5時限	13:00〜13:50					
6時限	14:00〜14:50					
7時限	15:00〜15:50					
8時限	16:00〜16:50					
9時限	17:00〜17:50					
10時限	18:00〜18:50					

9 科目の記号と番号

●授業科目には、それぞれ記号と番号がついています（各学部・学科の「教育課程表」参照）。
●この記号と番号には、次のような意味が含まれています（履修登録に使われる授業コードとは異なります）。

ENG　103
科目記号：学問領域を表す
科目番号：上1ケタは開講学年を表す

1 科目記号

●次のとおり、学問領域ごとの分類になっています。

ACCT	会計学
AGR	農　学
ANTH	文化人類学
AREA	地域研究
ART	芸術学／美学
BA	経営学
BIOL	生物学
BRSC	脳科学
CARE	キャリア研究
CHEM	化　学
CHI	中国語
COMM	コミュニケーション
COPR	インターンシップ／コーオプ・プログラム
COSC	認知科学
CWC	比較文化
ECEC	保　育
ECON	経済学
ED	教育学
EEE	電気電子工学
ENG	英　語
ENGE	英語教育
ENGL	英語学
ENGR	工　学

ESP	環境学
FRE	フランス語
FSC	食料科学
GEOG	地理学
GEOL	地　学
GER	ドイツ語
GLS	国際研究
GM	グローバル・マーケティング
HHS	健　康
HIST	歴　史
IB	IB教育
INFO	情報学
INTD	学際領域
INTL	国際関係論
JLIT	日本文学
JPN	日本語学
LAW	法律学
LIBS	図書館学
LING	言語学
MART	メディア・アート
MASC	経営科学
MATH	数　学
MENG	機械工学

MKTG	マーケティング
MUS	音　楽
MUSE	博物館学
NESC	神経科学
PANT	人間学
PE	体　育
PHIL	哲　学
PHYS	物理学
POSC	政治学
PSY	心理学
RST	宗教学
SAM	学校経営
SCED	科　学
SOC	社会学
SPA	スペイン語
STAT	統計学
SUBP	教科教育
TED	教　職
THEA	演　劇
TOUR	観光学
UNIV	大学教育
WLIT	外国文学

2 科目番号

100番台	入門レベル。主に大学1年次を対象とした授業です。
200番台	中級レベル。主に大学2年次を対象とした授業です。
300番台	専門レベル。主に大学3年次を対象とした授業です。
400番台	専門上級レベル。主に大学4年次を対象とした授業です。
500番台	大学院レベル。大学院・芸術専攻科への進学希望者で、一定以上の優秀な成績を収めた学生が履修できる科目です。

3 科目種別

必修科目	卒業するために、必ず修得しなければならない科目です。
必修選択科目	卒業するために、限定された科目の中から、定められた単位数を修得しなければならない科目です。「必選」と略されて表記される場合があります。
選択科目	自由意志により選択し、修得する科目です。選択科目は学科の選択科目とその他の選択科目（自由選択科目）に区別されます。

10 初年次教育

目的意識をもって大学での学修・生活に臨めるように、
「一年次セミナー」を設置しています。

▶初年次教育
大学での生活や学修活動にスムーズに適応できるように、新入生に対して大学全体で組織的に提供される教育のこと。

▶玉川教育・FYE科目群
参照『履修ガイド』p.14、p.52

▶FYE
参照『履修ガイド』p.14

- 本学の初年次教育は、大学での授業をいかに効果的に受講するか、４年間の大学生活の中でどのように人生の目標を設定し、キャリアデザインを行っていくかに重点を置いています。それは、４年間という限られた期間で専門知識を蓄え将来の目標を確立するためには、入学した１年目、スタートの時期こそが重要だと考えているからです。
- そのために、ユニバーシティ・スタンダード科目の玉川教育・FYE 科目群に「一年次セミナー 101」と「一年次セミナー 102」を必修科目として設置しています。学生一人ひとりが目的意識を持って大学での学修と生活に臨めるように、この科目をとおして大学が支援します。

第１セメスターでは「一年次セミナー 101」が必修です。

大学の授業は高等学校の授業の延長ではありません。与えられた知識を記憶するだけではなく、いかに理解し、自分のものとして活用していくかが重要となります。そのためにはどのような気持ちで学修に臨み、どのように授業を受ければよいのかを考える必要があります。これからの授業をより効果的に受講するために、「一年次セミナー 101」では大学で学ぶ意義を考え、授業に臨む姿勢や授業の受け方、文章作成の方法、さらに時間管理やセルフマネジメントなどを学修します。

第２セメスターでは「一年次セミナー 102」が必修です。

大学生活をいかに過ごすかは、皆さんのこれからの一生にとって重要な鍵となります。大学での４年間を有意義に過ごすためには、将来の目標を早期に設定することが大切です。自分を省みて、自身の優れた部分や適性を把握し、それに合った目標設定ができるよう、「一年次セミナー 102」では、働くことの意義や将来の人生設計など、一人ひとりが将来の目標を立てるための知識と方法を学修します。また、社会人として必要な物事の考え方や倫理観、コミュニケーションのあり方、社会との関わり方についても考えていきます。

■主な内容　一年次セミナー 101／102

なぜ大学で学ぶのか	社会生活とメディア
時間管理の技術	社会貢献について考える
ノートをとる	コミュニケーションのあり方
試験を受ける	情報の活用と倫理
効果的な学修方法	個人情報の保護と関わり方
学問とは何か	セルフマネジメント
読書の方法	ライフデザインとキャリアデザイン
文章作成の方法	
大学の支援資源の活用方法	

11 学修支援

みなさんの大学での学びを支援します。

- 大学での学びは人に委ねるものではなく、学生のみなさんが自らの意思で学び、学んだことを自分の力に変えていこうとする姿勢が必要です。とはいえ、決められた教育プログラムに沿って学んできた高校までの学習と違って、大学での学修では時に学修の方法自体がわからなくなったり、迷ってしまったりする場面があるかもしれません。
- そのような時は、大学教育棟 2014の教育学術情報図書館 3 ・ 4 階にあるラーニング・コモンズで学修の支援を受けることができます。授業の合間や空き時間を利用して、ぜひ積極的に活用してください。

▶ラーニング・コモンズ
参照『学生生活ガイド』p.108

学修方法での悩みや相談があれば、学修サポート・デスクが支援します。

ラーニング・コモンズ 4 階には、文章の書き方（レポートなど）を中心に、教員から学修のアドバイスを受けることができる学修サポート・デスクがあります。「レポート課題が出ているけどどう考えをまとめたらいいかわからない」、「次の授業でプレゼンテーションをすることになっているけどどうしよう？」などの学修に関するさまざまな相談ができます。また、英語や会計学については、専門の教員からアドバイスを受けることができます。「こんなこと先生に相談してもいいのかな」と思うようなことは、大学院生のTA（Teaching Assistant）もいるので、気軽に学修サポート・デスクを活用してください。その他、定期的にアカデミック・スキルズについての講座なども開講しています。

コンピュータやネットワークに関してはITサポート・デスクが支援します。

大学での学修においては、分野にかかわらず、コンピュータやネットワークを活用することが求められます。授業の課題やレポートの提出などをコンピュータやネットワークによって行うこともあります。

ラーニング・コモンズ 3 階にあるITサポート・デスクでは、Microsoft Office（Word/Excel/PowerPoint）などソフトウェアの使用方法に関するサポートを実施しています。また、ノートパソコンの活用方法や、本学のe-Educationシステムである「Blackboard@Tamagawa」※についての相談にも応じています。コンピュータやネットワークについてわからない時は、どんどんITサポート・デスクに相談してください。

※「Blackboard@Tamagawa」はオンライン学修支援システムです。学生はネットワークを通じて時間・場所を問わず教材のダウンロードや課題の提出などを行うことができます。

12 ルーブリック

▶ルーブリック（rubric）
学修者の学修成果・到達度を評価するためにマトリクスで示された成績評価方法のこと。評価水準である「尺度」と評価基準である「達成度の目安」で構成される。

- 本学では、成績評価の方針を明確化することを目的として、ルーブリックの導入を推進しています。
- 科目担当教員がシラバスを作成するにあたっては、それぞれの科目に設定されている「授業を通して修得できる力」のコモン・ルーブリックを参照しています。

■「授業を通して修得できる力」のコモン・ルーブリック（一部抜粋）

評価項目（尺度）	評価基準（達成度の目安）			
	4 期待している以上の到達レベル	3 十分に満足できる到達レベル	2 やや努力を要する到達レベル	1 相当の努力を要する到達レベル
多文化・異文化に関する知識の理解				
• 多文化・異文化に関する知識の獲得 • 文化の多様性についての理解と説明	多文化・異文化に関する体系的かつ総合的知識を獲得したうえで、複数の観点から文化の多様性を理解し、的確に説明できる。	多文化・異文化に関する体系的な知識を獲得したうえで、複数の観点から文化の多様性を理解し、説明できる。	多文化・異文化に関する知識を部分的に獲得し、何らかの観点から異なる文化の比較と理解ができる。	多文化・異文化に関する知識を表面的に有し、異なる文化の比較ができる。
生涯学習力				
• 発展的な課題への関心 • 主体的に調査・探求する力 • 新たな状況への応用しようとする態度 • 継続的な学習への意欲	授業内容に強い関心を示し、意欲的に学習する。学習した事柄にもとづき、自ら発展的な課題を複数発見し主体的に調査・探求する。それらを、新たな状況に応用できる。今後も継続し、さらに高次へと高めていこうとする意欲をもつ。	授業内容に関心を示し意欲的に学習し、自ら発展的な課題を発見し主体的に調査・探求する。それらを、新たな状況に応用できる。今後も継続できる。	授業内容を意欲的に学習し、発展的な課題を発見・調査・探求する。それらを、新たな状況に応用しようとする。今後も継続していこうとする意欲を持つ。	授業内容について学習し、発展的な課題を発見・調査・探求しようとする。それらを、新たな状況に応用する方法を考える。

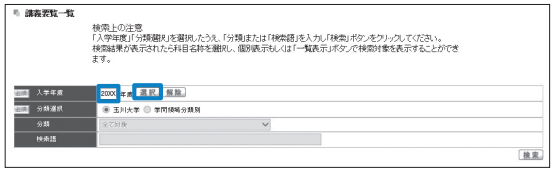
（詳細は、学生要覧Webサイトに添付されている「授業を通して修得できる力」のコモン・ルーブリックを参照してください）。

13 講義要覧

●本学では、全開講科目の概要を入学年度ごとにまとめた「講義要覧（科目のカタログ）」をUNITAMAで公開しています。
●長期的な履修計画を立てる際の参考にしてください。

① 授業関連メニューから講義要覧・シラバスの講義要覧照会にカーソルを合わせてクリック

② 講義要覧の検索
講義要覧検索画面が表示されるので、調べたい年度を選択



「学科別」から調べる場合

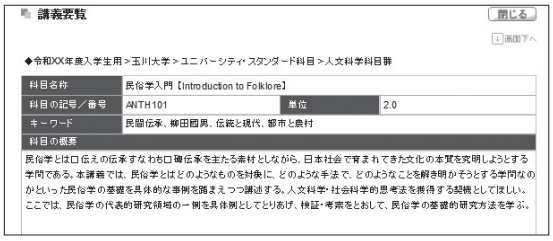
分類選択「学科別」にチェックを入れ、分類を選択のうえ、検索 をクリックすると、科目が一覧で表示されます。
「科目名」を選択すると③の講義要覧が表示されます。
「一覧表示」をクリックすると④の講義要覧が一覧で表示されます。

＊検索語に部分一致する科目名、キーワード、科目の概要を入力した場合、該当する科目が一覧で表示されます。

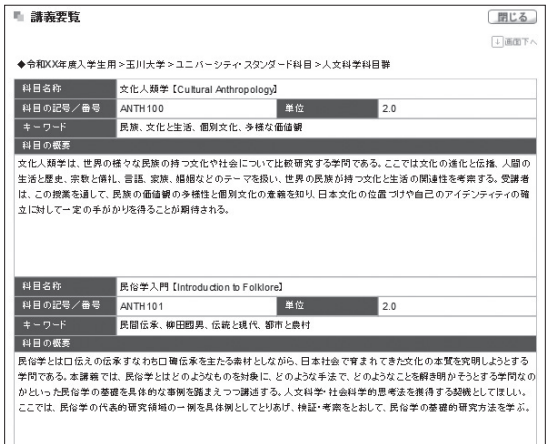
「学問領域分類別」から調べる場合

分類選択「学問領域分類別」にチェックを入れ、分類を選択のうえ、検索 をクリックすると、科目が一覧で表示されます。
「科目名」を選択すると③の講義要覧が表示されます。
「一覧表示」をクリックすると④の講義要覧が一覧で表示されます。

③ 講義要覧が表示されます。



④ 講義要覧一覧が表示されます。



講義要覧 https://unitama.tamagawa.ac.jp/

14 シラバス

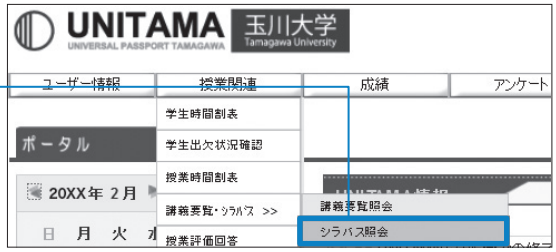
●「シラバス」とは、授業で扱う内容（授業の概要）とその授業の到達目標、その授業をとおして修得できる学士力、授業の進め方、評価の仕方など、授業の全体像を示す文書のことです。履修登録を行うにあたり、科目選択の基準としてシラバスを活用してください。また、履修にあたっても、その日の授業の位置づけ、授業の目的、到達目標などを、「シラバス」で繰り返し確認することにより、授業の学修効果を高めることができます。

●各授業科目の「シラバス」はWebで公開しています。「シラバス」は新学期の履修登録に先立って提示され、年間をとおして公開されています。

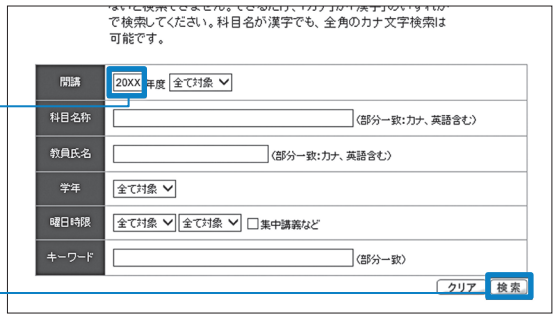
●閲覧する場合は、UNITAMAにアクセスしてください。

●各授業科目の学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す記号・番号については、各学科の「教育課程表」に明示しています。また、卒業認定・学位授与の方針との関連性については、「カリキュラム・ツリー」で分かりやすく明示しています。いずれも学生Web要覧で公開しています。「シラバス」と併せて確認してください。

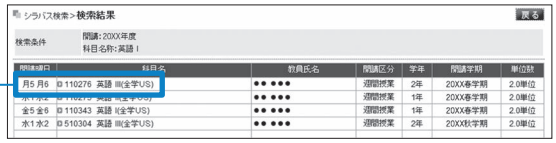
① 授業関連メニューから講義要覧・シラバスのシラバス照会にカーソルを合わせてクリック



② シラバス検索画面が表示されるので、科目名称（教員氏名等の項目でも可）を入力して 検索 ボタンをクリック



③ 検索したいシラバスにカーソルを合わせてクリック



④ シラバスが表示されます。印刷したい場合は 印刷 ボタンをクリックしてください。

シラバス https://unitama.tamagawa.ac.jp/
教育課程表 https://www.tamagawa.ac.jp/student_guidebook/
カリキュラム・ツリー https://www.tamagawa.ac.jp/student_guidebook/
※所属学部の情報を確認してください。

15 教員一覧

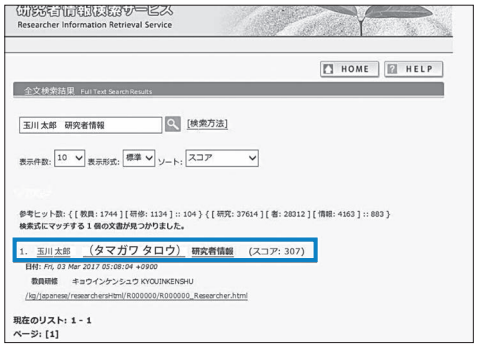
●「教員一覧」（「研究者情報検索サービス」）には、授業を担当する教員のプロフィールや教育・研究業績等の情報が紹介されています。

●閲覧する場合は、本学のホームページにアクセスしてください。

「キーワード検索」から検索

① 検索したい教員名の後に半角or全角スペースと“研究者情報”の文字を入力して をクリック

② 調べたい教員名をクリック



③ 調べたい教員のプロフィール画面が出てきます

「カテゴリー別」から検索

① 検索したい「カテゴリー（学部）」をクリック

② 検索したい学部（所属）をクリック

③ 教員の一覧から検索したい教員をクリック

研究者情報検索サービス https://unitama.tamagawa.ac.jp/kg/japanese/index.html

16 定期試験

●定期試験の方法には、筆記試験・実技試験・口述試験・レポートなどの提出があります。
下記の者には、定期試験の受験資格を認めません。

① 当該科目の履修登録をしていない者
② 所定の学費が未納の者
③ 当該科目の授業の出席回数が 4 分の 3 に満たない者
④ 学生証を所持していない者

▶定期試験受験資格、遅刻および退出、受験者の義務、不正行為の取扱いなど「玉川大学試験規程」
参照『履修ガイド』p.251 ～ 252

▶仮学生証の交付
学生証を所持していない場合
参照『学生生活ガイド』p.45

1 定期試験についての注意事項

▶定期試験
各セメスターの定期試験期間中に実施される試験のこと。

① UNITAMAに掲示される試験時間割は、全学対象ユニバーシティ・スタンダード科目と当該学部の時間割です。
② 定期試験は、通常の授業と異なる時間帯や場所で実施する場合がありますので、注意してください。
③ 定期試験において不正行為を行った学生は、学則により懲戒となります。制作物、レポートについても準じます。詳しくは「玉川大学試験規程」を参照してください。

UNITAMA　https://unitama.tamagawa.ac.jp

2 レポート提出についての注意事項

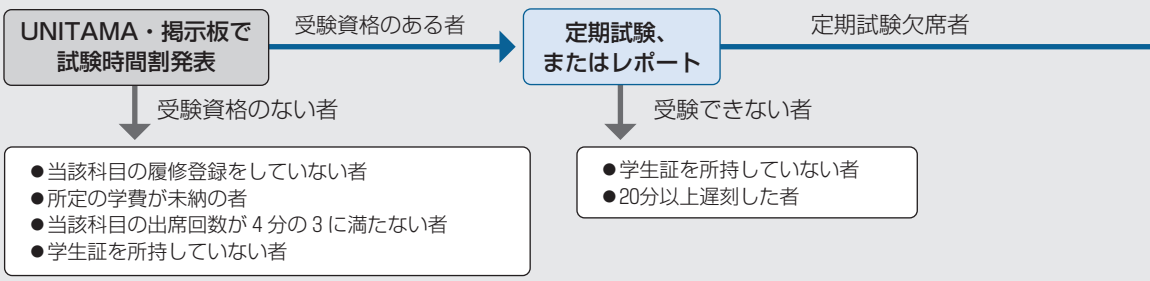
▶レポート
定期試験のうち、科目担当教員の判断により筆記試験に替えて行う試験のこと。

① レポートは提出期日・時間を厳守し、指定されたところに提出してください。提出期日・時間を過ぎたものは、理由を問わず受理されません。
② 科目担当者から書式・用紙・提出方法などが指示された場合は、指示に従ってください。
●なお、公表された著作物、写真、コンピュータに関わるプログラム等を引用あるいはコピーして使用する場合は、著作権法により出所の明示が義務づけられていますので、注意してください。

3 定期試験以外の試験・レポート

●定期試験期間外の試験・レポートは、授業の範疇とみなし、追試験の制度の適用外となります。

■定期試験・追試験の流れ



Column

電子メールによるレポートの提出

① 電子メール送信は、大学から与えられているアドレスで行うこと
② 科目担当教員へ電子メールを送信する際には、**CCに自分のアドレスを記載すること。**自分にも配信されるので、レポートを提出した証拠となる場合があります。各自必ず保管すること
③ レポート提出締め切り後24時間以内に科目担当教員より受領確認のメールが届きます
- 届かない場合⇒受領されていないこともあるので、この旨を科目担当教員に24時間以内に連絡すること
- 科目担当教員と連絡がとれない場合⇒授業運営課にこの旨を申し出ること

④ その他、各学部・学科・科目担当者による条件があれば、そちらに従うこと

17 追試験

●追試験の受験を希望する場合は、所定の期限内に「追試験受験願」に必要事項を記し、以下の書類を添付して授業運営課に提出してください。

▶追試験
定期試験を、やむを得ない理由で受験できなかったり、レポートを提出できなかった者に対して、定期試験期間後に実施する試験またはレポートのこと。

▶「試験規程」
参照『履修ガイド』p.251 ～ 252

1 「追試験受験願」の提出期限

① 定期試験実施日・レポート提出締切日を含め 4 日以内（土・日・大学が定める休日を含む）
② 提出期限最終日が土・日・大学が定める休日の場合は、その翌日までとなります。
※特別学期については、掲示（UNITAMA）でお知らせします。

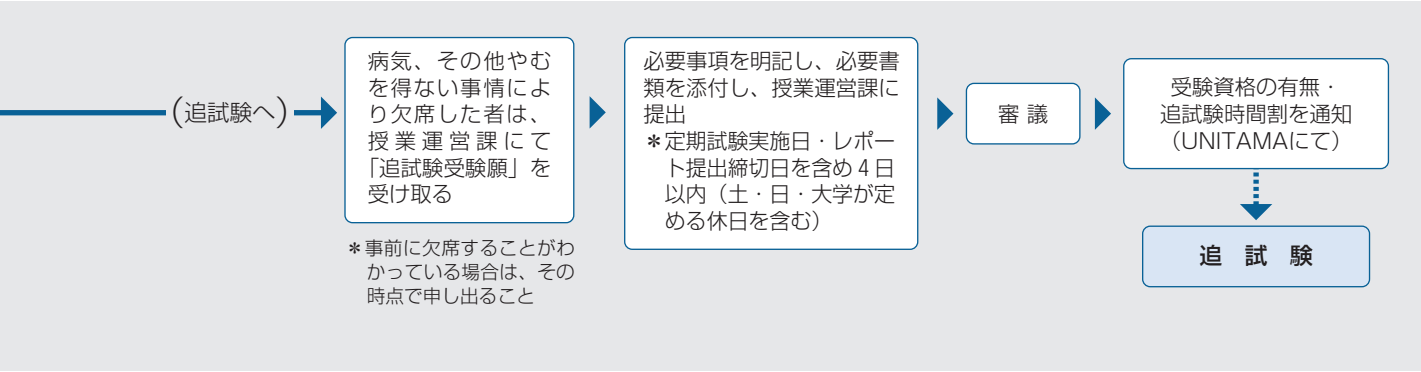
2 必要な添付書類

追試験を受験する理由	必要な添付書類
病気・ケガによる欠席	医師による診断書・治癒証明書・登校許可書のいずれか（病名および出席停止期間を記載してもらうこと）
交通機関の事故および延着による欠席または遅刻	事故または遅延証明書
忌引きによる欠席	会葬礼状など証明する書類
教員採用試験・就職試験・編入学試験・大学院入学試験等による欠席	受験を証明する書類
裁判員制度による裁判への参加	裁判所が発行する証明書

3 受験資格

●「追試験受験願」を所定の期限内に提出した者の中で、審議の結果、理由が正当と認められた場合に限り受験できます。受験を認められなかった科目は、追試験を受験できません。
●また、追試験は 1 回限りとし、追試験の追試験は行いません。

▶追試験受験願
ホームページからもダウンロードできます。



18 成績評価

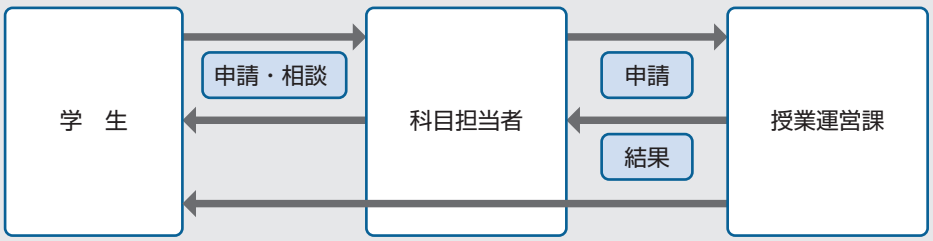
●履修登録をしている授業科目の成績は、定期試験および平素の成績をもって評価されます。その結果、合格と判定された者は、単位の認定を受けることができます。
●各授業科目の評価方法については、シラバスを参考にしてください。成績の評価および合否の科目の表記は、次のとおりです。

評　価		評価区分	評価基準
S	Excellent	90 ～ 100	特に優秀であると評価する
A	Good	80 ～ 89	優秀であると評価する
B	Satisfactory	70 ～ 79	妥当であると評価する
C	Minimal Pass	60 ～ 69	最低限度であると評価する
F	Fail	59以下	不合格
I	Incomplete		成績評価保留
W	Withdraw		履修取り消し
P	Pass		合格と認定する

1　成績評価保留制度（インコンプリート制度）

●定期試験期間以外の授業期間に考慮される事情（病気、ケガ、就職試験、教職課程受講に関わる実習等）が発生した場合に、成績評価が保留される制度があります。成績評価は一定期間後に確定するまで保留され、評価欄には「I」（インコンプリート）と記載されます。
●評価の確定は、特別指導を経た後、単位認定試験を受けて行われます。評価の確定がない場合は、「F評価」に変更されます。
●評価確定後、「I」（インコンプリート）は抹消され、単位数は当該セメスター成績に加算されます。
●単位認定試験には、費用がかかります。詳細については、UNITAMA を確認してください。

■申請の流れ



申請・相談：科目担当者・学生間で成績評価保留制度の利用について相談してください。
申請する場合は、科目担当者が授業運営課に申請書を請求します。
結　　果　：申請結果を授業運営課より科目担当者・学生に連絡します。

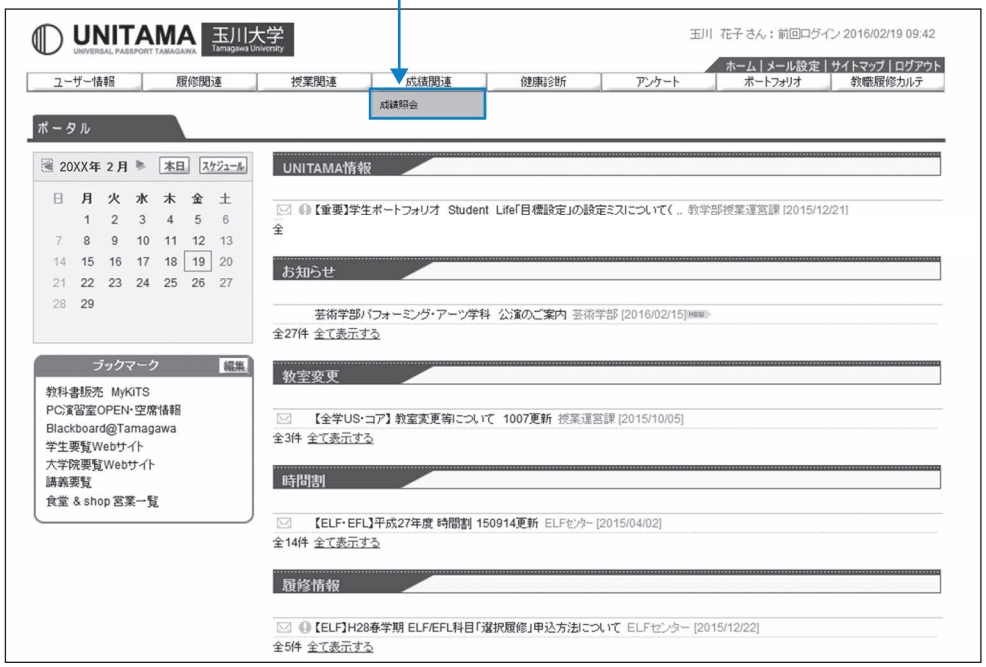
19 成績照会

- 成績は、UNITAMAで随時確認できます。各自の責任において必ず確認してください。
- 単位の認定や成績評価に関しては、電話での問い合わせはできません。
- 成績照会日程は、学期ごとにUNITAMAで案内します。

■UNITAMAによる成績照会の方法

① UNITAMAのトップ画面を開きます。

② 画面の上にあるメニューバーのなかから成績関連の成績照会をクリックしてください。



20 GPA制度

▶GPA（Grade Point Average）
履修科目の成績平均値のこと。それぞれの評価に一定のポイントを設定し、不合格科目を含めて算出されます。

●科目履修にあたっては、単位の修得のみならず、優れた成績評価を得るよう努力しなければなりません。そこで、本学では、学生個々の学修達成度の評価法としてGPA（科目成績平均値）制度を導入しています。

●GPAは次のようにして算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{\text{（修得単位数×成績値）の合計}}{\text{履修登録科目の単位合計}}$$

＊以下の場合は、GPA 計算に算入されません。
① 入学以前に修得した単位の認定科目（高大連携（学内）を除く）
② 合否科目（PF 評価科目）
③ 「C評価」再履修の結果が「C評価以下」の場合は、累積GPAにのみ算入されません（学期GPAには算入されます）
④ SAE長期留学など、学期を遡って成績がつく科目は、学期GPAにのみ算入されません（累積GPAには算入されます）

■GPA評価

評　価	成績値（Grade Point）	評価点
S	4.00	90 ～ 100
A	3.00	80 ～ 89
B	2.00	70 ～ 79
C	1.00	60 ～ 69
F	0	59以下

1 GPA計算例

単位修得状況と評価が次のような場合を例に、GPAを計算してみます。

科目名	単位	評価	修得単位数×成績値
健 康 教 育	1	S	1 ×4.00＝ 4
E L F 1 0 1	4	A	4 ×3.00＝12
E L F 1 0 2	4	F	
E L F 1 0 2	4	A	4 ×3.00＝12
比較文化論	2	B	2 ×2.00＝ 4
心　理　学	2	F	2 × 0 ＝ 0
計	13	－	32

再履修して「A評価」を得たので、このF評価はGPAには算入されません

再履修していないためF評価としてGPAに算入されます

上記の GPA は、 32 ÷ 13 ＝ 2.46 となります。

※割り切れない場合は、小数点以下第 3 位を四捨五入します。

2 GPAの使用例

	活用している学部・学科			GPA の基準値
卒 業 要 件	全学部・全学科			2.00
進度チェック	農学部	教職コース	2 ～ 3 年次	2.30
警 告 制 度	全学部・全学科			2.00
教職課程・資格受講条件	教育学部（第 4 セメスター終了時のみ） ※ 3 年次編入生は第 5 セメスター終了時のみ			2.00

（次ページへ続く）

GPAの使用例（続き）

	活用している学部・学科		GPA の基準値
教職課程受講・受講継続条件	文学部	国語教育学科	第 2 セメスター 終了時：累積2.30 第 4 、第 6 セメスター 終了時：累積2.50
		英語教育学科	2.40
	農学部・芸術学部		2.30
	工学部		2.40
ダブル免許プログラムの受講条件	教職課程を受講できる学部・学科（教育学部乳幼児発達学科を除く）		2.80
SAE海外留学・研修プログラムへの参加	全学部・全学科		留学先による
SAE海外留学奨学金への申請条件	全学部・全学科		3.00または学科順位3分の1以内
ゼミや研究室を選択する際の優先順位	各学科による		
奨学金の申請条件	全学部・全学科		各奨学金による
500番台科目の履修			学科順位3分の1以内
学長賞・優秀学生賞などの選定	全学部・全学科		学科順位上位
本学大学院への学内推薦の基準	全研究科		3.00
卒業後、科目等履修生に出願する場合の教職課程受講条件	文学部・農学部・工学部・芸術学部		出願時の条件による

＊その他に学科の定めるプログラム、科目で活用する場合があります。
学部の履修案内やガイダンス、掲示等を確認してください。

▶ダブル免許プログラム
参照『教職課程 受講ガイド』p.78

21 成績確認制度

- 本学が定める評価の定義を確認したうえで、当該セメスターに「F（不合格）評価」を受けた科目について不明な点がある場合、成績確認期間（日程については、UNITAMAで伝達）に確認をすることができます。
- 自分の授業への出席状況やレポート提出の有無などをふまえたうえで、なお評価についての疑義がある場合には、この制度を利用して成績確認を申請することができます。
- 成績の問い合わせができるのは、学生本人のみです。

1 「F評価」の確認方法

授業運営課窓口で手続き（手続きの方法は別途UNITAMAで指示します）

▼

「成績確認申請書」を受け取り、確認したい事項を記入し、授業運営課窓口に直接提出

▼

授業運営課で「成績確認回答書」を受け取る（授業運営課より呼び出しがあります）

▶成績確認申請書
ホームページからもダウンロードできます。

＊回答は、成績確認期間後10日以内に書面で行います。内容により回答に時間がかかる場合には、そのつどお知らせします。

2 「F評価以外」の確認方法

- 「F評価以外」の評価に関して質問がある場合は、同時期に科目担当教員（非常勤講師の場合は、所属学部の教務主任または所属学科の教務担当）に直接質問をしてください。

22 単位の認定

1 単位の認定時期

- 合格した科目の単位は、各セメスター末に認定されます。
- セメスターの途中で退学・休学・除籍をした場合、そのセメスターで履修している科目の単位は認定されません。
- 下表の「開講時期・開講科目等」欄に記載された時期あるいは科目に関しては、通常の場合と単位認定時期が異なるので、注意が必要です。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>開講時期・開講科目等</th><th>単位認定時期</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">集中講義・
集中実習の単位</td><td>夏季休暇中（サマーセッションを含む）</td><td>秋セメスター</td></tr>
<tr><td>冬季・春季休暇中（ウィンターセッションを含む）</td><td>翌年度の春セメスター</td></tr>
<tr><td>夏季休暇中から秋学期定期試験期間最終日まで</td><td>秋セメスター</td></tr>
<tr><td>春季休暇中から翌年度春学期定期試験期間最終日まで</td><td>翌年度の春セメスター</td></tr>
<tr><td>「体育」</td><td>秋セメスター</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">申請により
認定された単位</td><td>語学科目の履修免除制度で単位認定された科目</td><td>申請したセメスター</td></tr>
<tr><td>入学以前に他大学等で修得した科目</td><td>入学年度の最初のセメスターのみ</td></tr>
<tr><td rowspan="8">SAE海外留学・研修プログラムにより修得した単位</td><td rowspan="3">留学（長期）</td><td>6か月未満のプログラム</td><td rowspan="2">実施されたセメスター</td></tr>
<tr><td>6か月以上1年未満のプログラム</td></tr>
<tr><td colspan="2">＊事前指導、事後指導の単位も含まれる場合があります。
＊留学先の大学から成績通知が送られてきてからの認定となりますので、成績に反映されるまで数か月かかります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">研修（短期）</td><td>夏季休暇中</td><td>秋セメスター</td></tr>
<tr><td>冬季・春季休暇中</td><td>翌年度の春セメスター</td></tr>
<tr><td colspan="2">＊現地への渡航を行わない、オンラインでの受講プログラムに変更になる場合もあります。</td></tr>
<tr><td>オンライン
国際交流
プログラム</td><td>随時</td><td>プログラム形態により、受講したセメスターもしくは翌セメスター</td></tr>
<tr><td colspan="2">単位互換科目・
共同授業の単位</td><td>随時</td><td>受講したセメスターの
翌セメスター</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">教育実習の単位</td><td>事前指導、教育実習、事後指導と
3セメスターにわたり実施</td><td>事前指導から数えて
3つ目のセメスター</td></tr>
<tr><td colspan="2">例）第6セメスターで事前指導を登録した場合、単位認定は第8セメスター</td></tr>
</table>

＊単位認定時期が卒業後になる場合は受講できません。

2 SAE海外留学・研修プログラムの単位認定

●本学の海外留学・研修プログラムは、SAE（Study Abroad Experience）と呼ばれています。このプログラムの概要は、下表のとおりです。（学科の留学プログラムについては「履修案内」の各学科のページを確認してください）

	研修期間		単位の認定基準
SAE海外留学・研修プログラム	留学	5か月～1年	① 半年未満の留学プログラムについては、16単位を上限に認定
			② 1年間の留学プログラムについては、32単位を上限に認定
	研修	1～5週間	③ 「SAE（海外留学・研修）プログラムA～J」などの1～5単位を認定
			④ 複数のプログラムに参加した場合は、在学中にすべてのプログラムによる認定単位が60単位を超えない範囲で認定
			⑤ ①～④において認定される単位は、他の制度により認定された本学以外の単位数と合わせて60単位を超えない範囲で認定する。ただし、編入学生の編入学時の認定単位は含まれない。

●研修には、オンライン（オンライン国際交流）プログラムなども含まれます。
●いずれの場合も、この留学で修得した科目は、本学の授業科目の履修で修得した単位として認定を受けることができます。また、留学・研修期間は、本学の修業年限に含まれます（4年次の海外留学・短期研修への参加については、卒業が延期になる場合がありますので各学科の教務担当に相談してください）。
●単位認定された科目はGPA計算の対象に含まれます。
●プログラムの詳細は、国際教育センター（ELF Study Hall 2015）に問い合わせてください。

3 他大学との単位互換・共同授業

●本学では開講されていない他大学（単位互換協定校に限る）の科目を受講し、修得した単位を本学の単位として認定する首都圏西部大学／ネットワーク多摩単位互換制度があります。
●この制度の詳細や履修申請手続きについては、ガイダンスでお知らせします。ガイダンスの時期については、掲示で連絡します。

		首都圏西部大学／ネットワーク多摩※1	首都圏西部大学
		単位互換	共同授業※2
履修	許可条件	① 警告制度や履修条件（進度チェック）に1度も抵触していないこと（申請時および受講時を含む） ② 単位互換・共同授業で10単位を修得していないこと ③ 第7セメスターの履修許可条件は上記①②のほかに、第6セメスター終了時に卒業見込みがあること ＊本学開講の単位互換科目は、単位互換科目として履修できない	
	時期	第2セメスターから第7セメスター ＊第7セメスターでの履修科目は「春学期（前期）開講科目」のみとする（通年科目は履修できない）	
	上限科目数	5科目（10単位）まで	3講座（6単位）まで
		＊単位互換と共同授業を合わせて在学中10単位まで	
	1セメスター当たり上限科目数	2科目	1講座
		＊いずれも、本学における各セメスターの履修上限単位には含まれない	
単位認定	時期	受講したセメスターの翌セメスター （他大学の履修条件ならびに単位認定の時期が異なるため）	
	取り扱い	卒業要件単位に含め、自由選択科目の単位として認定 （学部・学科・学年によって異なる場合あり）	
		＊GPA計算の対象に含める	

※1 上記の大学単位互換協定による単位互換制度以外にも、他大学・他機関との協定により実施される可能性があります。
※2 共同授業を受講した学生は、受講後に授業出席回数など一定の条件を満たせば、所属する大学の単位として認定されます。

▶SAE 海外留学・研修プログラム
本学と海外の受け入れ大学の間で結ばれた交流協力協定などに基づき、実施される全学部生対象の海外留学・海外研修プログラムです。各学部・学科で実施している留学プログラムは含まれません。

▶卒業（修業年限）
参照『履修ガイド』p.40

▶国際教育センター留学実現までの流れ
https://www.tamagawa.ac.jp/gec/program/flow1.html 参照

▶単位互換
単位互換とは、大学・短期大学が相互に単位互換協定を締結し、これらの大学に所属する学生が、他の大学の授業科目を履修し、そこで修得した単位を所属する大学の単位として認定しようとするものです。
単位互換協定に参加する大学からは、それぞれ特色のある授業科目や、他の大学にはないユニークな授業科目が提供され、学生の知的な関心や興味に応じた授業が行われます。

▶共同授業
共同授業とは、首都圏西部大学単位互換協定に参加している大学が連携して授業科目（総合講義）を開設し、各大学の講師がオムニバス形式で授業を実施するものです。

4　入学以前に他大学等で修得した科目の単位認定

●入学以前に、他の大学（または短期大学）および高大連携（学内）において履修した授業科目がある場合、本人の申し出に基づき、本学が教育上有益と認める場合に限り、本学における授業科目の履修により修得したものとして、単位を認定する場合があります。

■申請の手順

授業運営課窓口で申請書類を受け取る → 授業運営課に提出 → 審　議 → 単位認定

＊単位を修得した大学（または短期大学）の成績証明書と申請科目のシラバスを添付のこと
＊申請期間は、掲示で連絡します。
＊申請しても認定されない場合もあります。

		入学以前に他大学等で修得した科目の単位認定	高大連携（学内）
申請	時　期	入学年度の最初のセメスターの掲示で指定された期日のみ	申請不要 （単位認定を必要としない科目がある場合のみ指定された期日までに授業運営課に取消申請）
	方　法	申請書類＋大学（短大）の成績証明書と申請科目のシラバスを授業運営課に提出	
単位認定	時　期	申請したセメスター	
	取り扱い	①　卒業要件に含める	
		②「B評価以上」の科目が単位認定され、成績評価（S、A、B）はつかない	②「B評価以上」の科目が単位認定され、成績評価（S、A、B）がつく
		③　GPA計算の対象外	③　GPA計算の対象とする
		④　セメスターの履修上限単位には含めない	
	認定単位数	上限60単位（一律ではない）	上限14単位（「B評価以上」のみ認定）

23　修得単位数から見た学年

●１～４年の学年区分に対応する修得単位数は下表のとおりです。各学年区分に対応する単位数を修得できない場合は、４年間での卒業が延期となることがあります。また、下表の学年区分に対応する修得単位数を満たしていない場合、その学年で履修可能な科目が制限されることがあります。その場合は所属学部の教務担当教員の履修指導を受けることになります。

学年区分	修得単位数
１年次	０～31単位
２年次	32～61単位
３年次	62～91単位
４年次	92 単位～

※転・編入学および再入学に関しては、「B評価」（100点満点で70点）以上を認定し該当学年に配置します。

24 警告制度

●各セメスター終了時に、学修状況の確認が行われます。**累積GPA2.00未満**の学生には「警告」が出されます。履修登録単位数が「0」単位の場合は、学修する意思がないものとみなし、警告の対象となります（休学および停学1か月以上の学生は除く）。

●「警告」を受けた学生には、書面で保証人住所に、本人・保証人の連名宛に郵送されます（社会人入学生は本人住所・本人宛）。なお、「警告」を受けていない学生には、特に通知することはありません。

●「警告」を受ける回数によって、下記表のとおりの対応となります。

1回	本人に成績不振に対する学修指導ガイダンス等を実施 他大学との単位互換科目や共同授業の受講資格を失う
2回	本人・保証人との面談を実施
3回	退学勧告　（本人・保証人との面談を実施し、退学するか学修を継続するかは本人が選択する）
4回	退学処分（玉川大学学則第39条により） （ただし、定められた期日までに、「退学願」が提出された場合は依願退学となります）

※成績公開後に、警告を受けて退学を希望する場合、退学期日は、学期末日となります。

▶GPA制度
参照『履修ガイド』p.32

▶退学
参照『学生生活ガイド』p.52

▶玉川大学学則
参照『学生生活ガイド』p.148～157

25 履修条件（進度チェック）

- 学部・学科（コース）により、定めるセメスター終了までに規定の条件を満たしていない場合は、次セメスター以降の履修が制限されます。
- 学部・学科（コース）により、次セメスターに進めない場合や履修できない科目が出てくる場合があり、結果として４年間での卒業が不可能になることがあります。
- 詳しくは各学科の履修案内のページを参考にしてください。

■進度チェックをするセメスターと判定項目

<table>
<tr><th>学　部</th><th>学　科</th><th>第１
セメスター</th><th>第２
セメスター</th><th>第３
セメスター</th><th>第４
セメスター</th><th>第５
セメスター</th><th>第６
セメスター</th><th>第７
セメスター</th><th>第８
セメスター</th></tr>
<tr><td rowspan="2">文学部</td><td>国語教育学科</td><td></td><td></td><td></td><td>• 累積修得単位数
• 指定する必修科目の修得</td><td></td><td>• 累積修得単位数
• 指定する必修科目および必修選択科目の修得</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>英語教育学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>留学後特別学期終了後
• 累積修得単位数</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">農学部</td><td>生産農学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 指定する必修科目の修得</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>生産農学科
理科教員養成プログラム</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 指定する必修科目の修得（p.39および教職課程受講ガイドp.39参照）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>環境農学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2">• 指定する必修科目の修得</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>先端食農学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">工学部</td><td>情報通信工学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 累積修得単位数</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ソフトウェアサイエンス学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 累積修得単位数</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>マネジメントサイエンス学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 累積修得単位数</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>エンジニアリングデザイン学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 累積修得単位数</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>経営学部</td><td>国際経営学科</td><td colspan="7">セメスターごとに基準を設定し「注意」を実施</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学部</td><td>教育学科</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2">• 累積修得単位数</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>乳幼児発達学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">芸術学部</td><td>音楽学科</td><td colspan="7" rowspan="3">進度チェックに代えて、セメスターごとに基準を設定し「注意」を実施</td><td></td></tr>
<tr><td>アート・デザイン学科</td><td></td></tr>
<tr><td>演劇・舞踊学科</td><td></td></tr>
<tr><td>リベラルアーツ学部</td><td>リベラルアーツ学科</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>• 累積修得単位数</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>観光学部</td><td>観光学科</td><td colspan="7">セメスターごとに基準を設定し「注意」を実施</td><td></td></tr>
</table>

26 卒業見込み

大学にあと１年間在学すれば卒業できる見込みがあることを、「卒業見込み」といいます。卒業見込みの要件は、次のとおりです。

① ３年以上在学（休学期間を除く）していること
② 92単位以上修得していること＊1
③ 以下に挙げる各学科等の定める履修条件、進度チェックまたは卒業研究着手条件等を満たしていること

＊１　特別学期の履修により92単位以上修得見込みとなる場合、判定会議を経て卒業見込みとする。

学部・学科	卒業見込み要件
文学部国語教育学科	第６セメスター終了時における履修条件（進度チェック）を満たしていること
文学部英語教育学科	学科の定める留学を経験していること 「Research Seminar A」を修得していること
農学部生産農学科	（卒業研究着手条件） 第６セメスターまでの学科必修科目の実験・実習・演習科目をすべて修得
農学部生産農学科 理科教員養成 プログラム	（第６セメスター終了時における教育実習受講条件チェック） 教育実習の受講には、第６セメスター終了時に以下の科目を修得していることが条件となる。 ⑴ 「教育実習」「教職実践演習」以外の「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目を修得済みであること。なお、各教科の指導法については、理科のみもしくは理科と農業を取得する者は「理科指導法Ⅰ・Ⅱ」、農業のみの学生は「農業科指導法Ⅰ・Ⅱ」を修得済みであること。 ⑵ 「教育実習（事前指導）」で「Ｐ評価」を得ていること
農学部環境農学科	（卒業研究着手条件） 第６セメスターまでの学科必修科目の実験・実習・演習科目をすべて修得（「Comprehensive Agri-Environmental Studies」を除く）
農学部先端食農学科	（卒業研究着手条件） 第６セメスターまでの学科必修科目の実験・実習・演習科目をすべて修得
教育学部教育学科	「現代教育研究Ⅰ・Ⅱ」を修得していること
教育学部 乳幼児発達学科	「現代教育研究Ⅰ・Ⅱ」を修得していること
芸術学部 アート・デザイン学科	「アート・デザイン研究Ⅱ」を修得済みのこと
観光学部観光学科	学部の定める１年間の留学プログラムを終了していること 期日までに下記の英語力判定テストで所定のスコアを取得していること *TOEIC*® L&Rテスト600点以上

※「卒業見込み証明書」は、以上の要件を満たした場合に、申請により発行されます。
※休学等で在籍期間が延びる場合は、卒業見込みが取り消されます。
※復学する前には、卒業見込み判定を実施します。
※卒業見込み要件を満たしていても、各学期末のチェック時に卒業時期が延期となった場合は、半期ずつ卒業見込み日が延期されます。
※卒業見込み要件を満たしていても、各学期末のチェック時に卒業見込み要件を満たせなくなった場合は、卒業見込み日は延期されます。
※工学部・経営学部・芸術学部（音楽学科、演劇・舞踊学科）・リベラルアーツ学部は①・②の要件のみ。

27 卒　業

1 卒業要件

▶卒業要件
＊卒業するには、所属する学部学科の卒業要件を満たす必要があります。

●大学を卒業するための要件は、次のとおりです。

① 修業年限を満たすこと
② 各学科の卒業要件を充足すること
③ 累積GPAが2.00以上であること
④ 全科目の修得単位の合計が124単位以上あること

＊学部によっては、資格取得も卒業要件に含まれる場合があります。

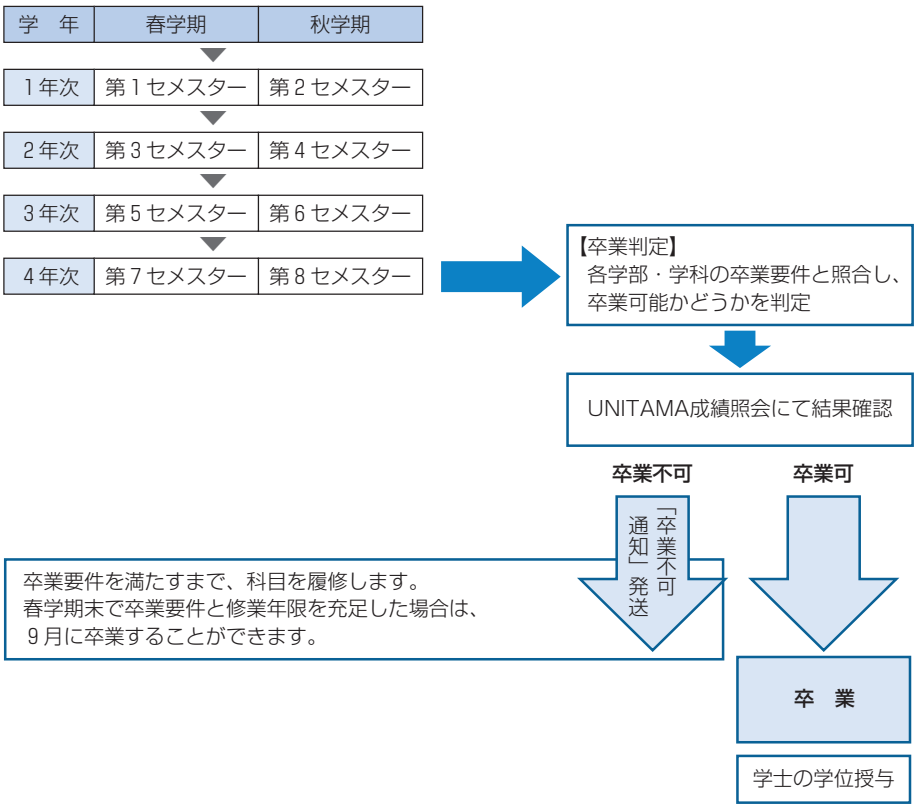
2 卒業の通知

▶単位制授業料
該当者には授業運営課より通知が届きます。

▶学位の授与
参照『履修ガイド』p.13

●卒業の可否は、UNITAMA成績照会にて確認してください。
卒業不可の場合は、保証人住所宛に書面で郵送されます。（社会人入学生は本人住所）
●卒業可・不可に関する件を電話で問い合わせることはできません。
●卒業判定の結果「卒業不可」となった場合、単位制授業料が適用される場合があります。

■卒業（学位授与）までの流れ



■修業年限と在学年数

▶修業年限
大学に在籍する年数のこと

	修業年限	在学できる年数
1年次入学	4年	8年
2年次編入	3年	6年
3年次編入	2年	4年

＊休学期間は含みません（再入学の場合は、『学生生活ガイド』p.54参照）。

28 転・編入学

1 転・編入学生の既修得単位の取り扱い

■単位認定と学年決定

- 前の大学（短期大学）等において修得した科目の単位のうち、本学の基準で「B評価」（100点満点中70点相当）以上の科目に対し、62単位を上限として振替科目を修得したものとして認定します。
- 振替可能科目は本学の科目として振り替られる科目のみとします（修得単位すべてが認定されるとは限りません）。
- 認定単位数に応じて転・編入学後の学年を決定します。下記基準を参照してください。
- 履修登録前に教務担当教員よりガイダンス等の指導が行われます。履修計画は、必ずその指導に従って立てるようにしてください。

■単位認定の基準

	1年次	2年次	3年次
時　期	転・編入学したセメスター		
取り扱い	①　入学したセメスターの卒業要件に含める ②　単位の認定のみとなり、成績評価（S・A・B）はつかない。 ③　GPA計算の対象外 ④　セメスターの履修上限単位には含めない		
認定単位数	0～31単位	32～61単位	62単位

2 転・編入学後の履修

■留意事項

- 「玉川の教育」（0.3単位）は必修です。
- 「ELF」については下記の基準に基づき、単位を認定します。

① 既習の大学レベルにおける「英語」の「B評価」相当以上の単位数が玉川大学の8単位相当までは、4単位ごとに「ELF101」「ELF102」で認定する。

② 8単位を超過した場合、あるいは教職課程等の要件との関連で「ELF201」以上の上位科目での認定が必要な場合、上記の①に加え、以下の条件を満たした場合には認定を可能とする。

《ELF201/202》

A．シラバス等で既習のクラスの英語のレベルが、以下のいずれかであるか確認ができる場合：*TOEIC*®L&R 400, IELTS 3.0, TOEFL iBT40, 英検準2級　CEFR A2 以上

B．A相当の英語標準テストのスコア（過去2年間）を提出できる場合

《ELF301/302》

A．シラバス等で既習のクラスの英語のレベルが、以下のいずれかであるか確認ができる場合：*TOEIC*®L&R 500, IELTS 4.0, TOEFL iBT52, 英検2級　CEFR B1 以上

B．A相当の英語標準テストのスコア（過去2年間）を提出できる場合

- 教職課程を受講する学生は、転・編入学以前に在籍していた大学の学部・学科が課程認定を受けている場合のみ、「教育の基礎的理解に関する科目等」を認定可能とします。
- 転籍については、本項目に準ずる。

Ⅱ

履修案内

1 履修計画 …… 44
2 履修の制限 …… 45
3 特別学期の履修 …… 46
4 他学部・他学科科目の履修 …… 46
5 大学院科目の履修 …… 47
6 外国語科目の科目履修免除制度 …… 48
7 履修登録科目の取り消し制度 …… 49
8 C・F評価科目の再履修制度 …… 49
9 教育課程表の見方 …… 50

■ **ユニバーシティ・スタンダード科目** …… 51
■ **文　学　部** …… 59
　国語教育学科 …… 62
　英語教育学科 …… 70
■ **農　学　部** …… 79
　生産農学科 …… 81
　生産農学科理科教員養成プログラム …… 84
　環境農学科 …… 88
　先端食農学科 …… 94
■ **工　学　部** …… 101
　情報通信工学科 …… 106
　ソフトウェアサイエンス学科 …… 112
　マネジメントサイエンス学科 …… 118
　エンジニアリングデザイン学科 …… 124
■ **経 営 学 部** …… 129
　国際経営学科 …… 131
■ **教 育 学 部** …… 149
　教育学科 …… 158
　乳幼児発達学科 …… 164
■ **芸 術 学 部** …… 169
　音楽学科 …… 174
　アート・デザイン学科 …… 182
　演劇・舞踊学科 …… 188
■ **リベラルアーツ学部** …… 197
　リベラルアーツ学科 …… 199
■ **観 光 学 部** …… 211
　観光学科 …… 213

1 履修計画

●どの科目を履修するかについては、卒業までのプロセスを自分なりに熟慮し、授業科目を体系づけて計画することが必要です。また、教育職員免許状などの免許や資格を取得する場合は、併せて履修計画を立てなければなりません。
●卒業に必要な単位数は124単位です。それを８セメスター（４年間）で修得するために各自しっかり履修計画を立ててください。
●各自の履修計画を立てるには、教育課程表・講義要覧・シラバス・授業時間割・教員一覧を参考にするとよいでしょう。
●履修や学修について相談したいことがあるときは、所属学科の教務担当または学級担任に相談してください。
●科目によっては、「『○○○』という科目を修得していなければ履修できない」など、その履修に条件のある科目があります。詳しくは、各学部・学科の履修案内のページを参考にしてください。

▶講義要覧
参照『履修ガイド』p.25
▶シラバス
参照『履修ガイド』p.26
▶授業時間割
参照『履修ガイド』p.20
▶教員一覧
参照『履修ガイド』p.27

▶履　修
「受講しようとする科目について登録し、その後、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」までの一連の過程を意味します。特に「履修登録」に関することをさして使われる場合があります。

▶学生時間割表
自分がWeb履修登録した科目を確認するための履修画面。

1　履修計画を立てるためのポイント

① 所属学科の卒業要件・進度チェックなどのルールを理解すること
　▶所属学科の履修案内をよく読む
② 必修科目は、指定された履修セメスターで早めに履修すること
　▶必修科目の開講期・開講曜日時限を所属学科の授業時間割で調べる
③ 各セメスターの履修上限16単位の範囲内で、選択科目を履修できる。選択科目は、必修科目の開講時間以外の空いている時間で履修すること
　▶所属学科および他学部・他学科の授業時間割で調べる
　▶講義要覧・シラバスでそれぞれ科目の内容を調べる
　▶担当教員の情報については、教員一覧で調べる
④ 履修する授業が連続しないように空き時間を設けること
　▶前の授業の復習や次の授業の予習を行う
⑤ 教育職員免許状の取得については、『教職課程受講ガイド』を熟読すること
⑥ 資格の取得を希望する場合は、『履修ガイド』等を確認し、必要な科目をチェックすること

上記は、あくまでもポイントです。
履修や資格取得についてのガイダンス等に必ず出席して、担当教員の指示に従うこと。

2　履修手続きのポイント

▶カリキュラムの概要
参照『履修ガイド』p.14～15

① ガイダンス等に必ず出席すること
　履修登録期間前にガイダンス等で、履修についての具体的な説明や指示がなされます。
　自らの履修計画をチェック・検討するために役立ててください。
② 自分の責任で行うこと
　特に、履修科目の登録・確認・訂正は、卒業・履修条件（進度チェック）等にかかわるきわめて重要な事項です。決して他人に代行させたり、人任せにしたりすることのないようにしてください。
③ 履修登録期間内に、履修登録を完了させること
　指定された期間内に履修登録の手続きをしなかった科目の受講はできません。

2 履修の制限

●科目を履修するにあたっては、以下のような制限があります。

① 各セメスターで履修できる科目は、その合計が16単位以内です。
（詳しくは、下記「履修登録単位数の制限（上限16単位）」を参照）

② 履修できる科目は、各人が在籍するセメスターおよび下位セメスターにて開講の科目とします。
＊在籍するセメスターより上位セメスターで開講している科目は履修できません。

③ 「B評価」以上で合格した科目は、再履修することはできません。

④ 同一時間帯に１科目を超えて履修することはできません。

⑤ 定期試験終了後、休暇期間中に開講される授業（サマーセッション・ウィンターセッションは除く）の履修登録および単位の認定は翌セメスターに行います。
＊したがって、卒業時の最終セメスター（学期）の学生は「履修単位の制限（上限16単位）」の項にある履修上限外の科目を受講できない場合があります。

▶セメスター制
参照『履修ガイド』p.16

1 履修登録単位数の制限（上限16単位）

●各人が１週間に授業を受講して学修するには、おのずと限界があります。そこで本学では、履修できる科目の合計単位を各セメスター 16単位以内としています。上限16単位を超えて登録することは認められていません。

●ただし、上限16単位に含めない単位として、以下のものがあります。

① 「玉川の教育」
② 「音楽Ⅰ」
③ 「音楽Ⅱ」
④ 「体育」
⑤ サマーセッション、ウィンターセッションで修得した単位
⑥ 本学通信教育部が行う学内スクーリングの教職科目の単位（教育学部のみ）
⑦ 海外留学・研修（SAEプログラム等）で修得した単位（「国際研究A～F」「SAE（海外留学・研修）プログラムA ～ J」等）
⑧ 行政の取り組み等に参加して認定された科目（「地域創生プロジェクトA～F」）
⑨ 首都圏西部大学／ネットワーク多摩単位互換制度および共同授業の単位
⑩ 入学前に修得した単位（玉川大学学則第18条～第20条により認定）
⑪ インターンシップ・キャリア実習（就業体験を含む）を実施して認定された単位
⑫ 外国語科目の履修免除制度で認定された科目

▶首都圏西部大学／ネットワーク多摩単位互換制度および共同授業
参照『履修ガイド』p.35
▶玉川大学学則
参照『学生生活ガイド』p.148 ～ 157

2 成績優秀者の18単位履修制度

●前セメスターの当該学期GPA3.20以上という条件を満たした場合に、成績優秀者に対するスカラシップとして上限16単位を超えて最大２単位まで履修登録することができます。
＊留学前の学期GPAが3.20以上の場合、帰国直後の学期に適用します。
＊休学前の学期GPAが3.20以上の場合、復学直後の学期に適用します。

3 特別学期の履修

●通常授業期間外に特別学期（サマーセッション・ウィンターセッション）を設けて、春学期・秋学期において不合格になった必修科目のうち当該セッションでの履修が必要な科目および、集中で行う必要がある科目を開講する場合があります。
●特別学期を履修するにあたっては、以下のような留意点があります。なお、詳細については、各学期のUNITAMA掲示を確認してください。

① 「C・F評価」科目の再履修および、新規科目を履修することができます。
② 修得単位は次学期末に認定されます。
③ 次学期の履修上限単位には含まれません。
④ 次学期の成績評価（GPA制度）に含まれ、警告制度の対象となります。（F評価も含む）
⑤ 卒業要件単位とし、成績評価（GPA制度）の対象になります。
⑥ 受講については有料となります。（科目および、単位数・検定料等に応じて金額は変わります）
⑦ ４年次生は卒業が次セメスター以降の場合、特別学期の受講は可能とします。
※特別学期の開講は、年度により異なる場合があります。また、一度納入した受講料については、原則返金されません。

4 他学部・他学科科目の履修

●自分の所属している学科やコース以外の学部・学科で開講している科目を、その他の選択科目（自由選択科目）として履修することができます。
●受講を希望する学科の教育課程表で、その科目が他学科受講可能かを確認し、履修してください。
●科目によっては、他学科の学生が受講できない場合もあります（授業定員が定められているなどの理由による）。
●原則、履修訂正期間での履修は認めません。

5 大学院科目の履修

●大学院への進学希望者で、一定以上の優秀な成績を修めた学生は、第７セメスターおよび第８セメスターで、さらに高度な専門科目として大学院の科目を学ぶことができます。
●大学院科目は、科目番号から「500番台科目」と呼ばれます。

1 受講資格

●96単位以上修得している４年生で、累積GPAの順位が所属学科で上位３分の１以内である者のみ受講できます（卒業見込みの資格を有すること）。

▶大学院科目履修申請願
ホームページからもダウンロードできます

2 履修上限および修得単位の取り扱い

① 履修上限単位数は15単位とします。
② 各セメスターにおける履修上限単位数の16単位に含まれます。
③ 大学の卒業要件単位に含まれません（累積GPAに算入されます）。
④ B評価以上の科目は本学の大学院に進学した際に、成績証明書を添付して申請することにより、既修得科目として大学院で認定を受けることができます。

上記項目の条件を満たし、制度を理解したら

指定された履修登録期間に、授業運営課で手続きをする。

▼

受講の可否は授業運営課より連絡（受講許可がおりた科目は、自動的に履修登録されます）

＊ただし、履修申請した科目に大学院生の履修希望者がいない場合は閉講となります。
＊科目によっては受講定員が設定されます。その場合、大学院生が優先となります。

6 外国語科目の科目履修免除制度

1 申請の条件

●外国語科目履修を免除し、単位を認定する制度があります。
●申請できるのは、下表の認定基準をクリアした者です。

科目名			認定基準
ユニバーシティ・スタンダード科目	ドイツ語	ドイツ語101 ドイツ語102	ドイツ語技能検定試験（独検）3級 およびこれに準ずる検定試験等のレベルで玉川大学が認めるもの
	フランス語	フランス語101 フランス語102	実用フランス語技能検定試験（仏検）3級 およびこれに準ずる検定試験等のレベルで玉川大学が認めるもの
	スペイン語	スペイン語101 スペイン語102	スペイン語技能検定試験（西検）6級 スペイン語検定D.E.L.E初級 およびこれに準ずる検定試験等のレベルで玉川大学が認めるもの
	中国語	中国語101	中国語検定試験（中検）準4級 漢語水平考試（中国語能力認定試験）1級 およびこれに準ずる検定試験等のレベルで玉川大学が認めるもの
		中国語102	中国語検定試験（中検）4級 漢語水平考試（中国語能力認定試験）2級 およびこれに準ずる検定試験等のレベルで玉川大学が認めるもの

●この制度で認定できる単位は、在学中4単位を上限とします。
●以下に該当する場合は、申請できません。
① 履修免除となる科目をすでに修得している場合
② 過去にこの制度で4単位の認定を受けている場合
③ スコア等の取得日が、申請日の時点で2年以上経過している場合

2 申請の時期

学期	申請期日
春学期	4月上旬
秋学期	9月下旬～10月上旬

詳細は、学期ごとにUNITAMAで案内します。

申請した科目については、履修登録する必要はありません。

3 単位の認定と成績評価

① 申請したセメスターで単位を認定します。
② 認定の単位は、セメスターの履修上限単位には含めません。
③ 認定の単位は、卒業要件に含めます。
④ 認定単位の評価は「A」とし、GPAに加算します。

4 申請の手順

授業運営課で申請書を受け取る ▶ 申請書に必要事項を記入 ▶ スコアを取得した証明書（コピー可）と申請書を授業運営課に提出

▶外国語科目の科目履修免除制度申請書
ホームページからもダウンロードできます

7 履修登録科目の取り消し制度

- 履修登録した科目内容が自分の期待するものと異なっている場合や、自分の関心に変化が生じた場合に、学期の途中で取り消しできる期間を設定してあります。出席不足で単位を修得できる見込みがない科目等の取り消しも可能です。
- 卒業には累積GPAが2.00以上必要ですので、「C評価」や「F評価」の可能性が高い科目を、この期間に取り消す工夫が必要な場合もあります。ただし、むやみに取り消しをすると、履修条件と警告制度に抵触する可能性がありますので、十分に注意してください。
- 履修登録科目の取り消し期間・手続き方法は、UNITAMAで連絡しますので、見落とさないように注意してください。

8 C・F評価科目の再履修制度

- 「C評価」、「F評価」科目は、再履修が可能です。再履修によって、以前の評価を上回る評価が修得できた場合には、累積GPAを上げることが可能です。ただし、再履修といえども、セメスターの履修上限16単位を超えることはできません（成績優秀者の18単位履修制度該当者を除く）。
- 「C評価」の再履修を希望する場合には、「C評価科目再履修願」の用紙に必要事項を記入したうえで、授業運営課に提出してください。詳細に関しては、ガイダンスならびにUNITAMA等で確認してください。なお、授業運営課に提出する前に必要に応じて学部の教務担当教員に相談してください。

9 教育課程表の見方

●次の区分により構成されています。

① ユニバーシティ・スタンダード科目〔玉川教育・FYE、人文科学、社会科学、自然科学、学際、言語表現、教職関連、資格関連〕

② 学科科目（各学科の履修案内のページに記載）

■教育課程表の項目

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力											
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性				
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
①			②	③	④	⑤	⑥	⑦											

■教育課程表の項目の説明

① 科目記号／番号	授業科目を区分するための記号と番号。アルファベットの記号は学問領域、３桁の数字はレベル（履修する学年）を表しています（p.21参照）。
② 授業時間	本学の授業時間割は50分を１時限（１コマ）として構成されています。 科目によっては、２コマ連続して行われることもあります。
③ 開講期	春学期に開講される場合には「春」、秋学期に開講する場合は「秋」、春秋ともに開講される場合には「春秋」もしくは「秋春」と記載されています。集中開講は「(集中)」と記載されています。
④ 履修条件	授業科目によっては、履修登録にあたっての条件が記されています。 登録前に必ず確認してください。
⑤ 他学科受講	「○」がついている科目は、所属学科の学生以外でも履修できます。 ただし、学科によってはその他の条件がつく場合がありますので、各学科の教育課程表を参照してください。
⑥ 備考	科目番号が表す履修学年と実際に履修可能な学年に違いがある場合に、履修可能学年を記しています。
⑦ 授業を通して修得できる力	当該科目を履修することによって、「何ができるようになるか」の指標となる項目が示されています。 ３分野13項目に分類されています。

この欄は、略称で表記しています。正式名称と英文名称は右記のとおりです。

知識・理解の観点 (Knowledge and Understanding)	1．多文化・異文化に関する知識の理解（Cross-cultural Understanding） 2．人類の文化・社会と自然に関する知識の理解（Culture/Society/Nature）
汎用的技能の観点 (Generic Skills)	1．コミュニケーション・スキル（Reading/Writing/Speaking/Listening） 2．数量的スキル（Mathematics） 3．情報リテラシー（Information Literacy） 4．論理的思考力（Logical Thinking/Creative Thinking） 5．問題解決力（Problem Solving）
態度・志向性の観点 (Personal Qualities)	1．自己管理力（Self-management） 2．チームワーク（Teamwork） 3．リーダーシップ（Leadership） 4．倫理観（Ethical） 5．市民としての社会的責任（Social Responsibility） 6．生涯学習力（Lifelong Learning）

ユニバーシティ・スタンダード科目

玉川教育・FYE 科目群
人文科学科目群
社会科学科目群
自然科学科目群
学際科目群
言語表現科目群
教職関連科目群
資格関連科目群

ユニバーシティ・スタンダード科目は、学士課程教育において重要な役割を果たす教養教育と専門教育の連動を目指して構成されています。

ユニバーシティ・スタンダードの諸科目は、広い教養の世界に旅立つ学生の原点となる科目です。専攻領域と並行して、ユニバーシティ・スタンダードの諸科目を学ぶことで、学生はさまざまな学問分野にふれることができると同時に、それぞれの分野を自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけて理解する機会が与えられます。

ユニバーシティ・スタンダード諸科目の学修は、皆さんが専攻する学問領域の知識体系の意味を明確にするだけでなく、自己の存在を歴史・社会・自然と関連づけて理解するうえで有益です。

この科目群は、「玉川教育・FYE科目群」「人文科学科目群」「社会科学科目群」「自然科学科目群」「学際科目群」「言語表現科目群」「教職関連科目群」「資格関連科目群」の 8 群から構成されています。

ユニバーシティ・スタンダード科目　教育課程表

凡例　履修条件 ●：必修科目

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
							知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
							多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
玉川教育・FYE科目群																			
UNIV 101	一年次セミナー 101	2	100	●					●					●					
UNIV 102	一年次セミナー 102	2	100	●					●						●	●			
UNIV 108	玉川の教育	0.3	50	●				●									●		
HHS 100	健康教育	1	100	●				●	●					●					
MUS 103	音楽Ⅰ	0.7	105	●				●							●	●			
MUS 104	音楽Ⅱ	1	100	●				●							●	●			
TED 200	全人教育論	2	100					●											
UNIV 201	二年次セミナー 201	2	100						●										
UNIV 202	二年次セミナー 202	2	100															●	
UNIV 301	三年次セミナー 301	2	100									●							
UNIV 302	三年次セミナー 302	2	100																●
UNIV 200	ピアリーダー	2	100												●	●			
人文科学科目群																			
ANTH 100	文化人類学	2	100				●	●											
ANTH 101	民俗学入門	2	100				●	●											
ART 117	美術史	2	100				●												
CWC 100	ことばと文化	2	100				●												
CWC 101	比較文化論	2	100				●												
JLIT 100	日本文学	2	100				●												
WLIT 100	外国文学	2	100				●												
HIST 102	歴史（世界）	2	100										●						
HIST 103	歴史（日本）	2	100										●						
MUS 105	音楽史	2	100				●												
PHIL 100	哲学	2	100									●							
PHIL 101	倫理学	2	100									●							
PHIL 102	ロジック	2	100									●							
PHIL 200	科学史	2	100					●											
RST 100	宗教学	2	100				●												
RST 101	世界の宗教と文化	2	100				●												
THEA 102	演劇史	2	100				●												
RST 200	キリスト教学	2	100				●	●									●		
ENG 114	英語学	2	100				●												
JPN 106	日本語学	2	100				●		●										
JPN 105	日本学入門	2	100				●	●											●
JPN 304	Japanology	2	100				●	●											
JPN 300	Japanese Pop Culture	2	100				●	●											
HIST 300	Modern Japanese History	2	100				●	●											
HIST 400	East Asian History	2	100				●	●											
JPN 400	Issues in Japanese Studies A	2	100				●	●					●						
JPN 401	Issues in Japanese Studies B	2	100				●	●					●						
UNIV 107	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50			学部指定のみ開講			●			●							
UNIV 106	人文科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50			学部指定のみ開講			●										
UNIV 205	名著講読（人文科学）	1	50			学部指定のみ開講	●	●				●							
社会科学科目群																			
ACCT 100	会計学	2	100					●											
COMM 100	コミュニケーション論	2	100					●											
COMM 200	Academic Communication	2	100						●			●							●
ECON 100	経済学（国際経済を含む。）	2	100										●					●	
INTL 201	国際関係論	2	100										●						
LAW 100	市民社会と法	2	100										●						
B A 100	経営学	2	100					●											
B A 101	マーケティング	2	100					●											
POSC 100	政治学（国際政治を含む。）	2	100					●	●									●	
POSC 101	ポリティカル・サイエンス	2	100					●				●						●	
PSY 101	心理学	2	100					●				●							
SOC 102	社会学	2	100									●						●	
E D 106	ボランティア概論	2	100												●	●			

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
							知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
							多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
E D 305	現代社会の教育課題	2	100					●					●				●		
SOC 200	科学技術社会論	2	100															●	
TOUR 101	観光学入門	2	100										●						
UNIV 105	社会科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50			学部指定のみ開講			●			●							
UNIV 104	社会科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50			学部指定のみ開講			●										
UNIV 204	名著講読（社会科学）	1	50			学部指定のみ開講	●	●				●							
自然科学科目群																			
INFO 101	情報科学入門	2	100					●			●								●
INFO 107	ネットワーク入門	2	100					●			●								
INFO 105	データ処理	2	100					●			●								
INFO 110	マルチメディア表現	2	100					●			●								
CHEM 103	化学入門	2	100					●											
BIOL 105	生物学入門	2	100					●											
ESP 100	環境科学	2	100															●	
MATH 107	数学入門	2	100							●									
MATH 101	解析学入門	2	100							●									
MATH 110	代数学入門	2	100							●									
STAT 101	統計学入門	2	100										●						
PHYS 101	物理学入門	2	100					●											
PHYS 201	実践の物理学	2	100					●											
SCED 100	科学入門	2	100					●											
SCED 202	地球科学	2	100					●											
SCED 201	エネルギー科学	2	100					●											
SCED 200	宇宙科学	2	100					●											
INTD 100	STEM入門（科学と社会）	2	100					●									●		●
COSC 200	人工知能と社会	2	100					●									●	●	
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50			学部指定のみ開講			●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50			学部指定のみ開講			●										
UNIV 203	名著講読（自然科学）	1	50			学部指定のみ開講	●	●				●							
学際科目群																			
BRSC 101	ミクロ脳科学	2	100							●	●	●							
BRSC 100	マクロ脳科学	2	100					●											
P E 100	健康スポーツ理論	2	100											●					
P E 101	生涯スポーツ演習	2	100											●					
E D 100	環境教育	2	100					●										●	
HIST 203	スポーツ史	2	100					●											
HHS 301	栄養学	2	100											●					
HHS 305	病理学	2	100					●						●					
COMM 101	マスメディアと社会	2	100															●	
CORP 100	キャリア実習 A	2	300						●				●	●					
CORP 101	キャリア実習 B	2	300						●				●	●					
CORP 102	キャリア実習 C	1	150						●				●	●					
CORP 103	キャリア実習 D	1	150						●				●	●					
PHIL 203	現代文化論	2	100			2年次より履修可	●	●											
INTD 113	プレゼンテーションスキル	2	100						●	●	●								
INTD 200	Presentation Skills in English	2	100				●		●		●								
INTD 201	複合領域研究 201 ～ 299	各2	各100					●											
INTD 205	数理・データサイエンス・AIリテラシー	2	100					●		●							●		
INFO 104	情報倫理と社会	2	100				●				●						●		
E D 210	野外教育	2	100												●				●
INTD 101	TAPファシリテーション I	2	100												●	●			●
INTD 102	TAPファシリテーション II	2	100			「TAPファシリテーション I」を修得済									●	●			●
ESP 101	環境教育ワークショップ I	2	100			2019年度閉講									●	●			
ESP 202	環境教育ワークショップ II	2	100			「環境教育ワークショップ I」を修得済 2019年度閉講									●	●			
COPR 210	コーオプ・プログラム	2	100												●	●			
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100											●					●
GLS 114	海外留学入門	2	100				●		●					●					
COPR 317	インターンシップ A	2	100						●				●	●					
COPR 318	インターンシップ B	2	100						●				●	●					
COPR 319	インターンシップ C	1	50						●				●	●					
COPR 320	インターンシップ D	1	50						●				●	●					
GLS 103	SAE (海外留学・研修) プログラム A	1					●		●				●						

凡例　履修条件　●：必修科目

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
							知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
							多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
GLS 104	SAE (海外留学・研修) プログラム B	1					●		●				●						
GLS 105	SAE (海外留学・研修) プログラム C	2					●		●				●						
GLS 106	SAE (海外留学・研修) プログラム D	2					●		●				●						
GLS 107	SAE (海外留学・研修) プログラム E	3					●		●				●						
GLS 108	SAE (海外留学・研修) プログラム F	3					●		●				●						
GLS 109	SAE (海外留学・研修) プログラム G	4					●		●				●						
GLS 110	SAE (海外留学・研修) プログラム H	4					●		●				●						
GLS 111	SAE (海外留学・研修) プログラム I	5					●		●				●						
GLS 112	SAE (海外留学・研修) プログラム J	5					●		●				●						
GLS 115	国際研究 A	2	300				●		●										
GLS 116	国際研究 B	2	300				●		●										
GLS 117	国際研究 C	2	300				●		●										
GLS 118	国際研究 D	3	450				●		●										
GLS 119	国際研究 E	4	600				●		●										
GLS 120	国際研究 F	5	750				●		●										
JPN 301	Japan Studies Overseas A	2	100				●		●										
JPN 302	Japan Studies Overseas B	2	100				●		●										
JPN 303	Japan Studies Overseas C	2	100				●		●										
INTD 110	フィールドワーク A	2	100				●	●											
INTD 111	フィールドワーク B	2	100				●	●											
INTD 112	フィールドワーク C	2	100				●	●											
INTD 104	地域創生プロジェクト A	1	50						●									●	
INTD 105	地域創生プロジェクト B	1	50						●									●	
INTD 106	地域創生プロジェクト C	2	100						●									●	
INTD 107	地域創生プロジェクト D	2	100						●									●	
INTD 108	地域創生プロジェクト E	3	150						●									●	
INTD 109	地域創生プロジェクト F	3	150						●									●	
言語表現科目群																			
ENG 101	ELF 101	4	200						●										
ENG 102	ELF 102	4	200						●										
ENG 201	ELF 201	4	200			1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200			1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200			1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200			1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200			2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200			2年次より履修可			●										
JPN 101	日本語表現 101	2	100						●										
JPN 102	日本語表現 102	2	100						●										
FRE 101	フランス語 101	2	100				●		●										
FRE 102	フランス語 102	2	100			「フランス語 101」を修得済　奇数年開講	●		●										
GER 101	ドイツ語 101	2	100				●		●										
GER 102	ドイツ語 102	2	100			「ドイツ語 101」を修得済　奇数年開講	●		●										
SPA 101	スペイン語 101	2	100				●		●										
SPA 102	スペイン語 102	2	100			「スペイン語 101」を修得済　奇数年開講	●		●										
CHI 101	中国語 101	2	100				●		●										
CHI 102	中国語 102	2	100			「中国語 101」を修得済	●		●										
教職関連科目群（教職受講許可を受けている学科のみ履修できます）																			
LAW 101	日本国憲法	2	100					●										●	
P E 102	体育	1	100			学科の指導により履修								●	●				
TED 101	教育原理	2	100									●							●
TED 110	教職概論	2	100										●			●	●		
TED 105	教育の制度と経営	2	100			学科の指導により履修		●										●	
TED 100	学習・発達論	2	100			学科の指導により履修		●				●							
TED 205	特別支援教育	1	50			学科の指導により履修							●				●		
TED 302	教育課程編成論（中・高）	2	100			学科の指導により履修						●							
TED 202	道徳教育の理論と方法（中）	2	100			学科の指導により履修											●	●	
TED 112	総合的な学習の時間の理論と方法（中・高）	1	50			学科の指導により履修							●						●
TED 204	特別活動の理論と方法（中・高）	1	50			学科の指導により履修			●						●				
TED 107	教育の方法と技術（中・高）	2	100			学科の指導により履修		●				●							
TED 315	生徒・進路指導の理論と方法（中・高）	2	100			学科の指導により履修			●										●
TED 312	教育相談の理論と方法（中・高）	2	100			学科の指導により履修							●					●	
TED 305	教育実習（中学校）	5	250						●				●		●				

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
							知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
							多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
TED 303	教育実習（高等学校）	3	150						●				●		●				
TED 403	教職実践演習（中・高）	2	100						●				●		●				
COPR 112	教育インターンシップ A	2	100						●				●	●					
COPR 113	教育インターンシップ B	2	100						●				●	●					
COPR 114	教育インターンシップ C	1	50						●				●	●					
COPR 115	教育インターンシップ D	1	50						●				●	●					
TED 104	教育哲学	2	100				●	●				●							
TED 113	発達心理学	2	100					●											
TED 103	教育心理学	2	100			リベラルアーツ学科は受講可		●				●							
TED 102	教育社会学	2	100					●				●							
TED 313	教職演習 A	1	50						●										●
TED 401	教職演習 B	1	50						●										●
HHS 205	精神保健	2	100											●					
HHS 206	生命と性の教育	2	100					●						●					
E D 200	異文化理解と教育	2	100				●												
資格関連科目群																			
LIBS 100	学校経営と学校図書館	2	100								●							●	●
LIBS 101	学校図書館メディアの構成	2	100								●							●	●
LIBS 300	学習指導と学校図書館	2	100								●								●
LIBS 203	読書と豊かな人間性	2	100													●			●
INFO 103	情報メディアの活用	2	100								●							●	●
E D 103	生涯学習概論	2	100					●				●							●
LIBS 105	図書館概論	2	100								●							●	
LIBS 108	図書館情報技術論	2	100								●								
LIBS 111	図書館制度・経営論	2	100										●					●	
LIBS 106	図書館サービス概論	2	100								●							●	
LIBS 103	情報サービス論	2	100								●								
LIBS 102	児童サービス論	2	100								●								
LIBS 301	情報サービス演習 A	1	50								●								
LIBS 302	情報サービス演習 B	1	50								●								
LIBS 303	情報サービス演習 C	2	100								●								
LIBS 109	図書館情報資源概論	2	100								●								
LIBS 202	情報資源組織論	2	100								●								
LIBS 200	情報資源組織演習 A	1	50								●								
LIBS 201	情報資源組織演習 B	1	50								●								
LIBS 203	情報資源組織演習 C	2	100								●								
LIBS 110	図書館情報資源特論	1	50								●								
LIBS 104	図書・図書館史	1	50					●											
LIBS 107	図書館施設論	1	50															●	●
E D 104	生涯学習と生涯教育	2	100												●	●			
E D 206	生涯学習支援論 A	2	100				●		●										
E D 207	生涯学習支援論 B	2	100										●	●					
E D 203	社会教育経営論 A	2	100												●	●			
E D 204	社会教育経営論 B	2	100												●	●			
E D 205	社会教育実習	2	100												●	●			
E D 202	社会教育課題研究	2	100												●	●			
HHS 204	社会体育論	2	100											●				●	
MUSE 200	博物館概論	2	100				●	●											
MUSE 202	博物館経営論	2	100				●	●											
MUSE 205	博物館資料論	2	100				●	●			●								
MUSE 204	博物館資料保存論	2	100				●	●			●								
MUSE 206	博物館展示論	2	100				●	●											
MUSE 201	博物館教育論	2	100									●							●
MUSE 203	博物館情報・メディア論	2	100								●								
MUSE 300	博物館実習	3	450						●										●

※「国際研究A ～F」を海外留学・研修等の講義・語学科目の単位として認定する場合は、１単位当たりの授業時間を50分とする（２単位100分、３単位150分、４単位200分、５単位250分）。
※教職関連科目群の備考に「学科の指導により履修」と記載のある科目については、所属学部・所属学科で履修登録の学年・学期を確認すること。

1 履修上の留意事項

ユニバーシティ・スタンダード科目はp.52〜55に全科目を記載していますが、各学科の指定科目については各学科の教育課程表を確認してください。履修については、各学科で定めている卒業要件を確認のうえ、行ってください。

1 玉川教育・FYE科目群の必修科目

- 玉川教育・FYE科目群に開設する科目のうち、下記に挙げる6科目は必修科目です。卒業するにはこれらの科目（7単位）すべてを修得しなければなりません。
- また、下記の科目は履修する授業がクラスごとに指定されます。授業時間割を確認し、指定された授業を履修してください。

科目名	単位	注意事項
一年次セミナー101 一年次セミナー102	2	授業内容により実施する場所が異なる
玉川の教育	0.3	実施内容等は、別途日程表が示される
健康教育	1	原則として、実技と理論を隔週で実施 初回のガイダンスで日程表を別途配付（授業の場所等を含む）
音楽Ⅰ	0.7	授業の場所は、始業時にプリントで通知
音楽Ⅱ	1	通常の授業の他に、12月に集中授業を実施（日程表を別途配付）

2 学際科目群の「生涯スポーツ演習」の履修

- 学際科目群の「生涯スポーツ演習」は、球技・水泳・スキーなどさまざまな種目が開講されますが、履修できるのは1種目のみです。

■「生涯スポーツ演習」（スキー）の履修

- 「生涯スポーツ演習」（スキー）を履修するには、秋学期に実施されるガイダンスに出席する必要があります。ガイダンス日程に関しては、UNITAMA掲示で連絡します。ガイダンス後、履修希望申請を受け付けますが、定員を超過した場合は抽選が行われます（定員についてはガイダンス時に連絡します）。この授業は、参加者名簿をもとに履修登録されますので、別途履修登録をする必要はありません。単位認定は翌春学期末になります（第6セメスターまで履修することができます）。
- また、履修にあたっては、実習費用（実費）が徴収されます（金額については、ガイダンス時に連絡します）。
- すでに他の種目で「生涯スポーツ演習」を修得している場合は履修できません。

3 言語表現科目群の「ELF科目」の履修

「ELF科目」は、本学の全学共通英語教育プログラム「ELFプログラム」として、リンガフランカ［共通語］としての英語＝ELFを学修し、世界中の人々と様々な場面や状況でコミュニケーションできることを目標にしています。
※ELF＝English as a Lingua Franca

- 履修開始レベルは、初めて履修する学期の開始前に大学が定める方法で決定します。
- 週2回（100分授業×2日）または4回（50分授業×4日）の200分授業＋週8時間の授業外学修を15週実施します。
- ELF科目の履修者は、英語の個別指導（チューター）を受けることができます。（『学生生活ガイド』 p.119参照）
- ELF科目の履修は、原則としてELF101→ELF102→ELF201→ELF202のように、番号順にすすみます。
- 原則、ELF科目の履修は、各セメスターあたり1科目（4単位）となります。同一のセメスター内で同時に2科目（8単位）の履修はできません。

■ELF科目の履修レベル変更（最初の履修学期のみ）

実際にELF科目の授業を受けて、自分の英語力と履修レベルの関係がふさわしくないと思うときは、申請手続きをすることにより履修レベルの変更が認められる場合があります。

●レベル変更の申請の条件

原則、必修科目として履修した最初の学期にのみ、自分の英語力が、実際のクラスの履修レベルより高いと思われるとき、より上位の履修レベルに変更を申請できます。（例　ELF 101→ELF 201）

●レベル変更の申請手続き

① ELF科目を最初に履修した学期の指定期間内に、次の学期の履修登録前に行ってください。申請期限や手続き等については、ELFセンターからのUNITAMA掲示を確認してください。

② ELFセンターは、関係者（科目担当者、学部教務主任、学科教務担当）と協議し、その可否を決定します。

※レベル変更の申請は在学中１回に限ります。

※レベル変更の申請が認められた場合は、それを取り下げることはできません。

●レベル変更の許可条件

当該学期の成績評価がSまたはAであり、かつ、学期中に実施される*TOEIC*® IPのスコアが変更先レベルの基準を満たしていることを含め総合的に判断します。

■ELF科目の「選択科目」としての履修

所属学科の卒業要件であるELF科目（科目数・単位数）を修得後、「選択科目」として履修の申請をすることができます。希望する学生は、履修する学期前に申請が必要です。申請手続きの詳細は、UNITAMA掲示に案内します。必ず確認してください。

（例：当年度秋学期に履修 → 当年度春学期授業期間に申請、次年度春学期に履修 → 前年度秋学期授業期間に申請。）

文　学　部

国語教育学科
英語教育学科

人材養成等教育研究に係る目的

文学部は、全人教育の理念のもと、国際社会の一員として社会に貢献できる言語運用能力と言語技術、および論理的思考力と柔軟な対応力を備えた人材養成を目指している。そのため、言語・文化に関する専門的知識、言語運用能力（日本語・英語）、論理的思考力というグローバル社会が求める基礎力を育成するための学科構成およびカリキュラム編成を行っている。

国語教育学科は、国際社会の一員であるとの自覚をもち、母語としての日本語の特質について深い理解を有し、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、的確な言語運用能力によってグローバル社会に貢献できる人材を養成することを目的として、「言語表現コース」と「国語教員養成コース」を置く。

「言語表現コース」では、豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバルな社会に貢献することができる人材を、「国語教員養成コース」では、社会で必要とされる実践的な国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる人材を養成する。

英語教育学科は、「英語教員養成コース」と「ELFコミュニケーションコース」の２領域で構成され、グローバル化に伴う言語や文化の多様化に対応できる資質・能力を育成することを目指し、国際コミュニケーションのための英語運用能力を身につけることを共通目標としている。

「英語教員養成コース」では、英語教員に求められる豊かな言語観・文化観と指導力を、「ELFコミュニケーションコース」では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力を育成し、積極的に国際社会に貢献することのできる人材を養成する。

文学部　ディプロマ・ポリシー

文学部は、全人教育の理念のもと、国際社会の一員として貢献できる水準の言語運用能力（日本語・英語）と論理的な思考力を身につけ、社会の多様な場面に的確に対応できる職業人あるいは高い指導力を備えた国語教育や英語教育の専門家を養成することを目指します。

文学部で学位を取得するためには、次の能力を示すことが求められます。

① 言語や文化に関する専門的知識を修得し、適切に用いることができる。【知識・理解】
② 修得した言語運用能力と言語技術を用いて自分自身の思考を論理的に表現するとともに、多角的な視野を持って主体的に問題を解決することができる。【汎用的技能】
③ 修得した言語運用能力と言語技術を用いて中学校・高等学校等で授業ができる能力を十分に有している。【汎用的技能】

［国語教育学科］

国語教育学科が重視する学士力は以下の項目であり、これらを身につけることが卒業時の到達目標である。

① 社会で必要とされる言語技術を修得し、時宜に応じて適切に運用することができる。
② 日本語の特質について深い理解を有し、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、言語による的確なコミュニケーションをはかることができる。
③ 言語や文化の多様性を理解して尊重し、問題解決のために多角的な視野をもって主体的・積極的に行動することができる。
④ 「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」という日本語運用能力を実践的に発揮できる。
⑤ 豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバルな社会に貢献することができる。または、社会で必要とされる実践的な国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる。

［英語教育学科］

英語教育学科が重視する学士力は以下の項目であり、これらを身につけることが卒業時の到達目標である。

① 社会で通用する高度な英語運用能力を修得し、時宜に応じて適切に運用することができる。
② 日英両語で運用される専門科目を学修し、その成果を卒業研究で示すことができる。
③ 自らの研究・考察の成果を口頭および文書で論理的に表現し、実践に活かすことができる。
④ 言語と文化の多様性を理解して尊重し、問題解決のために国際的な視野をもって主体的・積極的に行動することができる。
⑤ 国際共通語としての英語の高度なスキルと、英語圏の言語や文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の英語教育に貢献することができる。または、国際共通語としての英語の高度なスキルと、多言語・多文化に関する専門的な知識を駆使して円滑にコミュニケーションをとることができる能力を十分に有し、国際社会に貢献することができる。

文学部

1 カリキュラム・ポリシー

●文学部は、国語教育学科および英語教育学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、カリキュラム（教育課程）を編成しています。

① 各学科の基礎教育科目では、言語運用能力（日本語・英語）の修得および各学科の専門教育の基礎となる教養の修得を図る。

② 各学科の特質を活かした専門教育を重視し、主体的な学びを促し、それぞれの専門分野についての基本的知識・方法を身につけるために体系的な学科専門科目を編成する。

③ 教育現場での指導力育成のために理論と実践を組み合わせた学科専門科目や、論理的・批判的に思考し、それを表現する力を養うために、少人数グループの協働・参加型のより高度な学科専門科目を配置する。

2 カリキュラムの特徴

●文学部では、人間がそもそも備えている本質とこれまでに人類が生み出してきたあらゆる文化について、多角的なアプローチを試み、深く掘り下げて追究しています。

① 高度な専門知識を修得するための科目から、少人数制による演習科目や実践的な科目まで、各段階に用意されています。また、コミュニケーション力や文章表現力、対話力に加え、論理的思考力や問題発見・解決能力といった、現代社会を生き抜くために欠かせない実践的な教育も重視しています。

② 物事を多元的にとらえながら自らの力で論理的に考え、表現する力をつける教育を重視しています。

③ 多様な文化を学ぶことにより、偏見を持たない「地球市民」を目指して、現代社会におけるさまざまな課題や環境問題などに幅広い視点からアプローチできるようになるための学修機会を重視しています。

3 警告制度および履修条件（進度チェック）（国語教育学科p.65～66、英語教育学科はp.74参照）

●本学では、各セメスター終了時に、一人ひとりの学修状況の確認が行われます。これは全学部に共通するもので、p.37～38にある基準に満たない場合「警告」が出されます。

●学科が定める時期に進度チェックが行われます。時期と内容については、各学科のページに記載していますので、必ず参照してください。

4 卒業要件

文学部各学科の卒業要件は、学部で定めた学位授与の方針（p.60「ディプロマ・ポリシー」参照）とカリキュラム編成の方針に基づいて設定されています。詳細は各学科の該当ページを参照してください。

文学部　国語教育学科

1　はじめに

●国語教育学科では、国語教育分野をその中心的学問分野とし、その上で国際社会の一員である自覚をもち、母語としての日本語運用能力を主体的に高め、積極的に社会に貢献できる人材および社会の多様な場面に的確な対応をしつつ国語教育を実践できる人材を養成することを目指し、「国語教員養成コース」と「言語表現コース」の２つのコースを設置しています。体系的なカリキュラムを展開することにより、日本の伝統文化への理解を深めさせると共に、国際感覚を身につけさせ、母語としての日本語の運用能力を高めます。大きな特徴として、この日本語運用能力を高めるにあたって、論理的な思考力を基盤とする高度な言語技術の修得を重視しています。

●「国語教員養成コース」では、国語教育の現場に立つための理論と実践を組み合わせた学びをとおして、言語文化に関する高度な日本語運用力と指導力を備えた国語科教員を養成します。「言語表現コース」では、コミュニケーションの基盤となる言語技術と論理的・批判的思考力を身につけ、的確な言語技術に基づいた日本語運用能力を備え、広く社会で活躍できる人材を養成します。

2　カリキュラム・ポリシー

① グローバル化に伴う言語や文化の多様性に対応できる資質・能力を育成し、批判的読解力・論理的思考力・表現力といった言語技術を身につけ、さらにその上に立って、豊かな言語観・文化観を備えた人材を育成することを目標としている。

② 社会に必要な言語技術と、論理的・批判的に思考する方法を修得するための科目群を用意する。また、それを基礎として、日本語・日本文学など言語観・文化観に関わる科目群、国語教育の指導法に関わる科目群、および、言語技術を高度化し、国際社会に貢献できる問題解決能力に資する科目群を設定する。

③ 各学年の学びの目標として「つかむ」・「つかう」・「のばす」・「たかめる」を設定し、さらに卒業後に自らの日本語能力を「きわめる」ことができる基礎をつくる。

④ 「国語教員養成コース」においては、中学校・高等学校の教育現場で指導ができるよう、言語技術の学習の基礎の上に、日本語や日本文学について専門的に学び、さらに国語科の指導法を修得できる効果的な国語教員養成プログラムを構築する。

⑤ 「言語表現コース」においては、現代のグローバル社会で活動できるよう、言語技術の学習の基礎の上に、確実な言語表現技法、豊かな言語観・文化観を身につけ、論理的批判的思考と表現の方法を修得することで高い問題解決能力を備えることができる言語表現教育プログラムを構築する。

3 卒業要件

国語教育学科では、以下の 6 つの条件を卒業要件として定めています。

（1）修業年限をみたすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必　修　科　目〉　玉川教育・FYE科目群：国語教員養成コース・言語表現コース ともに
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
人文科学科目群：「日本語学」

〈必修選択科目〉　社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群：
国語教員養成コース・言語表現コース ともに、3 つの科目群の中から 1 科目 2 単位以上
言語表現科目群：
国語教員養成コース は「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」（以下「ELF科目」）から 2 科目 8 単位以上
言語表現コース はELF科目から 2 科目 8 単位以上およびELF科目「フランス語101」「フランス語102」「ドイツ語101」「ドイツ語102」「スペイン語101」「スペイン語102」「中国語101」「中国語102」を含んで12単位以上

（5）学科科目について、次の必修科目を修得していること

〈必　修　科　目〉　国語教員養成コース・言語表現コース ともに
100番台科目：「言語表現入門 A」「日本文学概論」「言語表現入門 B」
200番台科目：「キャリアセミナー A」
300番台科目：「キャリアセミナー B」~~「ランゲージアーツセミナー A」~~
~~「ランゲージアーツセミナー B」~~

国語教員養成コース
200番台科目：「日本文学史」「漢文学」「日本語文法論Ⅰ」「日本古典文学演習」「書写」「国語科指導法Ⅰ」「国語科指導法Ⅱ」

言語表現コース
100番台科目：「現代社会の諸問題」
200番台科目：「ロジカルシンキング」「クリティカルシンキング」「クリティカルリーディング」「議論ストラテジー」

（6）学科科目について、次の必修選択科目を修得していること

【国語教員養成コース】
100･200番台科目：「現代社会の諸問題」「ロジカルシンキング」「クリティカルシンキング」「クリティカルリーディング」「議論ストラテジー」より 1 科目 2 単位以上
200番台科目：「日本語文法論Ⅱ」「日本近代文学演習」「日本語語彙論」から 1 科目 2 単位以上
300番台科目：「日本古典文学研究」「日本近代文学研究」「日本語史」「日本語学演習」「日本語音韻論」から 3 科目 6 単位以上
「現代思想と言語」「テクノロジーと言語」「英語で読む日本文学」「広告と言語」「プレゼンテーション技法」「情報編集デザイン」「読み書きの認知と指導」から 1 科目 2 単位以上
400番台科目：「レトリック探究」「音声表現法研究」「日本語学研究」「言語表現教育研究」「批評理論」~~「ランゲージアーツセミナー C」「ランゲージアーツセミナー D」~~「ランゲージアーツプロジェクト」から 1 科目 2 単位以上

【言語表現コース】
200番台科目：「日本文学史」「漢文学」「日本語文法論Ⅰ」「日本語文法論Ⅱ」「日本古典文学演習」「日本近代文学演習」「異文化間コミュニケーション」「世界文学」「メディアと文化表現」「日本語語彙論」から 4 科目 8 単位以上
300番台科目：「日本古典文学研究」「日本近代文学研究」「日本語史」「日本語学演習」「日本語音韻論」から 2 科目 4 単位以上
「現代思想と言語」「テクノロジーと言語」「英語で読む日本文学」「広告と言語」「プレゼンテーション技法」「情報編集デザイン」「読み書きの認知と指導」から 3 科目 6 単位以上
400番台科目：「レトリック探究」「音声表現法研究」「日本語学研究」「言語表現教育研究」「批評理論」~~「ランゲージアーツセミナー C」「ランゲージアーツセミナー D」~~「ランゲージアーツプロジェクト」から 1 科目 2 単位以上

（7）「ランゲージアーツセミナー」について、次の必修選択科目を修得していること

〈必修選択科目〉　言語表現コース・国語教員養成コース ともに
「ランゲージアーツセミナー A」または「ランゲージアーツセミナー B」を含み、
「ランゲージアーツセミナー A」「ランゲージアーツセミナー B」
「ランゲージアーツセミナー C」「ランゲージアーツセミナー D」から 2 科目 4 単位以上

4 卒業までの単位配分

●卒業までに必要な単位数は、第 1 セメスターから第 8 セメスターまで、合計124単位です。
その内訳は次のとおりです。

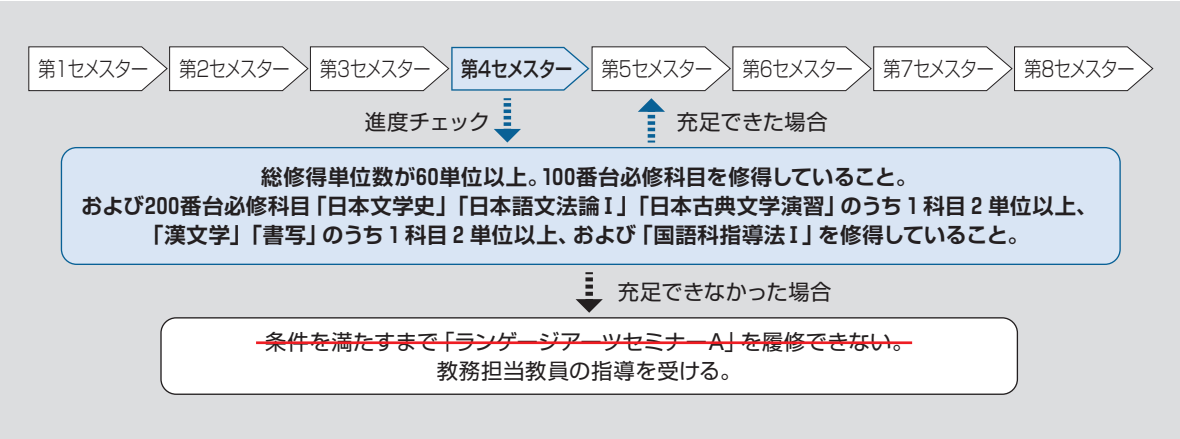
科　目　群	科　目　分　類	国語教員養成コース	言語表現コース
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目　必修	7 単位	7 単位
	人文科学科目群	2 単位以上（日本語学を含む） 合計4単位以上	2 単位以上（日本語学を含む） 合計4単位以上
	社会科学科目群	2 単位以上 合計4単位以上	2 単位以上 合計4単位以上
	自然科学科目群	2 単位以上 合計4単位以上	2 単位以上 合計4単位以上
	学際科目群	2 単位以上 合計4単位以上	2 単位以上 合計4単位以上
	言語表現科目	ELF科目　8 単位以上	ELF科目 8 単位を含んで12単位以上（日本語科目を除く）
		小計　12単位以上	小計　16単位以上
国語教育学科科目	100番台	必修　6 単位	必修　8 単位
	100・200番台	必選　4 単位以上	必選　8 単位以上
	200番台	必修　16単位	必修　10単位
	300番台	必修　2 単位 必選　8 単位以上	必修　2 単位 必選　10単位以上
	400番台	必選　2 単位以上	必選　2 単位以上
	ランゲージアーツセミナー	必選　4 単位以上	必選　4 単位以上
		小計　42単位以上	小計　44単位以上
自由選択科目	自学科、他学部、他学科、ユニバーシティ・スタンダード科目、単位互換制度で修得した他大学の単位	任意	任意
累積修得単位		124単位以上	124単位以上

5 警告制度と履修条件（進度チェック）

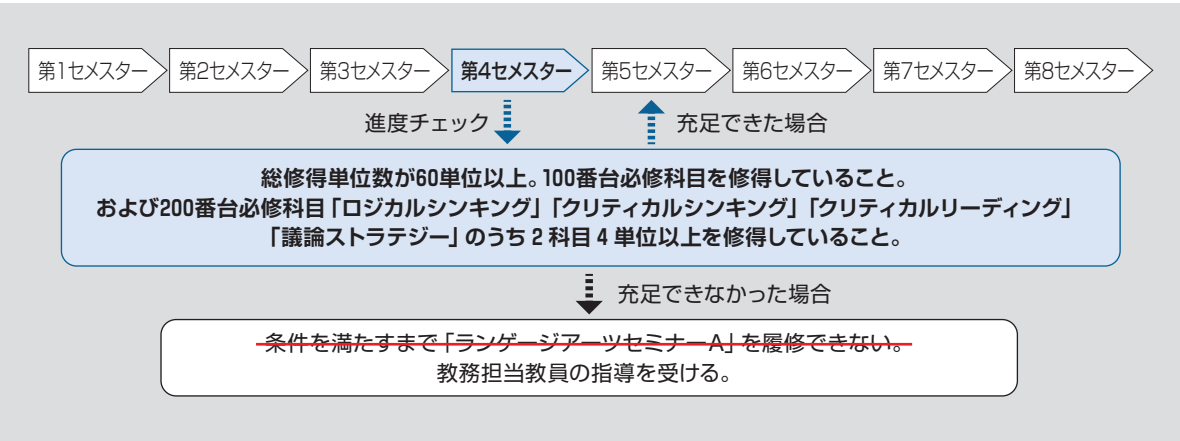
- 本大学では全学部に共通する「警告制度」を定め、これを満たせない学生には「警告」が出されます（p.37を参照）。
- 国語教育学科ではさらに、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかをチェックするため、下記の通り、第４セメスターと第６セメスターの終了時に、「履修条件」を満たしているか否かのチェックを行います。
- 履修条件を満たさない場合には、次セメスターの必修科目を履修できないなどの制限が生じますので、十分注意してください。

1 第４セメスター（２年次）終了時における進度チェック

■ 国語教員養成コース

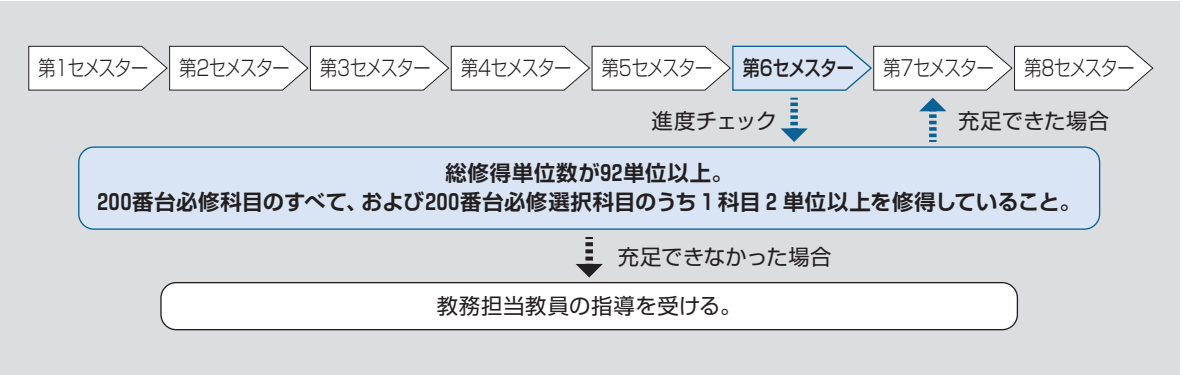


■ 言語表現コース

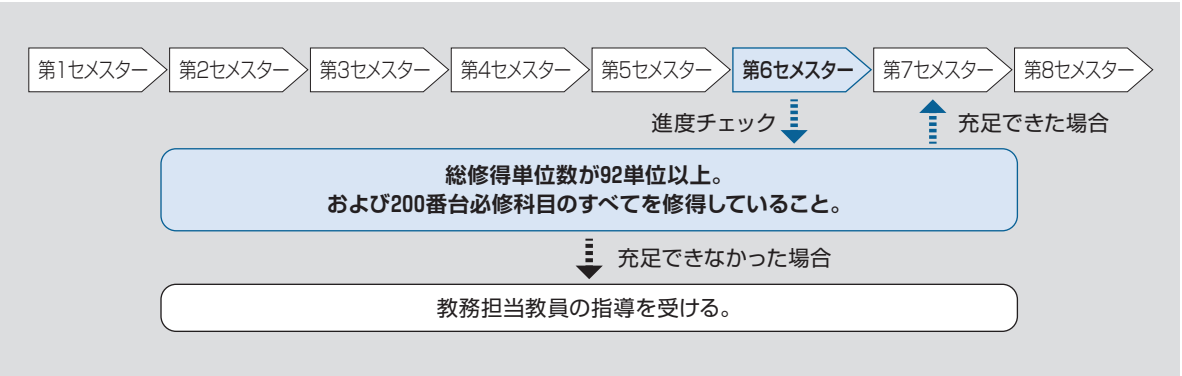


2 第 6 セメスター（3 年次）終了時における進度チェック

■ 国語教員養成コース



■ 言語表現コース



6 履修上の留意事項

1 免許・資格の取得について

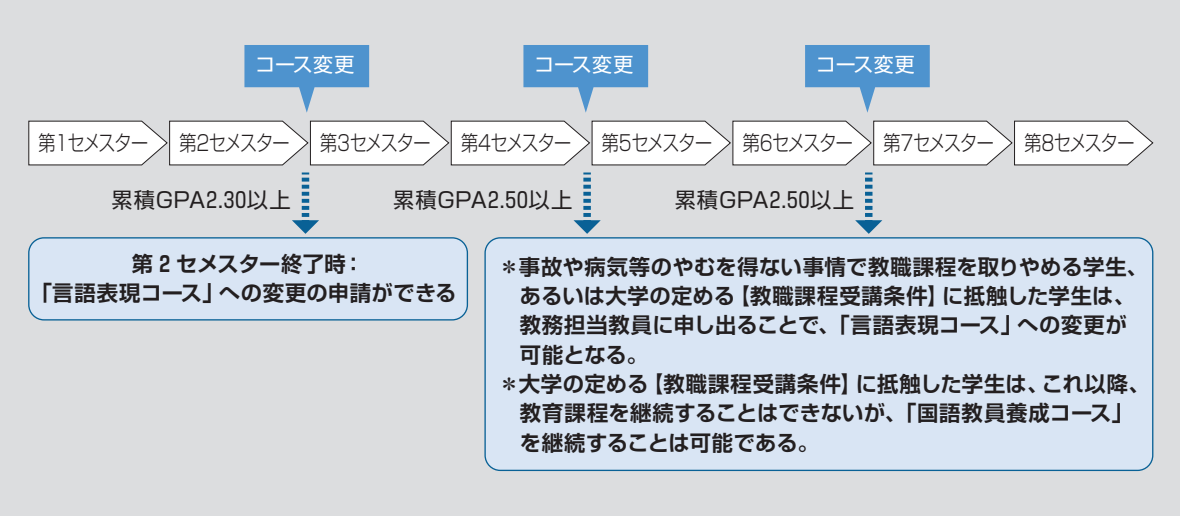
- 国語教員養成コースは、原則として全員が教職課程を受講します。第 2 セメスター終了時に教職課程受講継続判定を受けて許可された場合は、学科の卒業要件を満たしつつ、免許状取得に必要な科目を履修して単位を修得しなければなりません。『教職課程受講ガイド』の該当ページを参照し、教職担当教員や教師教育リサーチセンターの指導・ガイダンスを受けて、必要な単位をもれなく修得できるように履修計画を立てましょう。
- また、教職課程受講条件として、第 2 セメスター終了時：累積GPA2.30以上、第 4 セメスター終了時：累積GPA2.50以上、第 6 セメスター終了時累積GPA2.50以上の基準が設けられています（その他の基準については、『教職課程受講ガイド』を参照）。

2 コースの決定・変更について

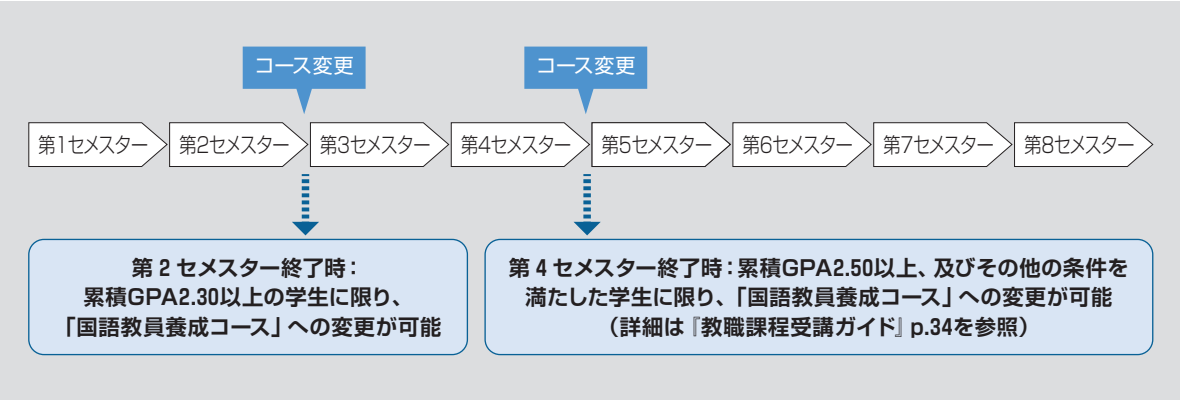
- 入学時に、コースを決定します。「国語教員養成コース」から「言語表現コース」への変更は、申請により第 2 セメスター終了時、第 4 セメスター終了時および第 6 セメスター終了時に認められます。「言語表現コース」から「国語教員養成コース」への変更は、申請しかつ定められた条件を満たした場合にのみ、第 2 セメスター終了時および第 4 セメスター終了時に認められます（再判定を含む教職課程受講の詳細については『教職課程受講ガイド』p.34を参照）。
- 「国語教員養成コース」から「言語表現コース」への変更希望で、事故や病気等のやむを得ない事情で教職課程を取りやめる学生、あるいは学科の定める【教職課程受講条件】に抵触した学生は、教務担当教員に申し出ることで、「言語表現コース」への変更が可能となります。また、学科の定める【教職課程受講条件】に抵触した学生は教職課程の受講ができませんが、「国語教員養成コース」を継続することは可能です（再判定を含む教職課程受講の詳細については『教職課程受講ガイド』p.34を参照）。

  コースを変更しない場合でも、「国語教員養成コース」の卒業要件を満たせば卒業は可能となりますが、教員免許は取得できません。

■ 国語教員養成コース



■ 言語表現コース



7 取得可能な資格

●国語教育学科では所定の科目を修得し、また所定の条件を満たすことで、資格を取得することができます。詳細は、本履修ガイドp.223以下を参照してください。

8 文学部 国語教育学科　教育課程表

凡例　開講期　(集中)：集中開講
履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　○：他学科受講可　◇：日本語教員資格取得希望者のみ可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件		他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
									知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					国語教員養成コース	言語表現コース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																					
INFO 105	データ処理	2	100	春秋						●			●								
JPN 106	日本語学	2	100	春秋	●	●			●		●										
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100	春秋												●					●
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																					
JPN 100	言語表現入門 A	2	100	春	●	●					●			●	●						
JLIT 101	日本文学概論	2	100	春秋	●	●			●												
JPN 103	言語表現入門 B	2	100	秋	●	●					●			●	●						
INFO 100	学術情報リテラシー	2	100	秋								●	●								
CARE 101	キャリアナビゲーション	1	50	春												●					●
INTD 103	現代社会の諸問題	2	100	秋	◆	●	○			●					●					●	
JLIT 202	日本文学史	2	100	春	●	◆			●	●											
WLIT 201	漢文学	2	100	秋	●	◆				●				●							
JPN 206	日本語文法論 I	2	100	春	●	◆	◇			●				●							
JPN 207	日本語文法論 II	2	100	秋	◆	◆	◇			●				●							
JLIT 201	日本古典文学演習	2	100	春	●	◆	Ⓛ			●				●	●						
JLIT 200	日本近代文学演習	2	100	秋	◆	◆	Ⓛ			●				●	●						
JPN 202	書写	2	100	秋	●		Ⓛ		●	●											
SUBP 209	国語科指導法 I	2	100	春	●						●				●						
COMM 205	異文化間コミュニケーション	2	100	春		◆	○		●		●								●		
WLIT 202	世界文学	2	100	春		◆	○		●	●				●							
COMM 208	メディアと文化表現	2	100	秋		◆	○		●				●		●						
PHIL 208	ロジカルシンキング	2	100	春	◆	●	○				●			●	●						
PHIL 201	クリティカルシンキング	2	100	秋	◆	●	○				●			●	●						
JPN 201	クリティカルリーディング	2	100	春	◆	●	○				●			●	●						
JPN 200	議論ストラテジー	2	100	秋	◆	●	○				●			●						●	
COPR 211	スクールインターンシップ A	2	集中	春							●				●				●		
COPR 212	スクールインターンシップ B	2	集中	秋							●				●				●		
COPR 206	インターンシップ A	2	集中	春							●				●		●				
COPR 207	インターンシップ B	1	集中	春							●				●		●				
COPR 208	インターンシップ C	2	集中	秋							●				●		●				
COPR 209	インターンシップ D	1	集中	秋							●				●		●				
CARE 200	キャリアセミナー A	2	100	秋	●	●					●				●						

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件 国語教員養成コース	履修条件 言語表現コース	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力 知識・理解 多文化・異文化	知識・理解 文化・社会・自然	汎用的技能 コミュニケーション・スキル	汎用的技能 数量的スキル	汎用的技能 情報リテラシー	汎用的技能 論理的思考力	汎用的技能 問題解決力	態度・志向性 自己管理力	態度・志向性 チームワーク	態度・志向性 リーダーシップ	態度・志向性 倫理観	態度・志向性 社会的責任	態度・志向性 生涯学習力
SUBP 210	国語科指導法Ⅱ	2	100	秋	●						●				●						
JPN 205	日本語語彙論	2	100	春	◆	◆	○			●				●							
CARE 302	キャリアセミナー B	2	100	春	●	●					●				●						
JLIT 303	日本古典文学研究	2	100	春	◆	◆			●					●							●
JLIT 302	日本近代文学研究	2	100	秋	◆	◆			●	●				●							
JPN 311	日本語史	2	100	秋	◆	◆	○			●				●							
JPN 307	日本語学演習	2	100	秋	◆	◆	◇			●	●				●						
JPN 306	日本語音韻論	2	100	秋	◆	◆	○		●	●				●							
JPN 314	ランゲージアーツセミナー A	2	100	春	◆	◆				●				●	●						
JPN 315	ランゲージアーツセミナー B	2	100	秋	◆	◆				●				●	●						
E D 302	教育現場研究	2	100	春							●								●		
INTD 303	現代思想と言語	2	100	秋	◆	◆	○			●				●	●						
INTD 304	テクノロジーと言語	2	100	春	◆	◆	○			●				●	●						
JLIT 300	英語で読む日本文学	2	100	秋	◆	◆	○		●	●											
COMM 303	広告と言語	2	100	春	◆	◆	○			●	●				●						
INFO 315	プレゼンテーション技法	2	100	秋	◆	◆	○				●		●			●					
INFO 305	情報編集デザイン	2	100	春	◆	◆	○				●		●			●					
PSY 303	読み書きの認知と指導	2	100	秋	◆	◆	○					●	●		●						
COPR 315	スクールインターンシップ C	2	集中	春							●				●				●		
COPR 316	スクールインターンシップ D	2	集中	秋							●				●				●		
SUBP 303	国語科指導法Ⅲ	2	100	春							●				●						
SUBP 304	国語科指導法Ⅳ	2	100	秋							●				●						
JPN 409	レトリック探究	2	100	秋	◆	◆	○				●			●					●		
JPN 402	音声表現法研究	2	100	春	◆	◆	○			●	●										
JPN 404	日本語学研究	2	100	秋	◆	◆	○			●				●							
JPN 403	言語表現教育研究	2	100	春	◆	◆	○		●		●			●							
PHIL 401	批評理論	2	100	秋	◆	◆	○			●	●			●							
JPN 406	ランゲージアーツセミナー C	2	100	春	◆	◆		「ランゲージアーツセミナー A」を修得済み		●				●	●						
JPN 407	ランゲージアーツセミナー D	2	100	秋	◆	◆		「ランゲージアーツセミナー B」を修得済み		●				●	●						
JPN 408	ランゲージアーツプロジェクト	2	集中	秋	◆	◆				●				●	●						

【履修にあたって】

（1）Ⅰ、Ⅱのように番号のついた科目はその順序で履修してください。

文学部 英語教育学科

1 はじめに

●英語教育学科では、国際共通語としての英語運用能力を身につけ、積極的に国際社会に貢献できる人材、および社会の多様な場面で英語教育を実践できる人材の養成を目指し、「英語教員養成コース」と「ELFコミュニケーションコース」の2つのコースを設置しています。大きな特色は、2年次秋学期から3年次春学期にかけて実施される海外留学プログラムを必修としていることです。この体験により異文化への理解を深め、国際感覚を身につけ、英語運用能力を高めていきます。

●留学前・留学中・留学後の学修により、広い視野に基づく言語観を養い、文化に対する豊かな感受性を磨いていきます。「英語教員養成コース」では英語教育の現場に立つための理論と実践を組み合わせた学びを通して、高度な英語力と国際感覚を備えた英語教員を養成します。「ELFコミュニケーションコース」ではグローバル企業などでの活躍を視野に、高度な英語力と国際感覚を備え、広く社会に貢献できる人材を養成します。

2 カリキュラム・ポリシー

① 国際共通語としての英語の運用能力および国際的素養を高いレベルで修得できるようにするため、2年次秋学期から3年次春学期に2セメスターの留学プログラムを配置し、その前後で留学での学びを最大限に活かせるように体系的に語学科目（ELFプログラムなど）および日英両語で運用される専門科目（バイリンガルプログラム）を提供する。

② 「英語教員養成コース」においては、即戦力として英語教育の現場に立てるよう、理論と実践を組み合わせた英語教員養成プログラムを構築する。

③ 「英語教員養成コース」においては、学部と大学院の連携による発展的なカリキュラム編成を行う。

④ 「ELFコミュニケーションコース」においては、国際共通語としての英語を駆使して国際社会で活躍できるよう、必要とされる知識や技能を修得するための科目を配置する。

⑤ 自らの研究・考察の結果を口頭または文書で的確に論理的に表現できるようにするため、少人数グループの協働参加型学修を継続的に実践できるように科目を配置する。

⑥ 獲得した知識や考察の結果を活用し、実践や応用に結びつけることができるように、問題解決型プロジェクト型の科目を適宜配置する。

⑦ 言語や文化の多様性を理解して尊重し、国際的な視野に立って行動できるよう、留学プログラムで実践的な経験を積む。また留学後も、海外経験が生きるように専門科目を体系的に配置する。

3 卒業要件

英語教育学科では、以下の 6 つの条件を卒業要件として定めています。

（1）修業年限をみたすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉 【英語教員養成コース】【ELFコミュニケーションコース】共通
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

〈必修選択科目〉 【英語教員養成コース】【ELFコミュニケーションコース】共通
人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群： 4 つの科目群の中から合計 4 単位以上
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より 3 科目12単位以上
【ELFコミュニケーションコース】のみ
上記に加え、以下の科目より 1 科目 2 単位以上
「フランス語101」「フランス語102」「ドイツ語101」「ドイツ語102」「スペイン語101」「スペイン語102」「中国語101」「中国語102」

（5）学科専門科目について、次の必修科目および選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉 【英語教員養成コース】【ELFコミュニケーションコース】共通
100番台科目：「Basic Academic English Skills A」「English Phonetics」「Basic Academic English Skills B」「English Grammar」「World Studies」
200番台科目：「Pre-departure Seminar」「Introduction to Language Studies」「British and American Literature」
300番台科目：「English in Global Contexts」「Multiculturalism in English-speaking Areas」「Research Seminar A」
400番台科目：「Research Seminar B」「Research Seminar C」「Senior Project」
【ELFコミュニケーションコース】のみ
上記に加え、100番台「日本語表現演習」

〈選 択 科 目〉 【英語教員養成コース】【ELFコミュニケーションコース】共通
「学科専門科目」の300番台・400番台選択科目から、以下の科目をのぞき、10単位以上を修得していること
「English for Intercultural Communication B」
「Intercultural Communication B」「Studies in ELT」
「Studies in ELF Communication」「Academic English Skills B」
「English for Writing Research Papers」
「Strategies for Global Communication」

（6）英語教育学科が定めた留学をしていること

4 卒業までの単位配分

●卒業までに必要な単位数は、第 1 セメスターから第 8 セメスターまで、合計124単位です。
その内訳は次のとおりです。

科　目　群	科　目　分　類	英語教員養成コース	ELFコミュニケーションコース
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目　必修	7 単位	7 単位
	人文科学科目群	合計 4 単位以上	合計 4 単位以上
	社会科学科目群		
	自然科学科目群		
	学際科目群		
	言語表現科目群	ELF科目　12単位以上	ELF科目　12単位以上 その他の外国語　2 単位以上
		小計　16単位以上	小計　18単位以上
英語教育学科科目	100番台	必修　9 単位	必修　11単位
	200番台	必修　5 単位	必修　5 単位
	300番台	必修　6 単位	必修　6 単位
	400番台	必修　5 単位	必修　5 単位
	300・400番台※	選択　10単位以上	選択　10単位以上
自由選択科目	自学科、他学部、他学科、ユニバーシティ・スタンダード科目、単位互換制度で修得した他大学の単位	任意	任意
累積修得単位		124単位以上	124単位以上

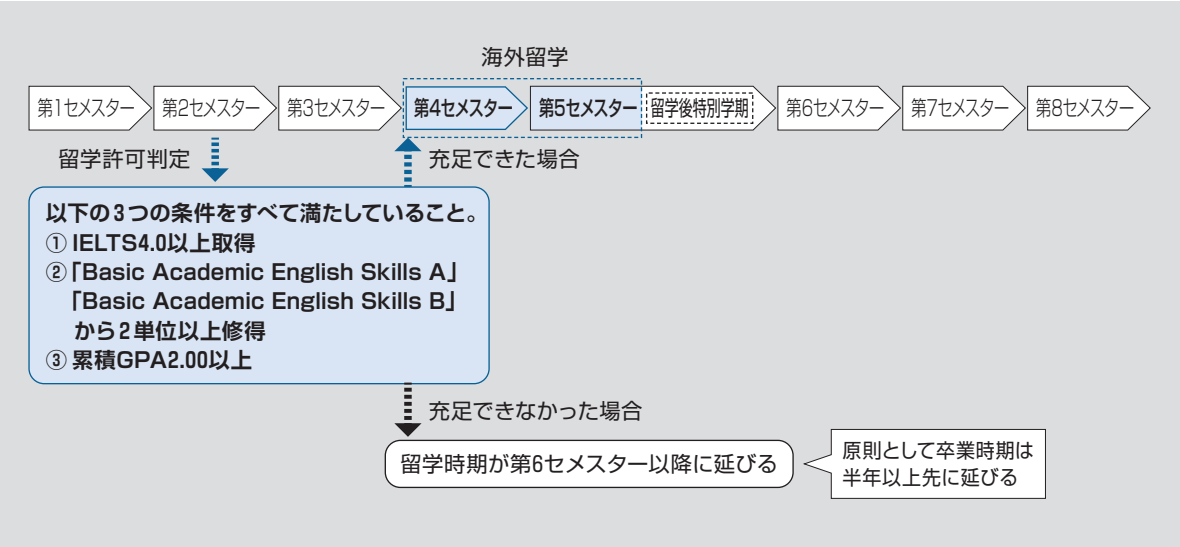
※ただし「English for Intercultural Communication B」「Intercultural Communication B」「Studies in ELT」「Studies in ELF Communication」「Academic English Skills B」「English for Writing Research Papers」「Strategies for Global Communication」は除く
注）留学期間内の単位振替認定は32単位までとする。

5 留学許可条件

- 英語教育学科の学生は、全員が第 4 セメスターと第 5 セメスターに留学します。留学期間中に十分に学び、力を高めるためには、留学前にしっかりとした学修習慣を身につけておくことが必要です。このため、第 2 セメスター終了時に、以下の 3 つの条件をすべて満たしているかどうかによって、留学許可の判定を行います。
  - ① 第 2 セメスター終了時点で、IELTSのOverallスコアで4.0以上*を取得していること
    - *次のいずれかのスコアを取得することで、同条件を満たすものと見なす。
      - *TOEIC*® Listening & Reading Test 550点以上
      - *TOEIC*® Listening & Reading IPテスト550点以上
      - TOEFL iBT®テスト42点以上
  - ② 第 2 セメスター終了時点で「Basic Academic English Skills A」「Basic Academic English Skills B」から 2 単位以上を修得していること
  - ③ 第 2 セメスター終了時の累積GPAが2.00以上であること

  （第 2 セメスターと第 3 セメスターの間に開講されるウィンターセッションの成績は、上記①②③の条件に含めない）
- 留学許可条件を満たせていないと、第 4 セメスターから留学することはできません。
- 留学決定後、学業不振や素行不良が認められた場合には、本人・保証人と面談を実施します。改善が認められない場合は、留学を次年度以降に保留することもあります。

■第 2 セメスター（1年次）終了時における留学許可判定



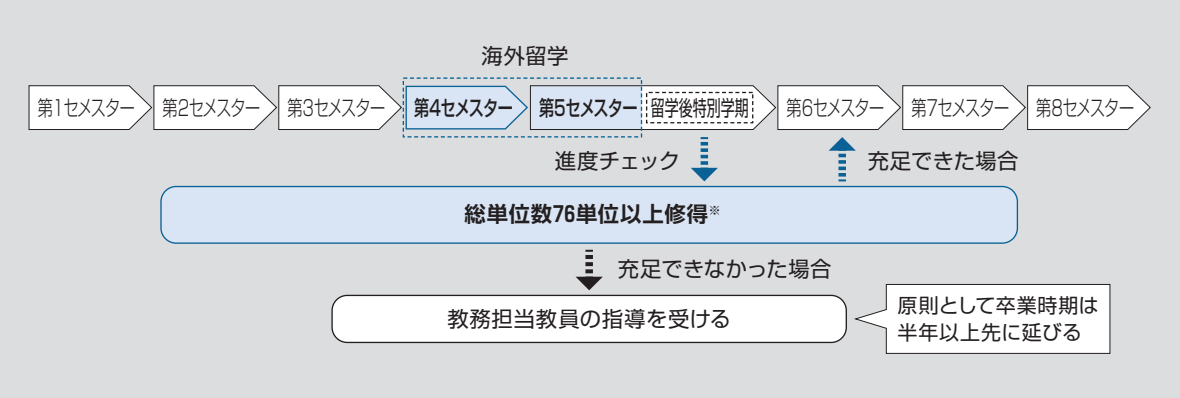
6 警告制度と履修条件（進度チェック）

■警告制度

- 玉川大学では全学部に共通する「警告制度」を定め、これを満たせない学生には「警告」が出されます（p.37を参照）。
- 英語教育学科では、海外留学期間および留学後特別学期の学修状況については、留学後特別学期終了時に一括して判定を行います。
- この期間以外の各セメスター末には、玉川大学共通の「警告制度」による判定が行われます。

■進度チェック

- 英語教育学科では、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかチェックするために、下図の通り、留学後特別学期の終了時に、「履修条件」（総単位数76単位以上修得）を満たしているか否かのチェックを行います。



※留学許可条件に抵触し第６セメスター以降に海外留学をした場合は、帰国後に行われる留学後特別学期の終了時に総単位数92単位以上を修得できているかチェックします。

7 履修上の留意事項

1 免許・資格の取得について

- 英語教員養成コースは、原則として全員が教職課程を受講します。第２セメスター終了時に教職課程受講継続判定を受けて許可された場合は、学科の卒業要件を満たしつつ、免許状取得に必要な科目を履修して単位を修得しなければなりません。『教職課程受講ガイド』の該当ページを参照し、教職担当教員や教師教職リサーチセンターの指導・ガイダンスを受けて、必要な単位をもれなく修得できるように履修計画を立てましょう。
- また、第６セメスター終了時に、第７セメスターに教育実習を行うための判定が行われます。その条件についても『教職課程受講ガイド』を参照し、実習前に必要な単位を修得するよう注意してください。
- ELFコミュニケーションコースでは、学科の卒業要件を満たしつつ、必要な他学部あるいはユニバーシティ・スタンダード科目群開講の科目を履修して単位を修得することにより日本語教員資格を取得することが可能です。『履修ガイド』p.236～237の日本語教員資格課程表を参照し、ガイダンスを受けて、必要な単位をもれなく修得できるように履修計画を立てましょう。ただし、４年間では取得に必要な単位を取り切れない場合がありますので教務担当教員に相談してください。

2 コース変更について

- 第２セメスター終了時に、希望すればコース変更が認められます。ただし、変更後卒業までに免許・資格取得に必要な単位を取りきれない場合がありますので注意してください。

8 「Overseas Study A/B/C」「School Internship A/B/C」「Internship A/B/C」認定申請条件

- 学科の規定により単位を認定しますが、いずれも以下の①～③の条件を満たすことが必要です。
  - ① プログラム着手前に、担当教員に活動内容と時間数を申告し、受け入れ先の承諾書（あるいはそれに類するもの）を提出して事前審査を受けること
  - ② 事前指導・事後指導を含めて90時間以上の活動が行われたと認められること
  - ③ 「Internship A/B/C」については受け入れ先と玉川大学のあいだで契約書を取り交わすこと
- 詳しくは、各担当教員に相談して必要なガイダンスを受けてください。

9 文学部 英語教育学科　教育課程表

凡例
開講期　(集中)：集中開講
履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目　－：履修不可
他学科受講　◇：日本語教員資格取得希望者のみ可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件		他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
									知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					英語教員養成コース	ELFコミュニケーションコース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																					
CWC 101	比較文化論	2	100	春秋					●												
INFO 105	データ処理	2	100	春秋						●			●								
MATH 107	数学入門	2	100	春秋								●									
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100	春秋												●					●
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆	◆		2年次より履修可			●										
FRE 101	フランス語 101	2	100	春秋		◆			●		●										
GER 101	ドイツ語 101	2	100	春秋		◆			●		●										
SPA 101	スペイン語 101	2	100	春秋		◆			●		●										
CHI 101	中国語 101	2	100	春秋		◆			●		●										
学科専門科目																					
ENG 100	Basic Academic English Skills A	2	100	春	●	●					●										
ENG 107	English Phonetics	1	50	春	●	●				●	●										
GLS 100	Overseas Study A	2	集中	春秋					●		●				●						
GLS 101	Overseas Study B	2	集中	春秋					●		●				●						
GLS 102	Overseas Study C	2	集中	春秋					●		●				●						
ENG 103	Basic Academic English Skills B	2	100	秋	●	●					●		●								
JPN 107	日本語表現演習	2	100	秋		●					●										
ENG 106	English Grammar	2	100	秋	●	●				●	●										
GLS 113	World Studies	2	100	秋	●	●			●	●											
CWC 202	Pre-departure Seminar	1	50	春	●	●			●	●					●						
LING 200	Introduction to Language Studies	2	100	春	●	●			●	●				●							
SUBP 200	英語科指導法 I	2	100	春							●				●						
WLIT 200	British and American Literature	2	100	春	●	●			●	●	●										
COPR 200	Internship A	2	集中	春秋							●				●	●					
COPR 201	Internship B	2	集中	春秋							●				●	●					
COPR 202	Internship C	2	集中	春秋							●				●	●					
COPR 203	School Internship A	2	集中	春秋							●					●		●			
COPR 204	School Internship B	2	集中	春秋							●					●		●			
COPR 205	School Internship C	2	集中	春秋							●					●		●			
ENG 211	English for Intercultural Communication A	4	200	秋				留学振替科目	●	●	●										
ENG 218	Intercultural Communication A	4	200	秋				留学振替科目	●		●				●						
ENG 209	English for General Communication A	2	100	秋				留学振替科目			●										
ENG 210	English for General Communication B	2	100	秋				留学振替科目			●										
ENG 216	Integrated English Language Skills	2	100	秋				留学振替科目			●										
ENG 200	Academic English Skills A	2	100	秋				留学振替科目	●		●										

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件		他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
									知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					英語教員養成コース	ELFコミュニケーションコース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ENG 304	English for Intercultural Communication B	4	200	春				留学振替科目	●	●	●										
ENG 308	Intercultural Communication B	4	200	春				留学振替科目	●		●				●						
ENGE 301	Studies in ELT	4	200	春				留学振替科目	●		●				●						
COMM 302	Studies in ELF Communication	4	200	春				留学振替科目		●	●				●						
ENG 300	Academic English Skills B	2	100	春				留学振替科目	●		●										
ENG 305	English for Writing Research Papers	2	100	春				留学振替科目			●			●							
COMM 301	Strategies for Global Communication	2	100	春				留学振替科目	●		●				●						
CWC 300	English in Global Contexts	2	100	春	●	●			●	●	●										
AREA 300	Multiculturalism in English-speaking Areas	2	100	春	●	●			●					●							
SUBP 300	英語科指導法Ⅱ	4	200	秋							●				●						
COMM 300	Global Communication	2	100	秋			◇		●		●								●		
LING 300	Current Issues in Applied Linguistics	2	100	秋				偶数年開講	●	●			●								
AREA 301	Regional Studies	2	100	秋						●							●				
ENGE 300	Research Seminar A	2	100	秋	●	●				●			●	●							
LING 303	Language Testing	2	100	秋						●		●		●							
WLIT 300	Special Studies in American Literature	2	100	秋					●	●	●										
LING 302	Language Teaching in Asia	2	100	秋				奇数年開講	●	●			●								
LING 301	Language and Society	2	100	秋			◇		●	●					●						
ENG 408	Speaking Workshop	2	100	春							●										
WLIT 401	Special Studies in British Literature	2	100	春					●	●	●										
LING 401	Issues in Second Language Acquisition	2	100	春			◇			●				●	●						
LING 400	Issues in Applied Linguistics	2	100	春			○		●	●					●						
GLS 400	Issues in International Mobility A	2	100	春					●	●										●	
ENG 406	Project Management Workshop	2	100	春										●	●		●				
ENGE 400	Research Seminar B	1	50	春	●	●				●				●	●						
SUBP 401	英語科指導法Ⅲ	2	100	春							●				●						
GLS 401	Issues in International Mobility B	2	100	秋					●	●										●	
ENGL 400	Issues in English Linguistics	2	100	秋					●	●				●							
ENGE 401	Research Seminar C	2	100	秋	●	●				●				●	●						
SUBP 400	Teaching English to Children	2	100	春			○				●				●						
WLIT 400	Language through Contemporary English Literature	2	100	秋						●	●				●						
ENG 400	Career English	2	100	秋							●				●						
ENG 407	Senior Project	2	集中	秋	●	●					●			●		●					

【履修にあたって】

（1）原則Ⅰ、Ⅱのように番号のついた科目はその順序で履修してください。
（2）「Research Seminar A・B・C」は同時に履修することはできません。
（3）「Research Seminar A・B・C」は原則A・B・Cの順序で履修してください。

農　学　部

生産農学科
環境農学科
先端食農学科

人材養成等教育研究に係る目的

農学部は、これからの日本に求められる国際競争力の維持・向上、活力ある地域社会の構築という重要課題に「農学」という「食」、「環境」、「健康」に直結する学問領域を通じて、果敢に取り組み、問題を発見・解決する意欲と実行力のある人材の養成を目的とする。実物教育、総合的・学際的視点、国際性、倫理観の４つを重視する教育・研究を展開し、「生産農学」、「環境農学」、「先端食農」という広い視野で農学全般を捉えることを特色とする。これらを通じ、科学の基本である「なぜ？」という鋭い視点を持つ知的好奇心旺盛な人材育成を達成する。

生産農学科は、あらゆる生物を人間生活の貴重な「資源」としてとらえ、生物の持つ機能や特性を分子から個体の視点で追究できる人材の養成を行う。具体的には、有用微生物や有用天然物の探索、遺伝子組換え・昆虫の飼育・植物の栽培などの理論と技術を学修後、新機能の開発に結びつく研究を進める。これらの学修を通じて「生命の尊厳」・「他の生物との共存」などの倫理観を培い、食と農の安全安心に貢献できる人材育成を目指す。また、生産農学科は教員を養成するプログラムを設けており、中学・高等学校（理科）及び高等学校（農業）教員を育成する。

環境農学科は、「環境」を中心に「自然、農業、社会のつながり」をよく理解し、国際性と地域性の多様なセンスを兼ね備え、「持続可能な開発目標、SDGs」の達成に貢献できる人材の養成を行う。具体的には、農学に関する分野・諸問題に強い興味や取り組む意欲を持ち、理論的学修と実践的・体験型学修を組み合わせた「環境」理解に基づいて、さまざまな問題解決に必要となる主体性と協調性を身につけた人材を育成する。

先端食農学科は、食料や食品の安全性や信頼性に関心が高まる中、既存の農業を越えた新たな食料生産のしくみや食品の機能性、食品製造にかかわる専門的な知識と実践的な能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。植物工場や陸上養殖など最先端のシステム化された食料生産に関する知識や能力を修得し、また食品の機能性や安全性、食品の製造・加工に関する知識や能力を習熟できる学修環境の提供を通じて、食料生産、食品加工の現場で活躍できる人材を養成する。

農学部　ディプロマ・ポリシー

農学部は、人材養成等教育研究に係る目的に基づくカリキュラムを通して、以下の知識・技能・態度を学士力として修得・涵養し、卒業要件を充足した人に、学士（農学）の学位を授与します。

① 農学をはじめとし、様々な自然科学分野の情報を、収集・分析・理解・説明することができる。
② 生物学や化学を基盤とした農学に関連する科学的知識を、社会で必要とされる新たな知識・技術の発見や獲得、持続可能な発展、地域や地球規模での環境保全に応用できる。
③ 社会の一員として、協調性や共同作業における役割分担の重要性を理解し、それらの態度・志向性をもち、生涯にわたって学ぶ姿勢を維持・向上することができる。また、それらを通じて社会に貢献できる。

学位授与に当たり、各学科が重視する学士力は次の通りです。

［生産農学科］

生産農学科が重視する学士力には以下の項目が挙げられ、これらの力を身につけることが卒業時における到達目標となる。

① 生物資源を有効利用するために必要な自然科学の情報を収集・分析・理解し、正しく活用することができる。
② 農学に関連する専門的知識や理論を体系的に修得、理解し、関連産業の持続可能な発展や環境保全に応用できる。
③ 実験・実習を通して技術と理論を修得することができる。
④ 農学の学びに基づいて、協調性や倫理観を身につけ、社会に貢献できる。

理科教員養成プログラムに所属する学生ついては、以下の学士力を身につけることが到達目標となる。

① 自然科学の情報を、収集・分析・理解・説明することができる。
② 協調性や共同作業における役割分担の重要性を理解し、それらの態度・志向性をもち、生涯にわたって学ぶ姿勢を維持・向上することができる。また、それらを通じて社会に貢献できる。
③ 理科や農業の面白さや大切さを理解し、理科教育または農業科教育に必要な情報を収集・分析・理解し、生徒等にわかりやすく説明できる。
④ 理科教育や農業科教育に必要な実験や実習を、生徒等に正しく、安全に指導できる。
⑤ コミュニケーション力、語学力、文章作成力、計算力、協調性など、さまざまな問題に対する解決能力を修得し実践できる。

［環境農学科］

環境農学科が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらの力を身につけることが卒業時における到達目標となる。

① 「環境」を中心に「自然、農業、社会のつながり」について理論的に学修し、理論的学修成果と実験・実習などの実践的・体験型学修を結びつけ、環境問題にさまざまなレベルで対応できる知識・技術を修得する。
② 海外留学（カナダ、オーストラリア）および国内（北海道、鹿児島、箱根町）にある本学の各施設を利用したカリキュラムにより、「環境」や「自然、農業、社会のつながり」の相違点や類似点を比較し、国際的・地域的に理解できる。
③ 国際社会の一員として、協調性、寛容な態度や社会貢献の重要性を理解し、それらを生涯にわたり向上し続ける意欲と技能を修得する。
④ 言語や文化の多様性を理解、受容でき、問題解決のために国際性と地域性の多様な視野を持って積極的に行動することができる。
⑤ 国際社会の現場で必要となる、エントリーレベル以上の英語運用能力（TOEIC®L&R600点以上のスコア）を保有している。

［先端食農学科］

先端食農学科が重視する学士力には以下の項目が挙げられ、これらの力を身につけることが卒業時における到達目標となる。

① 世界の食料生産や食料需給、食品加工や食品製造に関わる状況を理解し、それらに関わる専門的な知識と実践的な能力を修得することにより、社会で必要とされる食料生産や食品加工の現場で貢献できる。
② 自然科学、特に化学と生物学を習熟した上で、食料生産や食品加工について修得した知識と実践的な能力を食料の生産、加工現場に適用して生かすことにより、安全で効率的な食料供給に貢献できる。
③ 実験実習と講義を並行しながら理論とスキルを修得することができる。
④ 情報を収集し、分析することで、自ら解決法を考え提示することができる。

農学部 生産農学科

理科教員養成プログラムの学生は『教職課程受講ガイド』も参照してください。

1 カリキュラム・ポリシー

農学部の人材養成等教育研究に係る目的ならびに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、入学者（学習者）が主体的に学習に取組み、教職員による教育・支援および指導の下で自らの目標を達成できるよう体系的な教育課程を設けています。また、この教育課程の編成に当たっては、社会が要請する「学士力の養成」や「キャリア形成」、すなわち大学を卒業した人が備えているべき資質も重視しています。さらに、グローバル社会に対応するための英語力獲得を目指します。学科の教育課程については、以下の方針に基づいて構築しています。

［生産農学科］

① 実験の基礎技術や応用技術を修得できるように実験科目を配置する。１年次、２年次には『基礎生物学実験』、『基礎化学実験』、『生物化学実験』を配置、３年次には『専門実験・実習A・B』を配置し、実験のスキルアップを図る。

② 実習の基礎知識や専門知識を修得させるために、１年次および２年次に『フィールド実習A・B』を配置する。また、３年次に配置する『フィールド実習C』では、北海道、神奈川県（箱根町）、鹿児島県の学外農場を利用し、それぞれの地域の特徴ある実習を体験し、さらなる技術の修得を図る。

③ ３年次には『生産農学演習A』を配置し、４年次には『生産農学演習B・C』また４年間の集大成として、『卒業研究A・B』や『卒業研究論文』を配置し、それぞれの研究に携わる。

2 カリキュラムの特徴

1 生産農学科科目には、必修科目、選択科目があります。

必　修　科　目 （講義・実験・実習・演習）	生産農学科で学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。
選　択　科　目	各自の必要に応じて履修する科目 （環境農学科科目・先端食農学科科目・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属（理科教員養成プログラムを除く）

●生産農学科には、「植物科学領域」「微生物科学領域」「昆虫科学領域」「動物科学領域」の４領域があります。第５セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

① 第４セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属が決定されます。

② 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数はあらためて連絡します。

③ 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第４セメスターに領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらためて連絡します。

3 卒業要件

（1）修業年限をみたすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉　玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

〈必修選択科目〉　言語表現科目群：
「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」のいずれかを含むELF科目 4 単位以上

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記（4）で示した必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること

人文科学科目群：2 単位以上　社会科学科目群：2 単位以上
自然科学科目群：2 単位以上　学 際 科 目 群：2 単位以上
言語表現科目群：4 単位以上

（6）生産農学科科目について、次の必修講義科目27単位を修得していること

〈必 修 科 目〉　100番台科目：「生産農学セミナー」「化学A」「化学B」「生物学A」「生物学B」「有機化学A」「生物統計学A」「環境と農業」「科学と教育」「分析化学」
200番台科目：「生態学」「生化学」「分子生物学」「生物統計学B」

（7）生産農学科科目について、次の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究A」「卒業研究B」を除く）18単位を修得していること

100番台科目：「基礎生物学実験」「基礎化学実験」「フィールド実習A」
200番台科目：「生物化学実験」
300番台科目：「専門実験・実習A」「専門実験・実習B」「生産農学演習A」
400番台科目：「生産農学演習B」「生産農学演習C」

（8）生産農学科で開講されている選択科目（フィールド実習B・フィールド実習C・卒業研究論文を除く）から24単位以上を修得していること

（9）生産農学科科目の「卒業研究A」「卒業研究B」4 単位を修得していること

●生産農学科理科教員養成プログラムに関する卒業要件は、p.85を参照してください。

4 卒業までの単位配分

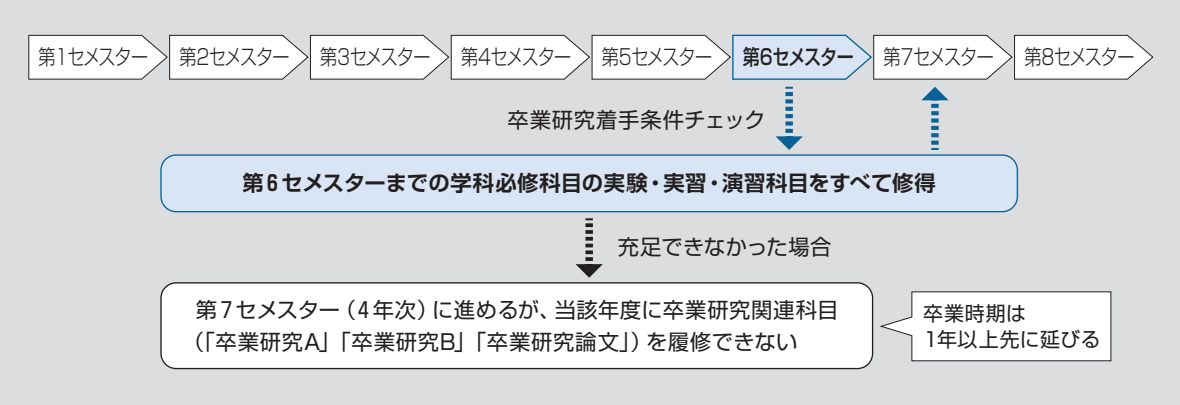
●卒業に必要な最少単位数は、第１セメスターから第８セメスターまで、合計124単位で、生産農学科の場合その内訳は次のとおりです。

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	７単位
	人文科学科目群	２単位以上
	社会科学科目群	２単位以上
	自然科学科目群	２単位以上
	学際科目群	２単位以上
	言語表現科目群	４単位以上　「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」のいずれかを含むELF科目４単位以上
生産農学科必修科目	必修講義科目	27単位
	必修実験・実習・演習科目	22単位（「卒業研究A」「卒業研究B」」を含む）
選　択　科　目	生産農学科選択科目	24単位以上（フィールド実習B・フィールド実習C・卒業研究論文を除く）
	他学科開講選択科目	
	他学部開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

5 履修条件

●第６セメスター終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■第６セメスター（３年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



6 履修上の留意事項

① C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.49を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。

② 時間割（時間帯・教室など）については変更をお知らせする場合もありますので、UNITAMA掲示を十分確認してください。

③ 「フィールド実習C」は3年次の夏期休暇等を利用して実施されます。これらの科目の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「フィールド実習C」の履修登録・単位認定は第6セメスターに行います。

④ 理科教員養成プログラムの科目は、理科教員養成プログラムを受講している学生だけが履修することができます。

7 生産農学科理科教員養成プログラム

▶農学部教職コース履修案内
参照『教職課程受講ガイド』p.39

- 農学部における教育職員免許状の取得にあたっては、教職課程（理科教員養成プログラム）を受講し、次ページの卒業要件を充足させることにより、免許状取得と卒業が可能となります。次ページの理科教員養成プログラム受講生に対する卒業要件は、生産農学科に所属する他の学生に対する卒業要件（p.82）とは異なるので注意してください。
- 理科教員養成プログラムで履修する科目については、生産農学科の教育課程表（p.86～87）の「履修条件：理科教員養成プログラム」の欄を参照するとともに『教職課程受講ガイド』を参照してください。

8 カリキュラム・ポリシー（生産農学科理科教員養成プログラム）

理科教員養成プログラムについては、以下の方針に基づいて教育課程を構築しています。

① 専門科目の中核となる科目については、自然科学の幅広い知識を豊富な科目群の中から学生が選択して学べるようにする。

② 理科や農業に関する知識を深めることと並行して、1年次から「教職関連科目」を履修し、教職に就くために必要な知識と姿勢を確実に、早い段階から、身に付けることができるようにする。

③ 自然科学の幅広い分野の知識と実践能力を獲得し、国民全体の科学技術リテラシーの向上と、児童・生徒の理科離れ等の諸問題に対応できるようにする。

9 卒業要件（生産農学科理科教員養成プログラム）

（1）修業年限をみたすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉　玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

〈必修選択科目〉　言語表現科目群：
「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」から 4 単位以上

（5）理科教員養成プログラムが指定する生産農学科科目の次の必修講義科目11単位を修得していること

〈必 修 科 目〉　100番台科目：「生産農学セミナー」「化学B」「生物学B」「有機化学A」
200番台科目：「生化学」「生物統計学B」

（6）理科教員養成プログラムが指定する生産農学科科目の次の必修科目の実験・実習・演習科目 8 単位を修得していること

100番台科目：「基礎生物学実験」「基礎化学実験」「フィールド実習A」
400番台科目：「教材研究」

（7）教育職員免許状（最低 1 つ）を取得するために必要な科目を修得し、要件を満たしていること

10 農学部 生産農学科　教育課程表

凡例
開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目　－：履修不可　理：教職<理科>免許の場合必修　農：教職<農業>免許の場合必修
中理：教職<中学校理科>免許の場合必修
他学科受講 ○：他学科受講可　△：農学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件 学科	履修条件 理科教員養成プログラム	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力 知識・理解 多文化・異文化	知識・理解 文化・社会・自然	汎用的技能 コミュニケーション・スキル	汎用的技能 数量的スキル	汎用的技能 情報リテラシー	汎用的技能 論理的思考力	汎用的技能 問題解決力	態度・志向性 自己管理力	態度・志向性 チームワーク	態度・志向性 リーダーシップ	態度・志向性 倫理観	態度・志向性 社会的責任	態度・志向性 生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																					
INFO 105	データ処理	2	100	秋				2年次より履修可		●			●								
ENG 101	ELF 101	4	200	秋春	◆	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	春秋	◆			1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	秋春	◆			2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆			2年次より履修可			●										
学科専門科目																					
CHEM 101	化学 A	2	100	春	●					●				●							●
BIOL 103	生物学 A	2	100	春	●					●				●							●
MATH 108	生物統計学 A	2	100	春	●							●									
BIOL 100	科学と教育	2	100	春	●					●		●		●							
AGR 100	環境と農業	2	100	春	●					●				●							
BIOL 101	基礎生物学実験 ★	2	200	春	●	●									●		●		●		
AGR 101	生産農学セミナー	1	50	春	●	●			●		●									●	
CHEM 102	化学 B	2	100	秋	●	●				●				●							●
BIOL 104	生物学 B	2	100	秋	●	●				●		●		●							
CHEM 104	基礎化学実験 ★	2	200	秋	●	●						●		●	●						
AGR 107	フィールド実習 A ★	2	200	秋	●	●										●	●				●
CHEM 106	有機化学 A	2	100	秋	●	●				●				●	●						
CHEM 105	分析化学	2	100	春	●			2年次より履修可		●		●		●							
BIOL 204	生態学	2	100	春	●					●			●	●							
MKTG 202	農業マーケティング論	2	100	春			○					●		●				●			
AGR 205	植物形態学	2	100	春			△			●				●							
AGR 202	昆虫資源学	2	100	春			△			●		●		●							
BIOL 202	細胞生物学	2	100	春			△			●					●		●				
BIOL 206	生物多様性論	2	100	春			△			●					●		●				
AGR 201	応用動物利用学	2	100	春			△			●				●		●					
AGR 210	フィールド実習 B ★	2	200	春													●	●			●
CHEM 202	有機化学 B	2	100	春		－				●				●	●						
PHYS 203	物理学	2	100	春	－	理				●		●		●							
SUBP 229	理科指導法 I	2	100	春	－	理					●				●				●		
SUBP 215	職業指導（農業） I	2	100	春	－	農					●					●				●	
SUBP 222	農業科指導法 I	2	100	春	－	農					●				●				●		
CHEM 201	生化学	2	100	秋	●	●				●		●		●							
STAT 203	生物統計学 B	2	100	秋	●	●				●		●		●							
BIOL 205	生物化学実験 ★	2	200	秋	●	－						●		●	●						
BIOL 212	分子生物学	2	100	秋	●					●		●		●							
BIOL 213	分類学	2	100	秋			○			●				●							
BIOL 208	動物生理学	2	100	秋			△			●				●							
BIOL 207	動物行動学	2	100	秋			△			●		●		●							
AGR 203	作物学	2	100	秋			△			●		●									

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件 学科	履修条件 理科教員養成プログラム	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力 知識・理解 多文化・異文化	知識・理解 文化・社会・自然	汎用的技能 コミュニケーション・スキル	汎用的技能 数量的スキル	汎用的技能 情報リテラシー	汎用的技能 論理的思考力	汎用的技能 問題解決力	態度・志向性 自己管理力	態度・志向性 チームワーク	態度・志向性 リーダーシップ	態度・志向性 倫理観	態度・志向性 社会的責任	態度・志向性 生涯学習力
BIOL 211	微生物学	2	100	秋						●				●	●						
BIOL 210	脳と動物	2	100	秋						●		●		●							
GEOL 200	地学	2	100	秋	―	理				●					●		●				
GEOL 201	地学実験 ★	1	100	秋	―	理				●				●		●					
PHYS 206	物理学実験 ★	1	150	秋	―	理				●					●		●				
SUBP 230	理科指導法Ⅱ	2	100	秋	―	理					●				●						
SUBP 216	職業指導（農業）Ⅱ	2	100	秋	―			偶数年開講			●					●				●	
SUBP 223	農業科指導法Ⅱ	2	100	秋	―	農					●				●						
AGR 204	樹木学	2	100	秋			△			●					●		●				
AGR 308	専門実験･実習 A ★	2	200	春	●	―						●			●		●				
BIOL 301	応用微生物学	2	100	春			△			●				●		●					
BIOL 302	ゲノム科学	2	100	春			△			●		●		●							
AGR 305	植物病理学	2	100	春			△			●				●							
CHEM 302	分子構造解析論	2	100	春			△			●		●		●							
ESP 305	緑地保全学	2	100	春			△			●				●		●					
AGR 302	食品製造	2	100	春	―					●				●		●					
ESP 303	野外活動指導法	2	100	春	―					●				●		●					
SUBP 317	理科指導法Ⅲ	2	100	春	―	中理				●	●							●			
BIOL 300	遺伝子工学	2	100	春			△			●				●		●					
AGR 309	専門実験･実習 B ★	2	200	秋	●	―						●			●		●				
AGR 306	生産農学演習 A ★	2	100	秋	●	―								●	●				●		
CHEM 301	天然物化学	2	100	秋			△			●		●		●							
AGR 304	植物育種学	2	100	秋			△			●		●		●							
AGR 300	昆虫学	2	100	秋			△			●		●		●							
AGR 212	果樹園芸学	2	100	秋			△			●				●							
AGR 310	畜産学	2	100	秋			△			●				●							
CHEM 303	有機合成化学	2	100	秋			△			●		●		●							
BIOL 303	植物生理学	2	100	秋			△			●		●		●							
AGR 317	フィールド実習 C ★	2	200	秋												●		●			●
TED 316	生物実験スキル ★	2	100	春秋(集中)	―					●		●						●			
TED 300	化学実験スキル ★	2	100	春秋(集中)	―					●		●						●			
AGR 303	食品製造実習 ★	1	100	秋	―					●				●		●					
SUBP 318	理科指導法 Ⅳ	2	100	秋	―	中理				●	●							●			
AGR 314	農薬化学	2	100	秋			△			●		●		●							
AGR 400	生産農学演習 B ★	2	100	春	●	―								●	●				●		
AGR 402	卒業研究 A ★	2	―	春(集中)	●	―								●	●	●					
AGR 401	生産農学演習 C ★	2	100	秋	●	―								●	●				●		
AGR 403	卒業研究 B ★	2	―	秋(集中)	●	―						●		●	●						
AGR 404	卒業研究論文 ★	2	―	秋(集中)		―								●	●	●					
TED 400	教材研究 ★	2	―	秋(集中)	―	●				●					●	●					

【履修にあたって】

（1）開設セメスター以降で履修してください。

（2）授業科目名の★は実験・実習・演習科目です。

農学部 環境農学科

1 カリキュラム・ポリシー

農学部の人材養成等教育研究に係る目的ならびに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、入学者（学習者）が主体的に学習に取組み、教職員による教育・支援および指導の下で自らの目標を達成できるよう体系的な教育課程を設けています。また、この教育課程の編成に当たっては、社会が要請する「学士力の養成」や「キャリア形成」、すなわち大学を卒業した人が備えているべき資質も重視しています。さらに、グローバル社会に対応するための英語力獲得を目指します。学科の教育課程については、以下の方針に基づいて構築しています。

［環境農学科］

① 国際共通語としての英語運用力を高めるとともに異文化を理解し、国際的なセンスを身につけるため、原則として２年次に全員が海外留学に参加する（約４ヵ月間）。１年次（留学前）に留学に必要となる英語力と基礎知識を高め、留学後にその成果を振り返り、卒業時までに英語運用力のさらなる向上を図る。

② 地域性理解のため、全員が北海道または鹿児島県の本学施設での実習に参加する（約10日間）。

③ ３年次後半から生態系科学領域、持続的農学領域のいずれかに所属して学修を深める。

④ ４年次にはより専門的な分野に分かれて卒業研究に取り組み、４年間の学修の総まとめを通して、本学科の到達目標と学士力の達成度を確認する。

2 カリキュラムの特徴

1 環境農学科科目には、必修科目、選択科目があります。

必　修　科　目 （講義・実験・実習・演習）	環境農学科の学生が学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること
選　択　科　目	各自の必要に応じて履修する科目 （生産農学科科目・先端食農学科科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 学外プログラム

●環境農学科では、２年次に全員が海外プログラム（カナダまたはオーストラリアのどちらかを選択）および国内プログラム（北海道または鹿児島のどちらかを選択）に参加しなければなりません。

① **海外プログラム**：原則として、第３セメスターまたは第４セメスターのどちらかに派遣されます。カナダプログラムの授業は主にバンクーバーアイランド大学で行われ、一部玉川大学ナナイモキャンパスを利用します。オーストラリアプログラムについては現在調整中です。
※派遣期間は、日本および各国の暦や諸事情から、年によって若干変更されることがあります。

② **海外プログラム参加条件**：

●第２セメスター（１年次）終了時において、海外プログラム参加条件を満たしているか否かのチェック（海外プログラム参加条件判定）が行われます。

●海外プログラム参加条件は、「留学に必要となる英語運用能力を備えているか否か」の観点から、「入学後に受験した*TOEIC*® Listening & Reading Test（略称：*TOEIC*® L&R）公開テストまたは玉川大学内で実施するIPテストで400点以上のスコアを取得していること」です。

●第２セメスター終了時の海外プログラム参加条件判定において、条件が満たされなかった場合は、海外プログラム参加が延期となります。次の海外プログラム参加条件判定は第３セメスター終了時に行い、条件を満たした場

合は第 4 セメスターに海外プログラム参加となります。一方、条件を満たせなかった場合は、海外プログラム参加が再び延期となり、次の判定は第 4 セメスター終了時となります。

- なお、第 4 セメスター終了時の海外プログラム参加条件判定においても条件を満たせない場合は、海外プログラム参加延期が継続するとともに、 4 年間で卒業できないことが確定します。
- 海外プログラム参加が延期となった場合は、別途履修指導が行われます。

③ **国内プログラム（「農場実習C」）**：北海道プログラム、および鹿児島プログラムは第 3 セメスター終了後の夏休みおよび第 4 セメスター終了後の春休み等に実施される予定です（履修登録および認定は第 5 セメスター）。

- 第 2 セメスター以降に希望調査を行い、必要に応じて人数調整のうえ、農学部が決定・通知します。希望に偏りがある場合は、学科が調整を行います。結果は文書にて、学生本人と保証人にお知らせする予定です。

3 領域配属

- 環境農学科には、「生態系科学領域」「持続的農学領域」の 2 領域があります。第 6 セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

① 領域配属は定員制です。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数はあらためて連絡します。

② 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第 2 セメスター以降に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらためて連絡します。

③ 第 5 セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。

3 卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

（1）修業年限をみたすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉　玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
自然科学科目群：「化学入門」「生物学入門」「統計学入門」

〈必修選択科目〉　言語表現科目群：
「ELF301」を含むELF科目12単位以上

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記（4）で示した必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること

人文科学科目群：2単位以上　社会科学科目群：2単位以上
自然科学科目群：6単位以上　学 際 科 目 群：2単位以上
言語表現科目群：12単位以上

（6）環境農学科科目について、次の必修講義科目20単位を修得していること

100番台科目：「農業と自然環境」「環境と生態」「環境農学概論」「Intensive English A」「Intensive English B」
200番台科目：「土壌生態学」
300番台科目：「生物統計学」「地球環境科学」「持続的農業論」「緑地生態学」

（7）環境農学科科目について、次の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究A」「卒業研究B」「卒業研究C」を除く）17単位を修得していること

100番台科目：「農場実習 A」「基礎生物学実験」「農場実習 B」
200番台科目：「環境農学実験」
300番台科目：「農場実習C」「領域演習A」「Comprehensive Agri-Environmental Studies」
400番台科目：「領域演習B」

（8）環境農学科科目の卒業研究科目6単位「卒業研究A」「卒業研究B」「卒業研究C」を修得していること

（9）上記要件をすべて満たし、入学後に受験した「*TOEIC*® Listening & Reading Test」の公開テストまたは学内実施のIPテストで600点以上(※) のスコアを取得していること

※3月卒業は1月末、9月卒業は7月末の学科が指定する期日までに結果を提出していること

4 卒業までの単位配分

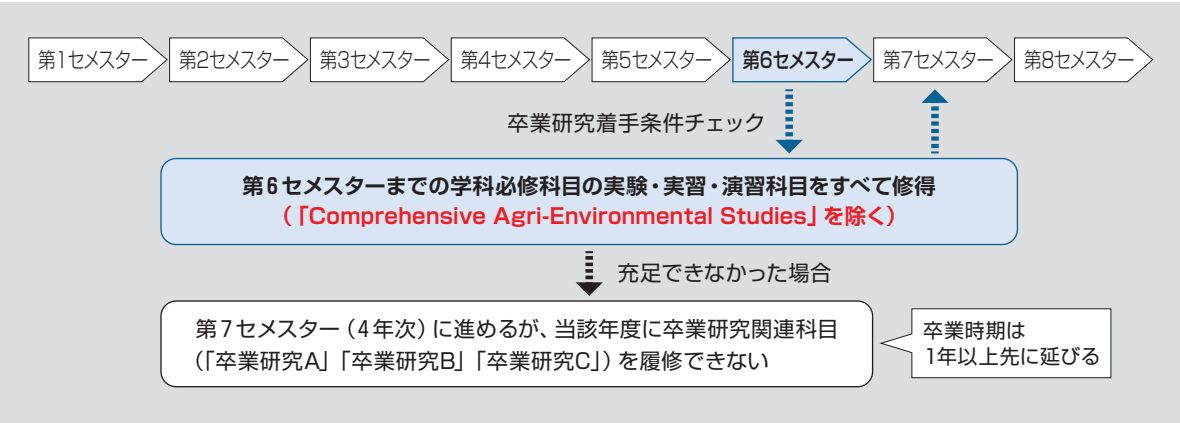
●卒業に必要な最少単位数は、第１セメスターから第８セメスターまで、合計124単位で、環境農学科の場合その内訳は次のとおりです。

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群	７単位
	人文科学科目群	２単位以上
	社会科学科目群	２単位以上
	自然科学科目群	６単位以上
	学際科目群	２単位以上
	言語表現科目群	12単位以上　「ELF301」を含むELF科目12単位以上
環境農学科必修科目	必修講義科目	20単位
	必修実験・実習・演習科目	23単位（「卒業研究A」「卒業研究B」「卒業研究C」を含む）
選　択　科　目	環境農学科選択科目	
	他学部・他学科開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

5 履修条件

●第６セメスター終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■第６セメスター（３年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



6 履修上の留意事項

① C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.49を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
海外プログラムにおける科目は、再履修制度の対象に含みません。

② 時間割（時間帯・教室など）については変更をお知らせする場合もありますので、UNITAMA掲示を十分確認してください。

③ 「農場実習C」は２年次の夏季および春季休暇等を利用して実施されます。この科目の履修者は事前ガイダンスに必ず出席してください。履修登録・単位認定は第５セメスターに行う予定です。

④ 「Comprehensive Agri-Environmental Studies」の単位修得のためには、通常の授業に出席して合格することに加えて、卒業要件である*TOEIC*® Listening & Reading Testで600点以上のスコアを獲得し、指定する期日までに報告することが必要です。

7 農学部 環境農学科　教育課程表

凡例　開講期　(集中)：集中開講
履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目　－：履修不可
他学科受講　○：他学科受講可　△：農学部のみ受講可　▲：先端食農学科のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
CHEM 103	化学入門	2	100	春	●				●											
BIOL 105	生物学入門	2	100	春	●				●											
ESP 100	環境科学	2	100	秋			2年次より履修												●	
STAT 101	統計学入門	2	100	春秋	●		2年次より履修							●						
E D 100	環境教育	2	100	春			3年次より履修		●										●	
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	秋春	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋春	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																				
AGR 103	農業と自然環境	2	100	春	●				●				●							
ENG 110	Intensive English A	2	100	春	●			●		●		●								
AGR 105	農場実習 A ★	1	150	春	●					●						●		●		
ESP 102	環境と生態	2	100	秋	●	▲			●				●							
ESP 103	環境農学概論	2	100	秋	●				●					●				●		
ENG 111	Intensive English B	2	100	秋	●			●		●		●								
BIOL 101	基礎生物学実験 ★	2	200	秋	●									●		●		●		
AGR 106	農場実習 B ★	2	200	秋	●				●	●								●		
ESP 201	Regional Environmental Studies ♣	2	100	春秋					●				●							
BIOL 201	Plant Science ♣	2	100	春秋					●				●							
BIOL 200	Ecology ♣	2	100	春秋					●				●							
ESP 200	Natural Resource Management ♣	2	100	春秋				●	●				●							
ENG 214	General English A ♣	4	200	春秋				●		●										
ENG 215	General English B ♣	4	200	春秋				●		●										
ESP 204	環境農学実験 ★	2	200	春秋	●				●	●				●						
BIOL 209	土壌生態学	2	100	春	●				●	●			●							
BIOL 203	自然環境保全学	2	100	春		○			●									●	●	
PHYS 202	生物環境物理学	2	100	春		○			●											
GEOG 201	地理学	2	100	春		○			●			●								
ESP 203	環境と法令	2	100	春										●				●	●	
BIOL 214	野生動物学	2	100	秋					●									●		
BIOL 213	分類学	2	100	秋		○			●				●							
ESP 205	環境倫理学	2	100	秋		○			●									●		
STAT 202	生物統計学	2	100	春	●		3年次より履修可		●		●		●							
AGR 313	農場実習 C ★	2	200	春(集中)	●				●					●		●				
B A 303	環境マネジメント論	2	100	春		△								●			●	●		
AGR 312	農学国際協力	2	100	春		○		●									●	●		
AGR 301	持続的農業論	2	100	春	●				●					●				●		

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ESP 301	地球環境科学	2	100	春	●	Ⓤ			●		●		●							
ENG 309	Practical English for Science	2	100	春					●	●										
BIOL 304	緑地生態学	2	100	秋	●				●					●				●		
ESP 304	領域演習 A ★	4	200	秋	●				●					●	●					
COMM 304	コミュニケーションスキル ★	2	100	秋						●				●			●			
MKTG 202	農業マーケティング論	2	100	秋		○	3年次より履修可				●		●				●			
ESP 302	野外安全教育	2	100	秋					●								●		●	
ESP 300	Comprehensive Agri-Environmental Studies ★	2	100	秋	●			●	●	●										
ESP 400	卒業研究 A ★	2	－	春(集中)	●							●	●	●						
ESP 403	領域演習 B ★	2	100	春	●					●				●						●
ESP 401	卒業研究 B ★	2	－	秋(集中)	●								●		●					●
ESP 402	卒業研究 C ★	2	－	秋(集中)	●					●		●	●							

【履修にあたって】

（1）開設セメスター以降に履修してください。

（2）授業科目名の♣は海外プログラム科目、★は実験・実習・演習科目です。

農学部 先端食農学科

1 カリキュラム・ポリシー

農学部の人材養成等教育研究に係る目的ならびに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、入学者（学習者）が主体的に学習に取組み、教職員による教育・支援および指導の下で自らの目標を達成できるよう体系的な教育課程を設けています。また、この教育課程の編成に当たっては、社会が要請する「学士力の養成」や「キャリア形成」、すなわち大学を卒業した人が備えているべき資質も重視しています。さらに、グローバル社会に対応するための英語力獲得を目指します。学科の教育課程については、以下の方針に基づいて構築しています。

［先端食農学科］

食と農に関わる教育・研究を修めるために、講義科目と実験、実習、演習科目の相補性を考慮し、基礎から専門へと実践知の獲得が可能な科目配置とした。

１年次には『生物学』『化学』『基礎生物学実験』『基礎化学実験』といった基礎的知識を修得するための科目を、２年次には『生物化学A・B』『微生物学』『食品製造科学』『園芸学』『植物栄養学』『先端食農実験』といった基本的な知識を修得し専門領域へと導入するための科目をそれぞれ必修で配置している。３年次では、４年次での専門的な教育研究に向けて、『生物化学C』『食品衛生学』『栄養生理化学』『農薬化学』『植物生理学』『専門領域研究A・B』などの科目を配置している。また、『フィールド管理実習A』『先端食農実習』『食品加工実習』『フィールド管理実習B』などの実習科目も設置され、個々の学生が自身の研究テーマを決定できるように工夫している。そして、４年次は集大成として各自の研究テーマに基づいて卒業研究を行い、論文を作成できるよう『先端食農演習A・B』『卒業研究A・B』『卒業研究論文』といった科目を配置している。

2 カリキュラムの特徴

1 先端食農学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必　修　科　目 （講義・実験・実習・演習）	先端食農学科で学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。
選　択　科　目	各自の必要に応じて履修する科目 （生産農学科科目・環境農学科科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属

●先端食農学科には、「システム農学領域」「食品科学領域」の２領域があります。第５セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

① 第４セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。

② 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的なことはあらためて連絡します。

③ 第４セメスターに担任が領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらためて連絡します。

3 卒業要件

（1）修業年限をみたすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉　玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
自然科学科目群：「化学入門」「生物学入門」「統計学入門」
学 際 科 目 群 ：「環境教育」

〈必修選択科目〉　言語表現科目群：
「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」のいずれかを含む ELF科目 8 単位以上

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記（4）で示した必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること

人文科学科目群および社会科学科目群： 8 単位以上（各群 2 単位以上修得していること）
自然科学科目群： 6 単位以上　　学 際 科 目 群： 2 単位以上
言語表現科目群： 8 単位以上

（6）先端食農学科科目について、次の必修講義科目16単位を修得していること

100番台科目：「化学」「生物学」「分析化学」「有機化学A」
200番台科目：「生物化学A」「微生物学」「生物化学B」
300番台科目：「生物化学C」

（7）先端食農学科科目について、次の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究A」「卒業研究B」を除く）19単位を修得していること

100番台科目：「基礎化学実験」「フィールド管理実習A」「基礎生物学実験」
「先端食農セミナー」
200番台科目：「先端食農実験」「先端食農実習」
300番台科目：「専門領域研究A」「専門領域研究B」
400番台科目：「先端食農演習A」「先端食農演習B」

（8）先端食農学科で開講されている選択科目から22単位以上を修得していること

（9）先端食農学科科目の「卒業研究A」「卒業研究B」を修得していること

4 卒業までの単位配分

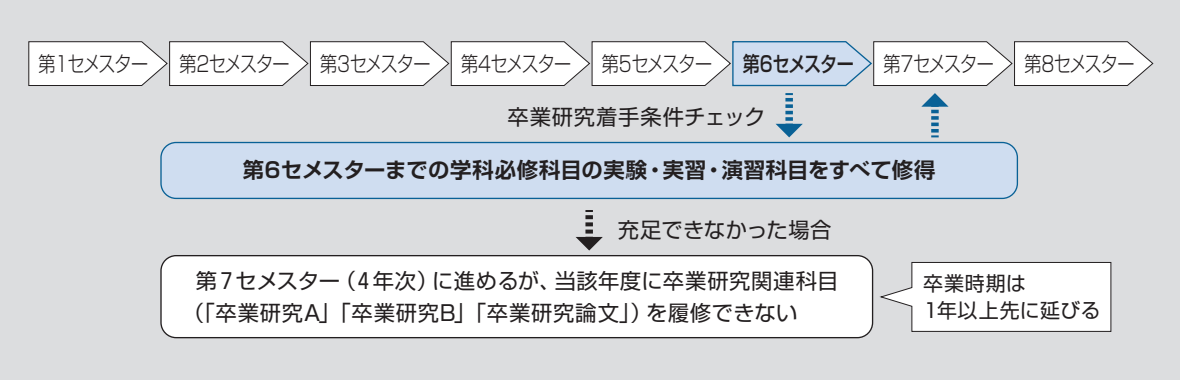
●卒業に必要な最少単位数は、第１セメスターから第８セメスターまで、合計124単位で、先端食農学科の場合その内訳は次のとおりです。

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群	７単位
	人文科学科目群	８単位以上（各群２単位以上）
	社会科学科目群	
	自然科学科目群	６単位以上
	学際科目群	２単位以上
	言語表現科目群	８単位以上　「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」いずれかを含む ELF科目８単位以上
先端食農学科必修科目	必修講義科目	16単位
	必修実験・実習・演習科目	27単位（「卒業研究A」「卒業研究B」を含む）
選　択　科　目	先端食農学科選択科目	22単位以上
	他学部・他学科開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

5 履修条件

●第６セメスター終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■第６セメスター（３年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



6 履修上の留意事項

① C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.49を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。

② 時間割（時間帯・教室など）については変更をお知らせする場合もありますので、UNITAMA掲示を十分確認してください。

③ 「食品加工実習」、「フィールド管理実習B」は夏季休暇等を利用して実施されます。これらの科目の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。これらの科目の履修登録・単位認定は授業後の翌学期に行い、当該学期の履修上限16単位に含まれます。

7 資　格

●「食品衛生管理者」と「食品衛生監視員」の養成施設として厚生労働省の登録を受けています。「先端食農学科食品衛生管理者等資格コース」として所定の単位を取得すると卒業と同時に資格が取得できます。

8 農学部 先端食農学科　教育課程表

凡例
開講期：（集中）：集中開講
履修条件：●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目　－：履修不可
他学科受講：○：他学科受講可　△：農学部のみ受講可　▲：環境農学科のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
CHEM 103	化学入門	2	100	春	●				●											
BIOL 105	生物学入門	2	100	春	●				●											
STAT 101	統計学入門	2	100	春	●									●						
E D 100	環境教育	2	100	春	●				●										●	
COMM 100	コミュニケーション論	2	100	春			2年次より履修可		●											
PSY 101	心理学	2	100	秋			2年次より履修可		●				●							
ENG 101	ELF 101	4	200	秋春	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	秋春	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																				
CHEM 104	基礎化学実験 ★	2	200	春	●						●		●	●						
AGR 104	フィールド管理実習 A ★	2	200	春	●				●	●							●			
AGR 102	先端食農セミナー ★	1	50	春	●			●				●								●
CHEM 100	化学	2	100	秋	●				●				●							●
BIOL 102	生物学	2	100	秋	●				●		●		●							
CHEM 106	有機化学 A	2	100	秋	●				●				●	●						
CHEM 105	分析化学	2	100	秋	●	▲			●		●		●							
BIOL 101	基礎生物学実験 ★	2	200	秋	●									●		●		●		
AGR 207	生物化学 A	2	100	春	●	△			●				●	●						
BIOL 211	微生物学	2	100	春	●	▲			●				●	●						
AGR 209	先端食農実習 ★	2	200	春	●						●			●			●			
AGR 200	園芸学	2	100	春		△			●				●							
AGR 206	水産学	2	100	春		○			●				●	●						
CHEM 202	有機化学 B	2	100	春					●				●	●						
FSC 201	食品製造科学	2	100	春		○			●				●	●						
AGR 208	生物化学 B	2	100	秋	●	△			●				●	●						
FSC 203	先端食農実験 ★	2	200	秋	●				●					●		●				
FSC 202	植物栄養学	2	100	秋		△			●				●	●						
FSC 200	食品機能化学	2	100	秋		△			●				●	●						
STAT 202	生物統計学	2	100	秋					●		●		●							
AGR 211	養殖学	2	100	秋					●				●	●						
AGR 307	生物化学 C	2	100	春	●	△			●				●	●						
FSC 304	専門領域研究 A ★	2	200	春	●				●			●		●						
FSC 302	食品衛生学	2	100	春		△								●				●	●	
FSC 300	栄養生理化学	2	100	春		○			●				●	●						
AGR 318	養蜂学	2	100	春		○			●				●							
FSC 303	食品加工実習 ★	2	200	春秋(集中)				●								●	●			

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
FSC 305	専門領域研究 B ★	2	200	秋	●						●			●	●					
FSC 301	応用栄養学	2	100	秋		○			●				●	●						
AGR 311	畜産物利用学	2	100	秋		△			●				●	●						
BIOL 303	植物生理学	2	100	秋		△			●		●		●							
AGR 314	農薬化学	2	100	秋		△			●		●		●							
HHS 202	公衆衛生学	2	100	秋			3年次より履修可		●									●	●	
AGR 316	フィールド管理実習 B ★	2	200	春秋(集中)					●							●				●
FSC 400	先端食農演習 A ★	2	100	春	●				●					●	●					
FSC 402	卒業研究 A ★	4	－	春(集中)	●									●	●			●		
FSC 401	先端食農演習 B ★	2	100	秋	●				●					●	●					
FSC 403	卒業研究 B ★	4	－	秋(集中)	●							●		●	●					
FSC 404	卒業研究論文 ★	2	－	秋(集中)								●	●		●					

【履修にあたって】

（1）開設セメスター以降に履修してください。

（2）授業科目名の★は実験・実習・演習科目です。

工　学　部

情報通信工学科
ソフトウェアサイエンス学科
マネジメントサイエンス学科
エンジニアリングデザイン学科

人材養成等教育研究に係る目的

工学部では全人教育の下、人間力を備えたモノつくりの実践的技術者を育成することをミッションとしている。教育研究に取り組む学部の基本的なスタンスとして、「技術者は、技術の進歩を追求する技術者である前に、人間であることを希求すること」「失敗を恐れず人生の開拓者として絶えず夢に挑戦する技術者であること」「現状の正しい認識の上に、常に将来を見据えた前向きな姿勢で迅速な改革に取り組むこと」を前提に実技教育、労作教育を展開する。また自然尊重、地球環境に留意し環境教育を実践する。その結果、社会人として十分な品格を持った人間性豊かで、コミュニケーション力、問題発見・解決能力を備え、環境にも配慮した新たな価値を創造できる技術者の育成に努める。

情報通信工学科では、人と人とをつなぐコミュニケーション能力と技術を身につけ、現代のグローバルな情報化社会で活躍できる正しい倫理観をもつ人材を育成する。特に、社会におけるさまざまな物やシステムの情報制御技術、対人サービスのための知能ロボット、クラウドコンピューティングにおけるビッグデータ解析などのデータサイエンス、情報セキュリティおよび高速通信技術といった、時代に即した技術イノベーションの基礎を学ぶ。

ソフトウェアサイエンス学科では、現代社会のインフラストラクチャとして、生活に不可欠なコンピュータやネットワークを支えるソフトウェア技術を習得した高度情報社会を支える技術者を育成する。教育目標は、ソフトウェア技術およびこれによって実現している身近な携帯電話、ゲーム機、デジカメ、ビデオ、家電製品、自動車などのさまざまな技術を、総合的に修得し、健全な技術として発展させられる見識を持った全人的技術者を育成することにある。

マネジメントサイエンス学科では、教育目標として科学的なアプローチを中心に激変する企業経営に対応できる人材育成を目指している。さらに実践的な経営者・技術者として必要な倫理観を備えた人材の育成、問題発見能力、問題解決能力、評価能力を備える人材の育成を目指している。また社会が求める新たな価値創造のできる実践的な経営者・管理者・技術者の知識が獲得できるように教育プロセスの改善を教員が推進する。

エンジニアリングデザイン学科は、ものづくりに欠かせない従来技術分野の修得はもちろんのこと、グローバルに展開する産業界のニーズに適合しうる人材養成を目的とする学科で、「機械工学」分野を中心として図面の読める経営者や経営に参画できる技術者の養成を目的とする。具体的には、ものづくりに不可欠な設計・製図・実験などの修得だけではなく、デジタル生産技術・人間工学・工業デザインなどを取り込むことにより、技術者、経営者としてグローバルに活躍できる人材を輩出する。

情報通信工学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科は、数学教員養成プログラムを持つ。１年次から数学を専門として学び、数学の深い知識と幅広い教授法を身につけた数学教員を養成する。

工学部　ディプロマ・ポリシー

工学部では、人材養成等教育研究に係る目的を達成させるために、次のような能力を身に付けさせます。

① 時代をリードする「自然と共生できる工学」「人を思いやる工学」の実践を通して、社会人として十分な品格を持った豊かな人間性

② 工学に関する専門の知識や技術のほか、コミュニケーション力、問題発見・解決能力

各学科では、下記のような能力を身に着け、かつ所定の単位を修得した学生は卒業が認定されます。

［**情報通信工学科**］

① 人と人のコミュニケーションを基盤としたより良い社会を築くため、情報・通信技術者としての幅広い素養と倫理を身につける。【態度・志向性】

② グローバルな社会で活躍できる工学技術者として、技術的な議論ができる英語力と数理能力を身につける。【知識・理解】

③ 問題の発見能力、分析能力、解決能力、表現能力等を養い、深い洞察と考察ができる能力を身につける。【汎用的技能】

④ 結果を体系的にまとめあげ、発表することでプレゼンテーション能力を高め、かつ技術者として論理的に討議できるコミュニケーション能力を身につける。【統合的な学習経験と創造的思考力】

［**ソフトウェアサイエンス学科**］

① 専門科目の履修を通して、コンピュータ・ソフトウェア技術、モバイルシステム・ネットワーク技術、ゲーム・コンテンツ関連技術、情報・数学教員のなかから１つ以上の専門分野に対する深い理解と高い技能を身につける。【知識・理解】

② ユニバーシティ・スタンダード科目の履修を通して、学際的・国際的な幅広い社会的教養を修得し、更なる学問を追及する姿勢を身につける。【汎用的技能】

③ 自らの考えを正確かつ分かりやすく他者に伝えるとともに、他者の考えを正確に理解するように努め、技術者・教育者として論理的に討議や助言ができるコミュニケーション能力を身につける。【態度・志向性】

④ 卒業研究では、その結果を研究論文として体系的にまとめあげ、発表することでプレゼンテーション能力を高め、かつ技術者・教育者としての学修経験によって、専門分野における問題を発見し解決する力および新しい価値を創造する力を身につける。【統合的な学習経験と創造的思考力】

［**マネジメントサイエンス学科**］

① 仕事に必要な学修を自主的に行い得る基礎的学習能力を身につける。【知識・理解】
② 世界の主な国々の文化の相違を理解することで多面的に物事を考える能力を持ち、わが国の社会人としての品格（知識・教養・感性・判断力など）を身につける。【態度・志向性】
③ 科学や技術が社会に及ぼす影響と、技術者・経営者・教員が社会に対して負っている責任と倫理を理解でき、科学や技術を的確に応用して問題解決に対処する能力を身につける。【統合的な学習経験と創造的思考力】
④ 計画的状況にも非予測的状況にもチームワークやリーダーシップをとることができ、論理性をもとにした双方向的コミュニケーション能力をもって対処する能力を身につける。【汎用的技能】

［**エンジニアリングデザイン学科**］

① 自然科学や工学に関する基礎知識を持ち、将来技術者や経営者として他者と協創・協働できる力および企画力、マネジメント力を具備している。【知識・汎用的技能】
② 統計・デザインに関する専門知識を修得し、これからのものづくりに精通した人材として新たな課題の解決に貢献することができる。【統合的な学習経験と創造的思考力】
③ 統計・デザインに関する様々な情報を収集・分析・理解し、自らの考えを構築・発信することができる。【汎用的技能】
④ グローバル時代において、高い倫理観を持ち、日本国内ならびに海外において協業できる素地を会得している。【態度・志向性】

［**数学教員養成プログラム**］

① 教員に必要な能力開発を自主的に行い得る基礎的学習能力を身につける。【知識・理解】
② 世界の主な国々の文化の相違を理解することで多面的に物事を考える能力を持ち、教員としての品格（知識・教養・感性・判断力など）を身につける。【態度・志向性】
③ 教員が社会に対して負っている責任と倫理を理解でき、教育現場での問題に対処する能力を身につける。【統合的な学習経験と創造的思考力】
④ 慈愛と論理性をもとにした双方向的コミュニケーション能力をもって、生徒に対処する能力を身につける。【汎用的技能】
⑤ 専門科目の学びを教育現場に応用する能力を身につける。【知識・理解】

工学部 情報通信工学科

1 カリキュラム・ポリシー

① 数学、物理、プログラミングにおいて徹底した基礎教育を行う。【知識・理解】
② 組み込み技術は、情報通信の基盤を支える必要不可欠な技術であるとの判断から、関連する『プログラミングⅠ』『プログラミングⅡ』『電気回路入門』『センサ工学』『インテリジェントデバイス入門』の講義科目と『情報工学実験』『インテリジェントデバイス実験Ⅰ』の実験科目を必修とする。また、選択実験科目として『インテリジェントデバイス実験Ⅱ』『インテリジェントデバイス実験Ⅲ』を設置し、高度な組み込み技術の修得も可能にする。【知識・理解】
③ 将来の就職先ならびに専門性を考慮し、専門領域は、「情報・通信」と「人工知能・ロボティクス」との2領域で構成する。【知識・理解】
④ データサイエンス技術を確率・統計の基礎から身につけることができるように、『データサイエンス入門』『データサイエンスⅠ』『データサイエンスⅡ』を設置する。【知識・理解】
⑤ 大学院での研究に繋がる専門的な内容が修得できるように、発展的な専門科目として『人工知能』『光通信工学』という2つの4単位科目を4年次前期に設置する。【統合的な学習経験と創造的な思考力】

2 カリキュラムの特徴

●人工知能・ロボティクス、高速通信技術など、情報通信分野の幅広い技術を学ぶカリキュラムです。数学・物理などの工学の基礎科目を学んだ後、実験・演習を基盤として組み込み技術に関する基礎知識とスキルを身につけることができます。

1 情報通信工学科必修科目

授業科目名	単位
チャンピオンシップ	1
代数学Ⅰ	2
解析学Ⅰ	2
コミュニケーション科学の世界	2
プログラミングⅠ	2
電気回路入門	2
プログラミングⅡ	2

授業科目名	単位
センサ工学	2
デジタルシチズンシップ	2
インテリジェントデバイス入門	2
情報工学実験	1
インテリジェントデバイス実験Ⅰ	1
卒業プロジェクト	4

2 ユニバーシティ・スタンダード科目言語表現科目群　必修選択科目
（以下の科目から1科目以上）

授業科目名	単　位
「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」	各科目4単位

※p.54参照

3 卒業要件

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み 7 単位以上を修得していること

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各 4 単位以上、言語表現科目群の必修選択科目（「ELF101」～「ELF402」）から 4 単位以上、学際科目群から 2 単位以上を修得していること

（6）情報通信工学科専門科目より必修科目25単位を含み、62単位以上を修得していること（ただし、情報通信工学科専門科目のうちの10単位は工学部他学科の専門科目またはUS教職関連科目群の「教育実習」「教職実践演習」で振り替えることが可能である）

4 卒業までの単位配分

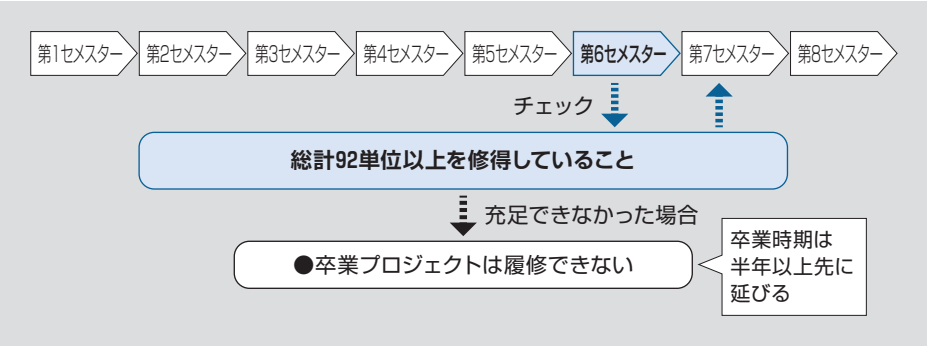
●情報通信工学科では、卒業までに、ユニバーシティ・スタンダード科目群、学科科目、他学部・他学科開講科目など数多くの開講科目から、卒業要件および履修モデルに沿ってバランスよく学修できるカリキュラムが構成されています。

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群	7 単位以上 （必修科目 7 単位を含む）
	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	18単位以上 （人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各 4 単位以上、言語表現科目群から必修選択科目 4 単位を含み 4 単位以上、学際科目群から 2 単位以上）
情報通信工学科専門科目		62単位以上 （必修科目25単位を含む。10単位は工学部他学科の科目または「教育実習」「教職実践演習」で振り替え可）
自由選択科目（任意）	他学部他学科開講科目	
	他大学との単位互換科目	
卒業に必要な単位数		124単位

●また、学科科目群には教育職員免許状取得に必要な科目の一部が配置されています。それらの科目を履修することによって、学科卒業要件となる単位と同時に、教育職員免許状取得に必要な単位も修得できるようになっています。

5 卒業プロジェクト着手条件

● 情報通信工学科では、第６セメスター（３年次）終了時に卒業プロジェクト着手条件のチェックが行われます。第６セメスター終了時に92単位以上修得していないと、「卒業プロジェクト」（必修科目）が履修できません。



6 教育職員免許状

▶取得できる教育職員免許状一覧
参照『教職課程受講ガイド』p.5

種　　類	中 学 校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（工業）

教育職員免許状については、「教職課程受講ガイド」を参照してください。

7 工学部 情報通信工学科　教育課程表

凡例　開講期　(集中)：集中開講
履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　○：他学科受講可　△：工学部生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
HIST 102	歴史（世界）	2	100	春										●						
HIST 103	歴史（日本）	2	100	秋										●						
INFO 101	情報科学入門	2	100	春					●			●								●
CHEM 103	化学入門	2	100	春					●											
MATH 107	数学入門	2	100	春							●									
MATH 101	解析学入門	2	100	春秋							●									
MATH 110	代数学入門	2	100	春秋							●									
PHYS 101	物理学入門	2	100	春秋					●											
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春						●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春						●										
JPN 101	日本語表現 101	2	100	春						●										
BRSC 101	ミクロ脳科学	2	100	秋			2年次より履修可				●	●	●							
BRSC 100	マクロ脳科学	2	100	春			2年次より履修可		●											
INFO 105	データ処理	2	100	春					●			●								
INFO 107	ネットワーク入門	2	100	春					●			●								
ESP 100	環境科学	2	100	秋															●	
SCED 201	エネルギー科学	2	100	春					●											
ENG 101	ELF 101	4	200	秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																				
ENGR 104	チャンピオンシップ	1	50	春	●									●		●	●			
ENGR 100	基礎工学演習	2	100	春							●		●							●
MATH 109	代数学 I	2	100	秋春	●				●		●		●							
MATH 100	解析学 I	2	100	秋春	●				●		●		●							
MATH 105	数学演習 I	2	100	春		△			●		●		●							
MATH 106	数学演習 II	2	100	秋		△			●		●		●							
PHYS 100	物理学 I	2	100	秋春		○			●		●		●							
SCED 101	コミュニケーション科学の世界	2	100	春	●	Ⓛ			●	●						●				
INFO 108	プログラミング I	2	100	秋春	●							●	●							
INFO 102	情報システム入門	2	100	秋		○					●			●						
ENGR 105	電気回路入門	2	100	秋	●				●			●								
ENGR 108	ロボットプロジェクト A	1	100	秋										●		●	●			
ENGR 107	ロボット入門	1	50	秋							●	●	●							
INFO 109	プログラミング II	2	100	春秋	●		2年次より履修可					●	●							
INFO 106	デジタルシチズンシップ	2	100	秋	●		2年次より履修可	●				●						●		
MATH 201	解析学 II	2	100	春秋					●		●		●							
ENGR 202	科学技術英語	2	100	春				●		●						●				
EEE 202	センサ工学	2	100	春	●						●		●							
ENGR 205	交流回路	2	100	春					●			●								
STAT 200	確率統計学 I	2	100	春					●		●		●							
ENGR 204	工学倫理	1	50	秋				●				●						●		
ENGR 211	熱と流れの力学	2	100	秋		○					●		●							
ENGR 201	インテリジェントデバイス入門	2	100	秋	●							●	●							
ENGR 206	情報工学実験	1	150	秋	●								●	●		●				
PHYS 200	基礎物理学実験	2	200	春					●		●		●							

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
INFO 207	通信システム	2	100	秋		○		●				●								
MATH 205	フーリエ解析	2	100	秋					●		●		●							
INFO 208	データサイエンス入門	2	100	秋		○					●	●		●						
SUBP 206	工業科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 207	工業科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
ENG 219	サイエンスイングリッシュ	4	200	秋				●		●						●				
SUBP 217	数学科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 218	数学科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
MATH 203	微分方程式Ⅰ	2	100	春					●		●		●							
MATH 206	複素解析Ⅰ	2	100	秋					●		●		●							
STAT 201	確率統計学Ⅱ	2	100	秋					●		●		●							
MATH 204	微分方程式Ⅱ	2	100	秋					●		●		●							
ENGR 210	電磁気学	2	100	秋		△					●		●							
MATH 202	幾何学Ⅰ	2	100	秋					●		●		●							
ENGR 200	インターフェース工学	2	100	春		○					●		●							
ENGR 213	ロボットプロジェクトB	1	100	春										●		●	●			
CARE 100	キャリアデザイン	2	100	秋			3年次より履修可								●					●
INFO 307	数値解析プログラミング	2	100	春							●	●		●						
ENGR 306	コミュニケーションロボット工学	2	100	春		○				●			●	●						
COSC 301	ブレインサイエンス	2	100	春		○			●				●							
ENGR 300	インテリジェントデバイス実験Ⅰ	1	150	春	●								●	●		●				
ENGR 311	通信工学	2	100	春					●				●							
ENGR 305	応用電子物性	2	100	春		△							●	●						
INFO 310	データサイエンスⅠ	2	100	春		△					●	●		●						
ENGR 302	エネルギー工学	2	100	春		△							●							
ENGR 304	応用工学演習	1	50	春							●		●							
COPR 300	インターンシップⅠ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 304	インターンシップⅡ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 308	インターンシップⅢ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 312	インターンシップⅣ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
ENGR 316	ロボットプログラミング	2	100	秋								●	●							
ENGR 301	インテリジェントデバイス実験Ⅱ	2	200	秋									●	●		●				
INFO 306	情報理論	2	100	秋		△			●		●		●							
INFO 311	データサイエンスⅡ	2	100	秋		△					●	●		●						
ENGR 307	スマートエネルギー	2	100	秋							●		●							
ENGR 315	レーダ工学	2	100	秋							●		●							
ENGR 308	生体情報工学	2	100	秋		△			●		●		●							
SUBP 309	職業指導（工業）Ⅰ	2	100	春						●					●				●	
SUBP 310	職業指導（工業）Ⅱ	2	100	秋						●					●				●	
MATH 302	複素解析Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
MATH 300	代数学Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
SUBP 311	数学科指導法Ⅲ	2	100	春						●				●						
SUBP 312	数学科指導法Ⅳ	2	100	秋						●				●						
COSC 400	人工知能	4	200	春					●				●							
ENGR 400	インテリジェントデバイス実験Ⅲ	2	200	春									●	●		●				
MASC 405	卒業プロジェクト	4	—	春秋(集中)	●								●	●			●			
ENGR 402	研究室セミナー	2	100	春(集中)										●		●				
EEE 400	量子セキュリティ	2	100	秋								●		●						
INFO 402	ビッグデータ解析	2	100	秋					●		●		●							
MATH 400	幾何学Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
EEE 401	光通信工学	4	200	春							●			●						

【履修にあたって】

（1）「卒業プロジェクト」は、1セメスター目に0単位、2セメスター目に4単位として履修登録されます。

工学部 ソフトウェアサイエンス学科

1 カリキュラム・ポリシー

① コンピュータ・ソフトウェア技術、モバイルシステム・ネットワーク技術、ゲーム・コンテンツ関連技術、情報・数学教員の４分野の専門知識および技能を体系的に修得するための専門科目を設置する。そして自己研鑽を積み重ね、スキルアップを継続する力を養成することを目的として、資格取得を支援する活動を行う。

② プログラミングは本学科の教育の根底をなす理論、概念、技術であるため、少人数クラスによる徹底教育を行う。

③ 最先端技術、市場動向、会社における企業理念などについて学ぶために企業講義（株式会社日立製作所）を開く。

④ ゲーム・コンテンツ分野では、プログラミング技法などの技術的側面を中心としながら、コンテンツ、企画開発に関する内容も扱う。

⑤ ３年次までに修得した専門知識および技能を活用することによって、専門分野における問題を発見・解決し、その成果を論理的かつ簡潔に伝達する能力を養成するために、卒業研究を必修科目として設置する。

2 カリキュラムの特徴

●プログラミングやネットワークの基礎を身につけ、コンピュータ・ソフトウェア技術、モバイルシステム・ネットワーク技術、ゲーム・コンテンツ関連技術、および情報・数学教員を専門とするカリキュラムです。このカリキュラムでは、これらいくつかの専門分野を複合的に学びます。

1 ソフトウェアサイエンス学科必修科目

授業科目名	単位
プログラミングⅠ	2
代数学Ⅰ	2
解析学Ⅰ	2
デジタルシチズンシップ	2
プログラミングⅡ	2

授業科目名	単位
ソフトウェアサイエンス実験	2
ネットワーク技術Ⅰ	2
キャリアマネジメント（US）	2
卒業研究	4

2 ユニバーシティ・スタンダード科目言語表現科目群　必修選択科目
（以下の科目から１科目以上）

授業科目名	単　位
「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」	各科目４単位

※p.54参照

3 卒業要件

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上あること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み 7 単位以上を修得していること

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各 4 単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目（ELF101 ～ ELF402）から 4 単位以上、学際科目群から必修科目 2 単位を修得し、18単位以上を修得していること

（6）ソフトウェアサイエンス学科専門科目より必修科目18単位を含み、62単位以上を修得していること（ただし、上記62単位には、US教職関連科目群の「教育実習」「教職実践演習」「教職演習A」を充当することができる）

4 卒業までの単位配分

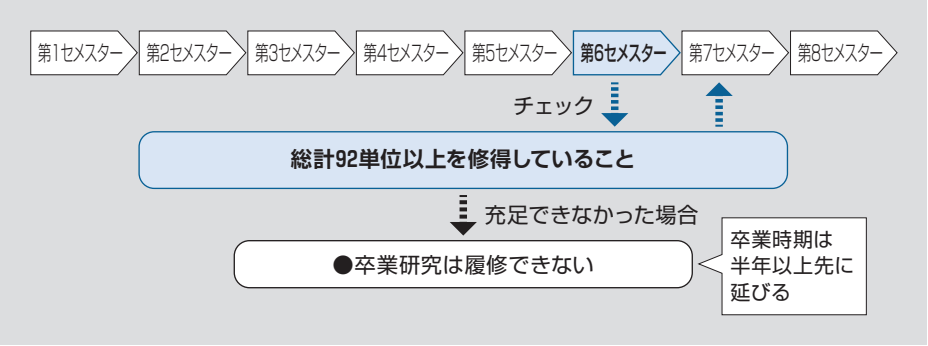
●ソフトウェアサイエンス学科では、卒業までに、ユニバーシティ・スタンダード科目群、学科科目、他学部・他学科開講科目など数多くの開講科目から、卒業要件および履修モデルに沿ってバランスよく学修できるカリキュラムが構成されています。

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群	7 単位以上 （必修科目 7 単位を含む）
	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	18単位以上 （人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各 4 単位以上、言語表現科目群から必修選択科目 4 単位を含み 4 単位以上、学際科目群から必修科目 2 単位を含み 2 単位以上）
ソフトウェアサイエンス学科専門科目		62単位以上 （必修科目18単位を含む） ただし、US教職関連科目群の「教育実習」「教職実践演習」「教職演習A」を充当することができる。
自由選択科目（任意）	他学部他学科開講科目	
	他大学との単位互換科目	
卒業に必要な単位数		124単位

●また、学科科目群には教育職員免許状取得に必要な科目の一部が配置されています。それらの科目を履修することによって、学科卒業要件となる単位と同時に、教育職員免許状取得に必要な単位も修得できるようになっています。

5 卒業研究着手条件

●ソフトウェアサイエンス学科において、第６セメスター（３年次）終了時に以下の卒業研究着手条件のチェックが行われます。



6 教育職員免許状

▶取得できる教育職員免許状一覧
参照『教職課程受講ガイド』p.5

種　　類	中 学 校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（情報）

数学教員養成プログラムについては、「教職課程受講ガイド」を参照してください。

7 資　格

▶基本情報技術者
参照『履修ガイド』p.241

基本情報技術者（午前試験免除）

8 工学部 ソフトウェアサイエンス学科　教育課程表

凡例
開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可　△：工学部生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
HIST 102	歴史（世界）	2	100	春										●						
HIST 103	歴史（日本）	2	100	秋										●						
B A 101	マーケティング	2	100	春			3年次より履修可		●											
INFO 101	情報科学入門	2	100	春					●			●								●
INFO 107	ネットワーク入門	2	100	春			2年次より履修可		●			●								
CHEM 103	化学入門	2	100	春					●											
MATH 107	数学入門	2	100	春							●									
MATH 101	解析学入門	2	100	春秋							●									
MATH 110	代数学入門	2	100	春秋							●									
PHYS 101	物理学入門	2	100	秋					●											
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春						●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春						●										
BRSC 101	ミクロ脳科学	2	100	秋			2年次より履修可				●	●	●							
BRSC 100	マクロ脳科学	2	100	春			2年次より履修可		●											
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100	春	●										●					●
ENG 101	ELF 101	4	200	秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
JPN 101	日本語表現 101	2	100	春						●										
学科専門科目																				
ENGR 102	工学基礎A	2	100	春							●		●							●
MATH 104	数学演習	2	100	秋					●		●		●							
PHYS 100	物理学 I	2	100	秋		○			●		●		●							
ENGR 103	工学基礎B	2	100	秋							●		●							●
INFO 108	プログラミング I	2	100	春秋	●							●	●							
MATH 109	代数学 I	2	100	秋春	●				●		●		●							
MATH 100	解析学 I	2	100	秋春	●				●		●		●							
INFO 106	デジタルシチズンシップ	2	100	春	●	Ⓛ		●				●						●		
INFO 109	プログラミング II	2	100	秋春	●							●	●							
MATH 111	離散数学	2	100	秋							●	●	●							
MATH 201	解析学 II	2	100	春秋					●		●		●							
MASC 202	経営情報分析	2	100	秋		○						●					●			
INFO 206	情報処理技術	2	100	春		△			●			●		●						
ENGR 214	論理回路	2	100	春		△			●			●	●							
EEE 200	回路基礎	2	100	秋		△			●		●		●							
MATH 203	微分方程式 I	2	100	春					●		●		●							
STAT 200	確率統計学 I	2	100	春					●		●		●							
ENGR 203	工学基礎C	2	100	春							●		●							●
MATH 205	フーリエ解析	2	100	春					●		●		●							
EEE 201	シグナルプロセッシング	2	100	春					●				●	●						
INFO 209	ネットワーク技術 I	2	100	秋	●	△						●		●						
INFO 201	ゲーム企画開発論	2	100	秋		○		●	●											

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
INFO 200	アルゴリズムとデータ構造	2	100	秋		△			●			●	●							
INFO 203	コンピュータグラフィックス	2	100	春		△Ⓛ						●								
INFO 205	情報システム	2	100	春							●			●						
EEE 203	データ通信	2	100	秋		△			●				●							
MASC 207	ビジネスゲーム	2	100	春										●		●	●			
MATH 204	微分方程式Ⅱ	2	100	秋					●		●		●							
STAT 201	確率統計学Ⅱ	2	100	秋					●		●		●							
MATH 202	幾何学Ⅰ	2	100	秋					●		●		●							
SUBP 217	数学科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 213	情報科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 218	数学科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
SUBP 214	情報科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
MATH 206	複素解析Ⅰ	2	100	秋					●		●		●							
INFO 204	システムプログラミング	2	100	秋								●								
INFO 202	コンピュータアーキテクチャ	2	100	秋					●			●								
INFO 302	オペレーティングシステム	2	100	春		△			●			●	●							
INFO 319	ユーザインタフェースデザイン	2	100	春		△			●			●								
INFO 314	ネットワークプログラミング	2	100	春					●			●								
INFO 312	データベース	2	100	春					●					●						
INFO 313	ネットワーク技術Ⅱ	2	100	春		△						●		●						
INFO 308	セキュアプログラミング	2	100	秋		△						●	●							
INFO 304	情報セキュリティマネジメント	2	100	秋		△			●			●		●						
MATH 300	代数学Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
B A 304	企業講義	2	100	春					●										●	
EEE 302	モバイルシステム総合研究	2	100	秋(集中)		△			●			●								
INFO 301	イメージプロセッシング	2	100	秋		△						●		●						
INFO 303	ゲームアニメーションプログラミング	2	100	秋		△			●			●								
INFO 318	マルチメディア処理	2	100	秋		△			●			●								
EEE 301	モバイルシステムサービス	2	100	春(集中)		△			●			●								
INFO 316	プロジェクト研究A	2	100	春					●					●	●					
INFO 317	プロジェクト研究B	2	100	秋					●					●	●					
ENGR 309	ソフトウェアサイエンス実験	2	300	秋	●				●				●							
COPR 301	インターンシップⅠ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 305	インターンシップⅡ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 309	インターンシップⅢ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 313	インターンシップⅣ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
INFO 300	アルゴリズム応用	2	100	秋		△			●			●	●							
MATH 302	複素解析Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
SUBP 311	数学科指導法Ⅲ	2	100	春						●				●						
SUBP 312	数学科指導法Ⅳ	2	100	秋						●				●						
EEE 300	情報セキュリティ	2	100	春		△						●		●				●		
INFO 309	ソフトウェア工学	2	100	秋								●		●						
INFO 307	数値解析プログラミング	2	100	春			4年次より履修可				●	●		●						
INFO 306	情報理論	2	100	春		△	4年次より履修可		●		●		●							
MATH 400	幾何学Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
ENGR 407	輪講A	2	100	春(集中)					●	●			●							
ENGR 408	輪講B	2	100	秋(集中)					●	●			●							
ENGR 405	卒業研究	4	—	春秋(集中)	●									●	●					●
INFO 403	ブレインソフトウェア	2	100	秋		○			●					●						

【履修にあたって】

（1）「卒業研究」は、1セメスター目に0単位、2セメスター目に4単位として履修登録されます。

工学部 マネジメントサイエンス学科

1 カリキュラム・ポリシー

① 1年次において言語能力（日本語、英語）と論理的思考（数学）を徹底的に育成し、必要な学修や知識の習得を自主的に行う姿勢を身につける。
② 2年次では上記に加えて、専門科目のなかで分析能力とプロジェクト運営能力を育成することを通じて、最後までやり遂げる力とコミュニケーション能力の基礎を形成する。
③ 3・4年次において専門科目をさらに発展させ、基礎力をどのように応用するかといった真の実践能力を育成していく。
④ ビジネスパーソンとして必要とされる基礎力を高度に育成することができた人材を早期に発見し、特別に海外語学研修や企業への参画を経験させ、より成熟した形で世の中へ送り出すプログラムを用意する。

2 カリキュラムの特徴

●科学の視点で経営企画力を身につけ、商品作りから企業経営のマネジメントのプロを目指します。「人・金・情報・環境・サービス」をキーワードに、戦略的なマネジメントを、科学的・工学的な視点から研究します。
●品質・生産・原価という商品生産の3要素はもちろん、商品・サービス・価格まで研究対象を広げ、効率的なマネジメントの理論・手法を修得します。

1 マネジメントサイエンス学科必修科目

授業科目名	単位
キャリアデザイン	2
マネジメントサイエンスセミナーA	2
経営情報処理	2
代数学Ⅰ	2
解析学Ⅰ	2

授業科目名	単位
デジタルシチズンシップ	2
ビジネスコンテンツ	2
マネジメント事例研究Ⅰ	2
マネジメント事例研究Ⅱ	2

2 ユニバーシティ・スタンダード科目 言語表現科目群　必修選択科目
（以下の科目から1科目以上）

授業科目名	単　位
「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」	各科目4単位

※p.54参照

3 卒業要件

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上あること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み 7 単位以上を修得していること

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各 4 単位以上、言語表現科目群の、必修選択科目（ELF101 ～ ELF402）から 4 単位以上、学際科目から 2 単位以上を修得していること

（6）マネジメントサイエンス学科専門科目の必修科目18単位を含み、54単位以上を修得していること

4 卒業までの単位配分

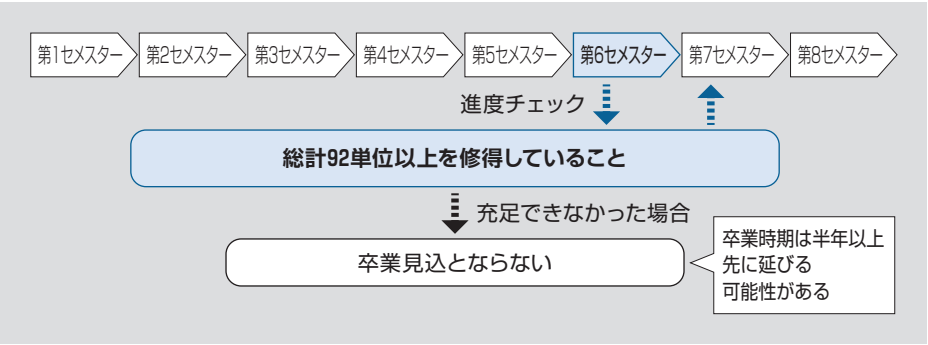
●マネジメントサイエンス学科では、卒業までにユニバーシティ・スタンダード科目、学科科目、他学部・他学科開講科目など数多くの開講科目から、バランスよく学修できるカリキュラムが構成されています。

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	7 単位以上 （必修科目 7 単位を含む）
	人文科学科目群	18単位以上 （人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各 4 単位以上、言語表現科目群から必修選択科目 4 単位を含み 4 単位以上、学際科目群から 2 単位以上）
	社会科学科目群	
	自然科学科目群	
	学際科目群	
	言語表現科目群	
マネジメントサイエンス学科専門科目		54単位以上 （必修科目18単位を含む）
自由選択科目（任意）	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他学部・他学科開講科目	
	他大学との単位互換科目	
卒業に必要な単位数		124単位

●また、学科科目には教育職員免許状取得に必要な科目の一部が配置されています。それらの科目を履修することによって、学科卒業要件となる単位と同時に教育職員免許状取得に必要な単位も修得できるようになっています。

5 進度チェック

■第 6 セメスター（3 年次）終了時における進度チェック



●進級に関する要件はマネジメントサイエンス学科にはありません。ただし、以下のことに注意してください。

●第 7 セメスター（4 年次）以降、総計92単位以上を修得するまで卒業見込とならず、卒業が半年以上延びる可能性があります。したがって第 7 セメスター（4 年次）開始時に総計92単位以上を修得していない場合、卒業見込とならないため、卒業見込証明書（学士）の発行申請ができません。

6 教育職員免許状

▶取得できる教育職員免許状一覧
参照『教職課程受講ガイド』p.5

種　類	中 学 校教諭 1 種免許状（数学） 高等学校教諭 1 種免許状（数学）

「教職課程受講ガイド」を参照してください。

7 工学部 マネジメントサイエンス学科　教育課程表

凡例　開講期　(集中)：集中開講
履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　○：他学科受講可　△：工学部生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
HIST 102	歴史（世界）	2	100	春										●						
HIST 103	歴史（日本）	2	100	秋										●						
B A 100	経営学	2	100	春					●											
ACCT 100	会計学	2	100	秋					●											
INFO 101	情報科学入門	2	100	秋					●			●								●
CHEM 103	化学入門	2	100	春					●											
MATH 107	数学入門	2	100	春							●									
MATH 101	解析学入門	2	100	春秋							●									
MATH 110	代数学入門	2	100	春秋							●									
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春						●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春						●										
ENG 101	ELF 101	4	200	秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
JPN 101	日本語表現 101	2	100	春						●										
学科専門科目																				
INFO 108	プログラミング I	2	100	秋								●	●							
CARE 100	キャリアデザイン	2	100	秋	●										●					●
MATH 109	代数学 I	2	100	秋春	●				●		●		●							
MATH 100	解析学 I	2	100	秋春	●				●		●		●							
MATH 105	数学演習 I	2	100	春		△			●		●		●							
MATH 106	数学演習 II	2	100	秋		△			●		●		●							
PHYS 100	物理学 I	2	100	春		○	2年次より履修可		●		●		●							
INFO 106	デジタルシチズンシップ	2	100	春	●		2年次より履修可	●				●						●		
INFO 109	プログラミング II	2	100	春			2年次より履修可					●	●							
MATH 201	解析学 II	2	100	春秋					●		●		●							
MASC 208	プロジェクトマネジメント	2	100	秋		△											●	●	●	
MASC 204	消費生活科学	2	100	秋		△Ⓛ								●				●	●	
MATH 203	微分方程式 I	2	100	春					●		●		●							
STAT 200	確率統計学 I	2	100	春					●		●		●							
MKTG 203	マーケティング論	2	100	春						●			●		●					
MASC 201	経営情報処理	2	100	春	●						●		●	●						
MASC 205	データサイエンス基礎演習	2	100	春							●		●	●						
ACCT 200	原価計算	2	100	秋		△					●									
MASC 206	人間工学	2	100	秋		△								●						
STAT 201	確率統計学 II	2	100	秋					●		●		●							
MATH 202	幾何学 I	2	100	秋					●		●		●							
MATH 204	微分方程式 II	2	100	秋					●		●		●							
MATH 206	複素解析 I	2	100	秋					●		●		●							
SUBP 217	数学科指導法 I	2	100	春						●				●						
SUBP 218	数学科指導法 II	2	100	秋						●				●						

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
INFO 307	数値解析プログラミング	2	100	秋			3年次より履修可				●	●		●						
MASC 307	チームマネジメント	2	100	春						●						●	●			
MASC 306	生産管理	2	100	春		△			●		●	●								
STAT 300	統計的方法	2	100	春		△					●	●		●						
MASC 305	サービスマネジメント	2	100	春						●			●		●					
MASC 304	サービスイノベーション	2	100	秋						●			●		●					
MASC 309	ビジネスコンテンツ	2	100	春	●									●		●	●			
CARE 303	キャリアとコミュニケーション	2	100	春						●					●					●
MATH 300	代数学Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
MASC 303	コストマネジメント	2	100	春		○					●			●						
MATH 303	ベクトル解析	2	100	春					●		●		●							
MASC 312	マネジメントサイエンスセミナー A	2	100	春(集中)	●					●				●	●					
ENG 310	外書探究	2	100	秋(集中)						●										
MASC 314	マネジメント事例研究Ⅰ	2	100	秋	●									●						
MASC 313	マネジメントサイエンスセミナー B	2	100	秋(集中)							●			●	●					
MATH 302	複素解析Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
MATH 301	代数学Ⅲ	2	100	秋					●		●		●							
ACCT 300	管理会計	2	100	秋		△								●						
MASC 310	品質管理	2	100	秋		△												●	●	
COPR 302	インターンシップⅠ	1	100	秋(集中)						●				●		●				
COPR 306	インターンシップⅡ	1	100	秋(集中)						●				●		●				
COPR 310	インターンシップⅢ	1	100	秋(集中)						●				●		●				
MASC 302	経済性分析	2	100	秋		△						●	●							
MASC 300	オペレーションズリサーチ	2	100	秋		△								●						
MASC 301	経営戦略マネジメント	2	100	秋		△		●				●					●			
SUBP 311	数学科指導法Ⅲ	2	100	春						●				●						
SUBP 312	数学科指導法Ⅳ	2	100	秋						●				●						
ECON 403	ファイナンス	2	100	春		△						●	●					●		
ECON 401	計量経済学	2	100	春		△			●		●		●							
MASC 403	情報分析論	2	100	秋		△					●	●	●							
MASC 402	社会モデル	2	100	秋		△		●			●		●							
MATH 400	幾何学Ⅱ	2	100	春					●		●		●							
MASC 315	ユニバーサルデザイン	2	100	春		△	4年次より履修可							●						
MASC 410	マネジメント事例研究Ⅱ	2	100	春秋	●						●			●						
MATH 401	幾何学Ⅲ	2	100	秋					●		●		●							
MASC 404	製品開発実践論	2	100	秋		△				●			●	●						
MASC 400	意思決定論	2	100	春									●	●						
MASC 401	最適化システム	2	100	秋							●		●	●						
MASC 406	卒業プロジェクト	4	―	春秋(集中)										●	●					●

【履修にあたって】

（1）「卒業プロジェクト」は、1セメスター目に0単位、2セメスター目に4単位として履修登録されます。

工学部 エンジニアリングデザイン学科

1 カリキュラム・ポリシー

① 工学部における設計・デザインの専門教育に必要な数学・物理・化学・英語・日本語の基礎を学び、十分な基礎学力を身に着ける。
② デジタルなものづくりは21世紀社会における技術者に必要な知識であるとの判断から、『デジタルファブリケーション入門』を必修とし、『デジタルファブリケーション』、『デジタルファブリケーション実習』を選択とする。
③ 将来の就職先ならびに専門性を考慮し、専門領域は「商品デザインプログラム」、「デジタルものづくりプログラム」、「ロボットプログラム」で構成する。
④ 専門分野における問題を発見・解決し、その成果を論理的にまとめ、プレゼンテーションする能力を養成するために、卒業研究を必修科目として設置する。

2 カリキュラムの特徴

●従来からある設計・製図・実験などの修得だけではなく、デジタル生産技術・工業デザインなどを取り込むことにより、21世紀型ものづくりに対応しています。
●「ファブラボ」「商品開発・デザイン」「バイオミメティクス・メカロボット」といった領域を用意し、各領域に共通の「見える工学・触れる工学」を実践したうえで、これを踏み台にした専門分野を体系的に学びます。

1 エンジニアリングデザイン学科必修科目

授業科目名	単位
導入ゼミ	2
キャリアデザイン	2
代数学Ⅰ	2
解析学Ⅰ	2
ファブラボ実験	1
スケッチと製図	1
材料力学	2

授業科目名	単位
設計製図	1
デジタルシチズンシップ	2
デジタルファブリケーション入門	2
エンジニアリングデザインセミナーⅠ	2
エンジニアリングデザインセミナーⅡ	2
卒業研究	4

2 ユニバーシティ・スタンダード科目言語表現科目群　必修選択科目
（以下の科目から１科目以上）

授業科目名	単　位
「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」	各科目４単位

※p.54参照

3 卒業要件

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上あること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み７単位以上を修得していること

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各４単位以上、言語表現科目群の、必修選択科目（「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」）から４単位を含み４単位以上、学際科目群から２単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること

（6）エンジニアリングデザイン学科専門科目のうち、必修科目25単位を含み、62単位以上を修得していること

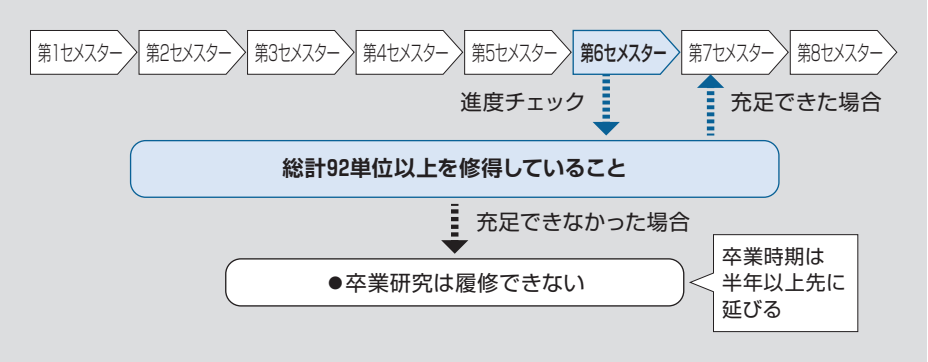
4 卒業までの単位配分

科　目　群	科　目　分　類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群	７単位以上 （必修科目７単位を含む）
	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	18単位以上 （人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各４単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目（「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」）から４単位を含み４単位以上、学際科目群から２単位以上）
エンジニアリングデザイン学科専門科目		62単位以上 （必修科目25単位を含む）
自由選択科目（任意）	他学部他学科開講科目	
	他大学との単位互換科目	
卒業に必要な単位数		124単位

5 卒業研究着手条件

●エンジニアリングデザイン学科において、第６セメスター（３年次）終了時に以下の卒業研究着手条件のチェックが行われます。

■第６セメスター（３年次）終了時における卒業研究着手条件の進度チェック



6 工学部 エンジニアリングデザイン学科　教育課程表

凡例　開講期　(集中)：集中開講
履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　○：他学科受講可　△：工学部生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
HIST 102	歴史（世界）	2	100	春										●						
HIST 103	歴史（日本）	2	100	秋										●						
INFO 101	情報科学入門	2	100	秋					●			●								●
INFO 105	データ処理	2	100	春					●			●								
CHEM 103	化学入門	2	100	春					●											
BIOL 105	生物学入門	2	100	秋			2年次より履修可		●											
ESP 100	環境科学	2	100	春			2年次より履修可												●	
MATH 107	数学入門	2	100	春							●									
MATH 101	解析学入門	2	100	春秋							●									
MATH 110	代数学入門	2	100	春秋							●									
PHYS 101	物理学入門	2	100	春秋					●											
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春						●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春						●										
SCED 201	エネルギー科学	2	100	春					●											
ENG 101	ELF 101	4	200	秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋	◆		2年次より履修可			●										
JPN 101	日本語表現 101	2	100	春						●										
学科専門科目																				
ENGR 106	導入ゼミ	2	100	春	●					●					●	●				
ENGR 101	工学基礎	2	100	秋							●				●					
MATH 104	数学演習	2	100	秋		△			●		●		●							
PHYS 100	物理学Ⅰ	2	100	秋春		○			●		●		●							
MATH 100	解析学Ⅰ	2	100	秋春	●				●		●		●							
MATH 109	代数学Ⅰ	2	100	秋春	●				●		●		●							
INFO 108	プログラミングⅠ	2	100	秋春		△						●	●							
INFO 109	プログラミングⅡ	2	100	春			2年次より履修可					●	●							
INFO 106	デジタルシチズンシップ	2	100	春	●		2年次より履修可	●				●						●		
MATH 201	解析学Ⅱ	2	100	春秋					●		●		●							
PHYS 204	物理学ⅡA	2	100	春秋		○			●		●		●							
PHYS 205	物理学ⅡB	2	100	春秋		○			●		●		●							
MATH 203	微分方程式Ⅰ	2	100	春					●		●		●							
STAT 200	確率統計学Ⅰ	2	100	春					●		●		●							
ENGR 212	ファブラボ実験	1	150	春秋	●				●				●			●				
MENG 203	スケッチと製図	1	150	春秋	●	○					●		●							
MENG 201	機構学	2	100	春		○					●		●							
MENG 202	材料力学	2	100	秋	●						●		●							
MATH 204	微分方程式Ⅱ	2	100	秋					●		●		●							
ACCT 200	原価計算	2	100	秋		△					●									

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
STAT 201	確率統計学Ⅱ	2	100	秋					●		●		●							
CHEM 200	化学と工学	2	100	秋		○			●		●		●							
ENGR 209	電気回路基礎	2	100	秋		○			●		●		●							
MASC 206	人間工学	2	100	秋		△Ⓘ								●						
ENGR 208	デジタルファブリケーション入門	2	100	春	●								●	●		●				
ENGR 207	デジタルファブリケーション	2	100	秋									●	●		●				
MASC 203	色彩デザイン学	2	100	春		△			●					●						
MASC 200	管理技法	2	100	春		○					●							●	●	
MENG 200	機械要素設計	2	100	秋		○			●		●			●						
CARE 100	キャリアデザイン	2	100	秋	●		3年次より履修可								●					●
MENG 303	設計製図	1	150	春	●	○					●		●							
CHEM 300	自然科学実験	1	150	春秋		○			●		●		●							
MENG 301	工作実習	1	150	春秋		○								●		●				
MENG 300	機械力学	2	100	春		○					●		●							
MENG 305	流体力学	2	100	春		○					●		●							
ENGR 312	デザイン思考	2	100	秋						●			●	●						
MENG 302	材料と加工	2	100	秋		○							●	●						●
MENG 304	デジタルファブリケーション実習	1	100	秋								●	●							
ENGR 313	メカトロニクス	2	100	秋		○			●			●	●							
ENGR 314	メカトロニクス演習	2	100	秋		○			●				●	●						
MASC 308	都市環境デザイン実習	1	100	秋		○			●				●	●						
COPR 303	インターンシップⅠ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 307	インターンシップⅡ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 311	インターンシップⅢ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
COPR 314	インターンシップⅣ	1	100	春秋(集中)						●				●		●				
GLS 300	海外研修	2	200	秋(集中)		△				●				●		●				
ENGR 303	エンジニアリングデザインセミナーⅠ	2	100	秋(集中)	●									●		●				
MASC 315	ユニバーサルデザイン	2	100	春		○			●					●						
ENGR 310	知的財産権の基礎	2	100	春		○						●		●					●	
MASC 311	プロダクトデザイン	2	100	秋		△		●						●					●	
ENGR 404	製品製造失敗学	2	100	春		○							●	●				●		
PHYS 400	20世紀の物理学	2	100	春		○			●		●		●							
MASC 409	バイオミメティクス	2	100	春		○			●				●	●						
ENGR 403	工業デザイン	2	100	春		△			●					●						
MASC 411	モデリングとシミュレーション	2	100	秋		△			●		●			●						
ENGR 401	エンジニアリングデザインセミナーⅡ	2	100	春(集中)	●									●		●				
ENGR 406	卒業研究	4	—	春秋(集中)	●								●	●						
MASC 408	デジタル生産加工	2	100	秋		○			●		●									●
MASC 407	デザイン経営	2	100	秋		○		●				●					●			

【履修にあたって】

（1）「卒業研究」は、1セメスター目に0単位、2セメスター目に4単位として履修登録されます。

経営学部

国際経営学科

人材養成等教育研究に係る目的

経済・社会のグローバル化により、すでに海外進出をしている企業だけでなく国内市場を相手にしてきた企業も基本的な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動することを前提にした経営を考える必要がある。世界の各地域には企業経営やビジネス慣行における独自性が残っているが、グローバル化の進展でそれらの標準化が急速に進んでおり、その動きを背景にして世界の経営学教育も日々進歩し標準化が進展している。またグローバル化の波はトランスナショナル企業を出現させ、国内においては生産の海外移転を加速させている。競争に耐えられない企業が整理される一方で、新たな成長の牽引役となる企業がイノベーションを生み出していくことが喫緊の課題となっている。

経営学部では国際経営学科に 3 つのコースを設けて専門性を高めると同時に世界標準で主要科目の学修を進めることで、グローバル化に主体的に取り組む実践力と情報発信できる英語コミュニケーション力を修得し、ビジネスを通して社会の要請に応え世界に貢献できる人材の養成を目指す。

経営学部　ディプロマ・ポリシー

経営学部では以下の能力を身につけている人に学位を授与する。

① 世界標準で専門知識を身につけ、応用する。【知識・理解】
② 多文化・異文化を有する国・地域との交流を通じて、個のアイデンティティを確立する。【知識・理解】
③ グローバルなビジネスシーンで英語によりコミュニケーションを図る。【汎用的技能】
④ さまざまな情報を論理的・数理的に分析し、ビジネスシーンの意思決定に役立てる。【汎用的技能】
⑤ グローバル社会で主体的に取り組むための実践力・発信力を獲得する。【態度・志向性】
⑥ 起業家精神とイノベーションを生み出す力を体験的に身につける。【態度・志向性】

経営学部 国際経営学科

1 カリキュラム・ポリシー

経営学部では以下の方針に基づいて卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と各授業科目の到達目標の関連を明確にしてカリキュラムを設計しています。

① 経営分野で世界標準になっている科目を必修科目とし、コース別科目でさらに専門性を高める。【知識・理解】

② ビジネスで活用できる英語力を獲得するために、４技能を高めるELF（English as a Lingua Franca）科目と英語で経営学を学修する科目を配置して相互に連携を図る。【汎用的技能】

③ 世界の文化・社会に関心をもち、グローバル社会において自らの意見・考えを発信できる科目を設置する。【態度・志向性】

2 カリキュラムの特徴

1 科目の構成

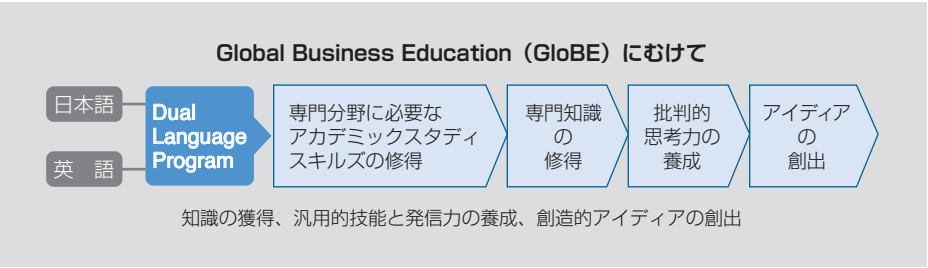
- 経営学分野で求められる能力を体系的に修得できるように科目が設置されています。卒業までに履修できる科目は、「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」「自学科科目」「他学部他学科科目」「他大学との単位互換科目」から構成されています。
- ユニバーシティ・スタンダード（US）科目では、経営学分野の導入科目と英語による国際コミュニケーション能力の養成（学術分野で必要とされる基礎的な英語力養成含む）目的とする科目を必修とし、その他学部指定科目を含む科目を選択履修することができます。
- 自学科科目は、経営学を学ぶための基幹科目を中心に、学科共通必修科目、学科コース必修科目、学科選択科目から構成されています。また、自学科の他コース科目も、相互に履修することができます。興味に応じて、経営学分野と異なる他学部他学科科目（他学部に開講されている科目に限る）の履修も可能です。

2 専門教育で必要とされる英語力の養成とSAE留学との連携

- 世界標準の経営学を学び、ビジネスで活用できる英語力の養成を目指した科目が設置されています（「英語科目の履修について」（p.132）参照）。また、早期のSAE留学プログラムへの参加も可能となります（「SAE海外留学・研修プログラムの単位認定」（p.35）参照）。

3 Dual Language Program（DLP）による学び

●Dual Language Program（DLP）とは、日本語・英語両言語をとおして、経営学を学ぶ学修アプローチです。すべての科目で、両言語を活用した学修が行われます。英語表記の科目は、英語による授業が行われます。この学修アプローチによって、経営分野で必要な知識・スキルを修得し、グローバル社会で求められるアイディアの創造とその発信力をより高いレベルで養成することができます。



● 2 年次から 4 年次に履修する学部専門科目の中には、*TOEIC*® L&Rのスコアが成績評価に用いられるものがあります。学年で定められた英語習得レベルの目標を達成するように学修してください。

■英語科目の履修について

① Dual Language Program（DLP）における英語プログラム

●国際経営学科では、Dual Language Program（DLP）をベースとした専門教育を中心に、グローバルビジネス・リーダーに求められる総合的な英語力養成プログラムを設置しています。
●英語プログラムが目指す学修内容と目的は下記のとおりです。

グローバルビジネス・リーダーに求められる総合的な英語力養成に向けて

●英語によるアカデミックスキルズ（academic study skills in English）の修得
●英語による経営学分野の知識（understanding business principles in English）の獲得
●英語による批判的思考力（critical thinking skills in English）の養成
●英語による創造的アイディアの構築と発信（generating ideas in English）
●ビジネス領域を含む英語力判定資格試験（Business English proficiency）への対応

② 履修について

●上記の英語力を養成するためにセメスターごとに学部共通の英語必修科目（33単位）の履修が定められています。
●英語関連の必修科目は、ユニバーシティ・スタンダード科目「ELF」 4 科目（16単位）、学科必修科目17単位です。また、ユニバーシティ・スタンダード科目の中に学科選択科目（ 2 単位）として「外国文学」が指定されています。
●英語名称の学科科目は、英語で授業が行われます。
●英語以外の学科科目でも、教科書、文献、その他の教材に英語で書かれたものが多く使用されます。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講科目と学修目標は次のとおりです。

	専門教育に必要な英語関連科目		専門科目への対応	修得レベル（*TOEIC*® L&Rを指標とした場合）
4年次	第7セメスター	第8セメスター	日本語・英語による経営学の学び スキル・コンテンツ統合型の英語学修スタイル 英語による専門分野の授業への対応 英語による専門科目の学修	*TOEIC*® L&R 700以上
	選択科目としてELF等の履修が可能			
3年次	第5セメスター	第6セメスター		*TOEIC*® L&R 600以上
	選択科目としてELF等の履修が可能			
	English Proficiency Strategies A（EPS A）	English Proficiency Strategies B（EPS B）		
	・各種英語資格検定試験のための英語力の養成 ・専門教育のための英語スタディスキルズの向上 ・ビジネスで活用できる総合的な英語力の養成			
2年次	第3セメスター	第4セメスター		*TOEIC*® L&R 500以上
	ELF	ELF		
	・General Academic English の修得 ・国際コミュニケーション能力の養成			
	Business English A	Business English B		
	・経営学分野のより専門的な知識獲得のための英語力の養成 ・より統合的なスタディスキルズの運用能力と発信力の修得 ・日常的なビジネス・シーンで使用される中級レベルの口語英語の修得			
	Intercultural Studies			
	・日本文化と他文化理解に必要な知識の修得 ・自己のアイデンティティを生かした異文化対応能力の養成 ・実際の事例分析を用いた問題解決能力の養成			
1年次	第1セメスター	第2セメスター		*TOEIC*® L&R 450以上
	ELF	ELF		
	・General Academic English の修得 ・国際コミュニケーション能力の養成			
	English for Social Science A（ESS A）	English for Social Science B（ESS B）		
	・経営学を学ぶための導入レベルの英語の学修 ・経営学を学ぶための導入レベルのスタディスキルズの修得 ・日常的なビジネス・シーンで使用される導入レベルの口語英語の修得			

4 3コース制による専門教育

●国際経営学科では、**「グローバルビジネスコース」「国際会計コース」「マーケティング戦略コース」**の3コースを設置し、ディプロマ・ポリシー（p.130参照）に基づく学修目標を達成するためのカリキュラムを編成しています（「コース概要」（p.134～139）参照）。

〈コース変更について〉

●第4セメスター終了時点で、他コースへの変更が可能です。ただし、履修および学修進捗状況に遅れがある場合、卒業時期が1セメスター以上先に延びる可能性があります。

●他コースへの変更を希望する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

（1）グローバルビジネスコースおよびマーケティング戦略コースへの変更
コース変更届の提出締め切りまでに*TOEIC*® L&R（IPを含む）500点以上を有すること。
なお、原則としてオンラインによる試験のスコアを使用することはできない。

（2）国際会計コースへの変更
コース変更届の提出締め切りまでにBATIC® 320（中級レベル）以上もしくは日商簿記検定3級以上を有すること。

■グローバルビジネスコース　コース概要

①「国際経営の専門性」「日本文化の発信力」「英語力」を身につけたビジネスリーダーの養成

●グローバルビジネスコースのプログラムでは就職や海外勤務希望時に有利な資格として、*TOEIC*® L&R 700の獲得を目指します。また企業規模を問わずグローバルに活躍できる人材を養成するために、企業経営者を招聘する科目、ケース・スタディを取り入れた実践的な授業を展開する科目を多く配置しています。各年次に講義、教材、試験等、すべて英語のみを使用して学修する科目を設けて、ビジネスの専門性に加えて英語力を徹底的に高めます。

●コースワークを通して期待できる成果は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。1年次から開講する英語のみで実施する科目で、しっかり基礎を固めましょう。

授業科目名	修得レベル（資格・検定試験を指標とした場合）
4年次　Global Case Studies グローバルビジネスゼミナールC グローバルビジネスゼミナールD	*TOEIC*® L&R 700
3年次　Global Business Studies　Strategic Management グローバルビジネスゼミナールA グローバルビジネスゼミナールB	*TOEIC*® L&R 600
2年次　専門基礎ゼミナールA 専門基礎ゼミナールB	*TOEIC*® L&R 500

② コースの学びと将来のキャリア

●グローバルなコミュニケーションの道具としてビジネスの現場で通用する英語を修得します。グローバルな文脈でビジネスを実践するために必要な共通言語ともいえる経済学・経営学・会計学・ファイナンスなどの基本科目を世界標準で学修することで、グローバル化に対応できる問題発見・解決力、批判的思考力、発信力を身につけます。

●異文化・多文化の理解、コミュニケーション力の向上を目標とする科目によって日本語と英語で自らの意見や考えを相手に伝える力を高め、日本文化を海外に発信できる力の修得を図ります。留学を経験すると、英語4技能（Listening、Speaking、Reading、Writing）に加えて国際感覚、異文化対応能力も一段と高まります。（「SAE海外留学・研修プログラムの単位認定」（p.35）参照）

●グローバル展開を進める日本企業やすでにグローバル化している外資系企業など、英語が必要とされる多種多様なキャリア、経営、会計、ファイナンスなどに関連する資格を生かして専門性を発揮できるキャリアを形成します。起業や事業後継においてグローバル展開を視野に入れることもできます。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">コース科目・関連科目と学修目標</th><th>資格・検定試験</th></tr>
<tr><td rowspan="3">4 年次</td><td>第 7 セメスター</td><td>第 8 セメスター</td><td rowspan="3">TOEIC® L&R 700</td></tr>
<tr><td>Global Case Studies
グローバルビジネスゼミナールC</td><td>コーポレート・ファイナンス
グローバルビジネスゼミナールD</td></tr>
<tr><td colspan="2">・海外・グローバル企業で使われている経営理論・知識、海外とのビジネスに対応する力を身につける。
・グローバル企業で活用できる英語力、経営学の体系的知識習得、海外のビジネス状況の理解、論理的な経営上の思考力を総合的に修得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 年次</td><td>第 5 セメスター</td><td>第 6 セメスター</td><td rowspan="3">TOEIC® L&R 600</td></tr>
<tr><td>Strategic Management
経営塾
グローバルビジネスゼミナールA~~・B~~</td><td>Global Business Studies
グローバルビジネスゼミナール~~A・~~B</td></tr>
<tr><td>・海外ビジネスを展開している企業の特徴と動向を分析することで、問題を発見し、解決案を提示できる。
・グローバル企業の実態と戦略を理解する。</td><td>・経営管理の知識を体系的に修得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 年次</td><td>第 3 セメスター</td><td>第 4 セメスター</td><td rowspan="3">TOEIC® L&R 500</td></tr>
<tr><td>Intercultural Studies
基礎ファイナンス
専門基礎ゼミナールA・B</td><td>国際会計基礎
専門基礎ゼミナールA・B</td></tr>
<tr><td>・日本を取りまく地域と異なる文化的背景について理解を深め、ビジネスシーンで自己を生かす力を身につける。</td><td>・国際会計の基本思考を身につける。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1 年次</td><td>第 1 セメスター</td><td>第 2 セメスター</td><td rowspan="3">TOEIC® L&R 450
経営学検定初級
（～ 1 年次12月）
日商簿記 3 級</td></tr>
<tr><td>会計学</td><td>経営学</td></tr>
<tr><td colspan="2">・組織、戦略、財務、人的資源管理といった経営の基礎を修得する。
・簿記の基礎を修得し、決算書を通して企業経営の実態を知る。</td></tr>
</table>

■国際会計コース　コース概要

① 金融・ファイナンスに強い「国際会計人」の養成

- 国際会計コースではビジネス言語としての会計を日本語・英語のDual Language Programにより修得します。1年次に簿記・会計の基礎として日商簿記3級、2年次以降は英文簿記・国際会計理論へと学修を進めて2年次秋学期までにBATIC（国際会計検定）® 320（中級レベル）、4年次に米国公認会計士（USCPA）の試験科目であるFAR（Financial Accounting & Reporting：財務会計）の基礎を身につけます。
- 簿記・会計の知識と技能に加えて英語力（とくにReading、Writing）が求められるため、*TOEIC*® L&Rなどの英語のスコアも同時に高まります。さらにファイナンス科目を配置して金融・証券市場の仕組みを深く理解するとともに、ファイナンシャル・プランニングに必要な知識と技能を身につけます。これらの目標を確実に達成して「国際会計力」を身につけるために、国際会計科目とゼミナール科目で講義と演習によって学修を進めます。希望者はラーニング・コモンズを利用して試験対策を強化することも可能です。
- コースワークを通して期待できる成果は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。国際会計科目に加えて英語で授業を展開する他コース科目を積極的に履修し、英語力を高めましょう。

■国際会計

授　業　科　目　名	修得レベル（資格・検定試験を指標とした場合）
4年次　国際会計ゼミナールC　国際会計ゼミナールD 3年次　国際会計ゼミナールA　国際会計理論　財務会計論	USCPA FARの基礎
2年次　国際会計基礎　専門基礎ゼミナールA	BATIC® 320 （中級レベル）
1年次　会計学	日商簿記3級

■金融・ファイナンス

授　業　科　目　名	修得レベル（資格・検定試験を指標とした場合）
4年次　コーポレート・ファイナンス	―
3年次　パーソナル・ファイナンス 2年次　基礎ファイナンス	FP 3級

② コースの学びと将来のキャリア

- 会計はビジネスのあらゆる側面をデータで読み解く、世界共通の洗練されたツールです。ビジネスのコミュニケーションに会計の知識と技能は欠かせません。ビジネスのグローバルな進展と歩調を合わせるように、世界共通のルール作りも進み、まさにグローバル・ビジネスのインフラになっています。M&A（合併・買収）、コーポレート・ガバナンス、国際会計基準（IFRS）への対応といったさまざまなシーンで、会計スキルを身につけたビジネス・リーダーが求められています。会計科目に加えて密接な関連領域であるファイナンス科目の学修を進めることで、将来企業の意思決定に幅広く携わることができるようになります。
- 国際会計コースでは会計・ファイナンスの知識と技能の修得に加えて、論理的思考力、ビジネス・シーンにおけるコミュニケーション力の向上を図ります。
- グローバル企業の財務・経理・企画部門、金融機関の担当者をはじめ、米国公認会計士（USCPA）、公認会計士、税理士等の専門職として、将来のキャリアを形成することができます。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">コース科目・関連科目と学修目標</th><th>資格・検定試験</th></tr>
<tr><td rowspan="3">4年次</td><td>第7セメスター</td><td>第8セメスター</td><td rowspan="3">USCPA
FARの基礎</td></tr>
<tr><td>管理会計論
国際会計ゼミナールC</td><td>コーポレート・ファイナンス
国際会計ゼミナールD</td></tr>
<tr><td colspan="2">・資本構成、投資意思決定、M&A、リスク管理、NPVによるプロジェクト評価といったグローバル企業の経営に必須の知識・技能を身につける。
・世界標準の会計・ファイナンスの知識・技能を活用してグローバルなコミュニケーションを円滑に図ることができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3年次</td><td>第5セメスター</td><td>第6セメスター</td><td rowspan="3">FP 3級
（～ 3年次1月）
TOEIC® L&R 550</td></tr>
<tr><td>財務会計論
パーソナル・ファイナンス
国際会計ゼミナールA</td><td>国際会計理論
国際会計ゼミナールB</td></tr>
<tr><td>・企業の連結財務諸表を作成できる。
・会計・財務報告基準の国際的統合の意義・プロセスを説明できる。</td><td>・世界標準で連結財務諸表を作成・分析できる。
・資産運用、税金、保険、年金に関するプランニングを実践できる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年次</td><td>第3セメスター</td><td>第4セメスター</td><td rowspan="3">BATIC® 320
（中級レベル）
TOEIC® L&R 500</td></tr>
<tr><td>基礎ファイナンス
専門基礎ゼミナールA</td><td>国際会計基礎
専門基礎ゼミナールB</td></tr>
<tr><td>・企業経営における会計、経済、金融・ファイナンス分野の必要性と役割を説明できる。
・英語で会計分野における基本的な知識を身につける。</td><td>・国際会計の基本思考を身につける。
・具体的な事例を用いて財務分析の手法を身につける。
・英語でビジネスの基本的な会計処理を実践できる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1年次</td><td>第1セメスター</td><td>第2セメスター</td><td rowspan="3">日商簿記3級
TOEIC® L&R 450</td></tr>
<tr><td colspan="2">会計学</td></tr>
<tr><td colspan="2">・簿記の技法を身につけ、財務諸表を作成できる。</td></tr>
</table>

■マーケティング戦略コース　コース概要

① イノベーションと顧客創出力を身につけたマーケターの養成

- マーケティング戦略コースのプログラムでは*TOEIC*® L&R 600の獲得を目指します。１年次の必修科目である基礎数学、経営統計学、マーケティングで基礎を固め、まず数学検定２級、統計検定２級の合格を目指します。２年次以降のコース科目では顧客が求める商品を提供したり顧客を創造したりするために求められる、世の中のニーズを的確にとらえる力を身につけます。ビジネスにデータを活用する数理能力、商品開発や新規プロジェクトの立ち上げなどで他者と協力するチームワーク、発想を形にする企画力・実践力の修得を図ります。さらに英語のみを使用して学修する科目を設けて、英語力を高めます。
- コースワークを通して期待できる成果は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。１年次に数学・統計学の基礎をしっかりと身につけて、２年次以降の学修に臨みましょう。

授　業　科　目　名	修得レベル（資格・検定試験を指標とした場合）
4年次　Marketing Communication　New Product Management マーケティングゼミナールC　マーケティングゼミナールD	*TOEIC*® L&R 600
3年次　販売管理・流通 マーケティングゼミナールA　マーケティングゼミナールB	リテールマーケティング（販売士）２級 *TOEIC*® L&R 550
2年次　専門基礎ゼミナールA　専門基礎ゼミナールB	*TOEIC*® L&R 500
1年次　基礎数学　経営統計学	統計検定２級 数学検定２級

② コースの学びと将来のキャリア

- 起業家の新しいアイディアや思いつき、あるいは独自技術を、どのようにビジネス化してゆけばよいのか。ビジネスのイノベーションの出発点となるのはマーケティングです。マーケティングとは顧客のニーズやウオンツと企業活動/企業ビジョンとを結びつける活動であり、その目的は顧客に貢献することです。マーケティング戦略コースでは世の中のニーズの探索から商品・ブランド開発、広告販促、営業販売、流通物流、コミュニケーション、アフターケア、関係づくり等の企業のビジネス活動（市場創造活動）にかかわる職務を遂行するためのマーケティングマインド（理念と思考）、およびビジネスセンスとスキルなどのマーケティング能力を形成します。
- マーケター（企業のマーケティング担当者）、市場調査、営業販売、広告販促などのスタッフ、将来的には新規事業開発やマーケティングのコンサルタント、起業家を目指します。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。

	コース科目・関連科目と学修目標		資格・検定試験
4年次	第7セメスター	第8セメスター	TOEIC® L&R 600
	New Product Management マーケティングゼミナールC	Marketing Communication マーケティングゼミナールD	
	・マーケティング戦略を、自ら企画・立案できる。 ・マーケティングおよびビジネスに関連する英語文献を読んで理解できる。		
3年次	第5セメスター	第6セメスター	リテール マーケティング （販売士）2級 （～3年次2月） TOEIC® L&R 550
	消費者行動論 販売管理・流通 マーケティングゼミナールA~~・B~~	マーケティング・リサーチ マーケティングゼミナール~~A・~~B	
	・データの統計解析に必要な基礎知識を身につける。	・企業のマーケティング戦略を分析・評価できる。 ・市場調査を自ら企画・実施し、データを統計解析できる。	
2年次	第3セメスター	第4セメスター	TOEIC® L&R 500
	専門基礎ゼミナールA・B	マーケティング戦略 専門基礎ゼミナールA・B	
	・マーケティングおよびビジネスに関連する基礎的な専門用語を十分に理解できている。 ・ゼミナール内で自身の考えを論理的に伝えることができる。	・マーケティング戦略の基本的な体系を理解できていて、ゼミナール内で論理的に議論ができる。 ・英語の基礎的なビジネス文献を読むことができる。	
1年次	第1セメスター	第2セメスター	統計検定2級 数学検定2級 （～1年次11月） 日商簿記3級 TOEIC® L&R 450
	基礎数学 マーケティング 会計学	経営統計学	
	・ビジネスに必要な数学・統計学とマーケティングの基礎を修得する。 ・簿記の基礎を修得し、決算書を通して企業経営の実態を知る。		

3 卒業要件

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること

玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

人文科学科目群：2単位以上

社会科学科目群：6単位以上（「会計学」2単位・「経営学」2単位・「マーケティング」2単位は必修）

自然科学科目群：2単位以上

学際科目群：2単位以上（「キャリア・マネジメント」2単位は必修）

言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」から4科目16単位以上

（5）学部共通科目群必修科目39単位をすべて修得していること

100番台科目：「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「ESS A」「ESS B」「基礎数学」「経営統計学」

200番台科目：「Intercultural Studies」「企業論」「基礎ファイナンス」「Business English A」「Business English B」「専門基礎ゼミナール A」「専門基礎ゼミナール B」「企業倫理」

300番台科目：「EPS A」「EPS B」

400番台科目：「経営法務」

（6）各コースが指定する必修科目32単位をすべて修得していること

【グローバルビジネスコース】

200番台科目：「国際会計基礎」

300番台科目：「Strategic Management」「経営塾」「Global Business Studies」「グローバルビジネスゼミナール A」「グローバルビジネスゼミナール B」

400番台科目：「コーポレート・ファイナンス」「Global Case Studies」「グローバルビジネスゼミナール C」「グローバルビジネスゼミナール D」

【国際会計コース】

200番台科目：「国際会計基礎」

300番台科目：「財務会計論」「国際会計理論」「国際会計ゼミナール A」「国際会計ゼミナール B」「パーソナル・ファイナンス」

400番台科目：「コーポレート・ファイナンス」「管理会計論」「国際会計ゼミナール C」「国際会計ゼミナール D」

【マーケティング戦略コース】

200番台科目：「マーケティング戦略」

300番台科目：「消費者行動論」「販売管理・流通」「マーケティング・リサーチ」「マーケティングゼミナール A」「マーケティングゼミナール B」

400番台科目：「Marketing Communication」「New Product Management」「マーケティングゼミナール C」「マーケティングゼミナール D」

4 卒業までの単位配分

<table>
<tr><th colspan="2">科　目　群</th><th colspan="2">科　目　分　類</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">ユニバーシティ・
スタンダード科目</td><td colspan="2">玉川教育・FYE 科目群</td><td colspan="2">7 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">人文科学科目群</td><td>2 単位</td><td rowspan="4">28単位
以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会科学科目群</td><td>6 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然科学科目群</td><td>2 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">学 際 科 目 群</td><td>2 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語表現科目群</td><td>16単位</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="15">学 科 科 目</td><td colspan="2" rowspan="4">必　修　科　目</td><td>100番台科目</td><td>11単位</td><td rowspan="4">39単位</td></tr>
<tr><td>200番台科目</td><td>20単位</td></tr>
<tr><td>300番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>400番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td rowspan="11">コース別必修科目</td><td rowspan="3">グローバルビジネスコース
必修科目</td><td>200番台科目</td><td>4 単位</td><td rowspan="11">各コース
32単位</td></tr>
<tr><td>300番台科目</td><td>16単位</td></tr>
<tr><td>400番台科目</td><td>12単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">国際会計コース必修科目</td><td>200番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>300番台科目</td><td>16単位</td></tr>
<tr><td>400番台科目</td><td>12単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">マーケティング戦略コース
必修科目</td><td>200番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>300番台科目</td><td>16単位</td></tr>
<tr><td>400番台科目</td><td>12単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">自由選択科目</td><td colspan="2">自学科選択科目、他学部他学科科目、
他大学との単位互換科目、
ユニバーシティ・スタンダード科目</td><td colspan="2">任意</td></tr>
<tr><td colspan="4">卒業に必要な単位数</td><td colspan="2">124単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="4">卒業に必要なGPA数値</td><td colspan="2">累積GPA2.00以上</td></tr>
</table>

1 卒業延期の場合の卒業要件

●卒業延期となった場合には、第 9 セメスター以降、以下の条件を満たしたときに卒業となります。ただし、履修下限は 2 単位、履修上限は16単位です。

卒業に必要な124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合

5 資格取得等による単位認定

●資格取得・検定試験合格（資格取得等）を促進するために、以下のとおり資格取得等により認定基準に達した場合に対象科目の単位を認定します。

■学科共通科目

授業科目名	単位数	配当年次	認定基準
会計学	2	1	日商簿記検定 3 級
経営学	2	1	経営学検定初級
経営統計学	2	1	統計検定 2 級
ESS A	1	1	*TOEIC® L&R* 500
ESS B	2	1	*TOEIC® L&R* 500
Business English A	4	2	*TOEIC® L&R* 600
Business English B	4	2	*TOEIC® L&R* 600
EPS A	2	3	*TOEIC® L&R* 650
EPS B	2	3	*TOEIC® L&R* 650

■コース科目

授業科目名	単位数	配当年次	認定基準
国際会計基礎	4	2	BATIC® 320（中級レベル）
パーソナル・ファイナンス	4	3	3 級ファイナンシャル・プランニング技能士
販売管理・流通	4	3	リテールマーケティング（販売士） 2 級

■留意事項

●所属するコースに関わらず、すべての対象科目の単位認定を申請できます。
●単位認定を受けようとする学期に、履修上限の範囲内で対象科目を登録してください。
●「C・F評価科目の再履修制度」（p.49参照）を利用できます。
●当該制度によって単位を認定した科目の成績はS評価とし、GPAに加算します。
●科目を履修した学期の指定期日までに申請した受験結果に基づいて単位を認定します。入学前の受験結果でも構いません。ただし以下の 6 科目については申請期限前 1 年以内のスコアのみ有効とし、各年次にA・Bいずれか一方の科目のみ申請できます。
「ESS A」「ESS B」「Business English A」「Business English B」「EPS A」「EPS B」
●認定基準よりも上位の級・スコアに達した場合にも単位を認定します。
●認定基準としている資格・検定試験の結果に基づいて他の学科科目の単位を認定したり成績に反映させたりすることはできません。
●停学処分を受けた学生について、履修登録時に本学が定める授業への出席要件を満たせないことが判明している場合には、「資格取得等による単位認定」の制度を利用できません。

6 警告制度~~と注意~~

1 警告

●本学では「警告制度」を定め、基準を満たせない場合には「警告」を受けます。（p.37参照）

~~2 注意~~　2022年度より「注意制度」廃止

~~●下記のａまたはｂに該当する場合、「注意」を受けます。~~

~~年　　次~~	~~1~~		~~2~~		~~3~~		~~4~~	
~~学　　期~~	~~春~~	~~秋~~	~~春~~	~~秋~~	~~春~~	~~秋~~	~~春~~	~~秋~~
~~a. セメスター終了時の累積修得単位数が右の単位数未満~~	~~15~~	~~32~~	~~47~~	~~60~~	~~76~~	~~92~~	~~108~~	~~当該セメスターでの卒業が不可能な学生~~
~~b. 累積GPAが右の値未満~~	~~2.20~~							

~~●「注意」を受けるということは、卒業が延期になる可能性が高いということを意味します。~~

~~●「注意」を受けるのは、十分な学修上の成果があげられていないときです。その場合は学部の教員から、履修内容や学修の方法に関してアカデミック・アドヴァイスを受けることができます。~~

~~●アカデミック・アドヴァイスとは以下のようなものがあります。~~

~~① 履修相談全般（履修方法、履修科目について）~~

~~② 履修計画~~

~~③ 履修状況の確認・注意（セメスター修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等）~~

~~④ 履修取消~~

~~⑤ 学修方法に関するアドヴァイス~~

▶警　告
参照『履修ガイド』p.37

~~▶GPA計算例~~
~~参照『履修ガイド』p.32~~

7 履修上の留意事項

1 「インターンシップA～D」について

- これらの科目は、主に夏季休暇中、および春季休暇中に開講されるため、セメスターの履修上限外の科目です。履修希望者は、セメスターの履修上限枠を超えて履修することができます。夏季休暇中に実施される場合は春セメスター中に、春季休暇中に実施される場合は秋セメスター中に履修者募集およびガイダンスが行われます。履修許可が出た学生は、科目担当教員の指示に従ってください。
- これらの科目履修にあたっては、学部が定める一定の条件の充足および事前、事後の研修への参加が義務づけられています。なお、単位は次のセメスターで認定されます。

2 海外留学制度（SAE プログラム）について

- 経営学部では原則として 2 年次以降、海外提携大学への半年間の留学が可能です。 1 年間の留学については、留学の時期により、可能な場合もあります。 1 年間の留学を希望する場合は、必ず教務担当教員に相談してください。ただし、応募するには指定された資格検定試験（TOEFL、IELTSなど）等の規定を満たさなければいけない大学もあります。
- 海外の提携大学に留学し、単位を修得できた場合には、修得単位の中から本学のカリキュラムに対応する科目を、各セメスター 16単位を上限に本学の卒業必要単位に充当させることができます。
- なお、留学先で修得した単位が、科目の性質上本学の単位として認定されない場合もあります。

8 経営学部 国際経営学科　教育課程表

凡例
開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件			他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
										知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					グローバルビジネス	国際会計	マーケティング戦略			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																						
WLIT 100	外国文学	2	100	春秋						●												
HIST 103	歴史（日本）	2	100	春秋												●						
ACCT 100	会計学	2	100	春秋	●	●	●				●											
B A 100	経営学	2	100	春秋	●	●	●				●											
B A 101	マーケティング	2	100	春秋	●	●	●				●											
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100	春秋	●	●	●										●					●
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆	◆	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆	◆	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	春秋	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆	◆	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋春	◆	◆	◆		2年次より履修可			●										
COPR 100	インターンシップ A	2	100	春秋								●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	春秋								●				●	●					
COPR 102	インターンシップ C	1	50	春秋								●				●	●					
COPR 103	インターンシップ D	1	50	春秋								●				●	●					
学科専門科目																						
ECON 101	マクロ経済学	2	100	春	●	●	●				●		●									
ECON 102	ミクロ経済学	2	100	秋	●	●	●				●		●									
ENG 108	ESS A	1	50	春	●	●	●				●	●										
ENG 109	ESS B	2	100	秋	●	●	●				●	●										
MATH 102	基礎数学	2	100	春	●	●	●						●									
STAT 100	経営統計学	2	100	秋	●	●	●				●			●								
CWC 201	Intercultural Studies	2	100	春	●	●	●	Ⓛ		●		●										
B A 204	企業論	2	100	春秋	●	●	●								●	●						
ECON 200	基礎ファイナンス	2	100	春	●	●	●				●		●									
ENG 203	Business English A	4	200	春	●	●	●				●	●										
ENG 204	Business English B	4	200	秋	●	●	●				●	●										
B A 205	専門基礎ゼミナール A	2	100	春秋	●	●	●				●						●					
B A 206	専門基礎ゼミナール B	2	100	春秋	●	●	●				●						●					
B A 203	企業倫理	2	100	春秋	●	●	●													●	●	
ACCT 201	国際会計基礎	4	200	秋	●	●					●	●										
B A 207	マーケティング戦略	4	200	秋			●				●		●									

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件			他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
										知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					グローバルビジネス	国際会計	マーケティング戦略			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ENG 306	EPS A	2	100	春	●	●	●				●	●										●
ENG 307	EPS B	2	100	秋	●	●	●				●	●										●
B A 302	環境経営	2	100	春秋				○								●					●	
B A 309	人的資源管理	2	100	春				○											●		●	
B A 310	中小企業経営論	2	100	春秋				○								●			●			
B A 301	Strategic Management	4	200	春	●										●							
B A 307	経営塾	4	200	春	●													●	●			
B A 300	Global Business Studies	4	200	秋	●					●		●				●						
B A 305	グローバルビジネスゼミナール A	2	100	春	●						●											●
B A 306	グローバルビジネスゼミナール B	2	100	秋	●						●											●
ACCT 304	財務会計論	4	200	春		●					●				●							
ACCT 303	国際会計理論	4	200	秋		●						●			●							
ACCT 301	国際会計ゼミナール A	2	100	春		●					●											●
ACCT 302	国際会計ゼミナール B	2	100	秋		●					●											●
ECON 300	パーソナル・ファイナンス	4	200	春		●																●
B A 308	消費者行動論	4	200	春			●								●							
B A 311	販売管理・流通	4	200	春			●									●						
B A 312	マーケティング・リサーチ	4	200	秋			●						●	●								
B A 313	マーケティングゼミナール A	2	100	春			●				●											●
B A 314	マーケティングゼミナール B	2	100	秋			●				●											●
LAW 401	経営法務	4	200	春秋	●	●	●									●				●		
ECON 402	コーポレート・ファイナンス	4	200	秋	●	●							●			●						
B A 400	Global Case Studies	4	200	春	●										●	●						
B A 404	グローバルビジネスゼミナール C	2	100	春	●										●	●	●					
B A 405	グローバルビジネスゼミナール D	2	100	秋	●										●	●						●
ACCT 401	管理会計論	4	200	春		●									●	●						
ACCT 402	国際会計ゼミナール C	2	100	春		●									●	●	●					
ACCT 403	国際会計ゼミナール D	2	100	秋		●									●	●						●
B A 401	Marketing Communication	4	200	秋			●					●						●				
B A 402	New Product Management	4	200	春			●							●		●						
B A 406	マーケティングゼミナール C	2	100	春			●								●	●	●					
B A 407	マーケティングゼミナール D	2	100	秋			●								●	●						●

【履修にあたって】

（1）必修科目はすべて履修してください。

（2）ELF科目に関しては、101→102→201→202→301→302→401→402の順で履修してください。なお、ELF科目の中から、4科目16単位は必修になります。

（3）A、B、C、Dがついている同一名称科目は履修の順番を問いません。

教育学部

教育学科
乳幼児発達学科

人材養成等教育研究に係る目的

教育学部は、全人教育の理念に基づき、幅広い知識と理解の深化、社会の変化やニーズに対応できる総合的かつ汎用的な技能や諸能力の体得、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる態度・志向性の涵養、そして専攻する分野における幅広く深い専門力、創造的思考力、実践的指導力の醸成を目指す人材養成等の教育研究を行うことで、人間や社会への理解や敬愛、規範意識・倫理観、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ、それらを総合的に活用し自ら課題を解決する能力等を有する教員・保育士ならびに社会人を世に輩出する。

教育学科は、玉川教師訓を踏まえ、主として幼稚園、小・中・高等学校教育に関する専門的知識・技能、実践的な指導力を併せ持つ教員の養成とともに、教育関連分野をはじめとする幅広い分野に貢献できる人材の養成を目指す。

乳幼児発達学科は、玉川教師訓を踏まえ、教育・保育に関する専門的知識・技能、実践的な指導力を併せ持つ教員・保育士の養成とともに、社会のニーズに応えられる子育て支援に関わる人材の養成を目指す。

教育学部　ディプロマ・ポリシー

教育学部は、「人材養成等教育研究に係る目的」に向けて、次の学修成果を果たした者に学位を授与する。

［知識・理解］

- 教育学・保育学における基本的な知識を体系的に理解した上で、教育・保育に関する確かな専門的知識を修得し、さらにそれらの知識を歴史・文化・社会・自然と関連付けることができる。

［汎用的技能］

- 基礎的な言語操作力、数理分析力を確実に身につけ、確固たる情報リテラシーによるICTを効果的に活用できる。
- 自ら課題を設定し、研究を重ねることにより、教育・保育における諸課題について考察し、解決のための方法を論理的に思考し、実践に向けて主体的、創造的、協働的に取り組むことができる。

［態度・志向性］

- 教育学・保育学の視点から様々な社会の諸問題に主体的に関心を持ち、多様な人や文化を理解し、共生できる力を身に付けることで社会的責任を持って社会発展に積極的に関与できる。
- 教育・保育およびその関連分野におけるヒューマン・サービスの社会的意義と特性を理解し、豊かな人間性と使命感、および倫理観を持って人の成育や福祉に関する分野において協調・協働力、そしてリーダーシップを発揮できる。
- 自らを律して行動し、教育学・保育学を基盤として、大学院への進学や生涯を通して学修・研究し続けることで、変化の激しい社会に適応できる。
- 我が国ならびに他国における多様な文化を尊重し、グローバル社会においてSDGs達成を視野に入れ、誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向け、中心的な役割を果たすことのできる主体性と協調性、チャレンジ精神を持つことができる。

また、以下の条件を卒業要件として定める。

① 修業年限を満たすこと
② 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
③ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
④ ユニバーシティ・スタンダード科目より、必修科目を修得していること
⑤ 教育学部指定ユニバーシティ・スタンダード科目より、必修科目および必修選択科目を修得していること
⑥ 学科科目について、必修科目および必修選択科目を修得していること

教育学科：初等教育専攻

初等教育専攻が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

［知識・理解］

- 初等教育に関する確かな専門的知識を修得し、初等教育の諸問題について学術的に研究し、さらに修得した専門的知識や研究の成果を初等教育の内容となる歴史・文化・社会・自然の各分野と関連づけて活用できる。

［汎用的技能］

- 主に幼稚園または小学校の教員として、あるいは初等教育の専門家に求められるコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、そして問題解決力を発揮できる。

［態度・志向性］

- 初等教育に関する理論と実践に基づいた専門的な知識と技能を総合的に活用して、教育界や広く社会の発展のために貢献することができる。

教育学科：社会科教育専攻

社会科教育専攻が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらのいずれかを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

［知識・理解］

- 社会との関わりにおいて必要とされる知識を広く体系的に理解した上で、社会科教育に関する確かな専門的知識を修得し、さらにそれらの知識を現実社会の諸課題と関連付けることができる。

［汎用的技能］
- 当該専攻における学修の成果を踏まえた確かな言語能力を基盤とするコミュニケーションスキルを確実に身に付けるとともに、ICTを適切かつ効果的に活用できる。

［態度・志向性］
- 自己の個性と強みを生かした主体的な生き方を志向し、他者と調和しながら、より良い社会の発展に寄与する態度・姿勢を持つことができる。

教育学科：保健体育専攻

保健体育専攻が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

［知識・理解］
- 保健体育や健康教育に関する基本的な知識を体系的に理解した上で、教育現場において指導ができる中学校、高等学校の教員としての確かな専門的知識を修得し、さらにそれらの知識を健康やスポーツに関する分野の諸課題と関連付けることができる。

［汎用的技能］
- 保健体育の教科教育の指導力とともに、教科外活動の指導・支援能力を備え、学校全体の健康・体力づくり等の実践において主体的・創造的・協働的に取り組むことができる。

［態度・志向性］
- 国際的な視点で健康とスポーツに関する様々な問題に関心を持ち、産業保健分野や地域社会などにおいてリーダーシップを発揮しながら貢献できる。

教育学科：通信教育課程

通信教育課程が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

［知識・理解］
- 学校教育・社会教育に関する確かな専門的知識を修得し、教育の諸問題について学術的に研究し、さらに修得した専門的知識や研究の成果を社会との関わりにおいて活用することができる。

［汎用的技能］
- 幅広い視野と国際感覚、主体的・対話的で深い学びを推進する上で必要とされるコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、そして問題解決力を身に付け、学校教育・社会教育関連分野で地域社会に貢献できる。

［態度・志向性］
- 学校教育・社会教育に関する理論と実践に基づいた専門的な知識と技能を総合的に活用することによって、教育の専門家として、より良い社会の発展に寄与する態度・姿勢を持つことができる。

乳幼児発達学科

乳幼児発達学科が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

［知識・理解］
- 乳幼児から成人に至るまでの人としての育ちについての深い見識を備えた上に、教育・保育に関する専門的知識や技能を修得し、それらの知見を広く生活（歴史・文化・社会・自然など）と関連付けることができる。

［汎用的技能］
- 幼稚園の教員や保育士の役割や教育・保育の社会的意義と特性を理解し、実践に向けて主体的、創造的、協働的に取り組むことができる。

［態度・志向性］
- 教育・保育に関する理論と実践に基づいた専門的な知識と技能を総合的に活用することによって、協調・協働力、そしてリーダーシップを発揮し、教育・保育の発展に貢献するとともに、現代社会の問題解決に積極的に寄与する態度・姿勢を持つことができる。

教育学部

1 カリキュラム・ポリシー

教育学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、教育課程の編成・実施方針を以下に明示する。

全人教育および12の教育信条を教育課程の編成の根本に据えつつ、教育職員免許法施行規則第六条の区分、児童福祉法施行規則および指定保育士養成施設指定基準を踏まえて科目を開設し、基礎的・概論的な科目から各論的・実践的な科目、さらにより発展的な内容の科目へと履修を進めていくことができるように科目を配列している。

教育学部が課程認定を受けている教育職員免許状、保育士資格、あるいはその他の資格のうち、原則として１つまたは２つの免許・資格取得が可能である。そのために、２年次より学科別、あるいは専攻別に、学生各自の進路・志望に従って教育職員免許状、保育士資格、あるいはその他の資格取得に必要な科目を履修し、所定の単位認定を受けることで免許状・資格を取得する。

同時に、ESDの推進拠点校である本学部の特質を生かし、SDGs達成を視野に入れ、誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向け、多様なキャリアを模索することのできる社会人としての資質・能力を高める機会、社会の急激な変化に対応することのできる人間として普遍的に求められる知識・技能、そして教養を偏ることなく学ぶ機会、そして、既存の知識体系に固執せず、常に新しい知識を対話的な深い学びを通して獲得し、知的探究心を高める機会となる科目構成を提供する。

また、卒業後に専門性のさらなる深化の一助となる大学院進学を念頭に置いた科目も併せて提供する。

［１年次］

- 全学共通の初年次教育であるユニバーシティ・スタンダード科目、玉川教育・FYE科目、情報リテラシー（EdTech）科目に加えて、基礎的な言語操作力（特に外国語の知識・学力）を育成するためのELF科目を修得する。
- 教育・保育の基礎段階となる「教育学概論」および「教職概論」または「保育者論」を必修科目として修得する。

［１年次後半から２年次］

- 教育・保育の理論的基礎となる科目群から、必修選択科目として３科目以上を修得する。
- 教育学部が定める階級の英語・国語・数学各分野の検定・資格を２年次末までに取得していることを３年次以降の科目履修の基本とする。
- 教育インターンシップや学校・福祉ボランティアの機会を重視し、現場での子どもとの関わりや活動から自身の進路・志望を明確化する。
- 企業等でのインターンシップの機会を提供し、現場での関わりや活動を通じて、社会人に必要な汎用的な力（社会人基礎力等）を効果的に育成し、自身の進路選択の幅を広げる。

［３年次、４年次］

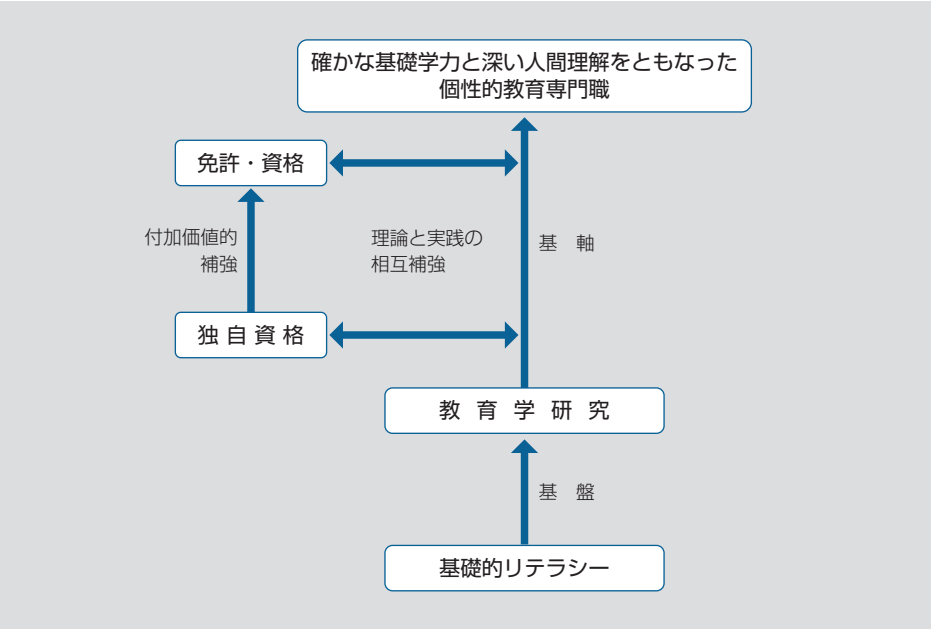
- 各自の興味・関心の高い分野に関して専門的・学術的に学修・研究を行う「現代教育研究Ⅰ」および「現代教育研究Ⅱ」、「卒業課題研究Ⅰ」および「卒業課題研究Ⅱ」を必修科目として修得する。
- 教育インターンシップや学校・福祉ボランティアに加えて、教育実習や保育実習では、現場に行く機会を重視し、子どもとの関わりや活動から、教員・保育士としての専門性を深める。
- 企業等でのインターンシップやボランティアに行く機会を重視し、社会人に必要な汎用的な力（社会人基礎力等）を身に付け、自身の進路・志望を決定する。
- 教育実習では、現場で子どもと関わる機会を重視し、学級活動や課外活動を観察し、課題解決的な授業を実践することを通して教員としての専門性を深める。

［学修成果の評価］

- 各科目の評価基準はルーブリックとしてシラバスに示す。卒業研究の評価は学部で定めた共通の評価基準によって行う。

2 カリキュラムの特徴

●確かな基礎学力と深い人間理解をともなった個性のある教育専門職を目指すのが、教育学部のカリキュラムの考え方です。

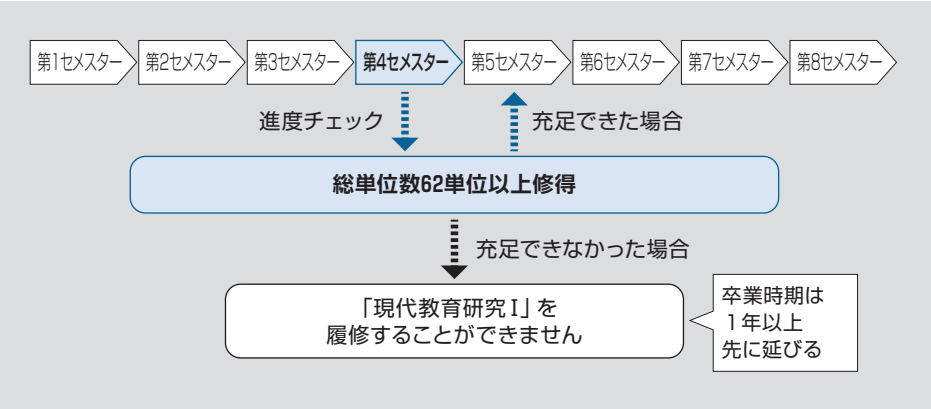


●入学後、第１セメスターは本格的な教育学研究や免許・資格の取得に必要な基礎学力を確立し、自らの可能性や学びたい分野を探る大学生活の助走期間として設定しています。
●第２セメスター以降には、自らの進路に即した学修プログラムを決定し、４年間の学修計画を作り上げていくことが求められます。
●学修プログラムの組み合わせの仕方は学生の希望の数だけありますが、代表的な学修計画として、卒業後の進路に応じた履修モデル（p.160、p.165）が設定されています。

▶履修モデル
参照『履修ガイド』
p.160、p.165

3 履修条件

1 第４セメスター（２年次）終了時における進度チェック



▶履修条件（進度チェック）
参照『履修ガイド』
p.38

4 履修上の留意事項

▶履修の制限
参照『履修ガイド』p.45
▶単位の認定
参照『履修ガイド』p.34

① 「卒業課題研究Ⅰ・Ⅱ」は、「現代教育研究Ⅰ・Ⅱ」の単位が修得されていなければ履修することはできません。

② 以下の科目は、各セメスターの履修登録単位数の上限16単位には含まれません。また、単位認定は次セメスター以降になる科目があります。
- サマーセッション・ウィンターセッションで修得した科目
- 「インターンシップA・B・C・D」
- 「教育インターンシップA・B・C・D」
- 「教育インターンシップ（幼）A・B・C・D」
- 「保育インターンシップA・B・C・D」（乳幼児発達学科のみ）
- 通信教育課程夏期スクーリング科目
- ユニバーシティ・スタンダード科目　玉川教育・FYE 科目群の「玉川の教育」「音楽Ⅰ・Ⅱ」「体育」
- ユニバーシティ・スタンダード科目学際科目群の「国際研究A ～ F」「SAE（海外留学・研修）プログラムA ～ J」「地域創生プロジェクトA ～ F」「フィールドワークA ～ C」

③ すべての学生には、卒業までに共通する要件により、特定の科目の履修が求められています。その他の科目については、各セメスターおよび 4 年間における各自の学修の目的に合わせて選択、登録し、履修していくことになります。

④ 教育学部で開講される科目のほか、他学部・他学科で開講されている科目（全学部開講科目）を、一定条件のもとで履修し、卒業要件に必要な単位数に含めることも可能です。

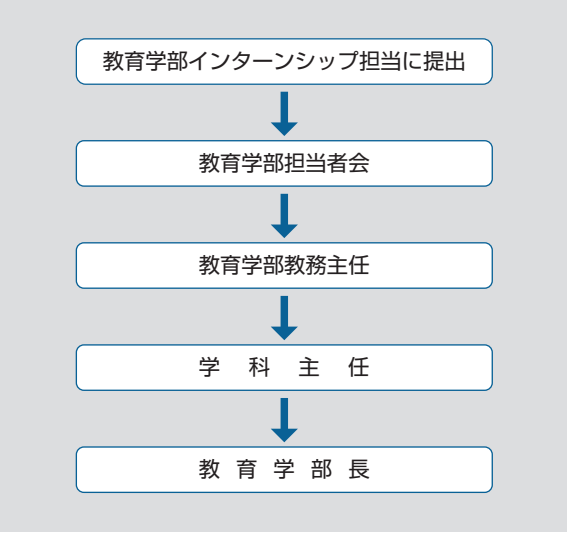
⑤ なお、別に定める条件により、通信教育課程等で開講されている科目を履修し、修得の単位を卒業要件ならびに教職課程の要件として加算することも可能です。詳細については、別途ガイダンスが行われる予定です。

⑥ 卒業までに必要な単位数は、第 1 セメスターから第 8 セメスターまで、合計124単位です。その内訳、卒業要件、履修登録上限単位、警告制度は各学科のページを参照してください。

1 教育学部が認める学外での学修（インターンシップ等）の単位認定に関する規定

- 教育学部では、インターンシップ等免許資格取得関連諸科目を含む選択科目のうち、16単位を上限として、国内外の相当の教育機関において履修修得されたものを以下の条件で認定しています。

2 科目履修単位修得計画の事前承認手続きの流れ



●各種インターンシップの概要

① 学校等教育機関でのインターンシップ

玉川学園内のK-12の教育機関等、本学と提携している各市の教育委員会傘下の学校及び私立学校での教育活動に参加しての学びを単位認定の対象とします。修得した単位は、教育職員免許状を取得するために必要となる「大学が独自に設定する科目」として利用することができます。

【認定可能な科目】教育インターンシップA・B・C・D／
教育インターンシップ（幼）A・B・C・D（最大6単位まで）

② 上記機関の他、保育所、児童福祉施設、社会福祉施設、子育て支援関連施設の活動、本学部が認める社会的活動等に参加しての学びを単位認定の対象とします。

認定こども園についてはインターンシップ担当に相談してください。

【認定可能な科目】教育インターンシップB・C・D／
教育インターンシップ（幼）A・B・C・D（最大4単位まで）
保育インターンシップA・B・C・D（乳幼児発達学科のみ）

③ SAEプログラムにおけるインターンシップ

SAEプログラムにおけるインターンシップの単位認定はp.35に示したルールに従って認定されます。

5 教育職員免許状および各種資格の登録に関する規定

●教育職員免許状や各種資格を取得のために登録／継続をする学生は、免許・資格の種類やレベル（1種・2種）にかかわらず、第4セメスター終了時（3年次編入生は第5セメスター終了時）までに以下の条件を満たしていることとします。

① 累積GPAが2.00以上であること
② 実用英語技能検定（S-CBT、CBTを含む）準2級、*TOEIC*®L&RもしくはIPテスト400点以上、GTEC（4技能版）690点以上、GTEC（3技能版）410点以上（オフィシャルスコアに限る）、GTEC for STUDENTS（L&R&W）410点以上（オフィシャルスコアに限る）、GTEC CBT 690点以上のいずれかを取得していること。
③ 日本語検定3級、日本漢字能力検定準2級、日本語運用能力テストN-B 2のいずれかを取得していること
④ 実用数学技能検定準2級を取得していること

●検定については、指定の級以上であれば上述規定を充足したものとします。
●ただし、実用数学技能検定準2級に関しては、1次検定もしくは2次検定のいずれかについて、取得を希望する免許・資格種ごとに以下の資格の取得をもって替えることができます。

取得希望の免許状・資格	検定・試験
幼稚園教諭 保　育　士 小学校教諭	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、下記のいずれか1つを取得していること。 ●ヤマハ音楽能力検定・ピアノ演奏グレード8級（Aコース、Bコースいずれも可） ●カワイピアノグレードテスト演奏6級 ●ICTプロフィシエンシー検定3級（旧名称：パソコン検定）
中学校教諭（社会） 高等学校教諭（公民） 高等学校教諭（地理歴史）	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、下記のいずれか1つを取得していること。 ●歴史能力検定2級 ●ICTプロフィシエンシー検定3級（旧名称：パソコン検定）
中学校／高等学校教諭（保健体育）	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、ICTプロフィシエンシー検定3級（旧名称：パソコン検定）

●このいずれかの規定に抵触する学生は、教職免許および各種資格の受講の継続を停止または保留とします。
●その他、諸事情により特別な判断が必要とされる場合には、教育学部長が設置する委員会において個々に審査・判断するものとします。

実用英語技能検定	http://www.eiken.or.jp
実用数学技能検定	http://www.su-gaku.net
日 本 語 検 定	http://www.nihongokentei.jp
日本漢字能力検定	http://www.kanken.or.jp/kanken/
ヤマハ・音楽能力検定	http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/
カワイ・ピアノグレードテスト	http://www2.kawai.co.jp/school/gradetest/
ICTプロフィシエンシー検定	http://www.pken.com/
歴史能力検定	http://www.rekiken.gr.jp
TOEIC®	http://www.toeic.or.jp
TOEFL	http://www.ets.org/jp/toefl/
GTEC for STUDENTS	http://www.benesse-gtec.com/fs/
GTEC CBT	http://www.benesse-gtec.com/cbt/

6 資　格

1 教育学部独自付与資格（メンター）に関する規定

●教育学部では、独自に付与する指導者資格（メンター）が 3 種類設けられています。
●法律に基づく公的な資格ではありませんが、教育職員免許状や保育士資格と組み合わせて取得することによって、付加価値が生じます。

2 資格認定方法

それぞれの資格には、次のような共通の認定手続きが必要です。

① 各資格の認定には教育職員免許状（2 種）以上、または保育士資格の取得を条件とします
② 資格取得のための各科目の単位認定条件は、B以上の成績を修めたものに限ります
③ 資格取得を希望する学生は、後述する科目の単位を修得した後、所定の申請書類を記入のうえ、教務担当の教員に提出します
④ 申請書類の提出後、学部教授会にて、認定の可否を審議します
⑤ 認定が決定し次第、学部長印を捺した認定証を発行し、卒業以降、郵送します
⑥ 認定された資格は、当該学生が中途退学をした場合、または法律・学則に抵触する著しい不行跡がなされた場合には、失効するものとします

3 認定科目

■共通条件……計 4 単位

全 3 種の資格認定の共通条件として、以下の 4 単位を履修してください。

科　目　名	単位	履修条件	履修単位
教育インターンシップA 教育インターンシップ（幼）A	2	必　　修	2
生徒・進路指導の理論と方法	2	必修選択	2
幼児理解と教育相談	2	必修選択	2

■個別条件

① 児童のための体育教育指導者……12単位以上（計16単位）

科　目　名		単位	履修条件	履修単位
	体育科指導法	2	必　修	2
	体育（幼・小）	2	必　修	2
	体育原理	2	必　修	2
	体育実技（体操）	1	必　修	1
	体育実技（水泳）	1	必　修	1
A群	健康スポーツ理論【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修選択	2
	体育心理学	2		
B群	体育実技（球技A）	1	必修選択	2
	体育実技（球技B）	1		
	体育実技（陸上）	1		
	体育実技（ダンス）	1		

② 児童のための心の教育指導者…… 9 単位以上（計11単位）

科　目　名	単位	履修条件	履修単位
教育インターンシップ B または C または D 教育インターンシップ（幼）B または C または D	2	必　修	2
人間関係論【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必　修	2
精神保健【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必　修	2
特別支援教育 特別な支援を必要とする子どもの理解と援助Ⅰ	1	必　修	1
発達心理学 子どもと家庭の発達心理学	2	必修選択	2
幼児理解と教育相談	2		

＊ただし、教育インターンシップはTAPセンターで行うこと

③ 児童のための野外活動指導者……14単位以上（計18単位）

科　目　名	単位	履修条件	履修単位
教育インターンシップ B または C または D 教育インターンシップ（幼）B または C または D	2	必　修	2
野外教育【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必　修	2
フィールドワークA・B・C（野外教育分野のみ）	2	必修選択	2
国際研究A・B・C・D（野外教育分野のみ）	各2（国際研究Dのみ3単位）		
環境教育【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必　修	2
理科	2	必　修	2
体育（幼・小）または体育（幼）	2	必　修	2
図工または図工（幼）	2	必　修	2

＊ただし、インターンシップはTAPセンターで行うこと

教育学部 教育学科

1 カリキュラム・ポリシー

初等教育専攻

初等教育専攻の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次のように編成・実施する。

- 初等教育を学修する上で基盤となる教育学並びに教職に関する基礎科目群から修得する。
- 現代社会で必要とされる、幅広い教養、コミュニケーション能力、論理的思考力を培うユニバーシティ・スタンダード科目群から修得する。
- 幼稚園および小学校教諭一種免許状のいずれか、または幼小連携を視野に入れた両方を取得するため、実習を含む関連科目を選択履修し、所定の単位を効率的かつ効果的に修得することができるように、１年次から４年次にかけて教職関連科目を修得する。
- 小中一貫教育など学校種を超えた指導ができる能力を身に付けるために、本専攻において取得可能な中学校教諭二種免許状に関する教職関連科目を修得する。
- 教職界に限らず、初等教育の学修成果を活かして広く現代社会に貢献できる能力を身に付けるために、キャリア教育に関する科目を修得する。

社会科教育専攻

社会科教育専攻の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次のように編成・実施する。

- 社会科系領域に関する確かな専門的知識を習得するとともに、多面的・多角的な学びから教養を広げ、現実社会の諸課題を理解する。
- 社会科系領域に関する知識および技能の学び方を理解し、教科としての見方・考え方や、確かな言語能力を基盤とする汎用的技能を獲得する。
- 中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民）の取得を目指し、社会科系領域について免許法施行規則に定める教科及び教科の指導法に関する所定の科目を効率的かつ効果的に修得する。
- 小中・中高一貫教育などに対応できるよう、学校種を超えて指導できる能力を備えるために小学校教諭二種免許関連科目の履修を可能とし、免許法施行規則に定める教科及び教科の指導法に関する所定の科目を効率的かつ効果的に修得する。
- 学校や地域での諸活動の機会を重視し、他分野の教員や専門家等と連携・協働する力を培うとともに、現場での子どもとの関わりや活動から自身の進路・志望を明確化する。

保健体育専攻

保健体育専攻の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次のように編成・実施する。

- 中学校および高等学校教諭一種免許状（保健体育）の取得を目指し、保健体育科教員としての知識・技能、指導技術を育成するため、実習を含む関連科目を選択履修し、所定の単位を効率的かつ効果的に修得することができるよう、１年次から４年次にかけて科目を修得する。
- 小中・中高一貫教育などに対応できるよう、学校種を超えて指導できる能力を備えるために、小学校教諭二種免許関連科目の履修を可能にする。
- 保健体育領域について各学校段階に即した内容の科目を修得する。
- １年次には本学の伝統であるスキー教育に関して、「体育実技（スキー）」を配列し、その他の体育実技科目を３年次までに修得する。
- 本学の伝統である体育祭に１年次に参加し、２・３年次には運営、４年次には体操指導を行うことで、教育現場における体育祭等の行事教育を中心的に管理運営できる能力を身に付ける。

2 卒業要件

教育学科では、以下の６つの条件を卒業要件として定めています。

（１）修業年限を満たすこと

（２）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（３）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（４）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること
〈必　修　科　目〉　玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

（５）教育学部指定ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
〈必　修　科　目〉　自然科学科目群：「情報科学入門」（２単位）
教職関連科目群：「体育」（１単位）
〈必修選択科目〉　人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群：「名著講読（人文科学）」「名著講読（社会科学）」「名著講読（自然科学）」より２科目（２単位）
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より２科目（８単位）（注）
（注）教育学科の定める「ELFの４単位免除の条件」（p.160参照）を満たした者は１科目（４単位）

（６）学科科目について次の必修科目および必修選択科目を修得していること
100番台科目より：
〈必　修　科　目〉　「教育学概論」「教職概論」（４単位）
〈必修選択科目〉　「教育哲学」「教育心理学」「教育方法学」「教育社会学」「発達心理学」の５科目より３科目（６単位）
200番台科目より：
〈必　修　科　目〉　「全人教育実践演習Ａ」「全人教育実践演習Ｂ」（４単位）
300番台科目より：
〈必　修　科　目〉　「現代教育研究Ⅰ」「現代教育研究Ⅱ」「特別支援教育」（５単位）
400番台科目より：
〈必　修　科　目〉　「卒業課題研究Ⅰ」「卒業課題研究Ⅱ」（４単位）

3 卒業までの単位配分

科目群	科目分類	必要単位数	
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目	７単位	
	教育学部指定ユニバーシティ・スタンダード科目	13単位以上（注１）	
教育学科科目群	必修科目	17単位	104単位（注３）
	必修選択科目	６単位以上	
	自由選択科目	任意（注２）	
累積修得単位		124単位以上	

（注１）教育学科の定める「ELFの４単位免除の条件」（p.160参照）を満たした者は９単位以上
（注２）選択科目は教育学部科目、ユニバーシティ・スタンダード科目、他学部他学科科目、500番台科目、単位互換科目を含む
（注３）「ELFの４単位免除」を適用した者は、108単位となる

4 履修モデル

プログラム	将来の進路
教育学研究プログラム	大学院進学／教育関連企業など
初等教育プログラム	小学校（全科）教諭など
幼児教育プログラム	幼稚園教諭など
社会科教育／異文化理解教育プログラム	中学校（社会科）教諭 高等学校（公民科、地理歴史科）教諭など
体育／健康教育プログラム	中学校（保健体育科）教諭 高等学校（保健体育科）教諭など
教育未来構想プログラム	教育／文化／社会サービス ●社会教育士 ●図書館司書 ●児童のための心の教育指導者など

履修モデル A　学校教員を目指すモデル

本学が創立以来中核にすえてきた、優れた初等中等学校教員ならびに幼稚園教諭の育成を目指すモデルです。 現在でも約10,000名の卒業生が現職教員として活躍しており、「教育の玉川」として、本学科の卒業生の最も多数を占めるキャリアです。

【志向するキャリア】
- 教員（幼稚園、小学校、中学校社会・保健体育、高等学校公民／地理歴史・保健体育）
- 大学院進学（教育専門職領域）

履修モデル B　高度な文化専門職を目指すモデル

近年、文部科学省の提唱する「生きる力」に見られるように生涯学習の時代をむかえて、社会のさまざまな場での教育支援、学習者支援が必要とされており、教育を専門的に学んだ人材のニーズが以前にも増して重視されています。
公務員、特に教育支援（教育委員会の社会教育士など）の専門職や民間教育産業（生涯学習支援専門職）への就職、図書館司書などを目指すモデルです。

【志向するキャリア】
- 図書館・美術館・博物館・カルチャーセンターの専門職企業（放送・出版・研修・人材派遣・ホテル・教育産業）の総合職
- 公務員（公共団体の生涯学習モデレーター・メセナ・公益法人・社会福祉事業）
- 大学院進学（比較文化領域、文化政策領域、生涯学習領域、文化・メセナ振興領域、文化ビジネス領域）

5 ELFの4単位免除の条件

- 教育実習をともなう副免許取得を希望し、かつ、教育実習事前指導（サブ免許）の「P評価」（合格）を得られる者は、ELFの必修単位数を 4 単位以上とします。

6 教育学部 教育学科　教育課程表

凡例　履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　△：教育学部のみ受講可　□：他学科「小学校課程特別履修」学生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可
■：他学科 教職課程受講学生のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
PHIL 100	哲学	2	100	春秋									●							
PHIL 101	倫理学	2	100	秋									●							
RST 100	宗教学	2	100	春秋				●												
UNIV 107	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋						●			●							
UNIV 106	人文科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
UNIV 205	名著講読（人文科学）	1	50	春秋	◆			●	●				●							
PSY 101	心理学	2	100	春秋					●				●							
UNIV 105	社会科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋						●			●							
UNIV 104	社会科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
UNIV 204	名著講読（社会科学）	1	50	春秋	◆			●	●				●							
INFO 101	情報科学入門	2	100	春秋	●				●			●								●
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋						●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
UNIV 203	名著講読（自然科学）	1	50	春秋	◆			●	●				●							
COPR 100	インターンシップ A	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 102	インターンシップ C	1	50	春秋						●				●	●					
COPR 103	インターンシップ D	1	50	春秋						●				●	●					
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
LAW 101	日本国憲法	2	100	春					●										●	
P E 102	体育	1	100	秋	●										●	●				
COPR 112	教育インターンシップ A	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 113	教育インターンシップ B	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 114	教育インターンシップ C	1	50	春秋						●				●	●					
COPR 115	教育インターンシップ D	1	50	春秋						●				●	●					
E D 200	異文化理解と教育	2	100	春				●												
HHS 205	精神保健	2	100	春											●					
HHS 206	生命と性の教育	2	100	秋					●						●					
TED 313	教職演習A	1	50	秋春			4年次より履修可			●										●
TED 401	教職演習B	1	50	秋						●										●
学科専門科目																				
E D 101	教育学概論	2	100	春	●								●	●						●
TED 110	教職概論	②	100	秋	●									●			●	●		
TED 105	教育の制度と経営	②	100	秋					●										●	
TED 101	教育原理	②	100	春									●							●
TED 100	学習・発達論	②	100	春秋					●				●							
TED 104	教育哲学	②	100	秋	◆			●	●				●							
TED 103	教育心理学	②	100	秋	◆				●				●							
TED 108	教育方法学	②	100	秋	◆				●				●							
TED 102	教育社会学	②	100	秋	◆				●				●							
TED 113	発達心理学	②	100	秋	◆				●											
E D 103	生涯学習概論	②	100	春					●				●							●
TED 106	教育の方法と技術	②	100	秋		□			●				●							
JPN 104	国語	2	100	春		□			●	●										
MATH 103	算数	2	100	春		□					●		●							
SCED 102	理科	2	100	春					●					●						
SOC 101	社会	2	100	秋					●										●	
SOC 100	家庭	2	100	秋											●				●	
SOC 104	生活	2	100	春秋					●											
MUS 102	音楽	2	100	春秋					●											
ART 111	図工	2	100	春					●											
HHS 102	体育（幼・小）	2	100	春						●						●				
ENG 115	外国語（英語）	2	100	春秋					●	●			●							
TED 115	保育内容総論	②	100	秋					●										●	

凡例　履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　△：教育学部のみ受講可　□：他学科「小学校課程特別履修」学生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可
■：他学科 教職課程受講学生のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
COPR 104	教育インターンシップ（幼）A	②	100	春秋						●				●	●					
COPR 106	教育インターンシップ（幼）B	②	100	春秋						●				●	●					
COPR 108	教育インターンシップ（幼）C	①	50	春秋						●				●	●					
COPR 110	教育インターンシップ（幼）D	①	50	春秋						●				●	●					
ANTH 100	文化人類学	②	100	春秋				●	●											
ANTH 101	民俗学入門	②	100	秋				●	●											
SOC 102	社会学	②	100	秋									●						●	
ECON 100	経済学（国際経済を含む。）	②	100	春										●					●	
POSC 100	政治学（国際政治を含む。）	②	100	秋					●	●									●	
E　D 106	ボランティア概論	②	100	秋												●	●			
CWC 101	比較文化論	②	100	春秋				●												
RST 101	世界の宗教と文化	②	100	秋				●												
LAW 100	市民社会と法	②	100	秋										●						
HIST 101	日本史概論	2	100	春秋					●				●							
P　E 104	体育実技（体操）	1	100	秋						●				●						●
P　E 105	体育実技（陸上）	1	100	秋						●				●						●
P　E 103	体育実技（スキー）	1	100	秋						●				●						●
LIBS 109	図書館情報資源概論	②	100	秋								●								
LIBS 110	図書館情報資源特論	①	50	春								●								
E　D 208	全人教育実践演習 A	2	100	春	●				●					●						●
E　D 209	全人教育実践演習 B	2	100	秋	●				●					●						●
TED 201	総合的な学習の時間の理論と方法	①	50	春										●						●
TED 203	特別活動の理論と方法	①	50	春秋		□				●						●				
TED 205	特別支援教育	①	50	秋	●									●				●		
TED 214	幼児理解と教育相談	②	100	春秋						●				●						
TED 212	幼児教育課程論	②	100	春秋					●				●							
TED 213	幼児指導論	②	100	春秋						●							●			
TED 207	保育内容指導法（健康）	②	100	春秋						●				●						
TED 209	保育内容指導法（人間関係）	②	100	春秋						●				●						
TED 206	保育内容指導法（環境）	②	100	春秋						●				●						
TED 208	保育内容指導法（言葉）	②	100	春秋						●				●						
TED 210	保育内容指導法（表現）	②	100	春秋						●				●						
SUBP 208	国語科指導法	2	100	春秋		□				●				●						
SUBP 212	社会科指導法	2	100	春秋		□				●				●						
SUBP 211	算数科指導法	2	100	春秋		□				●				●						
SUBP 228	理科指導法	2	100	春秋		□				●				●						
SUBP 220	生活科指導法	2	100	春秋						●				●						
SUBP 201	音楽科指導法	2	100	春秋		□				●				●						
SUBP 205	家庭科指導法	2	100	春秋						●				●						
SUBP 219	図工科指導法	2	100	春秋		□				●				●						
SUBP 221	体育科指導法	2	100	春秋						●				●						
SUBP 204	外国語（英語）指導法	2	100	春秋						●										
HIST 206	日本史各論 A	2	100	秋					●			●		●						
HIST 207	日本史各論 B	2	100	秋					●			●		●						
HIST 200	外国史概論	2	100	春				●	●				●							
HIST 201	外国史各論 A	2	100	秋				●	●					●						
HIST 202	外国史各論 B	2	100	秋				●	●					●						
HIST 204	西洋文化史	2	100	秋				●	●					●						
HIST 205	東洋文化史	2	100	秋				●	●					●						
GEOG 202	地理学概論	2	100	春		Ⓛ			●				●							
GEOG 200	観光地誌論	2	100	春					●				●						●	
PHIL 204	西洋哲学思想史	2	100	春		Ⓛ			●				●							
PHIL 206	東洋思想史	2	100	春		Ⓛ		●	●				●							
SCED 202	地球科学	②	100	春秋					●											
SCED 200	宇宙科学	②	100	春秋					●											
P　E 201	体育実技（水泳）	1	100	春										●		●				●
P　E 202	体育実技（ダンス）	1	100	秋										●		●				●
P　E 200	体育実技（球技 A）	1	100	秋										●		●				●
HHS 209	体育原理	2	100	春					●											
SOC 207	体育社会学	2	100	秋					●											●
HHS 210	体育測定評価	2	100	秋					●		●									
HHS 207	生理学（運動生理学を含む。）	2	100	春					●											

凡例　履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　△：教育学部のみ受講可　□：他学科「小学校課程特別履修」学生のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可
■：他学科 教職課程受講学生のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
HHS 200	衛生学	2	100	春					●										●	
HHS 202	公衆衛生学	2	100	春					●									●	●	
HHS 201	学校保健	2	100	春					●										●	
SUBP 226	保健体育科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 227	保健体育科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
MUSE 200	博物館概論	②	100	春				●	●											
MUSE 205	博物館資料論	②	100	秋				●	●			●								
MUSE 201	博物館教育論	②	100	秋									●							●
E　D 303	現代教育研究Ⅰ	2	100	春	●								●	●						●
E　D 304	現代教育研究Ⅱ	2	100	秋	●								●	●						●
TED 301	教育課程編成論	②	100	春		□							●							
TED 317	道徳教育の理論と方法	②	100	春秋		□												●	●	
TED 314	生徒・進路指導の理論と方法	②	100	秋		□				●										●
TED 311	教育相談の理論と方法	②	100	春										●					●	
PSY 304	臨床心理学	2	100	春		△Ⓛ			●				●							
HIST 302	日本の伝統文化と歴史	2	100	春					●					●					●	
HIST 301	日本と外国の歴史	2	100	春					●				●							
HIST 303	歴史資料情報論	2	100	秋					●			●	●							
GEOG 301	人文地理学	2	100	春					●				●							
GEOG 300	自然地理学	2	100	春					●				●							
GEOG 303	地理情報論	2	100	春					●			●	●							
GEOG 302	地誌学概論	2	100	春					●					●					●	
E　D 306	世界の教育と文化環境	2	100	春秋				●	●											●
E　D 305	現代社会の教育課題	②	100	春秋					●					●				●		
E　D 300	ICT利活用の授業実践	2	100	春秋		■			●			●								●
LAW 301	法律学（国際法を含む。）	2	100	春					●					●					●	
SUBP 305	社会科・公民科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 306	社会科・公民科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
SUBP 307	社会科・地理歴史科指導法Ⅰ	2	100	春						●				●						
SUBP 308	社会科・地理歴史科指導法Ⅱ	2	100	秋						●				●						
SUBP 315	保健体育科指導法Ⅲ	2	100	春						●				●						
SUBP 316	保健体育科指導法Ⅳ	2	100	秋						●				●						
P　E 300	運動部活動の指導法	2	100	秋						●				●			●			
P　E 301	体育実技（球技 B）	1	100	秋										●		●				●
P　E 302	体育実技（武道）	1	100	秋					●						●					●
HHS 304	体育心理学	2	100	秋					●					●						
HHS 303	体育経営管理学	2	100	春					●								●			
HHS 300	運動学（運動方法学を含む。）	2	100	春					●					●						
HHS 301	栄養学	②	100	春											●					
HHS 305	病理学	②	100	秋					●						●					
TED 310	教育実習（幼稚園）	⑤	－	春秋						●				●		●				
TED 304	教育実習（小学校）	⑤	－	秋春						●				●		●				
TED 305	教育実習（中学校）	⑤	－	秋春						●				●		●				
TED 303	教育実習（高等学校）	③	－	秋春						●				●		●				
TED 308	教育実習（副・幼稚園）	③	－	春秋						●				●		●				
TED 306	教育実習（副・小学校）	③	－	秋春						●				●		●				
TED 307	教育実習（副・中学校）	③	－	秋春						●				●		●				
LIBS 300	学習指導と学校図書館	②	100	春								●								●
E　D 400	卒業課題研究Ⅰ	2	100	春	●								●	●						●
E　D 401	卒業課題研究Ⅱ	2	100	秋	●								●	●						●
TED 404	教職実践演習（幼）	②	100	秋						●				●		●				
TED 402	教職実践演習（小）	②	100	秋						●				●		●				
TED 403	教職実践演習（中・高）	②	100	秋						●				●		●				

【履修にあたって】
（1）必修科目、必修選択科目の履修にあたっては、卒業要件（p.159）を参照してください。
（2）A、B、Cがついている同一名称の授業科目は、履修の順番を問いません。
（3）Ⅰ・Ⅱなどのローマ数字がついている同一名称科目は原則としてその順番で履修してください。
（4）「図工」「音楽」「理科」など、設備の関係上受講人数に定員がかかる科目があります。登録の際には必ず教務担当教員の指示に従って手続きをしてください。
（5）教育実習は、事前指導、現場実習、事後指導の3区分により構成されています（現場実習を行うにあたっては必ず事前指導を修得済みであること）。

教育学部 乳幼児発達学科

1 カリキュラム・ポリシー

乳幼児発達学科の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次のように編成・実施する。

- 教育・保育を学修する上で基盤となる科目並びに教職に関する基礎科目を修得する。
- 現代社会で必要とされる、幅広い教養、コミュニケーション能力、論理的思考力を培うユニバーシティ・スタンダード科目を修得する。
- 幼稚園の教員、保育士の養成を目指し、１年次から４年次にかけて段階的に教育インターンシップや教育・保育実習に取り組み、実践的な学びと理論的な学びを交差させて履修することで、学修内容の相乗効果が促されるよう配列された科目を修得する。
- 教育・保育の歴史や、制度、方法など新たな国の動向や課題を理解し、幼稚園の教員や保育士に必要な教育・保育全般の知識・技能が習得されるように科目を配列し、免許状および資格の取得を目指す。
- 教育・保育に対する全般的な知識・技能の修得を基盤とし、さらに、幼稚園の教員や保育士の専門性となる、人の育ちに関わる職種、子育て支援、特別な支援を必要とする子どもの教育・保育などの分野での社会貢献を促す援助・支援のあり方に関する科目を修得する。

2 卒業要件

乳幼児発達学科では、以下の６つの条件を卒業要件として定めています。

（１）修業年限を満たすこと

（２）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（３）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（４）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること
〈必 修 科 目〉 玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

（５）教育学部指定ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
〈必 修 科 目〉 自然科学科目群：「情報科学入門」（２単位）
教職関連科目群：「体育」（１単位）
〈必修選択科目〉 人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群：「名著講読（人文科学）」「名著講読（社会科学）」「名著講読（自然科学）」より２科目（２単位）
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より１科目（４単位）

（６）学科科目について次の必修科目および必修選択科目を修得していること
100番台科目より：
〈必 修 科 目〉 「教育学概論」「保育者論」（４単位）
〈必修選択科目〉 「教育哲学」「保育の心理学」「教育方法学」「教育社会学」「子どもと家庭の発達心理学」の５科目より３科目（６単位）
200番台科目より：
〈必 修 科 目〉 「全人教育実践演習Ａ」「全人教育実践演習Ｂ」（４単位）
300番台科目より：
〈必 修 科 目〉 「現代教育研究Ⅰ」「現代教育研究Ⅱ」（４単位）
400番台科目より：
〈必 修 科 目〉 「卒業課題研究Ⅰ」「卒業課題研究Ⅱ」（４単位）

3 卒業までの単位配分

科目群	科目分類	必要単位数	
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目	7単位	
	教育学部指定ユニバーシティ・スタンダード科目	9単位以上	
乳幼児発達学科科目群	必修科目	16単位	108単位
	必修選択科目	6単位以上	
	自由選択科目	任意（注1）	
累積修得単位		124単位以上	

（注1）選択科目は教育学部科目、ユニバーシティ・スタンダード科目、他学部他学科科目、500番台科目、単位互換科目を含む

4 履修モデル

プログラム	将来の進路
幼児教育プログラム	幼稚園教諭など
乳幼児保育プログラム	保育士（保育所、乳児院、児童養護施設）など
児童福祉学研究プログラム	●児童指導員（児童養護施設・児童自立支援施設） ●児童厚生員（児童館） ●児童福祉司（児童相談所）など

履修モデル A　幼稚園教諭を目指すモデル

現在、全国各地で数多くの卒業生が現職の幼稚園教諭として活躍しており、各方面から高い評価を得ていることが、このモデルへの強い動機づけとなっています。
このモデルでの学修を通して、幼児教育のプロフェッショナルに求められる専門的知識・技術を修得し、子供の成長・発達、学問の進展、社会のニーズといった諸側面から的確に幼児教育を捉え、幼児教育を通じて社会文化の発展を担える専門職の養成を行います。

【志向するキャリア】
●主に国公私立の幼稚園の教員

履修モデル B　保育所の保育士、乳児院、児童養護施設等の専門職や幼稚園教諭を目指すモデル

乳幼児、就学前の保育や教育にかかわる専門職の育成ニーズは、未だに増加の傾向にあります。
その理由には、就学前の保育や教育の多様化があります。少子化の一方で、女性労働の増加、一人の子供に対する多様な保育および教育のニーズが発生しており、こうしたニーズに応えます。

【志向するキャリア】
●保育所、その他の児童福祉施設（乳児院・児童養護施設等）の専門職
●幼稚園、認定こども園、子育て支援施設、大学院進学（乳幼児科学領域）等

5 教育学部 乳幼児発達学科　教育課程表

凡例　履修条件　●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　△：教育学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
HIST 103	歴史（日本）	2	100	春秋										●						
PHIL 100	哲学	2	100	春秋									●							
UNIV 107	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋						●			●							
UNIV 106	人文科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
UNIV 205	名著講読（人文科学）	1	50	春秋	◆			●	●				●							
COMM 100	コミュニケーション論	2	100	春秋					●											
UNIV 105	社会科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋						●			●							
UNIV 104	社会科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
UNIV 204	名著講読（社会科学）	1	50	春秋	◆			●	●				●							
INFO 101	情報科学入門	2	100	春秋	●				●			●								●
UNIV 103	自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋						●			●							
UNIV 100	自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
UNIV 203	名著講読（自然科学）	1	50	春秋	◆			●	●				●							
COPR 100	インターンシップ A	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 102	インターンシップ C	1	50	春秋						●				●	●					
COPR 103	インターンシップ D	1	50	春秋						●				●	●					
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆					●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
LAW 101	日本国憲法	2	100	春					●										●	
P　E 102	体育	1	100	秋	●										●	●				
E　D 200	異文化理解と教育	2	100	春				●												
HHS 206	生命と性の教育	2	100	秋					●						●					
TED 313	教職演習A	1	50	秋春						●										●
学科専門科目																				
E　D 101	教育学概論	2	100	春	●								●	●						●
TED 114	保育者論	2	100	秋	●									●			●	●		
TED 104	教育哲学	2	100	秋	◆			●	●				●							
TED 102	教育社会学	2	100	秋	◆				●				●							
TED 111	子どもと家庭の発達心理学	2	100	秋	◆				●											
TED 101	教育原理	2	100	春									●							●
TED 100	学習・発達論	2	100	秋					●				●							
TED 105	教育の制度と経営	2	100	秋					●										●	
TED 115	保育内容総論	2	100	秋					●										●	
E　D 105	保育原理	2	100	春									●							
E　D 102	児童学	2	100	秋					●				●							
SOC 103	社会福祉	2	100	秋															●	
HHS 101	子どもの保健	2	100	秋					●											
TED 108	教育方法学	2	100	春	◆				●				●							
TED 106	教育の方法と技術	2	100	春					●				●							
JPN 104	国語	2	100	春秋					●	●										
MATH 103	算数	2	100	秋							●		●							
SOC 104	生活	2	100	春					●											
ART 112	図工（幼）	2	100	秋春					●											
COPR 105	教育インターンシップ（幼）A	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 107	教育インターンシップ（幼）B	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 109	教育インターンシップ（幼）C	1	50	春秋						●				●	●					
COPR 111	教育インターンシップ（幼）D	1	50	春秋						●				●	●					

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
COPR 116	保育インターンシップ A	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 117	保育インターンシップ B	2	100	春秋						●				●	●					
COPR 118	保育インターンシップ C	1	50	春秋						●				●	●					
COPR 119	保育インターンシップ D	1	50	春秋						●				●	●					
E D 208	全人教育実践演習 A	2	100	春	●				●					●						●
E D 209	全人教育実践演習 B	2	100	秋	●				●					●						●
TED 211	保育の心理学	2	100	春	◆				●				●							
TED 214	幼児理解と教育相談	2	100	秋						●				●						
TED 213	幼児指導論	2	100	春秋						●							●			
TED 207	保育内容指導法（健康）	2	100	春秋						●				●						
TED 209	保育内容指導法（人間関係）	2	100	春秋						●				●						
TED 206	保育内容指導法（環境）	2	100	春秋						●				●						
TED 208	保育内容指導法（言葉）	2	100	秋春						●				●						
TED 210	保育内容指導法（表現）	2	100	春秋						●				●						
MUS 202	音楽（幼）	2	100	秋春					●											
HHS 208	体育（幼）	2	100	春秋												●				
E D 201	子どもの遊びと育ち	2	100	春秋						●										
SOC 203	子ども家庭福祉	2	100	春															●	
HHS 203	子どもの健康と安全	1	100	春秋					●											
ECEC 200	乳児保育Ⅰ	2	100	春					●										●	
COMM 207	人間関係論	2	100	春		△			●											●
E D 303	現代教育研究Ⅰ	2	100	春	●								●	●						●
E D 304	現代教育研究Ⅱ	2	100	秋	●								●	●						●
TED 318	保育カリキュラム論	2	100	春					●				●							
E D 301	救急処置法	2	100	春秋		△								●					●	
ECEC 301	社会的養護	2	100	春															●	
HHS 302	子どもの食と栄養	2	100	春秋					●											
ECEC 201	乳児保育Ⅱ	1	100	秋					●										●	
ECEC 302	社会的養護演習	1	100	秋															●	
ECEC 303	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助Ⅰ	1	100	春						●									●	
ECEC 304	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助Ⅱ	1	100	秋						●									●	
ECEC 300	児童文化	2	100	春秋					●											●
ECEC 308	保育実践論 A	2	100	春秋										●					●	
TED 309	教育実習（幼稚園1種）	5	−	春秋						●				●		●				
ECEC 307	保育実習指導Ⅰ	2	100	春秋											●					
ECEC 306	保育実習I	4	−	春秋						●				●						
E D 400	卒業課題研究Ⅰ	2	100	春	●								●	●						
E D 401	卒業課題研究Ⅱ	2	100	秋	●								●	●						
TED 405	保育・教職実践演習	2	100	秋										●		●				
SOC 400	子ども家庭支援論	2	100	春秋										●						
ECEC 400	子育て支援演習	1	100	春秋										●						
SOC 401	子どもと家族の福祉	2	100	春秋															●	
ECEC 405	保育実践論 B	2	100	春秋										●					●	
ECEC 406	保育実践論 C	2	100	春秋										●					●	
ECEC 403	保育実習指導Ⅱ	1	100	春秋											●					
ECEC 404	保育実習指導Ⅲ	1	100	春秋											●					
ECEC 401	保育実習Ⅱ	2	−	春秋						●				●						
ECEC 402	保育実習Ⅲ	2	−	春秋						●				●						

【履修にあたって】

（1）必修科目、必修選択科目の履修にあたっては、卒業要件（p.164）を参照してください。
（2）Ⅰ・Ⅱなどのローマ数字がついている同一名称科目は原則としてその順番で履修してください。
（3）A、B、Cがついている同一名称の授業科目は、履修の順番を問いません。
（4）「保育実践論 A～C」など、設備の関係上受講人数に定員がかかる科目があります。登録の際には必ず教務担当教員の指示に従って手続きをしてください。
（5）教育実習は、事前指導、現場実習、事後指導の3区分により構成されています（現場実習を行うにあたっては必ず事前指導を修得済みであること）。
（6）「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」を履修するためには、「保育実習指導Ⅰ」を事前に修得しておく必要があります。
（7）「保育実習Ⅱ・Ⅲ」を履修するためには、「保育実習Ⅰ」を事前に修得しておく必要があります。

芸術学部

音楽学科
アート・デザイン学科
演劇・舞踊学科

人材養成等教育研究に係る目的

芸術学部は、本学創立の理念である全人教育のもと、全人的な人格陶冶と総合大学における芸術学部の特色を生かした芸術教育を目指している。芸術の各専門領域における理論と技能を体系的・実践的に学び、創造力・論理的思考力・マネジメント能力・協働力を培い、実行力と人間力を兼ね備えた「芸術による社会貢献」を推進しうる人材の養成を目的とする。

音楽学科は、音楽の体系的理解に基づき、現代社会における上演芸術および音楽教育の役割を学修し、音楽における総合的実践力、コミュニケーション力およびマネジメント力を有して社会に貢献できる人材を養成する。

アート・デザイン学科は、予測困難な未来において、美術、デザインおよびメディアアートの役割を理解し、多文化・異分野と関連させ、共に新しい発想や芸術表現に挑戦し、問題を解決するプロセスに参画できる人材を養成する。

演劇・舞踊学科は、上演芸術の理論や歴史および創造プロセスを多角的に学修し、上演芸術の価値および社会における使命や役割について説くことができ、創造の現場および社会に貢献する人材を養成する。

芸術学部　ディプロマ・ポリシー

芸術学部では、所定の単位を修得し、次の能力を有すると認められた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

① 芸術に関する幅広い素養をもち、得意とする芸術分野の専門的な知識・技能を身に付け、自然・社会・多文化・異分野と関連させながら理解することができる。
② 多様化する社会の諸問題に対し、認識、分析、解決するための言語力・論理的思考力・マネジメント力・コミュニケーション力・表現力を身に付けている。
③ 社会人としての倫理観と責任感をもち、生涯にわたり自ら考え、積極的に学び続ける生涯学習力を身につけている。
④ 社会や時代のニーズに対応する意識と国際的な視野を持ち、社会の発展のために積極的に関与することができる。
⑤ 相互の立場や特性を尊重しながら、主体的、自発的にリーダーシップを発揮し、チームワークを意識することができる。

［音楽学科］

① 音楽に関する専門的な技術および知識を身に付けるとともに、自然・社会・多文化・異分野と関連させながら理解することができる。
② 音楽の専門的な知識・技能をもとに、多様化する社会の諸問題に対し、解決しようとする意志をもち、認識、分析、解決するための言語力、論理的思考力、マネジメント力、コミュニケーション力、および表現力を身に付けている。
③ 音楽の専門的な知識・技能を生かし、社会人としての倫理観と責任感をもち、生涯にわたり積極的に学び続ける生涯学習力を身に付けている。
④ 進化する社会の音楽活動に携わり、国際的な視野を持ち、他者と価値観、倫理観を共有し、音楽を通して社会に貢献する意識をもつことができる。

［アート・デザイン学科］

① 美術、デザインおよびメディアアートの専門的な知識・技能を身に付けるとともに、自然、社会、多文化、異分野と関連させながら理解することができる。
② 美術、デザインおよびメディアアートの専門的な知識・技能をもとに、多様化する社会の諸問題に対し、解決をしようとする意思をもち、認識、分析、解決するための言語力、論理的思考力、マネジメント力、コミュニケーション力、および表現力を身に付けている。
③ 美術、デザインおよびメディアアートの専門的な知識・技能を生かし、社会人としての倫理観と責任感をもち、生涯にわたり自ら考え、積極的に社会や時代のニーズに対応する創造的な表現や解決法をもってこれからの社会に貢献する意識をもつことができる。文化芸術による社会の活性化や地域創生、国際交流に主体的に取り組み、相互の立場や特性を尊重しながら、主体的、自発的にリーダーシップを発揮し、チームワークを意識することができる。

［演劇・舞踊学科］

① 上演芸術に関する専門的な知識・技能を身に付けることで、上演芸術を自然や社会と、さらには異文化・異分野などの多様な価値観と関連させながら理解することができる。
② 上演芸術の専門的な知識・技能をもとに、多様化する社会の諸問題を認識、分析、解決するための意志を持ち、またそのための言語力・論理的思考力・マネジメント力・コミュニケーション力・表現力を身に付けている。
③ 上演芸術を理解し、創作を通じて他者と協働することで、相互の立場や特性を尊重しながら集団における統率力や責任感や倫理観を身に付けている。また、社会に貢献する意識を持つことができる。
④ 上演芸術の専門的な知識・技能を生かし、生涯にわたり積極的に学び続ける生涯学習力を身に付けている。

芸術学部

1 はじめに

●芸術学部は、建学の精神と学部の定める人材育成の目的（p.169）、そして学科ごとの学位授与方針（ディプロマ・ポリシー、p.170）に基づいて、体系化された教育課程（カリキュラム）を編成しています。ここではそのうち芸術学部全体に共通する部分について説明します。

2 カリキュラムの特徴

1 段階的な科目編成と「科目番号」

●芸術学部各学科のカリキュラムは「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」と「学科科目」の2種類から構成されています。

●すべての「学科科目」は開講学期および科目番号に従って段階別に編成されています。これによりどのような分野においても、効率的に自身の能力を高めていくことができます。

2 学士号の取得と「履修条件」

●各学科のカリキュラムは、芸術の多様な分野のそれぞれを効率的に学ぶことができるように設計されています。加えて私たち芸術学部は、そのうちどの分野を選ぶ場合でも「学士（芸術学）」として必要な実技と理論、そして英語力をはじめとするコミュニケーション能力を、バランスよく身につけることが必要だと考えています。

●このため芸術学部のいくつかの科目には、「必修」や「選択必修」、そのほか同時履修や先行履修条件（プリ・リクイジット）＊など、各種の履修条件が設定されています。この条件を守りながら学修を進めていくことではじめて、それぞれのジャンルの専門的な知見と広い視野、そして「学士（芸術学）」として必要な能力を修得することが可能になります。

●各学科のカリキュラムについての詳細はp.174以降に記載されています。

＊「先行履修条件」は、所定の試験に合格するなど、その科目を履修する能力があると認められる場合に免除されることがあります（これを「認定」と呼びます）。

3 卒業要件

芸術学部各学科の卒業要件は、学部で定めた学位授与の方針（p.170「ディプロマ・ポリシー」参照）とカリキュラム編成の方針に基づいて設定されています。詳細は各学科の該当ページを参照してください。

▶単位のしくみ
参照『履修ガイド』p.19
▶ユニバーシティ・スタンダード科目
参照『履修ガイド』p.51～57

4 卒業までの単位配分

●卒業までに必要な単位数は、第１セメスターから第８セメスターまで、合計124単位です。
その内訳は次のとおりです。

学科	コース	ユニバーシティ・スタンダード科目		学科科目				自由選択科目＊	累積修得単位
		市川教育・FYE科目群必修	人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、学際科目群、言語表現科目群	100番台科目	200番台科目	300番台科目	400番台科目		
音楽学科	演奏・創作コース	7単位	人文科学科目群：「音楽史」を含み４単位以上 社会科学科目群：２単位以上 自然科学科目群：２単位以上 学際科目群：２単位以上 言語表現科目群：「ELF101～402」より８単位以上 計18単位以上	〈必修〉 「芸術概論」「音楽理論」 「ソルフェージュⅠ」 「ソルフェージュⅡ」 「音楽専門実技Ⅰ」 「音楽専門実技Ⅱ」	〈必修〉 「音楽文化論」 「和声学Ⅰ」 「和声学Ⅱ」 の６単位を含み 12単位以上修得すること	〈必修〉 「演奏・創作Ⅰ」 「演奏・創作Ⅱ」	〈必修〉 「作曲法Ⅰ」 「作曲法Ⅱ」	必修・必修選択科目を除く、ユニバーシティ・スタンダード科目余剰単位分の科目、各学科開講科目、および他学部・他学科開講科目	124単位以上
	ミュージカルコース			〈必修〉 「芸術概論」「音楽理論」 「ソルフェージュⅠ」 「ソルフェージュⅡ」 「アンサンブルⅠ」 「アンサンブルⅡ」	〈必修〉 「ミュージカル表現Ⅰ」 「ミュージカル表現Ⅱ」 の８単位を含み 12単位以上修得すること	〈必修〉 「上演実習A」	〈必修〉 「卒業創作・研究A」		
	音楽教育コース		人文科学科目群：「音楽史」を含み４単位以上 社会科学科目群：２単位以上 自然科学科目群：２単位以上 学際科目群：２単位以上 言語表現科目群：「ELF101～402」より４単位以上 計14単位以上	〈必修〉 「芸術概論」 「音楽理論」 「ソルフェージュⅠ」 「鍵盤楽器基礎」 「声楽基礎B」 「和楽器指導法（管・絃・打）」	〈必修〉 「音楽科指導法Ⅰ」 「音楽科指導法Ⅱ」 「器楽教育法Ⅰ（管・打・合奏）」 の６単位を含み12単位以上修得すること	〈必修〉 「音楽科指導法Ⅲ」 「音楽科指導法Ⅳ」 「歌唱教育法（合唱）」 「指揮法」	〈必修〉 「作曲法Ⅰ」 の２単位を含み４単位以上修得すること		
アート・デザイン学科	メディア表現コース		人文科学科目群：２単位以上 自然科学科目群： 「マルチメディア表現」を含み２単位以上 言語表現科目群：「ELF101～402」より８単位以上 計12単位以上	〈必修〉 「芸術概論」 「アート・デザイン理論基礎Ⅰ」 「アート・デザイン理論基礎Ⅱ」 「アート・デザイン演習基礎C」 〈必修選択〉 「アート・デザイン演習基礎A」 「アート・デザイン演習基礎B」	〈必修〉 「文化立国論」 「芸術コミュニケーション論」	〈必修〉 「芸術表現学」 「アート・デザイン理論研究Ⅰ」 「アート・デザイン理論研究Ⅱ」 「アート・デザイン研究Ⅰ」 「アート・デザイン研究Ⅱ」	〈必修〉 「アートによる社会貢献」 「アート・デザイン卒業研究Ⅰ」 「アート・デザイン卒業研究Ⅱ」		
	美術教育コース		人文科学科目群：「美術史」を含み２単位以上 自然科学科目群：２単位以上 言語表現科目群：「ELF101～402」より４単位以上 計８単位以上	〈必修〉 「芸術概論」「美術理論」 「彫刻基礎」「絵画基礎」 「デザイン基礎」「工芸基礎」 「ドローイング」 「映像メディア表現基礎」	〈必修〉 「西洋美術史」 「日本美術史」	〈必修〉 「鑑賞教育理論（美術）」 「アート・デザイン研究Ⅰ」 「アート・デザイン研究Ⅱ」	〈必修〉 「アート・デザイン卒業研究Ⅰ」 「アート・デザイン卒業研究Ⅱ」		
演劇・舞踊学科	身体表現コース		人文科学科目群：２単位以上 社会科学科目群：２単位以上 自然科学科目群：２単位以上 学際科目群：４単位以上 言語表現科目群：「ELF101～402」より８単位以上 計18単位以上	〈必修〉 「芸術概論」 「世界演劇・舞踊史Ⅰ」 「世界演劇・舞踊史Ⅱ」 「演技・舞踊入門」 「演技・舞踊基礎演習」 「舞台技術基礎演習」 「上演基礎実習」	〈必修〉 「日本演劇・舞踊史Ⅰ」 「日本演劇・舞踊史Ⅱ」 〈必修選択①〉 「演技・舞踊演習Ⅰ」 「演技・舞踊演習Ⅱ」 〈必修選択②〉 下記よりいずれか４単位以上修得していること 「演劇理論」「芸術と社会」 「メイクアップ」「所作・擬闘」 「シアターデザイン基礎演習Ⅰ」 「シアターデザイン基礎演習Ⅱ」 「上演実習A」「上演実習B」	〈必修〉 「舞台芸術研究Ⅰ」 「舞台芸術研究Ⅱ」 〈必修選択〉 「演技・舞踊演習Ⅲ」 「演技・舞踊演習Ⅳ」	〈必修〉 「舞台芸術研究Ⅲ」 「舞台芸術研究Ⅳ」 〈必修選択〉 「卒業創作・研究A」 「卒業創作・研究B」 から１科目以上		
	舞台創造コース				〈必修〉 「日本演劇・舞踊史Ⅰ」 「日本演劇・舞踊史Ⅱ」 〈必修選択①〉 「舞台創造演習Ⅰ」 「舞台創造演習Ⅱ」 〈必修選択②〉 下記よりいずれか４単位以上修得していること 「演劇理論」「芸術と社会」 「メイクアップ」「所作・擬闘」 「シアターデザイン基礎演習Ⅰ」 「シアターデザイン基礎演習Ⅱ」 「上演実習A」「上演実習B」	〈必修〉 「舞台芸術研究Ⅰ」 「舞台芸術研究Ⅱ」 〈必修選択〉 「舞台創造演習Ⅲ」 「舞台創造演習Ⅳ」			
	芸術応用コース				〈必修〉 「日本演劇・舞踊史Ⅰ」 「日本演劇・舞踊史Ⅱ」 〈必修選択①〉 「芸術創造演習Ⅰ」 「芸術創造演習Ⅱ」 「応用演劇演習Ⅰ」 「応用演劇演習Ⅱ」 〈必修選択②〉 下記よりいずれか４単位以上修得していること 「演劇理論」「芸術と社会」 「メイクアップ」「所作・擬闘」 「シアターデザイン基礎演習Ⅰ」 「シアターデザイン基礎演習Ⅱ」 「上演実習A」「上演実習B」	〈必修〉 「舞台芸術研究Ⅰ」 「舞台芸術研究Ⅱ」 〈必修選択〉 「芸術創造演習Ⅲ」 「芸術創造演習Ⅳ」 「応用演劇演習Ⅲ」 「応用演劇演習Ⅳ」			

＊他学部・他学科の科目は、科目によっては、受講できない場合があります。受講を希望する学科の課程表で、その科目が受講可能かを確認し、履修してください。

5 警告制度と進度チェック

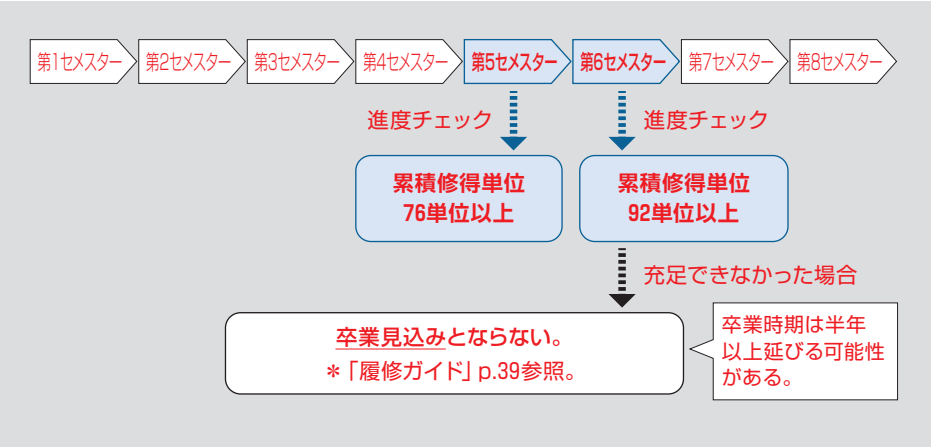
●芸術学部では、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかをチェックするために、「警告制度」と「進度チェック」を定めています。

■警告

本ガイドp.37にある「警告制度」の説明を参照してください。

▶警　告
参照『履修ガイド』p.37

■第 5 セメスター終了時および第 6 セメスター終了時における進度チェック



▶卒業見込み
参照『履修ガイド』p.39

●第 5 セメスター終了時に累積修得単位数が76単位未満の場合は、大学より通知が届きます。
●第 6 セメスター終了時に累積修得単位数が92単位未満の場合は、卒業見込みとなりません。単位数が満たなかった場合は大学より通知が届きますので、記載された指示に従ってください。
●第 7 セメスター以降、累積修得単位数が92単位以上になるまで卒業見込みとならず、卒業が半年以上延びる可能性があります。なお、卒業見込みとならなかった場合は、卒業見込証明書（学士）の発行申請ができません。

■注意レベル単位数

各セメスターで修得すべき必修科目の単位も含めて累積修得単位数が「注意レベル単位数」を下回ることがないよう注意してください。
「注意レベル単位数」未満の場合、 4 年間で卒業できなくなる可能性があります。

年　　次	1		2		3		4	
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
注意レベル単位数	12	28	44	60	76	92	108	—

6 履修モデル

●芸術学部の各学科では、学修の分野と卒業後の進路に応じた複数の「履修モデル」を用意しています。このモデルを参照しながら履修計画を立てることで、正しく、効率的に、自身の求める学修成果や、取得を希望する免許・資格に近づくことができます。それぞれの履修モデルについては各学科の該当ページを参照してください。

芸術学部 音楽学科

1 カリキュラム・ポリシー

●音楽学科のカリキュラムは芸術学部の学位授与の方針に基づき、次の方針に従って編成している。

① 音楽に関する基礎全般を概観し、楽譜に関する知識や、その知識を踏まえたベーシックな理論、さらに楽曲演奏の基礎となる音楽の３要素（リズム、メロディー、ハーモニー）について学修するために、１年次の必修科目として『音楽理論』や『ソルフェージュⅠ』を配置する。
② 自己の将来目標にあわせて専門的な学びを深めるため、１年次より「音楽教育コース」、「演奏・創作コース」、「ミュージカルコース」の３つのコースを設定し、コースごとに必要な専門的知識・技能を修得するための科目を開設する。
③ 音楽分野の専門的な知識・技能を修得するだけでなく、専門的な知識・技能の学修を通して課題を認識・分析する力や、言語力、論理的思考力、マネジメント力、コミュニケーション力を身に付けるために、他者と協働しながら主体的に取り組むプロジェクト型および演習形式の科目を配置する。
④ ４年間の集大成として成果を発表する科目として『卒業演奏・卒業創作』、『卒業創作・研究』、『卒業論文』を配置する。

●なおコースごとの標準的な学習内容は後述する「履修モデル」によって示されています（p.176 ～ 177参照）。

2 卒業要件

音楽学科では、以下の６つの条件を卒業要件として定めています。

（１）修業年限を満たすこと

（２）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（３）卒業時の累積GPAが2.00以上であること

（４）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
人文科学科目群：「音楽史」

〈必修選択科目〉
演奏・創作コース／ミュージカルコース
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より２科目（８単位）
音楽教育コース
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より１科目（４単位）

（５）ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より、上記（４）で示した必修および必修選択科目の単位を含む、次に指定する単位数を修得していること

演奏・創作コース／ミュージカルコース
人文科学科目群：４単位以上　社会科学科目群：２単位以上
自然科学科目群：２単位以上　学 際 科 目 群：２単位以上
言語表現科目群：８単位以上
以上計18単位以上

音楽教育コース
人文科学科目群：４単位以上　社会科学科目群：２単位以上
自然科学科目群：２単位以上　学 際 科 目 群：２単位以上
言語表現科目群：４単位以上
以上計14単位以上

（6）学科科目について、次の必修科目を修得していること

演奏・創作コース
100番台科目より：「芸術概論」「音楽理論」「ソルフェージュⅠ」「ソルフェージュⅡ」「音楽専門実技Ⅰ」「音楽専門実技Ⅱ」
200番台科目より：「音楽文化論」「和声学Ⅰ」「和声学Ⅱ」の6単位を含み12単位以上修得すること
300番台科目より：「演奏・創作Ⅰ」「演奏・創作Ⅱ」
400番台科目より：「作曲法Ⅰ」「作曲法Ⅱ」

ミュージカルコース
100番台科目より：「芸術概論」「音楽理論」「ソルフェージュⅠ」「ソルフェージュⅡ」「アンサンブルⅠ」「アンサンブルⅡ」
200番台科目より：「ミュージカル表現Ⅰ」「ミュージカル表現Ⅱ」の8単位を含み12単位以修得すること
300番台科目より：「上演実習A」
400番台科目より：「卒業創作・研究A」

音楽教育コース
100番台科目より：「芸術概論」「音楽理論」「ソルフェージュⅠ」「鍵盤楽器基礎」「声楽基礎B」「和楽器指導法（管・絃・打）」
200番台科目より：「音楽科指導法Ⅰ」「音楽科指導法Ⅱ」「器楽教育法Ⅰ（管・打・合奏）」の6単位を含み12単位以上修得すること
300番台科目より：「音楽科指導法Ⅲ」「音楽科指導法Ⅳ」「歌唱教育法（合唱）」「指揮法」
400番台科目より：「作曲法Ⅰ」の2単位を含み4単位以上修得すること

3 履修上の留意事項

●学科科目で、科目名にローマ数字の記載のあるもの、またそのほかに教育課程表中に指定のある科目を履修するためには、必ず事前ガイダンスに出席しなければなりません。

4 取得可能な資格

●音楽学科では、所定の科目の単位を修得し、また所定の条件を満たすことで次の免許あるいは資格を取得することができます。

■学芸員

本履修ガイドp.234～235の「学芸員」を参照してください。

■教育職員免許状

音楽教育コースのみ取得可能です。
教職課程の受講を希望する場合は、『教職課程受講ガイド』を参照し、別途ガイダンスに必ず出席し、詳細を確認してください。また、教職課程を受講するには、受講条件や受講継続条件がありますので、そちらも合わせて『教職課程受講ガイド』を参照してください。

□中学校教諭一種免許状（音楽）
□高等学校教諭一種免許状（音楽）
□小学校教諭二種免許状
＊中学校・高等学校の教職課程受講と併せて小学校の教職課程「ダブル免許プログラム」の受講が可能です。

■その他の資格および修了証

本履修ガイドp.225の「取得できる各種資格・修了証等一覧」を参照してください。

＊複数の免許・資格・修了証の同時取得については、可能なものとそうでないものがあります。詳細は随時行われるガイダンスの内容を参照してください。

5 音楽学科　履修モデル

■楽器演奏のプロフェッショナルを養成するモデル

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）		音楽史	美術史	ことばと文化	倫理学		
	社会科学科目群		コミュニケーション論	国際関係論					心理学
	自然科学科目群			データ処理					マルチメディア表現
	学際科目群				プレゼンテーションスキル		プレゼンテーションスキル	複合領域研究	複合領域研究
	言語表現科目群	ELF	ELF						
専門科目群	100番台科目群	芸術概論 ソルフェージュⅠ 音楽専門実技Ⅰ アンサンブルⅠ	音楽理論 音楽専門実技Ⅱ ソルフェージュⅡ アンサンブルⅡ						
	200番台科目群			音楽文化論 音楽専門実技Ⅲ 声楽基礎C 和声学Ⅰ アンサンブルⅢ	音楽専門実技Ⅳ 和声学Ⅱ 声楽基礎D アンサンブルⅣ 日本音楽史 第九演奏表現A				
	300番台科目群					作家理解と作品講読 声楽Ⅰ 器楽Ⅰ 演奏・創作Ⅰ 指揮法 対位法 アンサンブルⅤ	演奏・創作Ⅱ 声楽Ⅱ 器楽Ⅱ 西洋音楽史 第九演奏表現B 楽式論 アンサンブルⅥ	民族音楽概説 歌曲伴奏法 現代音楽史	
	400番台科目群							演奏・創作Ⅲ 声楽Ⅲ 作曲法Ⅰ アンサンブルⅦ	卒業演奏・卒業創作 声楽Ⅳ 第九演奏表現C 作曲法Ⅱ アンサンブルⅧ

■音楽マネジメントのスキルを中心に学ぶモデル

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）		音楽史				ことばと文化	倫理学
	社会科学科目群				マーケティング コミュニケーション論	国際関係論		心理学	
	自然科学科目群		データ処理	マルチメディア表現					
	学際科目群			インターンシップA	プレゼンテーションスキル	国際研究A	国際研究B	複合領域研究	現代文化論 インターンシップB
	言語表現科目群	ELF	ELF						
専門科目群	100番台科目群	芸術概論 ソルフェージュⅠ 音楽専門実技Ⅰ アンサンブルⅠ	音楽理論 ソルフェージュⅡ 音楽専門実技Ⅱ アンサンブルⅡ						
	200番台科目群			音楽文化論 器楽基礎C 声楽基礎C 和声学Ⅰ アンサンブルⅢ	器楽基礎D 声楽基礎D 和声学Ⅱ 第九演奏表現A アンサンブルⅣ	芸術と社会			
	300番台科目群					作家理解と作品講読 演奏・創作Ⅰ 器楽Ⅰ 民族音楽概説 アンサンブルⅤ	西洋音楽史 演奏・創作Ⅱ 器楽Ⅱ 文献資料講読 第九演奏表現B アンサンブルⅥ 劇場接遇演習 （ゲストリレーション）	現代音楽史	
	400番台科目群							作曲法Ⅰ 器楽Ⅲ 卒業論文執筆法 アンサンブルⅦ	作曲法Ⅱ 器楽Ⅳ 卒業論文 第九演奏表現C アンサンブルⅧ

■ミュージカルのプロフェッショナルを養成するモデル

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）		音楽史	ことばと文化				
	社会科学科目群			コミュニケーション論					国際関係論
	自然科学科目群					データ処理		マルチメディア表現	
	学際科目群				現代文化論			国際研究A	
	言語表現科目群	ELF	ELF						
専門科目群	100番台科目群	アンサンブルⅠ 芸術概論 演技・舞踊入門 舞台技術基礎演習	アンサンブルⅡ 演技・舞踊基礎演習 音楽理論 上演基礎実習	ソルフェージュⅠ 器楽基礎A	ソルフェージュⅡ 器楽基礎B				
	200番台科目群			アンサンブルⅢ ミュージカル表現Ⅰ 演劇理論	アンサンブルⅣ ミュージカル表現Ⅱ 第九演奏表現A	世界演劇・舞踊史Ⅰ 器楽基礎C	世界演劇・舞踊史Ⅱ 器楽基礎D		
	300番台科目群					アンサンブルⅤ 声楽Ⅰ 上演実習A 作家理解と作品講読	アンサンブルⅥ 声楽Ⅱ 上演実習B オーディション演習 第九演奏表現B	現代音楽史 器楽Ⅰ 声楽Ⅲ	西洋音楽史 器楽Ⅱ 声楽Ⅳ
	400番台科目群							アンサンブルⅦ 卒業創作・研究A	アンサンブルⅧ 卒業創作・研究B 第九演奏表現C

■中学校・高等学校の教員を養成するモデル：中学校教諭一種免許状（音楽）／高等学校教諭一種免許状（音楽）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102		全人教育論				
	人文科学科目群	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）		音楽史			人文科学アカデミックスキルズ（ライティング）		
	社会科学科目群						心理学		
	自然科学科目群		データ処理						
	学際科目群								現代文化論
	言語表現科目群		ELF						
専門科目群	100番台科目群	芸術概論 ソルフェージュⅠ 鍵盤楽器基礎 和楽器指導法（管・絃・打）	音楽理論 声楽基礎B 器楽基礎B					アンサンブルⅠ	アンサンブルⅡ 第九演奏表現A
	200番台科目群			声楽基礎C 器楽基礎C 和声学Ⅰ 音楽科指導法Ⅰ	声楽基礎D 器楽基礎D 器楽教育法Ⅰ（管・打・合奏） 日本音楽史 創作教育法 音楽科指導法Ⅱ				和声学Ⅱ
	300番台科目群					歌唱教育法（合唱） 民族音楽概説 指揮法 演奏・創作Ⅰ 音楽科指導法Ⅲ	西洋音楽史 演奏・創作Ⅱ 音楽科指導法Ⅳ	伴奏法 器楽教育法Ⅱ（リコーダー・弦楽器）	鑑賞教育理論（音楽）
	400番台科目群							作曲法Ⅰ 音楽教育実践法 演奏・創作Ⅲ 卒業論文執筆法	作曲法Ⅱ 卒業演奏・卒業創作 卒業論文
教職関連科目群		日本国憲法 教育原理	教職概論	教育の制度と経営 学習・発達論 教育の方法と技術（中・高） 教育インターンシップA	体育 特別支援教育 総合的な学習の時間の理論と方法（中・高） 特別活動の理論と方法（中・高）	教育相談の理論と方法（中・高） 教育課程編成論（中・高） 道徳教育の理論と方法（中・高） 教育実習（中学校）※事前指導含む	生徒・進路指導の理論と方法（中・高）		教職実践演習（中・高）

6 芸術学部 音楽学科　教育課程表

凡例
開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目　◎：事前ガイダンスに出席が必要　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可　△：芸術学部のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件			他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
										知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					音楽教育コース	演奏・創作コース	ミュージカルコース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																						
ART 117	美術史	2	100	春秋						●												
CWC 100	ことばと文化	2	100	春秋						●												
MUS 105	音楽史	2	100	春秋	●	●	●			●												
PHIL 101	倫理学	2	100	春秋											●							
B A 101	マーケティング	2	100	春秋							●											
UNIV 105	人文科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1	50	春秋								●			●							
UNIV 104	人文科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋								●										
COMM 100	コミュニケーション論	2	100	春秋							●											
PSY 101	心理学	2	100	春秋							●				●							
INFO 105	データ処理	2	100	春秋							●			●								
INFO 110	マルチメディア表現	2	100	春秋							●			●								
INTD 113	プレゼンテーションスキル	2	100	秋								●	●	●								
COPR 100	インターンシップ A	2	100	春秋								●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	春秋								●				●	●					
COPR 102	インターンシップ C	1	50	春秋								●				●	●					
COPR 103	インターンシップ D	1	50	春秋								●				●	●					
GLS 115	国際研究 A	2	300	秋春						●		●										
GLS 116	国際研究 B	2	300	秋春						●		●										
GLS 117	国際研究 C	2	300	秋春						●		●										
GLS 118	国際研究 D	3	450	秋春						●		●										
GLS 119	国際研究 E	4	600	秋春						●		●										
GLS 120	国際研究 F	5	750	秋春						●		●										
INTD 110	フィールドワーク A	2	100	春秋						●	●											
INTD 111	フィールドワーク B	2	100	春秋						●	●											
INTD 112	フィールドワーク C	2	100	春秋						●	●											
INTD 104	地域創生プロジェクト A	1	150	春秋								●										
INTD 105	地域創生プロジェクト B	1	150	春秋								●										
INTD 106	地域創生プロジェクト C	2	300	春秋								●										
INTD 107	地域創生プロジェクト D	2	300	春秋								●										
INTD 108	地域創生プロジェクト E	3	450	春秋								●										
INTD 109	地域創生プロジェクト F	3	450	春秋								●										
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆	◆	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆	◆	◆					●										
INTL 201	国際関係論	2	100	春秋												●						
PHIL 203	現代文化論	2	100	春						●	●											
INTD 201	複合領域研究 201 ～ 299	各2	100	春秋							●											
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆	◆	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆	◆	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																						
ART 107	芸術概論	2	100	春	●	●	●	○								●					●	●
MUS 108	音楽理論	2	100	春秋	●	●	●	△		●					●	●						
MUS 114	ソルフェージュ I	2	100	春	●	●	●	△					●		●							
MUS 115	ソルフェージュ II	2	100	秋		●	●	△					●		●							
MUS 100	アンサンブル I	2	100	春	◎	◎	●◎	○				●						●		●		
MUS 101	アンサンブル II	2	100	秋	◎	◎	●◎	○				●						●		●		

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件			他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
										知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					音楽教育コース	演奏・創作コース	ミュージカルコース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
MUS 106	音楽専門実技Ⅰ	2	100	春(集中)		●											●					●
MUS 107	音楽専門実技Ⅱ	2	100	秋(集中)		●											●					●
MUS 109	器楽基礎 A	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 110	器楽基礎 B	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 112	声楽基礎 A	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
MUS 113	声楽基礎 B	2	100	秋(集中)	●◎	◎	◎	△			●						●					
THEA 101	演技・舞踊入門	2	100	春			◎				●	●						●				
THEA 100	演技・舞踊基礎演習	2	100	秋			◎				●	●						●				
ART 119	舞台技術基礎演習	2	100	春秋			◎						●		●			●				
ART 110	上演基礎実習	4	200	秋(集中)			◎								●	●	●					
THEA 103	世界演劇・舞踊史Ⅰ	2	100	春				○			●				●							●
THEA 104	世界演劇・舞踊史Ⅱ	2	100	秋				○			●				●							●
MUS 111	鍵盤楽器基礎	2	100	春	●						●						●					
MUS 116	和楽器指導法（管・絃・打）	2	100	春	●																	●
MUS 205	音楽文化論	2	100	春		●		○		●											●	●
MUS 216	和声学Ⅰ	2	100	春		●		△					●		●							
MUS 217	和声学Ⅱ	2	100	秋		●		△					●		●							
MUS 200	アンサンブルⅢ	2	100	春	◎	◎	◎	○				●						●		●		
MUS 201	アンサンブルⅣ	2	100	秋	◎	◎	◎	○				●						●		●		
MUS 212	第九演奏表現 A	2	100	秋	◎	◎	◎	○		●											●	●
MUS 203	音楽専門実技Ⅲ	2	100	春(集中)													●					●
MUS 204	音楽専門実技Ⅳ	2	100	秋(集中)													●					●
MUS 207	器楽基礎 C	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 208	器楽基礎 D	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 210	声楽基礎 C	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
MUS 211	声楽基礎 D	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
MUS 214	ミュージカル表現Ⅰ	4	200	春			●◎	△		●								●	●			
MUS 215	ミュージカル表現Ⅱ	4	200	秋			●◎	△		●								●	●			
THEA 202	演劇理論	2	100	春秋							●					●		●				
ART 204	芸術と社会	2	100	春秋							●				●							●
THEA 207	上演実習 A	4	200	春(集中)			●◎								●	●					●	
THEA 208	上演実習 B	4	200	秋(集中)			◎								●	●					●	
SUBP 202	音楽科指導法Ⅰ	2	100	春	●							●				●						
SUBP 203	音楽科指導法Ⅱ	2	100	秋	●							●				●						
ART 215	創作教育法	1	50	秋												●						
MUS 209	器楽教育法Ⅰ（管・打・合奏）	2	100	秋	●											●						
MUS 213	日本音楽史	2	100	秋				(り)			●											●
MUS 320	民族音楽概説	2	100	春				○		●											●	
ART 313	作家理解と作品講読	2	100	春				△			●				●							●
MUS 307	歌唱教育法（合唱）	2	100	春	●							●						●				
MUS 312	指揮法	2	100	春	●							●							●			
MUS 316	対位法	2	100	春				△														●
MUS 306	楽式論	2	100	秋				△														●
MUS 315	西洋音楽史	2	100	秋				○			●											●
MUS 311	現代音楽史	2	100	春				(り)			●											●
MUS 317	第九演奏表現 B	2	100	秋	◎	◎	◎	○		●											●	●
MUS 301	アンサンブルⅤ	2	100	春	◎	◎	◎	○				●						●		●		
MUS 302	アンサンブルⅥ	2	100	秋	◎	◎	◎	○				●						●		●		
MUS 303	演奏・創作Ⅰ	2	100	春(集中)		●											●					●
MUS 304	演奏・創作Ⅱ	2	100	秋(集中)		●											●					●

凡例 開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目 ◎：事前ガイダンスに出席が必要 ◆：必修選択科目 無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可 △：芸術学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件			他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
										知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					音楽教育コース	演奏・創作コース	ミュージカルコース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
MUS 319	文献資料講読	2	100	秋											●							
MUS 308	器楽Ⅰ	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 309	器楽Ⅱ	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 313	声楽Ⅰ	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
MUS 314	声楽Ⅱ	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
ART 306	オーディション演習	2	100	春秋													●			●		●
THEA 306	劇場接遇演習（ゲストリレーション）	2	100	春秋				○										●				●
SUBP 301	音楽科指導法Ⅲ	2	100	春	●							●				●						
SUBP 302	音楽科指導法Ⅳ	2	100	秋	●							●				●						
MUS 310	器楽教育法Ⅱ（リコーダー・弦楽器）	2	100	春												●						
ART 307	鑑賞教育理論（音楽）	2	100	秋						●						●						
MUS 318	伴奏法	2	100	春								●						●				
MUS 305	歌曲伴奏法	2	100	春								●										●
MUS 406	作曲法Ⅰ	2	100	春	●	●							●		●							
MUS 407	作曲法Ⅱ	2	100	秋		●							●		●							
MUS 404	器楽Ⅲ	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 405	器楽Ⅳ	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	○			●						●					
MUS 408	声楽Ⅲ	2	100	春(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
MUS 409	声楽Ⅳ	2	100	秋(集中)	◎	◎	◎	△			●						●					
MUS 400	アンサンブルⅦ	2	100	春	◎	◎	◎	○				●						●		●		
MUS 401	アンサンブルⅧ	2	100	秋	◎	◎	◎	○				●						●		●		
MUS 410	第九演奏表現 C	2	100	秋	◎	◎	◎	○		●											●	●
MUS 403	音楽教育実践法	2	100	春												●			●			
MUS 402	演奏・創作Ⅲ	2	100	春(集中)													●					●
ART 409	卒業演奏・卒業創作	2	100	秋(集中)													●					●
ART 410	卒業創作・研究 A	4	200	春(集中)			●◎					●					●		●			
ART 412	卒業創作・研究 B	4	200	秋(集中)			◎					●					●		●			
ART 415	卒業論文執筆法	2	100	春											●		●					●
ART 414	卒業論文	2	100	秋											●		●					●

【履修にあたって】

音楽学科の履修上の留意事項と履修モデル（主な科目）も併せて参照してください。
上演実習（A/B）を履修するには舞台技術基礎演習と上演基礎実習を履修しておくことが望ましい。

■音楽学科プリ・リクイジット（先行履修条件科目）

下記科目は、先行履修の条件付き科目です。右欄の科目を修得済み（一部同時履修可）でないと履修できません。

授業科目名	プリ・リクイジット（先行履修科目）
ローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）のついている科目	数字の若い順に履修します。数字の途中からは履修できません。

芸術学部 アート・デザイン学科

1 カリキュラム・ポリシー

●アート・デザイン学科のカリキュラムは芸術学部の学位授与の方針に基づき、次の方針に従って編成している。

① 1年次から「メディア表現コース」および「美術教育コース」という履修上の2つのコースを設け、各自の専門性を深めていけるよう科目を配置する。学べる分野としては造形分野（デザイン、CG・映像、立体・空間表現、絵画、工芸等）、音楽分野（コンピュータ音楽、作曲、音響合成、音響処理等）、美術教育分野（美術科指導法、鑑賞教育等）の3分野がある。

② 100番台科目にアート・デザイン領域の導入として、各専門分野の基礎知識および技術を学ぶ選択科目を設置する。
200番台科目には、学生各々の興味・関心や将来への方向性により専門分野を発展的に学ぶことができる選択科目を配置する。
300番台には、少人数で専門的かつ高度な内容を学ぶことで学修をより深めていくために、必修科目として『アート・デザイン卒業研究』を置く。
400番台には、学修の成果を卒業制作や卒業研究としてまとめるため、必修科目として『アート・デザイン卒業研究』や選択科目『エキシビション』を置く。学内外での発表を通して、閲覧者・観客を意識した社会性のある内容を追求しながら、生涯にわたり自ら考え、積極的に社会や時代のニーズに対応する創造的な表現力や解決法を身に付けさせる。

③ 芸術の社会貢献を実践的に学ぶことを目的に、企業・自治体など学外機関や地域との教育連携を中心とした選択科目『共創芸術プロジェクト』を設置する。社会に有用な課題設定とグループワークでの取り組みにより、社会・地域に貢献する意味の理解や、主体的、自発的にリーダーシップやマネジメント力を発揮してチームワークを形成する力を獲得する。

④ 英語によって専門分野を学ぶ選択科目『Art and Sound Techniques』や『Art and Sound Design』により語学力を向上させる。さらに国外との共同授業の実施や留学によって、国際交流や異文化の理解へとつなげていく。

⑤ 教職科目では、1年次より教職基礎科目および専門科目を設定し教職の基礎を身に付ける。1年次の後半の参観実習、2年次以降の介護等体験、教育インターンシップ等での教育現場の実際を体験しながら、知識、技術・技能の修得を関連づけ、教員としての資質・能力を向上させる。

●なおコースごとの標準的な学修内容は後述する「履修モデル」によって示されています（p.184～185参照）。

2 卒業要件

アート・デザイン学科では、以下の6つの条件を卒業要件として定めています。

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
メディア表現コースのみ
自然科学科目群：「マルチメディア表現」
美術教育コースのみ
人文科学科目群：「美術史」

〈必修選択科目〉
メディア表現コース
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より2科目（8単位）

美術教育コース
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より１科目（４単位）

（５）ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記（４）で示した必修および必修選択科目の単位を含む、次に指定する単位数を修得していること

メディア表現コース
人文科学科目群：２単位以上　自然科学科目群：２単位以上
言語表現科目群：８単位以上
以上計12単位以上

美術教育コース
人文科学科目群：２単位以上　自然科学科目群：２単位以上
言語表現科目群：４単位以上
以上計８単位以上

（６）学科科目について、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必　修　科　目〉

メディア表現コース
100番台科目より：「芸術概論」「アート・デザイン理論基礎Ⅰ」「アート・デザイン理論基礎Ⅱ」「アート・デザイン演習基礎C」
200番台科目より：「文化立国論」「芸術コミュニケーション論」
300番台科目より：「アート・デザイン研究Ⅰ」「アート・デザイン研究Ⅱ」「芸術表現学」「アート・デザイン理論研究Ⅰ」「アート・デザイン理論研究Ⅱ」
400番台科目より：「アート・デザイン卒業研究Ⅰ」「アート・デザイン卒業研究Ⅱ」「アートによる社会貢献」

美術教育コース
100番台科目より：「芸術概論」「美術理論」「絵画基礎」「彫刻基礎」「デザイン基礎」「工芸基礎」「映像メディア表現基礎」「ドローイング」
200番台科目より：「西洋美術史」「日本美術史」
300番台科目より：「アート・デザイン研究Ⅰ」「アート・デザイン研究Ⅱ」「鑑賞教育理論（美術）」
400番台科目より：「アート・デザイン卒業研究Ⅰ」「アート・デザイン卒業研究Ⅱ」

〈必修選択科目〉

メディア表現コース
100番台科目より：「アート・デザイン演習基礎A」または「アート・デザイン演習基礎B」

3　履修上の留意事項

●アート・デザイン学科の学科専門科目の履修にあたっては次の点に注意してください。

■「アート・デザイン研究Ⅰ」「アート・デザイン研究Ⅱ」「アート・デザイン卒業研究Ⅰ」「アート・デザイン卒業研究Ⅱ」

本科目の履修にあたっては、担当教員の振り分けがあります。特定の教員への希望者が多数の場合、GPAの値等を考慮した選考を行い、担当教員が決定されます。

4　取得可能な資格

●アート・デザイン学科では、所定の科目の単位を修得し、また所定の条件を満たすことで、次の資格を取得することができます。
●各種資格に関する詳細は、随時行われるガイダンスに参加し、内容を確認してください。
●複数の免許・資格・修了証の同時取得については、可能なものとそうでないものがあります。学科の教員に相談し、計画的に履修してください。

■学芸員

本履修ガイドp.234～235の内容を確認してください。

■教育職員免許状（美術教育コースのみ）

『教職課程受講ガイド』に教職課程を履修するうえでの詳細事項が記載されていますので、精読してください。また、すべてのガイダンスに出席してください。

■その他の資格および修了証

本履修ガイドp.225の「取得できる各種資格・修了証等一覧」を確認してください。

5 アート・デザイン学科　履修モデル

- 履修モデルは主なユニバーシティ・スタンダード科目や学科科目のみ示しています。別途ガイダンスにて詳細を確認してください。
- この履修モデルの科目だけでは、卒業要件の124単位を満たすことができません。加えて別途単位を履修する必要があります。
- 履修モデルに示された科目は、実際には異なる学期に配置されたり、閉講となったりする場合があります。
- ●は学科共通の必修科目、○は各コースの必修科目、◆は各コースの必修選択科目です。

■メディア表現コース　履修モデル（造形）

CG・映像、デザイン、立体・空間表現等の造形分野を中心に学ぶモデルです。

		ユニバーシティ・スタンダード科目	100番台科目	200番台科目	300番台科目	400番台科目
1年次	春	●一年次セミナー 101 ●健康教育 ●音楽Ⅰ ●ELF	●芸術概論 ○アートデザイン理論基礎Ⅰ ◆アートデザイン演習基礎A デザイン基礎 ドローイング			
	秋	●一年次セミナー 102 ●玉川の教育 ●音楽Ⅱ ○ELF ○マルチメディア表現	○アートデザイン理論基礎Ⅱ ○アートデザイン演習基礎C 映像メディア表現基礎 絵画基礎			
2年次	春			○文化立国論 コンピュータ・グラフィックスⅠ 映像メディア表現Ⅰ デザインⅠ 空間表現Ⅰ 総合造形Ⅰ メディア・デザイン理論A デザイン史		
	秋	複合領域研究		○芸術コミュニケーション論 コンピュータ・グラフィックスⅡ 映像メディア表現Ⅱ デザインⅡ 空間表現Ⅱ 総合造形Ⅱ メディア・デザイン理論B		
3年次	春		彫刻基礎	共創芸術プロジェクトA タイポグラフィー基礎演習	●アート・デザイン研究Ⅰ ○アート・デザイン理論研究Ⅰ ○芸術表現学 アート・デザイン演習A メディア・デザイン理論C	
	秋	キャリア・マネジメント		共創芸術プロジェクトB デジタルタイポグラフィー	●アート・デザイン研究Ⅱ ○アート・デザイン理論研究Ⅱ アート・デザイン演習B メディア・デザイン理論D デザイン理論	
4年次	春	現代文化論		絵画Ⅰ デザイン史 西洋美術史	情報デザインⅠ	●アート・デザイン卒業研究Ⅰ アート・デザイン演習C ○アートによる社会貢献
	秋	ネットワーク入門	工芸基礎	絵画Ⅱ 日本美術史	情報デザインⅡ	●アート・デザイン卒業研究Ⅱ アート・デザイン演習D エキシビション

■メディア表現コース　履修モデル（音楽）

コンピュータ音楽の音楽分野を中心に学ぶモデルです。

		ユニバーシティ・スタンダード科目	100番台科目	200番台科目	300番台科目	400番台科目
1年次	春	●一年次セミナー 101 ●健康教育 ●音楽Ⅰ ●ELF	●芸術概論 ○アートデザイン理論基礎Ⅰ ◆アートデザイン演習基礎B コンピュータ音楽基礎A ドローイング			
	秋	●一年次セミナー 102 ●玉川の教育 ●音楽Ⅱ ○ELF ○マルチメディア表現	○アートデザイン理論基礎Ⅱ ○アートデザイン演習基礎C コンピュータ音楽基礎B 映像メディア表現基礎			
2年次	春	Academic Communication		○文化立国論 メディア・デザイン理論A コンピュータ音楽Ⅰ Art and Sound Techniques Art and Sound Design A 共創芸術プロジェクトA 映像メディア表現Ⅰ		
	秋	Presentation Skill in English		○芸術コミュニケーション論 メディア・デザイン理論B コンピュータ音楽Ⅱ 音楽分析技法 Art and Sound Design B 共創芸術プロジェクトB 映像メディア表現Ⅱ		
3年次	春	Japanology 複合領域研究			●アート・デザイン研究Ⅰ ○アート・デザイン理論研究Ⅰ ○芸術表現学 アート・デザイン演習A メディア・デザイン理論C 情報デザインⅠ	
	秋	キャリア・マネジメント Japanese Pop Culture			●アート・デザイン研究Ⅱ ○アート・デザイン理論研究Ⅱ アート・デザイン演習B メディア・デザイン理論D 情報デザインⅡ デザイン理論	
4年次	春	現代文化論 国際研究		空間表現Ⅰ デザイン史 西洋美術史		●アート・デザイン卒業研究Ⅰ ○アートによる社会貢献 アート・デザイン演習C
	秋	ネットワーク入門 比較文化論 複合領域研究		空間表現Ⅱ 日本美術史		●アート・デザイン卒業研究Ⅱ アート・デザイン演習D エキシビション

■美術教育コース　履修モデル（教職）

中学校教諭一種免許状（美術）および高等学校教諭一種免許状（美術・工芸）を取得することを目的とするモデルです。

＊小学校二種免許の取得を希望する場合は、『教職課程受講ガイド』を参照し、別途ガイダンスにて詳細を確認してください。

		ユニバーシティ・スタンダード科目	100番台科目	200番台科目	300番台科目	400番台科目
1年次	春	●一年次セミナー 101 ●健康教育 ●音楽Ⅰ 教育原理 日本国憲法	●芸術概論 ○美術理論 ○ドローイング ○彫刻基礎 ○デザイン基礎			
	秋	●一年次セミナー 102 ●玉川の教育 ●音楽Ⅱ ●ELF ○美術史 教職概論	○絵画基礎 ○工芸基礎 ○映像メディア表現基礎			
2年次	春	学習・発達論 教育の方法と技術（中・高） 教育の制度と経営		○西洋美術史 絵画Ⅰ 工芸Ⅰ 工芸理論 美術科・工芸科指導法Ⅰ		
	秋	全人教育論 体育 特別活動の理論と方法（中・高） 総合的な学習の時間の理論と方法（中・高） 特別支援教育		○日本美術史 絵画Ⅱ 工芸Ⅱ 工芸史 美術科・工芸科指導法Ⅱ		
3年次	春	教育課程編成論（中・高） 教育相談の理論と方法（中・高） 道徳教育の理論と方法（中） 教育実習（事前指導）		デザインⅠ 彫刻Ⅰ	●アート・デザイン研究Ⅰ ○鑑賞教育理論（美術） 美術科指導法Ⅰ	
	秋	生徒・進路指導の理論と方法（中・高） 教育実習（中・高）		デザインⅡ 彫刻Ⅱ	●アート・デザイン研究Ⅱ 美術科指導法Ⅱ	
4年次	春	マルチメディア表現 Japanology		図法・製図 空間表現Ⅰ	アート・デザイン演習A 芸術表現学	●アート・デザイン卒業研究Ⅰ 東洋美術史 アートによる社会貢献
	秋	教職実践演習 Japanese Pop Culture		空間表現Ⅱ	デザイン理論 アート・デザイン演習B	●アート・デザイン卒業研究Ⅱ アート・デザイン演習D エキシビション

■美術教育コース　履修モデル（学芸員）

学芸員資格を取得することを目的とするモデルです。幅広い表現活動の理解、理論的な思考の育成が求められます。また、教育力や英語力も求められるため、これらを強化する科目修得が望まれます。

＊学芸員資格取得を希望する場合は、教職課程の受講はできません。

		ユニバーシティ・スタンダード科目	100番台科目	200番台科目	300番台科目	400番台科目
1年次	春	●一年次セミナー 101 ●健康教育 ●音楽Ⅰ 生涯学習概論 情報メディアの活用	●芸術概論 ○美術理論 ○ドローイング ○彫刻基礎 ○デザイン基礎			
	秋	●一年次セミナー 102 ●玉川の教育 ●音楽Ⅱ ●ELF ○美術史 マルチメディア表現	○絵画基礎 ○工芸基礎 ○映像メディア表現基礎			
2年次	春	ELF 博物館概論 博物館資料保存論		○西洋美術史 絵画Ⅰ 工芸Ⅰ 工芸理論		
	秋	ELF 博物館資料論 博物館教育論		○日本美術史 絵画Ⅱ 工芸Ⅱ 工芸史		
3年次	春	博物館実習 博物館展示論 フィールドワークA		デザインⅠ 彫刻Ⅰ 図法・製図	●アート・デザイン研究Ⅰ ○鑑賞教育理論（美術）	
	秋	博物館実習 博物館情報メディア論 博物館経営論 Japanese Pop Culture 国際研究A		デザインⅡ 彫刻Ⅱ	●アート・デザイン研究Ⅱ	
4年次	春	複合領域研究 Japanology		空間表現Ⅰ	アート・デザイン演習A 芸術表現学	●アート・デザイン卒業研究Ⅰ 東洋美術史 アートによる社会貢献
	秋	複合領域研究 Presentation Skill in English		空間表現Ⅱ	デザイン理論 アート・デザイン演習B	●アート・デザイン卒業研究Ⅱ アート・デザイン演習D エキシビション

6 芸術学部 アート・デザイン学科　教育課程表

凡例
開講期：（集中）：集中開講
履修条件：●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講：○：他学科受講可　△：芸術学部のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件		他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
									知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					メディア表現コース	美術教育コース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																					
ART 117	美術史	2	100	春秋		●			●												
B A 101	マーケティング	2	100	春秋						●											
PSY 101	心理学	2	100	春秋						●				●							
INFO 101	情報科学入門	2	100	春秋						●			●								
INFO 107	ネットワーク入門	2	100	春秋						●			●								
INFO 105	データ処理	2	100	春秋						●			●								
INFO 110	マルチメディア表現	2	100	春秋	●					●			●								
INTD 113	プレゼンテーションスキル	2	100	秋							●	●	●								
COPR 100	インターンシップ A	2	100	春秋							●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	春秋							●				●	●					
COPR 102	インターンシップ C	1	50	春秋							●				●	●					
COPR 103	インターンシップ D	1	50	春秋							●				●	●					
GLS 115	国際研究 A	2	300	秋春					●		●										
GLS 116	国際研究 B	2	300	秋春					●		●										
GLS 117	国際研究 C	2	300	秋春					●		●										
GLS 118	国際研究 D	3	450	秋春					●		●										
GLS 119	国際研究 E	4	600	秋春					●		●										
GLS 120	国際研究 F	5	750	秋春					●		●										
INTD 110	フィールドワーク A	2	100	春秋					●	●											
INTD 111	フィールドワーク B	2	100	春秋					●	●											
INTD 112	フィールドワーク C	2	100	春秋					●	●											
INTD 104	地域創生プロジェクト A	1	150	春秋						●											
INTD 105	地域創生プロジェクト B	1	150	春秋						●											
INTD 106	地域創生プロジェクト C	2	300	春秋						●											
INTD 107	地域創生プロジェクト D	2	300	春秋						●											
INTD 108	地域創生プロジェクト E	3	450	春秋						●											
INTD 109	地域創生プロジェクト F	3	450	春秋						●											
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆	◆					●										
COMM 200	Academic Communication	2	100	春							●			●							
PHIL 203	現代文化論	2	100	春					●	●											
INTD 200	Presentation Skill in English	2	100	秋					●		●		●								
INTD 201	複合領域研究201 ～ 299	各2	各100	春秋						●											
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100	春秋												●					●
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋春	◆	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																					
ART 107	芸術概論	2	100	春	●	●	○			●				●							
ART 104	アート・デザイン理論基礎 I	2	100	春	●					●				●							
ART 105	アート・デザイン理論基礎 II	2	100	秋	●					●				●							
ART 101	アート・デザイン演習基礎 A	2	100	春秋	◆								●	●							
ART 102	アート・デザイン演習基礎 B	2	100	春秋	◆								●	●							
ART 103	アート・デザイン演習基礎 C	2	100	秋	●								●	●							
ART 118	美術理論	2	100	春		●	△		●												
ART 106	絵画基礎	2	100	秋		●	△			●					●						
ART 113	彫刻基礎	2	100	春		●	△			●					●						
ART 114	デザイン基礎	2	100	春		●	△				●				●						
ART 109	工芸基礎	2	100	春秋		●	△		●						●						
MART 100	映像メディア表現基礎	2	100	春秋		●	△				●	●									
ART 115	ドローイング	1	50	春		●								●	●						
MART 101	コンピュータ音楽基礎 A	2	100	春			○						●	●							
MART 102	コンピュータ音楽基礎 B	2	100	秋			○						●	●							
POSC 200	文化立国論	2	100	春	●				●	●											
COMM 206	芸術コミュニケーション論	2	100	秋	●					●	●										
ART 210	工芸理論	2	100	春			○		●												●
ART 209	工芸史	2	100	秋			○		●												●
ART 214	西洋美術史	2	100	春		●	Ⓛ			●											●
ART 223	日本美術史	2	100	秋		●	Ⓛ		●												●
SUBP 224	美術科・工芸科指導法 I	2	100	春							●				●						
SUBP 225	美術科・工芸科指導法 II	2	100	秋							●				●						
ART 221	デザイン史	2	100	春			○		●	●											

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件		他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
									知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					メディア表現コース	美術教育コース			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
MUS 206	音楽分析技法	2	100	秋			○			●				●							
MART 214	メディア・デザイン理論 A	2	100	春			○			●	●										
MART 215	メディア・デザイン理論 B	2	100	秋			○		●	●											
ART 200	絵画Ⅰ	2	100	春			△		●						●						
ART 201	絵画Ⅱ	2	100	秋			△		●						●						
ART 213	図法・製図	2	100	春			△				●	●									
ART 217	彫刻Ⅰ	2	100	春			△		●						●						
ART 218	彫刻Ⅱ	2	100	秋			△		●						●						
ART 219	デザインⅠ	2	100	春			△				●				●						
ART 220	デザインⅡ	2	100	秋			△				●				●						
ART 207	工芸Ⅰ	2	100	春			△			●					●						
ART 208	工芸Ⅱ	2	100	秋			△			●					●						
MART 207	コンピュータ・グラフィックスⅠ	2	100	春									●	●							
MART 208	コンピュータ・グラフィックスⅡ	2	100	秋									●	●							
MART 203	映像メディア表現Ⅰ	2	100	春									●	●							
MART 204	映像メディア表現Ⅱ	2	100	秋									●	●							
MART 205	空間表現Ⅰ	2	100	春						●				●							
MART 206	空間表現Ⅱ	2	100	秋						●				●							
MART 211	総合造形Ⅰ	2	100	春						●				●							
MART 212	総合造形Ⅱ	2	100	秋						●				●							
MART 209	コンピュータ音楽Ⅰ	2	100	春			○					●	●								
MART 210	コンピュータ音楽Ⅱ	2	100	秋			○					●	●								
ART 202	共創芸術プロジェクト A	2	100	春(集中)			△				●				●		●				
ART 203	共創芸術プロジェクト B	2	100	秋(集中)			△				●				●		●				
MART 202	Art and Sound Techniques	2	100	春			○					●		●							
MART 200	Art and Sound Design A	2	100	春(集中)			○							●	●						
MART 201	Art and Sound Design B	2	100	秋(集中)			○							●	●						
ART 216	タイポグラフィー基礎演習	2	100	春						●				●							
MART 213	デジタルタイポグラフィー	2	100	秋						●			●								
ART 302	アート・デザイン研究Ⅰ	2	100	春	●	●								●	●						
ART 303	アート・デザイン研究Ⅱ	2	100	秋	●	●								●	●						
ART 309	芸術表現学	2	100	春	●					●				●							
ART 304	アート・デザイン理論研究Ⅰ	2	100	春	●					●				●							
ART 305	アート・デザイン理論研究Ⅱ	2	100	秋	●					●				●							
ART 308	鑑賞教育理論（美術）	2	100	春		●	△(リ)		●					●							●
ART 314	デザイン理論	2	100	秋			△(リ)						●							●	
SUBP 313	美術科指導法Ⅰ	2	100	春							●				●						
SUBP 314	美術科指導法Ⅱ	2	100	秋							●				●						
ART 300	アート・デザイン演習 A	2	100	春			○							●	●						
ART 301	アート・デザイン演習 B	2	100	秋			○							●	●						
MART 302	メディア・デザイン理論 C	2	100	春			○		●	●											
MART 303	メディア・デザイン理論 D	2	100	秋			○		●	●											
MART 300	情報デザインⅠ	2	100	春									●	●							
MART 301	情報デザインⅡ	2	100	秋									●	●							
ART 402	アート・デザイン卒業研究Ⅰ	2	100	春	●	●									●	●					
ART 403	アート・デザイン卒業研究Ⅱ	2	100	秋	●	●									●	●					
ART 416	東洋美術史	2	100	春			(リ)		●												●
ART 404	アートによる社会貢献	2	100	春	●											●			●	●	
ART 400	アート・デザイン演習 C	2	100	春			○							●	●						
ART 401	アート・デザイン演習 D	2	100	秋			○							●	●						
ART 405	エキシビション	2	100	秋(集中)											●	●					

【履修にあたって】

アート・デザイン学科の履修上の留意事項と履修モデル（主な科目）も併せて参照してください。

■アート・デザイン学科プリ・リクイジット（先行履修条件科目）

下記科目は、先行履修の条件付き科目です。右欄の科目を修得済み（一部同時履修可）でないと履修できません。

授業科目名	プリ・リクイジット（先行履修科目）
ローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）のついている科目	数字の若い順に履修します。数字の途中からは履修できません。
デジタルタイポグラフィー	タイポグラフィー基礎演習
エキシビション	アート・デザイン卒業研究Ⅱ（同時履修可）
美術科指導法Ⅰ	美術科・工芸科指導法Ⅱ

芸術学部 演劇・舞踊学科

1 カリキュラム・ポリシー

●演劇・舞踊学科のカリキュラムは芸術学部の学位授与の方針に基づき、次の方針に従って編成している。

以下に示す方針に基づいて教育課程を構築している。

① 上演芸術に関する分野の体系化と構造化および順次性を明確にする。
② 知識体系に関する基礎教育を重視し、上演芸術を取り巻くあらゆる分野を横断できる教育課程を編成する。
③ 生涯を通じた持続的な自己教育力とリーダーシップを育成する。
④ 豊かな人間性と公共性や倫理性を育成する。
⑤ 諸団体や地域との連携・協同を強化し、社会の改善に積極的に関与できる力を育成する。
⑥ 日本語および外国語の「読む、書く、聞く、話す」の４技能の発展を重視する。

この編成方針をもとに、具体的に以下の通り教育課程を構築する。

① 学修の中核をなす学科科目は、１年次に上演芸術を学ぶ上での基礎的な知識を会得した上で、２年次にコースを選択し、３つの専門に分かれて学修できるように、基礎科目から専門科目へと体系的に配置する。応用力を補完するために、選択科目を置く。
② ２年次（200番台科目）には、上演芸術に関する概論および理論基礎科目を１年次に引き続き学修できるよう科目を配置する。また、「身体表現」「舞台創造」「芸術応用」の各コースに分かれた選択必修科目を開設し、コース別専門科目での学修の基礎となる科目を配置する。
③ ３年次（300番台科目）の核となる科目は、コース別の科目群として配置する。これらの科目は、より専門性の高い学修を行うことで卒業後の進路を見据えて一貫した履修ができるよう開設する。
④ ４年次（400番台科目）においては、上演芸術に関する教育・研究のまとめとして、プロジェクト型の選択科目、実践形式の必修科目を配置し、ディプロマ・ポリシー の達成を図る。

●なおコースごとの標準的な学習内容は後述する「履修モデル」によって示されています（p.190 ～ 191参照）。

2 卒業要件

演劇・舞踊学科では、以下の６つの条件を卒業要件として定めています。

（１）修業年限を満たすこと

（２）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（３）累積GPAが2.00以上であること

（４）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必 修 科 目〉　玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

〈必修選択科目〉ユニバーシティ・スタンダード科目より、次に指定する単位数を修得していること

人文科学科目群：２単位以上　社会科学科目群：２単位以上
自然科学科目群：２単位以上　学 際 科 目 群：４単位以上
言語表現科目群：８単位以上※

※必修選択科目「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より２科目を含む

以上計18単位以上

（5）〈必　修　科　目〉以下の科目すべて履修していること

●100番台科目より【講　義　科　目】「芸術概論」「世界演劇・舞踊史Ⅰ」「世界演劇・舞踊史Ⅱ」
【実技・演習科目】「演技・舞踊入門」「演技・舞踊基礎演習」「舞台技術基礎演習」
【実　習　科　目】「上演基礎実習」

●200番台科目より【講　義　科　目】「日本演劇・舞踊史Ⅰ」「日本演劇・舞踊史Ⅱ」

●300番台科目より【講義・演習科目】「舞台芸術研究Ⅰ」「舞台芸術研究Ⅱ」

●400番台科目より【講義・演習科目】「舞台芸術研究Ⅲ」「舞台芸術研究Ⅳ」
【3コース共通】「卒業創作・研究A」「卒業創作・研究B」

（6）〈必修選択科目①〉　2年次以降専攻する各コースごとに指定する科目を履修していること

●200番台科目より【身体表現コース必修科目】「演技・舞踊演習Ⅰ」「演技・舞踊演習Ⅱ」
【舞台創造コース必修科目】「舞台創造演習Ⅰ」「舞台創造演習Ⅱ」
【芸術応用コース必修科目】「芸術創造演習Ⅰ」「芸術創造演習Ⅱ」
「応用演劇演習Ⅰ」「応用演劇演習Ⅱ」

●300番台科目より【身体表現コース必修科目】「演技・舞踊演習Ⅲ」「演技・舞踊演習Ⅳ」
【舞台創造コース必修科目】「舞台創造演習Ⅲ」「舞台創造演習Ⅳ」
【芸術応用コース必修科目】「芸術創造演習Ⅲ」「芸術創造演習Ⅳ」
「応用演劇演習Ⅲ」「応用演劇演習Ⅳ」

〈必修選択科目②〉　以下の科目（200番台の選択科目）からいずれか4単位以上修得していること

【講　義　科　目】「演劇理論」「芸術と社会」
【実　技　科　目】「メイクアップ」「所作・擬闘」
【演習・実習科目】「シアターデザイン基礎演習Ⅰ」「シアターデザイン基礎演習Ⅱ」
「上演実習A」「上演実習B」

3　履修上の留意事項

●履修するためには、必ず事前ガイダンスに出席しなければならない科目があります（教育課程表を参照）。

4　取得可能な資格

●演劇・舞踊学科では、所定の科目の単位を修得し、また所定の条件を満たすことで次の免許あるいは資格を取得することができます。

■学芸員

本履修ガイドp.234～235の「学芸員」を参照してください。

■その他の資格および修了証

本履修ガイドp.225の「取得できる各種資格・修了証等一覧」を参照してください。

＊複数の免許・資格・修了証の同時取得については、可能なものとそうでないものがあります。詳細は随時行われるガイダンスの内容を参照してください。

5 演劇・舞踊学科　履修モデル

●履修モデルの科目は、実際には異なる学期に配置される場合があります。

■身体表現コース（演劇・舞踊の表現者を育成するモデル）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群				民俗学入門		美術史	ことばと文化	ロジック
	社会科学科目群					コミュニケーション論		マーケティング	ボランティア概論
	自然科学科目群			生物学入門					
	学際科目群						プレゼンテーションスキル	栄養学	健康スポーツ理論
	言語表現科目群	ELF201	ELF202						
専門科目群	100番台科目群	芸術概論 演技・舞踊入門 舞台技術基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅰ Performing in English	演技・舞踊基礎演習 上演基礎実習 世界演劇・舞踊史Ⅱ	日本文化芸術論					
	200番台科目群			日本演劇・舞踊史Ⅰ 演技・舞踊演習Ⅰ 所作・擬闘 メイクアップ	日本演劇・舞踊史Ⅱ 演技・舞踊演習Ⅱ 演劇理論 上演実習B		芸術と社会		
	300番台科目群					舞台芸術研究Ⅰ 演技・舞踊演習Ⅲ オーディション演習 劇空間デザイン研究 上演実習C	舞台芸術研究Ⅱ 演技・舞踊演習Ⅳ 芸術プロジェクトD アナウンス・ナレーション研究	劇場接遇演習	
	400番台科目群							芸術プロジェクトE 卒業創作・研究A 舞台芸術研究Ⅲ	芸術プロジェクトF 卒業創作・研究B 舞台芸術研究Ⅳ
資格関連関連科目群				TAPファシリテーションⅠ	TAPファシリテーションⅡ		野外教育		

■舞台創造コース①（上演芸術のためのデザイナーを育成するモデル）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群			美術史		文化人類学			比較文化論
	社会科学科目群	コミュニケーション論						情報科学入門	心理学
	自然科学科目群						STEM入門 （科学と社会）		
	学際科目群					インターンシップA （上限外）			
	言語表現科目群	ELF101	ELF102						
専門科目群	100番台科目群	演技・舞踊入門 世界演劇・舞踊史Ⅰ 芸術概論 Performing in English	演技・舞踊基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅱ 舞台技術基礎演習 上演基礎実習					日本文化芸術論	
	200番台科目群			シアターデザイン基礎演習Ⅰ 日本演劇・舞踊史Ⅰ 舞台創造演習Ⅰ 上演実習A	シアターデザイン基礎演習Ⅱ 日本演劇・舞踊史Ⅱ 舞台創造演習Ⅱ 上演実習B 演劇理論			メイクアップ	芸術と社会
	300番台科目群					舞台創造演習Ⅲ 上演実習C 舞台芸術研究Ⅰ 芸術プロジェクトC	舞台創造演習Ⅳ 上演実習D 舞台芸術研究Ⅱ 芸術プロジェクトD 劇空間デザイン研究	劇場接待演習 （ゲストリレーション）	
	400番台科目群							卒業創作・研究A 芸術プロジェクトE 舞台芸術研究Ⅲ	卒業創作・研究B 芸術プロジェクトF 舞台芸術研究Ⅳ
資格関連関連科目群				TAPファシリテーションⅠ	TAPファシリテーションⅡ				

■舞台創造コース②（舞台技術スタッフを育成するモデル）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群								
	社会科学科目群					世界の宗教と文化		コミュニケーション論	
	自然科学科目群				比較文化論				心理学 STEM入門 （科学と社会）
	学際科目群								
	言語表現科目群	ELF101	ELF102				インターンシップB （上限外）		
専門科目群	100番台科目群	演技・舞踊入門 世界演劇・舞踊史Ⅰ 芸術概論 Performing in English	演技・舞踊基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅱ 舞台技術基礎演習 上演基礎実習						
	200番台科目群			シアターデザイン基礎演習Ⅰ 日本演劇・舞踊史Ⅰ 舞台創造演習Ⅰ 上演実習A	シアターデザイン基礎演習Ⅱ 日本演劇・舞踊史Ⅱ 舞台創造演習Ⅱ 上演実習B	演劇理論	メイクアップ		芸術と社会
	300番台科目群					舞台創造演習Ⅲ 上演実習C 舞台芸術研究Ⅰ 芸術プロジェクトC	舞台創造演習Ⅳ 上演実習D 舞台芸術研究Ⅱ 芸術プロジェクトD	劇空間デザイン研究	劇場接待演習 （ゲストリレーション）
	400番台科目群							卒業創作・研究A 芸術プロジェクトE 舞台芸術研究Ⅲ	卒業創作・研究B 芸術プロジェクトF 舞台芸術研究Ⅳ
資格関連関連科目群				TAPファシリテーションⅠ	TAPファシリテーションⅡ				

■芸術応用コース①（演出家・演劇教育者を養成するコース）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	一年次セミナー101 健康教育 音楽Ⅰ	一年次セミナー102 玉川の教育 音楽Ⅱ						
	人文科学科目群				生物学入門		美術史	世界の宗教と文化	
	社会科学科目群			コミュニケーション論				マーケティング	国際関係論
	自然科学科目群								マルチメディア表現
	学際科目群					プレゼンテーションスキル 地域創生プロジェクトC	インターンシップA （上限外）	現代文化論	
	言語表現科目群	ELF101	ELF102						
専門科目群	100番台科目群	演技・舞踊入門 世界演劇・舞踊史Ⅰ 芸術概論 舞台技術基礎演習 Performing in English	演技・舞踊基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅱ 日本文化芸術論 上演基礎実習						
	200番台科目群			芸術創造演習Ⅰ 応用演劇演習Ⅰ 日本演劇・舞踊史Ⅰ 演劇理論 上演実習A	芸術創造演習Ⅱ 応用演劇演習Ⅱ 日本演劇・舞踊史Ⅱ 芸術と社会 上演実習B				
	300番台科目群					舞台芸術研究Ⅰ 芸術創造演習Ⅲ 応用演劇演習Ⅲ 上演実習C 芸術プロジェクトA 劇空間デザイン研究	舞台芸術研究Ⅱ 芸術創造演習Ⅳ 応用演劇演習Ⅳ 上演実習D 劇場接遇演習	オーディション演習	
	400番台科目群							舞台芸術研究Ⅲ 卒業創作・研究A 芸術プロジェクトE	舞台芸術研究Ⅳ 卒業創作・研究B 芸術プロジェクトF
資格関連関連科目群				TAPファシリテーションⅠ	TAPファシリテーションⅡ		野外教育		

■芸術応用コース②（劇評家や研究者を養成するコース）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群				外国文学		哲学 宗教学	ことばと文化	Japanese Pop Culture
	社会科学科目群					社会学			
	自然科学科目群						人工知能と社会		
	学際科目群				現代文化論				国際研究A
	言語表現科目群	ELF 201	ELF 202	ELF 301	ELF 302	ELF 401	ELF 402	ドイツ語 101	ドイツ語 102
専門科目群	100番台科目群	演技・舞踊入門 世界演劇・舞踊史Ⅰ 芸術概論 舞台技術基礎演習 Performing in English	演技・舞踊基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅱ 日本文化芸術論 上演基礎実習						
	200番台科目群			芸術創造演習Ⅰ 応用演劇演習Ⅰ 日本演劇・舞踊史Ⅰ 演劇理論 上演実習A	芸術創造演習Ⅱ 応用演劇演習Ⅱ 日本演劇・舞踊史Ⅱ 芸術と社会				
	300番台科目群					舞台芸術研究Ⅰ 芸術創造演習Ⅲ 応用演劇演習Ⅲ 上演実習C	舞台芸術研究Ⅱ 芸術創造演習Ⅳ 応用演劇演習Ⅳ		
	400番台科目群							舞台芸術研究Ⅲ 卒業創作・研究A 芸術プロジェクトE	舞台芸術研究Ⅳ 卒業創作・研究B 芸術プロジェクトF

■芸術応用コース③（制作・マネジメント、プロデューサーを養成するコース）

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群（必修）	健康教育 音楽Ⅰ 一年次セミナー101	玉川の教育 音楽Ⅱ 一年次セミナー102						
	人文科学科目群								
	社会科学科目群					コミュニケーション論		マーケティング	ボランティア概論
	自然科学科目群								
	学際科目群			現代文化論			インターンシップA（上限外）		国際研究A
	言語表現科目群	ELF 201	ELF 202						
専門科目群	100番台科目群	演技・舞踊入門 世界演劇・舞踊史Ⅰ 芸術概論 舞台技術基礎演習 Performing in English	演技・舞踊基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅱ 日本文化芸術論 上演基礎実習						
	200番台科目群			芸術創造演習Ⅰ 応用演劇演習Ⅰ 日本演劇・舞踊史Ⅰ 演劇理論 上演実習A	芸術創造演習Ⅱ 応用演劇演習Ⅱ 日本演劇・舞踊史Ⅱ 芸術と社会				
	300番台科目群					舞台芸術研究Ⅰ 芸術創造演習Ⅲ 応用演劇演習Ⅲ 上演実習C	舞台芸術研究Ⅱ 芸術創造演習Ⅳ 応用演劇演習Ⅳ 上演実習D 劇場接遇演習 芸術プロジェクトD		
	400番台科目群							舞台芸術研究Ⅲ 卒業創作・研究A 芸術プロジェクトE	舞台芸術研究Ⅳ 卒業創作・研究B 芸術プロジェクトF
資格関連関連科目群				TAPファシリテーションⅠ	TAPファシリテーションⅡ				

6 芸術学部 演劇・舞踊学科　教育課程表

凡例　履修条件　●：必修科目　◎：事前ガイダンスに出席が必要　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講　○：他学科受講可　△：芸術学部のみ受講可　Ⓛ：リベラルアーツ学部のみ受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
ART 117	美術史	2	100	春秋				●												
CWC 100	ことばと文化	2	100	春秋				●												
COMM 100	コミュニケーション論	2	100	春秋					●											
PSY 101	心理学	2	100	春秋					●				●							
INFO 110	マルチメディア表現	2	100	春秋					●			●								
B A 101	マーケティング	2	100	春					●											
INTD 113	プレゼンテーションスキル	2	100	秋						●	●	●								
COPR 100	インターンシップ A	2	100	春秋			2年次より履修可			●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	春秋			2年次より履修可			●				●	●					
COPR 102	インターンシップ C	1	50	春秋			2年次より履修可			●				●	●					
COPR 103	インターンシップ D	1	50	春秋			2年次より履修可			●				●	●					
GLS 115	国際研究 A	2	300	秋春			3年次より履修可	●		●										
GLS 116	国際研究 B	2	300	秋春			3年次より履修可	●		●										
GLS 117	国際研究 C	2	300	秋春			3年次より履修可	●		●										
GLS 118	国際研究 D	3	450	秋春			3年次より履修可	●		●										
GLS 119	国際研究 E	4	600	秋春			3年次より履修可	●		●										
GLS 120	国際研究 F	5	750	秋春			3年次より履修可	●		●										
INTD 110	フィールドワーク A	2	100	春秋			2年次より履修可	●	●											
INTD 111	フィールドワーク B	2	100	春秋			2年次より履修可	●	●											
INTD 112	フィールドワーク C	2	100	春秋			2年次より履修可	●	●											
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋	◆					●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋	◆					●										
INTD 104	地域創生プロジェクト A	1	150	春秋						●									●	
INTD 105	地域創生プロジェクト B	1	150	春秋						●									●	
INTD 106	地域創生プロジェクト C	2	300	春秋						●									●	
INTD 107	地域創生プロジェクト D	2	300	春秋						●									●	
INTD 108	地域創生プロジェクト E	3	450	春秋						●									●	
INTD 109	地域創生プロジェクト F	3	450	春秋						●									●	
PHIL 203	現代文化論	2	100	春				●	●											
COSC 200	人工知能と社会	2	100	秋					●									●	●	
INTD 201	複合領域研究 201 ～ 299	各2	100	春秋					●											
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																				
ART 107	芸術概論	2	100	春	●	○			●			●							●	
THEA 101	演技・舞踊入門	2	100	春	●				●	●						●				
THEA 100	演技・舞踊基礎演習	2	100	秋	●				●	●						●				
ART 119	舞台技術基礎演習	2	100	春秋	●						●		●							
ART 110	上演基礎実習	4	600	秋(集中)	●								●	●	●					
ART 116	日本文化芸術論	2	100	春秋		○		●	●											●
THEA 103	世界演劇・舞踊史 I	2	100	春	●	○			●				●							●
THEA 104	世界演劇・舞踊史 II	2	100	秋	●	○			●				●							●
ART 100	Performing in English	1	50	春		△		●		●										●

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
THEA 200	演技・舞踊演習Ⅰ	4	200	春	◆								●	●	●					
THEA 201	演技・舞踊演習Ⅱ	4	200	秋	◆								●	●	●					
THEA 210	日本演劇・舞踊史Ⅰ	2	100	春	●	○			●				●							●
THEA 211	日本演劇・舞踊史Ⅱ	2	100	秋	●	○			●				●							●
THEA 202	演劇理論	2	100	春秋		○			●					●		●				
ART 204	芸術と社会	2	100	春秋		ⓡ			●				●							●
THEA 209	所作・擬闘	2	100	春秋		△		●						●				●		
ART 211	シアターデザイン基礎演習Ⅰ	2	100	春	◆				●		●	●								
ART 212	シアターデザイン基礎演習Ⅱ	2	100	秋	◆				●		●	●								
ART 226	メイクアップ	2	100	春秋		△				●			●							
THEA 207	上演実習A	4	200	春(集中)	◎			●					●			●				
THEA 208	上演実習B	4	200	秋(集中)	◎				●				●				●			
ART 224	舞台創造演習Ⅰ	4	200	春	◆						●			●	●					
ART 225	舞台創造演習Ⅱ	4	200	秋	◆						●			●	●					
THEA 205	芸術創造演習Ⅰ	4	200	春	◆							●	●					●		
THEA 206	芸術創造演習Ⅱ	4	200	秋	◆							●	●					●		
THEA 203	応用演劇演習Ⅰ	2	100	春	◆							●		●						●
THEA 204	応用演劇演習Ⅱ	2	100	秋	◆							●		●						●
ART 205	芸術プロジェクトA	2	200	春秋(集中)	◎	△		●			●					●				
ART 206	芸術プロジェクトB	2	200	春秋(集中)	◎	△		●			●					●				
THEA 300	演技・舞踊演習Ⅲ	4	200	春	◆								●				●		●	
THEA 301	演技・舞踊演習Ⅳ	4	200	秋	◆								●				●		●	
ART 306	オーディション演習	2	100	春秋											●			●		●
THEA 307	上演実習C	4	600	春(集中)	◎								●	●					●	
THEA 308	上演実習D	4	600	秋(集中)	◎								●	●					●	
THEA 306	劇場接遇演習（ゲストリレーション）	2	100	春秋		○										●				●
ART 315	舞台創造演習Ⅲ	4	200	春	◆								●	●		●				
ART 316	舞台創造演習Ⅳ	4	200	秋	◆								●	●		●				
ART 310	芸術プロジェクトC	2	200	春秋(集中)	◎	△		●			●					●				
ART 311	芸術プロジェクトD	2	200	春秋(集中)	◎	△		●	●									●		
MUS 300	アナウンス・ナレーション研究	2	100	春秋		△		●	●			●								
ART 312	劇空間デザイン研究	2	100	春秋								●			●			●		
THEA 309	舞台芸術研究Ⅰ	2	100	春	●								●							●
THEA 310	舞台芸術研究Ⅱ	2	100	秋	●								●							●
THEA 305	芸術創造演習Ⅲ	4	200	春	◆					●				●					●	
THEA 304	芸術創造演習Ⅳ	4	200	秋	◆					●				●					●	
THEA 302	応用演劇演習Ⅲ	2	100	春	◆									●		●				
THEA 303	応用演劇演習Ⅳ	2	100	秋	◆									●		●				
ART 407	芸術プロジェクトE	2	200	春秋(集中)	◎	△		●			●					●				
ART 408	芸術プロジェクトF	2	200	春秋(集中)	◎	△		●	●									●		
ART 411	卒業創作・研究A	4	600	春(集中)	●					●					●		●			
ART 413	卒業創作・研究B	4	600	秋(集中)	●					●					●		●			
THEA 400	舞台芸術研究Ⅲ	2	100	春	●								●							●
THEA 401	舞台芸術研究Ⅳ	2	100	秋	●								●							●

【履修にあたって】

演劇・舞踊学科の履修上の留意事項と履修モデル（主な科目）も併せて参照してください。

■演劇・舞踊学科プリ・リクイジット（先行履修条件科目）

下記科目は、先行履修の条件付き科目です。右欄の科目を修得済み（一部同時履修可）でないと履修できません。

授業科目名	プリ・リクイジット（先行履修科目）
ローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）のついている科目	数字の若い順に履修します。数字の途中からは履修できません。
演技・舞踊基礎演習	演技・舞踊入門
演技・舞踊演習Ⅰ	演技・舞踊基礎演習
上演基礎実習	舞台技術基礎演習
上演実習（A/B/C/D）	上演基礎実習
舞台創造演習Ⅰ	上演基礎実習

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

人材養成等教育研究に係る目的

リベラルアーツ学部では、「幅広く深い教養および総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する」ための教育を推進し、将来のキャリア形成を意識しながら、「学際的教養教育」かつ「知の基盤」の充実を図ることを目指しています。さらに、価値観の多様化・複雑化した現代社会では、時代の変化に柔軟に対応しつつ、調和の取れたコミュニケーション能力のある人材が求められており、その実現に向けて、実験・実習・調査・フィールドワークなどの体験型学習を積極的に取り入れ、地域や企業との連携を図り、社会的経験を積みながら「コミュニティの知的リーダー」となる人材の育成に努めています。具体的には、次のような学生を育てていくことを心掛けています。

① 広い視野、判断力、考え抜く問題解決能力があり、積極的かつ協力して社会に関わっていけるコミュニティのリーダーになれる人。

② 基礎基本を土台に専門性を身につけ、様々なプロジェクトを実践・推進できる人。

③ 英語力・日本語力・デジタルコミュニケーション力があり、わが国の文化を様々なかたちで世界に発信できる人。

④ 生涯教育を可能にする「ラーニング・コミュニティ」を意識し、生涯にわたり学び続ける気持ちを持ち、社会にその知識を還元・推進できる人。

リベラルアーツ学部　ディプロマ・ポリシー

リベラルアーツ学部では、以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

① 全学共通のユニバーシティスタンダード科目を中心に幅広い履修を通して基礎的な学修力を高め、批判的な思考を通して問題を探求する能力を身につけ、各自の将来について明確な展望をもつ。

② 各専攻（メジャー）における体系的な学修を軸に、４年間の「講義」「演習」「実習」や「卒業プロジェクト」を通して、自ら課題を設定し、分析し、解決する力を身につける。

③ 他専攻、他学部の科目履修を含めた領域横断的な学修により、複合的な視野を高め、多様な価値観を認識し、自らの価値観を形成し、自分の考えを相手に理解してもらえるコミュニケーション力を身につける。

④ 現代に生きる地球市民のひとりとして、多様な人や文化と共生でき、課題解決のために、知識を現場に活用する力、行動する力を身につける。

これらの力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定する。

［領域・メジャーの履修において身に付ける力］

■ヒューマン・スタディーズ領域

人間探究を通して現代社会で生きる力を養う。人間に根本的な哲学や宗教の問題、人間の成長や発達・行動の仕組み、人間の行動の社会的要因について、批判的・論理的に思考できる力を養う。

●哲学・宗教

物事を根源的・批判的に考察し、さまざまな問題を包括的に捉えることができる。人類の歴史や思想を宗教的な観点から深く理解し、多文化共生の課題解決のために貢献できる。

●心理学

心と行動の仕組みを実証的に研究する方法やその理論を身につけることで、社会、地域、組織、家族におけるさまざまな問題に対して貢献できる。

●社会学

現代社会の問題を、社会理論と実証的データに基づいて理解・分析し、その知見の活用を通じて具体的な問題解決に貢献できる。

■ジャパン・スタディーズ領域

グローバル化した世界の中で「日本」を客観的に理解し、発信し、現代社会と関わる力を養う。

●日本語・日本文学

日本語についての正しい理解を基盤にした高度な日本語表現能力や日本語教授の実践力、さらに過去から現代に至るまでの文学作品を読み込んでいくことで養った批判的思考力や発信力により現代社会における諸問題の解決に貢献できる。

●日本学

人間の生活や思想などを多様な観点から広く追究しつつ、生活の全分野にわたる伝承文化をとおして日本の基層文化を理解し、現在の日常・非日常における文化状況や社会状況を正しく分析し発信する力を身につける。

■グローバル・スタディーズ領域

国際関係を核に世界と関わる力を養う。

●国際関係

現代日本の現況を国際関係の観点から考察し、国際協力をとおして具体的な問題解決に貢献できる。

■STEMスタディーズ領域

情報技術や科学と現代社会のつながりを学び、未来社会に必要な技術と関わる力を養う。

●STEM

現代科学に関心をもち、科学と現代社会の関わりについて考察し、多様な分野を科学的・実証的に考察・判断する力を身につける。

リベラルアーツ学部　リベラルアーツ学科

1　カリキュラム・ポリシー

リベラルアーツ学部では、４年間を３期、導入期・発展期・専攻期と位置づけ、それぞれの目標である構想力・実践力・推進力の育成をカリキュラムにおいて実現させる。導入期では日本語・英語のコミュニケーション力・情報処理スキル、プレゼンテーションスキルなどの育成に力点を置き、発展期では専門的研究の入門・演習科目を多様に開講し、実験・実習など様々な学びのスタイルを通して自らの課題に取り組んでいく。専攻期ではリベラルアーツセミナーで研究方法を培い、問題の発見、課題の解決、思考力を専攻科目の履修を通して養い、その成果を地域に資するために発表、提供できる教育課程の編成としている。

① 語学力を高めるために、１年次はELF科目により英語を毎日学ぶ。（週４回）
英語によるコンテンツ科目を履修するためには、TOEIC®400点以上の取得を基本とする。また、卒業までにTOEIC®600点の取得を目標とし、卒業時までにELF301を履修し、学修する。

② １年次は、英語・日本語による論理的思考力・情報リテラシーを含む分析力などの基礎力育成に力点を置き、各専攻の入門科目を幅広く学ぶ。

③ ２年次では自身が基幹として学修を希望する分野の入門・概論科目について履修プログラムに示された科目を中心に学ぶと同時に、他分野の学修も積極的に行い、幅広い分野の学びを通して、各自の専門分野の選択を確定する。

④ また、テーマ別の分野横断的な科目『ブリッジ講座A／B』を開講する。この履修によって、リベラルアーツ型の分野横断的な視野を養う。

⑤ ２年次以後、主にサマーセッション時に行われるインターンシップ等への参加を推奨する。大学において学習した内容を社会で実際に活かすため、社会の様々な実践の場を体験し、「大学での学びを社会で実践し深める」機会とする。
教室における授業や演習では十分に把握できない生の社会を体験する機会となるばかりでなく、自己の職業観の形成や自己を客観的に判断する能力の育成のための機会とする。

⑥ ３年次からは、各自の選択した専攻を深めるための専門科目と共に、少人数で実施されるリベラルアーツセミナーにおいて、それぞれの学問分野における学修・研究方法を深く学び、各自の課題を解決する学修を深める。

⑦ 卒業年次においては、学習成果を社会に資するために、卒業論文・卒業プロジェクト（リベラルアーツプロジェクト）に取り組み、各自の専攻分野において身につけた様々な力を活用し、研究成果をまとめ、発表する。

1 専攻（メジャー）

基礎となる科目を学修した後、各自の目標に従って専攻（メジャー）を決定します。メジャーごとに指定された履修プログラムにより学修を進めます。ダブル専攻も可能です。（その際、サブメジャーの必修選択科目10単位を取得）

(1) メジャーの登録
３セメスター終了時（正式登録）→４セメスター終了時（最終決定）※以後変更はできません

(2) 領域とメジャーの概要

① ヒューマン・スタディーズ領域
人間探究を通して現代社会で生きる力を養う。人間に根本的な哲学や宗教の問題、人間の成長や発達・行動の仕組み、人間の行動の社会的要因について、批判的・論理的に思考できる力を養う。

哲学・宗教メジャー
物事を根源的・批判的に考察し、様々な問題を包括的に捉えることができる。人類の歴史や思想を宗教的な観点から深く理解し、多文化共生の課題解決のために貢献できる。

心理学メジャー
心と行動の仕組みを実証的に研究する方法やその理論を身につけることで、社会、地域、組織、家族におけるさまざまな問題に対して貢献することができる。

社会学メジャー

現代社会の問題を、社会理論と実証的データに基づいて理解・分析し、その知見の活用を通じて具体的な問題解決に貢献できる。

② ジャパン・スタディーズ領域

グローバル化した世界の中で「日本」を客観的に理解し、発信し、現代社会と関わる力を養う。

日本語・日本文学メジャー

日本語についての正しい理解を基盤にした高度な日本語表現能力や日本語教授の実践力、さらに過去から現代に至るまでの文学作品を読み込んでいくことで養った批判的思考力や発信力により現代社会における諸問題の解決に貢献できる。

日本学メジャー

人間の生活や思想などを多様な観点から広く追究しつつ、生活の全分野にわたる伝承文化をとおして日本の基層文化を理解し、現在の日常・非日常における文化状況や社会状況を正しく分析し発信する力を身につける。

③ グローバル・スタディーズ領域

国際関係を核に世界と関わる力を養う。

国際関係メジャー

現代日本の現況を国際関係の観点から考察し、国際協力をとおして具体的な問題解決に貢献できる。

④ STEMスタディーズ領域

情報技術や科学と現代社会のつながりを学び、未来社会に必要な技術と関わる力を養う。

STEMメジャー

現代科学に関心をもち、科学と現代社会の関わりについて考察し、多様な分野を科学的・実証的に考察・判断する力を身につける。

2 オフキャンパス・スタディーズ

●キャンパス外のさまざまな現場で実践的に学ぶことを奨励します。

オフキャンパス・スタディーズの単位認定に関する規定

① 対象科目

「Japan Studies Overseas A ～ C」「フィールドワーク A ～ C」
「インターンシップ A ～ D」「日本語教育実習 A ～ C」「地域創生プロジェクト A ～ F」

② 受講条件

原則として学修継続条件に抵触していないこと

③ 事前登録手続き

セメスター初めに行われるガイダンスに出席する
教務担当教員に履修申込書を提出する
教務担当者会、主任会、教授会で審議のうえ　履修を許可される
（実習）原則として45時間を１単位とし実習を行う

④ 単位認定

実習終了後次セメスターの履修登録期間に該当する科目を履修登録する
報告書を提出するとともに報告会を開催する
教務担当者会において最終単位認定審査を行う
主任会・教授会の承認を経て単位認定する

2 卒業要件

（1）修業年限を満たしていること

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」
「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「二年次セミナー 201」「二年次セミナー 202」
自 然 科 学 科 目 群：「情報科学入門」
言 語 表 現 科 目 群：「日本語表現101」「日本語表現102」 ELF科目より「ELF301」を含み 4 単位以上

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群より各 4 単位以上、自然科学科目群より「情報科学入門」の他に 2 単位以上、学際科目群より 2 単位以上修得していること。ただし、これらの中に自身のメジャー（※）の必修選択科目を 2 単位以上含むこと。

（6）学科科目より、次の必修科目（9 単位）を修得していること
「リベラルアーツ基礎」「ブリッジ講座A」「リベラルアーツセミナーⅠA」「リベラルアーツセミナーⅡA」
「リベラルアーツプロジェクト」

（7）学科科目・他学科開講科目のうち、①自身のメジャーの必修選択科目より10単位以上、②自身の領域（※）以外の 3 領域の必修選択科目より各 4 単位以上（①で修得済の同名称科目は対象としない）修得すること

（8）卒業見込セメスターにおいて卒業発表を行い、その審査に合格すること

※メジャー・領域の構成については以下のようになります。
※メジャー・領域の必修選択科目についてはp.204〜209「リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科教育課程表」の「メジャー別履修条件」を参照してください。

領　域	ヒューマン・スタディーズ			ジャパン・スタディーズ		グローバル・スタディーズ	STEM スタディーズ
メジャー	哲学・宗教	社会学	心理学	日本語・日本文学	日本学	国際関係	STEM

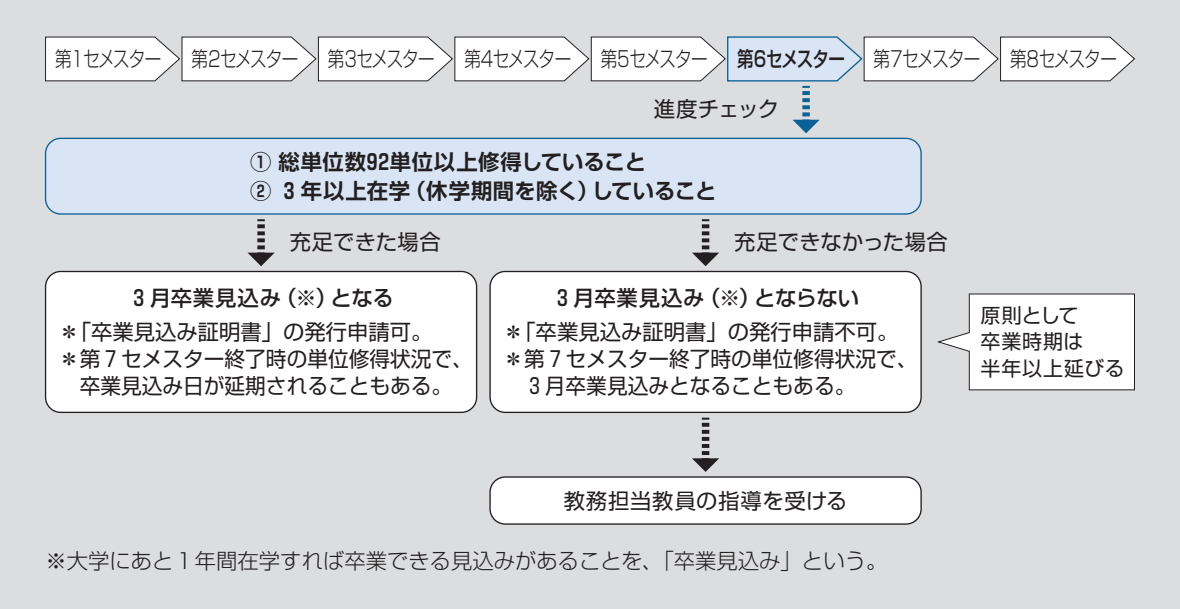
3 卒業までの単位配分

<table>
<tr><th>科目群</th><th>科目分類</th><th colspan="2">必要単位</th><th>必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ユニバーシティ・スタンダード科目</td><td>玉川教育・FYE科目群</td><td colspan="2">11単位</td><td>「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」
「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
「二年次セミナー 201」「二年次セミナー 202」</td></tr>
<tr><td>人文科学科目群</td><td>4 単位以上</td><td rowspan="4">自身のメジャーの必修選択科目を 2 単位以上含むこと</td><td></td></tr>
<tr><td>社会科学科目群</td><td>4 単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td>自然科学科目群</td><td>4 単位以上</td><td>「情報科学入門」</td></tr>
<tr><td>学際科目群</td><td>2 単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td>言語表現科目群</td><td colspan="2">8 単位以上</td><td>「日本語表現101」「日本語表現102」「ELF301」</td></tr>
<tr><td>学科科目</td><td>必修科目</td><td colspan="2">9 単位</td><td>「リベラルアーツ基礎」「ブリッジ講座A」
「リベラルアーツセミナーⅠA」
「リベラルアーツセミナーⅡA」
「リベラルアーツプロジェクト」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学科・他学科科目</td><td rowspan="2">必修選択科目</td><td colspan="2">自身のメジャーから10単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自身の領域以外の 3 領域から各 4 単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td>その他学科科目
その他US科目
その他他学科開講科目
単位互換科目</td><td colspan="2">任意</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">累積修得単位数</td><td colspan="2">124単位以上</td><td></td></tr>
</table>

4 進度チェック

●リベラルアーツ学部では、一人ひとりの学生の学修状況が卒業に向けて順調に進んでいるかを確認するために、下記のようにチェックを行います。

第 6 セメスター（3 年次秋）終了時における進度チェック



※大学にあと 1 年間在学すれば卒業できる見込みがあることを、「卒業見込み」という。

5 資　格

リベラルアーツ学部で取得できる資格は、「資格を取得するために」（p.223 ～）を参照して確認すること。

＊日本語教員
＊社会調査士
＊宗教文化士
＊図書館司書
＊社会教育主事（任用資格）・社会教育士
＊学芸員
＊TAPリーダー

6 リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科　教育課程表

凡例
開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可　◇：日本語教員資格取得希望者のみ可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	メジャー別履修条件							他学科受講	備考	授業を通して修得できる力											
					ヒューマン・スタディーズ領域			ジャパン・スタディーズ領域		グローバル・スタディーズ領域	STEMスタディーズ領域			知識・理解		汎用的技能					態度・志向性				
					哲学・宗教メジャー	社会学メジャー	心理学メジャー	日本語・日本文学メジャー	日本学メジャー	国際関係メジャー	STEMメジャー			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																									
UNIV 101	一年次セミナー 101	2	100	春	●	●	●	●	●	●	●					●					●				
UNIV 102	一年次セミナー 102	2	100	秋	●	●	●	●	●	●	●					●						●	●		
UNIV 108	玉川の教育	0.3	50	秋	●	●	●	●	●	●	●				●									●	
HHS 100	健康教育	1	100	春	●	●	●	●	●	●	●				●	●					●				
MUS 103	音楽Ⅰ	0.7	105	春	●	●	●	●	●	●	●				●							●	●		
MUS 104	音楽Ⅱ	1	100	秋	●	●	●	●	●	●	●				●							●	●		
UNIV 201	二年次セミナー 201	2	100	春	●	●	●	●	●	●	●					●									
UNIV 202	二年次セミナー 202	2	100	秋	●	●	●	●	●	●	●													●	
ANTH 100	文化人類学	2	100	春秋		◆			◆	◆				●	●										
ANTH 101	民俗学入門	2	100	秋					◆					●	●										
CWC 100	ことばと文化	2	100	春秋				◆						●											
CWC 101	比較文化論	2	100	春秋						◆				●											
JLIT 100	日本文学	2	100	春秋				◆						●											
WLIT 100	外国文学	2	100	春秋				◆						●											
HIST 102	歴史（世界）	2	100	春秋					◆	◆										●					
HIST 103	歴史（日本）	2	100	春秋					◆	◆										●					
PHIL 100	哲学	2	100	春秋	◆														●						
PHIL 101	倫理学	2	100	春秋	◆														●						
PHIL 102	ロジック	2	100	春秋	◆														●						
RST 100	宗教学	2	100	春秋	◆									●											
RST 101	世界の宗教と文化	2	100	秋	◆					◆				●											
RST 200	キリスト教学	2	100	春	◆									●	●									●	
JPN 106	日本語学	2	100	春秋				◆						●		●									
JPN 105	日本学入門	2	100	春					◆					●	●										●
JPN 304	Japanology	2	100	春					◆					●	●										
JPN 300	Japanese Pop Culture	2	100	秋					◆					●	●										
JPN 400	Issues in Japanese Studies A	2	100	春					◆					●	●					●					
JPN 401	Issues in Japanese Studies B	2	100	秋					◆					●	●					●					
HIST 300	Modern Japanese History	2	100	秋					◆					●	●										
HIST 400	East Asian History	2	100	春					◆					●	●										
ACCT 100	会計学	2	100	春秋							◆				●										
COMM 100	コミュニケーション論	2	100	春秋			◆			◆					●										
COMM 200	Academic Communication	2	100	春												●			●						●
ECON 100	経済学（国際経済を含む。）	2	100	春秋		◆				◆										●				●	
INTL 201	国際関係論	2	100	春秋						◆										●					
LAW 100	市民社会と法	2	100	春秋	◆	◆				◆										●					
POSC 100	政治学（国際政治を含む。）	2	100	春秋	◆	◆			◆						●	●								●	
PSY 101	心理学	2	100	春秋			◆								●				●						
SOC 102	社会学	2	100	春秋		◆													●					●	
E D 106	ボランティア概論	2	100	秋						◆												●	●		
SOC 200	科学技術社会論	2	100	秋							◆													●	
TOUR 101	観光学入門	2	100	春						◆										●					
INFO 101	情報科学入門	2	100	春秋	●	●	●	●	●	●	●				●			●							●
INFO 105	データ処理	2	100	春秋							◆				●			●							
INFO 110	マルチメディア表現	2	100	春秋							◆				●			●							
BIOL 105	生物学入門	2	100	春秋							◆				●										
MATH 107	数学入門	2	100	春秋							◆						●								
STAT 101	統計学入門	2	100	春秋		◆	◆				◆									●					
SCED 100	科学入門	2	100	春秋							◆				●										

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	メジャー別履修条件							他学科受講	備考	授業を通して修得できる力											
					ヒューマン・スタディーズ領域			ジャパン・スタディーズ領域		グローバル・スタディーズ領域	STEMスタディーズ領域			知識・理解		汎用的技能				態度・志向性					
					哲学・宗教メジャー	社会学メジャー	心理学メジャー	日本語・日本文学メジャー	日本学メジャー	国際関係メジャー	STEMメジャー			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
INTD 100	STEM入門（科学と社会）	2	100	秋							◆				●									●		●
COSC 200	人工知能と社会	2	100	秋							◆				●									●	●	
BRSC 100	マクロ脳科学	2	100	春秋			◆								●											
COMM 101	マスメディアと社会	2	100	春秋		◆			◆																●	
CORP 100	キャリア実習 A	2	300	春秋												●				●	●					
CORP 101	キャリア実習 B	2	300	春秋												●				●	●					
CORP 102	キャリア実習 C	1	150	春秋												●				●	●					
CORP 103	キャリア実習 D	1	150	春秋												●				●	●					
PHIL 203	現代文化論	2	100	春					◆					●	●											
INTD 113	プレゼンテーションスキル	2	100	秋												●	●	●								
INTD 200	Presentation Skills in English	2	100	秋										●		●		●								
JPN 301	Japan Studies Overseas A	2	100	秋春					◆					●		●										
JPN 302	Japan Studies Overseas B	2	100	秋春					◆					●		●										
JPN 303	Japan Studies Overseas C	2	100	秋春					◆					●		●										
COPR 317	インターンシップ A	2	100	春秋												●				●	●					
COPR 318	インターンシップ B	2	100	春秋												●				●	●					
COPR 319	インターンシップ C	1	50	春秋												●				●	●					
COPR 320	インターンシップ D	1	50	春秋												●				●	●					
CARE 301	キャリア・マネジメント	2	100	春																	●					●
GLS 115	国際研究 A	2	300	秋春										●		●										
GLS 116	国際研究 B	2	300	秋春										●		●										
GLS 117	国際研究 C	2	300	秋春										●		●										
GLS 118	国際研究 D	3	450	秋春										●		●										
GLS 119	国際研究 E	4	600	秋春										●		●										
GLS 120	国際研究 F	5	750	秋春										●		●										
INTD 110	フィールドワーク A	2	300	春秋										●	●											
INTD 111	フィールドワーク B	2	300	春秋										●	●											
INTD 112	フィールドワーク C	2	300	春秋										●	●											
INTD 104	地域創生プロジェクト A	1	150	春秋												●									●	
INTD 105	地域創生プロジェクト B	1	150	春秋												●									●	
INTD 106	地域創生プロジェクト C	2	300	春秋												●									●	
INTD 107	地域創生プロジェクト D	2	300	春秋												●									●	
INTD 108	地域創生プロジェクト E	3	450	春秋												●									●	
INTD 109	地域創生プロジェクト F	3	450	春秋												●									●	
ENG 101	ELF 101	4	200	春秋									1年次より履修可			●										
ENG 102	ELF 102	4	200	春秋									1年次より履修可			●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋									1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春									1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	●	●	●	●	●	●	●		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春									1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋									2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	秋春									2年次より履修可			●										
JPN 101	日本語表現 101	2	100	春秋	●	●	●	●	●	●	●					●										
JPN 102	日本語表現 102	2	100	秋	●	●	●	●	●	●	●					●										
TED 103	教育心理学	2	100	秋			◆								●				●							

凡例 開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目 ◆：必修選択科目 無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可 ◇：日本語教員資格取得希望者のみ可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	メジャー別履修条件							他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
					ヒューマン・スタディーズ領域			ジャパン・スタディーズ領域		グローバル・スタディーズ領域	STEMスタディーズ領域			知識・理解		汎用的技能				態度・志向性						
					哲学・宗教メジャー	社会学メジャー	心理学メジャー	日本語・日本文学メジャー	日本学メジャー	国際関係メジャー	STEMメジャー			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
学科専門科目																										
INTD 114	リベラルアーツ基礎	1	50	春	●	●	●	●	●	●	●			●	●				●							
PSY 100	こどもと心の科学	2	100	秋			◆					◇			●				●	●						
PSY 102	パーソナリティ心理学	2	100	秋			◆								●				●	●						
INTD 202	ブリッジ講座 A	2	100	春秋	●	●	●	●	●	●	●			●	●											●
INTD 203	ブリッジ講座 B	2	100	春秋										●	●											●
PHIL 202	現代サブカルチャー論	2	100	秋		◆			◆					●	●											
PHIL 205	哲学の諸問題	2	100	秋	◆										●				●					●		
PHIL 207	倫理学の諸問題	2	100	秋	◆										●				●					●		
RST 202	宗教学の諸問題	2	100	秋	◆							○		●	●				●							
SOC 206	社会分析基礎論	2	100	春		◆									●			●	●							
SOC 208	文学と社会	2	100	秋				◆							●											●
RST 201	キリスト教思想史	2	100	春	◆							○		●	●				●							
PSY 200	社会心理学	2	100	春			◆					○			●				●	●						
SOC 204	社会調査実習 I	2	100	秋		◆									●	●	●									
SOC 205	社会調査法	4	200	春		◆											●	●		●						
PSY 201	心理学研究法 I	2	100	春			◆										●	●								
PSY 202	心理学研究法 II	2	100	秋			◆												●	●				●		
JPN 204	日本語教育概論	2	100	春				◆				◇		●	●	●										
JPN 203	日本語教育演習	2	100	秋				◆				◇		●	●	●										
ANTH 201	考現学演習	2	100	春					◆						●				●	●						
ANTH 200	儀礼文化論	2	100	秋		◆			◆			○			●				●							●
INTL 200	国際関係研究	2	100	秋						◆				●	●										●	
INTL 202	国際貿易論	2	100	秋						◆					●			●							●	
INTD 308	リベラルアーツセミナー I A	2	100	春	●	●	●	●	●	●	●				●				●	●						
INTD 309	リベラルアーツセミナー I B	2	100	春											●				●	●						
INTD 310	リベラルアーツセミナー II A	2	100	秋	●	●	●	●	●	●	●				●				●	●						
INTD 311	リベラルアーツセミナー II B	2	100	秋											●				●	●						
INTD 306	文献講読 A	2	100	春											●					●						●
INTD 307	文献講読 B	2	100	秋											●					●						●
INTD 305	フィールドリサーチ	2	100	春(集中)											●					●		●				
PHIL 302	死生論	2	100	春	◆							○		●						●				●		
PHIL 300	現代と倫理	2	100	春	◆										●					●						●
PHIL 301	心の哲学	2	100	秋	◆														●					●	●	
PHIL 303	哲学特殊研究	2	100	秋	◆														●					●	●	
PHIL 304	法哲学	2	100	秋	◆														●					●	●	
RST 300	宗教的人間研究	2	100	春	◆							○		●	●				●							
RST 301	宗教的文化研究	2	100	秋	◆							○		●	●				●							
PSY 302	青年・成人・老年期の心の科学	2	100	秋			◆										●	●								
COSC 300	認知行動科学	2	100	春			◆								●			●	●							
PSY 300	言語心理学	2	100	春			◆					◇		●	●				●							
WLIT 301	児童文学	2	100	春				◆							●											●
JLIT 301	現代文学研究	2	100	春				◆							●											●
WLIT 302	比較文学	2	100	秋				◆						●	●											●
ANTH 300	民俗芸能論	2	100	秋					◆						●				●							
ANTH 301	民俗文化研究	2	100	春					◆						●				●							
JPN 305	日本学調査実習	2	100	春					◆						●					●					●	
JPN 312	日本語指導法 I	2	100	春秋				◆				◇		●	●	●										
JPN 313	日本語指導法 II	2	100	秋春				◆				◇		●	●	●										
JPN 308	日本語教育実習 A	1	150	春秋(集中)				◆				◇					●				●					
JPN 309	日本語教育実習 B	2	300	春秋(集中)				◆				◇					●				●					
JPN 310	日本語教育実習 C	2	300	春秋(集中)				◆				◇					●				●					
CWC 301	表象文化論	2	100	春		◆			◆					●	●											

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	メジャー別履修条件							他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
					ヒューマン・スタディーズ領域			ジャパン・スタディーズ領域		グローバル・スタディーズ領域	STEMスタディーズ領域			知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					哲学・宗教メジャー	社会学メジャー	心理学メジャー	日本語・日本文学メジャー	日本学メジャー	国際関係メジャー	STEMメジャー			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
SOC 300	社会学理論	2	100	秋		◆								●					●						●	
SOC 301	社会調査実習Ⅱ	2	100	春		◆									●	●	●									
PSY 301	産業・組織心理学	2	100	秋			◆								●				●	●						
INTL 300	国際関係事例研究 A	2	100	春						◆				●	●				●							
INTL 301	国際関係事例研究 B	2	100	秋						◆										●		●	●			
INTD 300	STEMと現代社会Ⅰ	2	100	春							◆				●					●					●	
INTD 301	STEMと現代社会Ⅱ	2	100	秋							◆				●					●						●
INTD 404	リベラルアーツセミナーⅢ	2	100	春											●				●	●						
INTD 405	リベラルアーツセミナーⅣ	2	100	秋											●				●	●						
INTD 406	リベラルアーツプロジェクト	2	100	秋	●	●	●	●	●	●	●				●				●	●						
INTD 401	専門研究 A	2	100	春											●					●	●					
INTD 402	専門研究 B	2	100	秋											●					●	●					
PHIL 400	日本思想史	2	100	春	◆				◆			○			●									●		
SOC 402	実証的社会学研究	2	100	春		◆												●		●	●					
PSY 400	健康心理学	2	100	秋			◆					○			●						●					●
PSY 401	犯罪心理学	2	100	秋			◆								●				●					●		
JPN 405	日本語教育現場研究	2	100	秋				◆				◇		●	●							●				
ART 406	鑑賞批評論	2	100	春					◆					●						●						
B A 403	グローバル人材論	2	100	春						◆				●		●							●			
INTL 400	環境平和論	2	100	秋						◆								●						●	●	
INTD 400	STEM文献研究	2	100	春							◆				●				●	●						
他学科科目																										
SCED 101	コミュニケーション科学の世界	2	100	春							◆		工学部 情報通信工学科科目		●	●						●				
INFO 106	デジタルシチズンシップ	2	100	春							◆		工学部 ソフトウェアサイエンス学科科目	●				●						●		
JPN 206	日本語文法論Ⅰ	2	100	春				◆					文学部 国語教育学科科目		●				●							
JPN 207	日本語文法論Ⅱ	2	100	秋				◆					文学部 国語教育学科科目		●				●							
JLIT 201	日本古典文学演習	2	100	春				◆					文学部 国語教育学科科目		●				●	●						
JLIT 200	日本近代文学演習	2	100	秋				◆					文学部 国語教育学科科目		●				●	●						
~~JPN 202~~ ~~書写~~ 2022年度より閉講		~~2~~	~~100~~	~~秋~~					~~◆~~				~~文学部 国語教育学科科目~~	~~●~~	~~●~~											
WLIT 202	世界文学	2	100	春				◆					文学部 国語教育学科科目	●	●				●							
PHIL 208	ロジカルシンキング	2	100	春	◆								文学部 国語教育学科科目			●			●	●						
PHIL 201	クリティカルシンキング	2	100	秋	◆								文学部 国語教育学科科目			●			●	●						
JPN 201	クリティカルリーディング	2	100	春	◆								文学部 国語教育学科科目			●			●	●						
JPN 205	日本語語彙論	2	100	春				◆					文学部 国語教育学科科目		●				●							
BIOL 203	自然環境保全学	2	100	春							◆		農学部 環境農学科科目		●									●	●	
INFO 201	ゲーム企画開発論	2	100	秋							◆		工学部 ソフトウェアサイエンス学科科目	●	●											

凡例 開講期 (集中)：集中開講
履修条件 ●：必修科目 ◆：必修選択科目 無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可 ◇：日本語教員資格取得希望者のみ可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	メジャー別履修条件							他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
					ヒューマン・スタディーズ領域			ジャパン・スタディーズ領域		グローバル・スタディーズ領域	STEMスタディーズ領域			知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					哲学・宗教メジャー	社会学メジャー	心理学メジャー	日本語・日本文学メジャー	日本学メジャー	国際関係メジャー	STEMメジャー			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
INFO 203	コンピュータグラフィックス	2	100	春							◆		工学部 ソフトウェアサイエンス学科科目					●								
MASC 204	消費生活科学	2	100	秋							◆		工学部 マネジメントサイエンス工学科科目							●				●	●	
MASC 206	人間工学	2	100	秋							◆		工学部 エンジニアリングデザイン学科科目							●						
CWC 201	Intercultural Studies	2	100	春						◆			経営学部 国際経営学科科目	●		●										
GEOG 202	地理学概論	2	100	春						◆			教育学部 教育学科科目		●				●							
PHIL 204	西洋哲学思想史	2	100	春	◆								教育学部 教育学科科目		●				●							
PHIL 206	東洋思想史	2	100	春	◆								教育学部 教育学科科目	●	●				●							
MUS 213	日本音楽史	2	100	秋					◆				芸術学部 音楽学科科目	●												●
ART 214	西洋美術史	2	100	春						◆			芸術学部 アート・デザイン学科科目		●											●
ART 223	日本美術史	2	100	秋					◆				芸術学部 アート・デザイン学科科目	●												●
MART 214	メディア・デザイン理論 A	2	100	春							◆		芸術学部 アート・デザイン学科科目		●	●										
MART 215	メディア・デザイン理論 B	2	100	秋	◆								芸術学部 アート・デザイン学科科目	●	●											
ART 204	芸術と社会	2	100	春秋		◆							芸術学部 演劇・舞踊学科科目		●				●							●
SOC 201	観光社会学 A	2	100	春		◆							観光学部 観光学科科目		●											
TOUR 202	国際観光論 A	2	100	春						◆			観光学部 観光学科科目	●										●		
SOC 202	観光社会学 B	2	100	春秋		◆							観光学部 観光学科科目		●											
TOUR 203	国際観光論 B	2	100	春秋						◆			観光学部 観光学科科目	●										●		
JPN 311	日本語史	2	100	秋				◆					文学部 国語教育学科科目		●				●							
JPN 307	日本語学演習	2	100	秋				◆					文学部 国語教育学科科目		●	●				●						
JPN 306	日本語音韻論	2	100	秋				◆					文学部 国語教育学科科目	●	●				●							
INTD 303	現代思想と言語	2	100	秋	◆								文学部 国語教育学科科目		●				●	●						
INTD 304	テクノロジーと言語	2	100	春							◆		文学部 国語教育学科科目		●				●	●						
JLIT 300	英語で読む日本文学	2	100	秋				◆					文学部 国語教育学科科目	●	●											
INFO 315	プレゼンテーション技法	2	100	秋							◆		文学部 国語教育学科科目			●		●			●					

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	メジャー別履修条件							他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
					ヒューマン・スタディーズ領域			ジャパン・スタディーズ領域		グローバル・スタディーズ領域	STEMスタディーズ領域			知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
					哲学・宗教メジャー	社会学メジャー	心理学メジャー	日本語・日本文学メジャー	日本学メジャー	国際関係メジャー	STEMメジャー			多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
AGR 312	農学国際協力	2	100	春						◆			農学部 環境農学科 科目	●									●	●		
ESP 301	地球環境科学	2	100	春							◆		農学部 環境農学科 科目		●		●		●							
ENGR 306	コミュニケーションロボット工学	2	100	春							◆		工学部 情報通信 工学科科目			●			●	●						
MASC 315	ユニバーサルデザイン	2	100	春							◆		工学部 エンジニアリングデザイン 学科科目							●						
B A 310	中小企業経営論	2	100	春秋					◆				経営学部 国際経営 学科科目							●			●			
PSY 304	臨床心理学	2	100	春			◆						教育学部 教育学科 科目		●				●							
MUS 311	現代音楽史	2	100	春							◆		芸術学部 音楽学科 科目		●	●										
ART 308	鑑賞教育理論（美術）	2	100	春					◆				芸術学部 アート・デザイン 学科科目	●					●							●
ART 314	デザイン理論	2	100	秋							◆		芸術学部 アート・デザイン 学科科目					●							●	
MART 303	メディア・デザイン理論 D	2	100	秋					◆				芸術学部 アート・デザイン 学科科目	●	●											
TOUR 306	観光文化論 A	2	100	秋		◆			◆				観光学部 観光学科 科目	●	●									●		
AREA 302	地域文化論	2	100	秋						◆			観光学部 観光学科 科目	●				●								
TOUR 307	観光文化論 B	2	100	春秋		◆			◆				観光学部 観光学科 科目	●	●									●		
JPN 404	日本語学研究	2	100	秋				◆					文学部 国語教育 学科科目		●				●							
PHIL 401	批評理論	2	100	秋	◆			◆					文学部 国語教育 学科科目		●	●			●							
INFO 403	ブレインソフトウェア	2	100	秋							◆		工学部 ソフトウェア サイエンス 学科科目		●					●						
ART 416	東洋美術史	2	100	春						◆			芸術学部 アート・デザイン 学科科目	●												●
CWC 400	異文化交流論	2	100	春						◆			観光学部 観光学科 科目	●										●		
INTL 401	国際協力	2	100	春						◆			観光学部 観光学科 科目		●					●						

【履修にあたって】

（1）必修科目はすべて履修してください。
（2）必修科目・必修選択科目は「メジャー別履修条件」を確認して履修してください。
（3）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどのローマ数字がついている同一名称科目は原則としてⅠ→Ⅱ→Ⅲの順番で履修してください。
（4）A・B・Cがついている同一名称科目は履修の順番を問いません。

観光学部

観光学科

人材養成等教育研究に係る目的

観光学部ではグローバル時代における観光の振興に広く貢献できる人材の養成を目指す。具体的には、現代における観光の意義と役割とその課題を的確に把握し、適切な情報の収集と分析を通して、また、異文化に対する理解を基礎に、高度な英語力を駆使してグローバル時代の観光産業と地域活性化に貢献できる人材を養成する。

そのために、グローバル時代における観光産業のあり方について、その基礎基本となる知識を体系的に学習し、そこで修得した知見を基に、幅広い観点から観光という現象の意義や役割を理解し、さらに現状の課題を社会科学的な方法論に基づいて認識しその解決策を提示できる能力を育成する。

また、グローバル時代の観光産業にあっては、インバウンド観光・アウトバウンド観光ともに、国際共通語としての英語力は必須であるとの前提にたち、その高度な運用力の修得を図るとともに、それを用いた異文化理解の深化と異文化との交流力を培うことを目指した教育・研究を行うことを目的とする。

教育課程は、「観光全般に関する知識」を体系的に修得させることと、「英語運用力」の向上を図ることを主軸として編成されている。この教育課程を通して、「人間関係構築力」「情報収集・分析・表現力」「異文化理解・対応力」「社会的責任と倫理観」「問題発見・解決力」など「グローバル時代における観光の振興に貢献できる人材」が備えるべき基礎的な資質・能力を身につけさせる。

観光学部　ディプロマ・ポリシー

観光学部では、人材養成等教育研究に係る目的に基づくカリキュラムを通して、以下の能力を学士力として修得し、卒業要件を充足した人に、学士（観光学）の学位を授与します。

① 観光に関する幅広い知識を身につけ、観光という現象を多様な観点から分析することができる。【知識・理解】
② グローバル時代における観光の新たな問題を発見し、適切な情報収集とその分析を通じて、自らの解決策を考え、提示することができる。【思考・判断】
③ グローバル時代において、高い倫理観を持ち、日本国内並びに海外において国際観光の振興に取組む素地を体得している。【態度】
④ 異文化に対する興味と関心を持ち、多様な価値観と共生することができる。【関心・意欲】
⑤ ビジネスの現場で的確なコミュニケーションをとることが可能となる高度な英語運用力を修得している。【技能・表現】

観光学部 観光学科

1 カリキュラム・ポリシー

●観光学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、以下の通りのカリキュラムを編成しています。

① 1年間の海外留学を含めて4年間の在籍で卒業が可能となるように設計する。
② 留学出発前の第1セメスターから第3セメスターまでは、国際共通語である英語力の伸長を図ることに力点を置くカリキュラムとする。同時に、情報の収集・分析・表現力の育成を重視した科目を配置する。また、観光に関する基礎的な科目を履修できるようにする。
③ 第4セメスターおよび第5セメスターでは、「観光学部留学プログラム」に参加し、高度な英語力への伸長を図るとともに、異文化を理解し、交流を実践し、多様な価値観を有する人々と共生できるようにする。
④ 留学終了後の第6セメスターから第8セメスターでは、主として観光に関する専門的な学習を集中的に行うべく、「観光ビジネス」「観光による地域振興」「観光を通した国際交流」の3つの履修モデルを想定し、多様な専門科目を体系的に配置する。幅広い観点から専門的な理解を深め、観光の意義や役割、現状と課題を認識し理解できる能力を養成する。さらに、自身の関心をもった分野について、問題の発見、情報の収集と分析、解決策の立案を行う機会を提供する。

2 観光学部留学プログラム

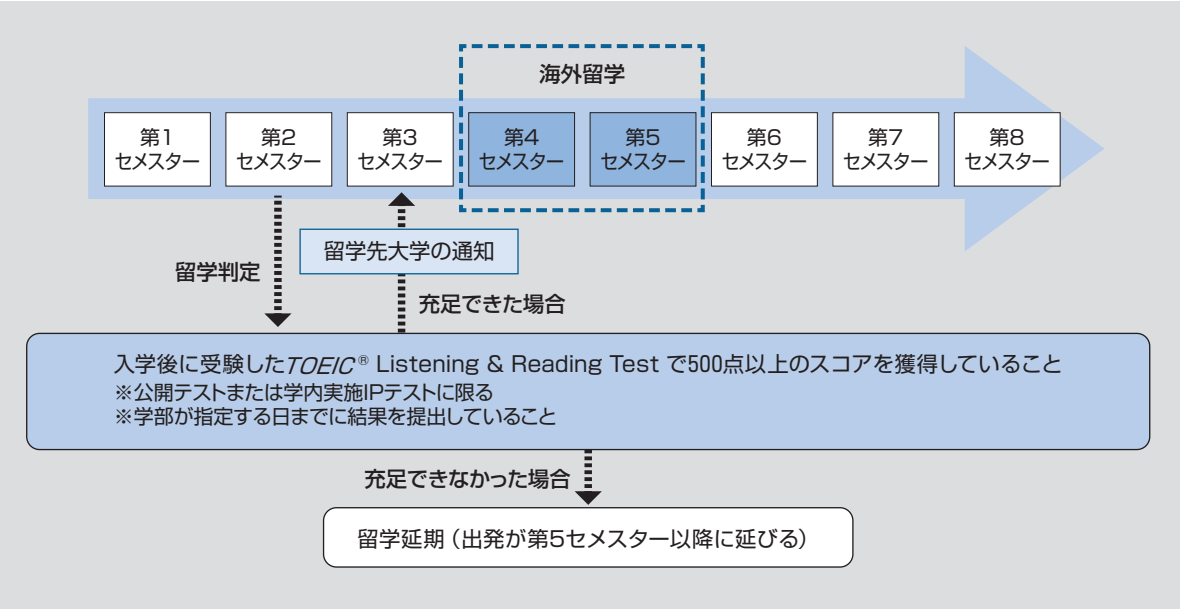
●観光学部では1年間（第4・第5セメスター）の留学*[1]が必修となります。そのために、「観光学部留学プログラム（Tourism and Hospitality Overseas Program、THE Top）」が実施されています。

1 目的

●「観光学部留学プログラム」では、異文化体験を通して、国際社会で活躍できる英語力と国際理解力の養成を目指します。

2 留学条件

●第2セメスター（1年次）終了時において、留学条件を満たしているか否かのチェック（留学判定）が行われます。
●留学条件は「留学に必要となる英語運用力を備えているか否か」の観点から定められています。具体的には「入学後に受験した*TOEIC*® Listening & Reading Test（略称：*TOEIC*® L&R）公開テストまたは玉川大学内で実施するIPテストで500点以上のスコアを取得していること」です。
●留学条件を満たしたすべての学生は、オーストラリアのビクトリア州にある「ディーキン大学（Deakin University）」「スウィンバーン工科大学（Swinburne University of Technology）」「ビクトリア大学（Victoria University）」、クィーンズランド州にある「グリフィス大学（Griffith University）」の計4大学の中から、玉川大学が決定・通知する大学に第4セメスター・第5セメスターの期間に留学することになります。
●留学は第4セメスター・第5セメスターの期間を「観光学部留学プログラム」の基本としているため、留学延期を自ら希望することはできません。
●第2セメスター終了時の留学判定において留学条件を満たせなかった場合は、留学出発が延期となります。次の留学判定は第3セメスター終了時に行います。ここで留学条件を満たした場合は、第5セメスター・第6セメスターの期間に留学をします。一方、ここでも留学条件を満たせなかった場合は、留学出発が再び延期となり、次の留学判定は第4セメスター終了時となります。
●なお、第4セメスター終了時の留学判定においても条件を満たせない場合は、留学延期が継続するとともに、4年間で卒業できないことが確定します。
●留学出発が延期となった場合は、別途履修指導が行われます。



3 現地での学習

- 「観光学部留学プログラム」の学習上の最大の特色は、現地*1において英語の習得を図るだけではなく、グローバル・スタンダードの大学での学びを経験できることにあります。
- そこで、留学の前半は、大学附属の語学学校（English Language Intensive Courses for Overseas Students、ELICOS）にて20週間の学修を行い、現地の大学での学修に耐えうる英語力を身につけます。
- 留学の後半は、ELICOSで習得した語学力に応じて、原則としてBachelor（現地の大学２年以上相当）またはDiploma（現地の大学１年相当）のいずれかのコースにて１セメスターの学修を行います。
- 既に英語力が高い場合は、留学前にIELTS等の証明書を留学先大学へ提出することにより、留学の前半から現地大学の学修を履修することが可能です。

4 留学中の単位の読み替え

- 留学期間中の現地での学修成果に対する玉川大学の開設科目への単位の読み替えは、留学終了時のセメスターの成績評価の際に一括して行います。
- 留学中の大学における学修で最大32単位、「インターンシップ」で最大４単位の読み替えが可能です。

＊１　留学中の学生の安全が確保されないなどの理由により留学先大学のオンライン学修を日本国内で利用する場合があります。

3 卒業要件

（1）修業年限を満たすこと

（2）全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

（3）卒業時における累積GPAが2.00以上であること

（4）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
社会科学科目群：「経済学（国際経済を含む）」
自然科学科目群：「データ処理」「統計学入門」
学 際 科 目 群：「国際研究 B」「国際研究 C」「インターンシップ A」「インターンシップ B」

（5）ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修選択科目を修得していること
人文科学科目群：4 単位以上
社会科学科目群：2 単位以上
言語表現科目群：「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」から 3 科目12単位以上

（6）学科科目について、次の必修科目を修得していること
100番台科目：「観光概論」「観光立国論」「College English Ⅰ」「College English Ⅱ」
200番台科目：「留学準備セミナー」「リサーチ・メソッド」「College English Ⅲ」
300番台科目：「College Reading and Writing Ⅰ」「観光学ゼミナールⅠ」
400番台科目：「College Reading and Writing Ⅱ」「English Communication Strategies」

（7）学科科目について、次の必修選択科目を修得していること
100番台科目：「観光地理学」「観光史」の中から 1 科目 2 単位以上
200番台科目：「観光社会学 A」「国際観光論 A」「観光経営学 A」「観光政策論」
「デスティネーション・マーケティング A」の中から 2 科目 4 単位以上
300番台科目：「観光開発論 A」「観光行動論 A」「観光文化論 A」「旅行事業論 A」
「宿泊事業論 A」「航空事業論 A」の中から 4 科目 8 単位以上

（8）学科科目の中から選択科目33単位以上（必修選択科目の必要数を超えた余剰単位を含む）を履修していること

（9）「観光学部留学プログラム」による 1 年間（第 4 ・第 5 セメスター）の海外留学*1を経験していること

（10）上記要件のすべてを満たし、入学後に受験した「*TOEIC*® Listening & Reading Test」の公開テストまたは学内実施のIPテストで700点以上のスコアを取得していること
※ 3 月卒業は 1 月末、 9 月卒業は 7 月末の学部が指定する期日までに結果を提出していること
※「観光学部留学プログラム」期間中にオーストラリアで受験した公開テストも対象とする

4 卒業までの単位配分

●観光学部では、卒業までにユニバーシティ・スタンダード科目、自学科科目の100番台科目、200番台科目、300番台科目、400番台科目および自由選択科目からそれぞれ必要となる単位数を満たすことが必要となります。

<table>
<tr><th>科　目　群</th><th colspan="2">科　目　分　類</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ユニバーシティ・
スタンダード科目</td><td colspan="2">玉川教育・FYE科目群</td><td colspan="2">7 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">人文科学科目群</td><td>4 単位</td><td rowspan="5">32単位
以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会科学科目群</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然科学科目群</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">学 際 科 目 群</td><td>8 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語表現科目群</td><td>12単位</td></tr>
<tr><td rowspan="9">学 科 科 目</td><td rowspan="4">必 修 科 目</td><td>100番台科目</td><td>8 単位</td><td rowspan="4">21単位</td></tr>
<tr><td>200番台科目</td><td>5 単位</td></tr>
<tr><td>300番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>400番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">必修選択科目</td><td>100番台科目</td><td>2 単位</td><td rowspan="3">14単位
以上</td></tr>
<tr><td>200番台科目</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>300番台科目</td><td>8 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">自学科選択科目
（必修選択科目の必要数を超えた余剰単位を含む）</td><td colspan="2">33単位以上</td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td colspan="2">他学部他学科科目
他大学との単位互換科目
ユニバーシティ・スタンダード科目
（必要数を超えた余剰単位を含む）</td><td colspan="2">任意</td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業に必要な単位数</td><td colspan="2">124単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業に必要なGPA数値</td><td colspan="2">累計GPA2.00以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業に必要な*TOEIC*® L&Rスコア</td><td colspan="2">700点以上</td></tr>
</table>

5 警告制度と注意

本学では全学部に共通する警告制度を定めており、各学期末に学修状況判定が行われます。そこで累積GPA2.00未満の学生には「警告」が出されます（制度の詳細はp.37を参照）。

さらに、観光学部では一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるのかをチェックするために、注意制度を設けております。「注意」の要件として「累積修得単位数」「累積GPA」「英語力判定テストのスコア」の３つがあり、セメスター終了ごとに基準が設けられています（下表参照）。いずれか１つ以上の基準に抵触すると注意となります。

注意を受けることは、このままの学修進捗状況では留学出発や卒業が延期になる可能性が高い、ないしは留学出発または卒業が延期になってしまうということを意味しており、学修の進め方を見直す必要があります。

▶警　告
参照『履修ガイド』p.37

年次	セメスター	学期	a. セメスター終了時の累積修得単位数が下記の単位数未満	b. 累積GPAが下記の値未満	c. 英語力判定テストの結果が下記水準に未到達
1	1	春	15	2.20	*TOEIC*® L&R 400点未満
	2	秋	32		*TOEIC*® L&R 500点未満
2	3	春	47		—
	4	秋	62		*TOEIC*® L&R 500点未満
3	5	春	78		—
	6	秋	93		*TOEIC*® L&R 600点未満
4	7	春	109		*TOEIC*® L&R 650点未満
	8	秋	当該セメスターで卒業が不可能な学生		

※第６セメスター終了時に*TOEIC*® L&R 600点に到達していない場合は、卒業見込が出ません。

6 観光学部が養成を目指す3つの人材像と履修モデル

●観光学部では、人材育成目標およびカリキュラム方針に従って、以下の３つの履修モデルを設定しています。履修モデルを参考にして、第３セメスター以降から履修が可能な必修選択科目および選択科目の中からどういう科目を選択すべきかをよく考え、自らの目標を達成するために必要となる科目を履修し、勉学に邁進してください。

■履修モデル表

観光学部観光学科履修モデル			
	A. 観光ビジネスの発展に寄与できる人材（注１）	B. 観光を通じて地域の活性化に貢献できる人材	C. 観光を通じて国際交流の進展に貢献できる人材
100番台科目	◎観光概論③、◎観光立国論①、◆観光史②、◆観光地理学②		
200番台科目	観光経営学◆A②・B② 国際観光論◆A②・B② デスティネーション・マーケティング◆A②・B②	観光政策論◆② デスティネーション・マーケティング◆A②・B② 国際観光論◆A②・B②	国際観光論◆A②・B② 観光政策論◆② 観光社会学◆A②・B②
300番台科目	旅行事業論◆A②・B② 宿泊事業論◆A②・B② 航空事業論◆A②・B② 観光行動論◆A②・B② 交通事業論② ホスピタリティ・マネジメント② 観光キャリア論② 観光時事講義②	旅行事業論◆A②・B② 観光行動論◆A②・B② 観光開発論◆A②・B② 観光文化論◆A②・B② 観光関連法規② 観光キャリア論② 観光時事講義②	観光文化論◆A②・B② 観光開発論◆A②・B② 観光行動論◆A②・B② 旅行事業論◆A②・B② 地域文化論② 観光キャリア論② 観光時事講義②
400番台科目	サービス・マーケティング② 観光財務情報分析② 観光経済学② イベント・ツーリズム② ホスピタリティ論② 観光情報システム②	観光まちづくり関連法規② 観光メディア論② 観光経済学② イベント・ツーリズム② アート・ツーリズム② エコ・ツーリズム②	異文化交流論② 国際協力② アート・ツーリズム② エコ・ツーリズム②

◎：必修科目、◆：必修選択科目、無印：選択科目　○数字は単位数を示します。

（注１）履修モデルAが養成を目指す「観光ビジネスの発展に寄与できる人材」とは、旅行事業、宿泊事業、航空事業、交通事業等のいずれか一つの分野の発展に寄与できる人材を意味します。

7 履修上の留意事項

- ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、観光学部観光学科の学生が**履修してはいけない科目は「観光学入門」「海外留学入門」の2科目です。**
- 「ELF」「Intensive English Training」「College English」「College Reading & Writing」「English Communication Strategies」については、各種英語力判定テストの結果に基づき、クラス指定を行います。
- 留学条件を満たし、出発が許可された学生は、出発直前の学期に「留学準備セミナー」を履修します。留学出発を許可されていない学生は受講することができません。
- 留学条件を満たし、出発が許可されていても、出発直前までにおける「*TOEIC*® Listening & Reading Test」の公開テストまたは学内実施のIPテストのスコアが500点を著しく下回る場合は、留学が保留になることがあります。
- 「観光学ゼミナールⅠ」は必修科目です。留学終了後に履修します。
- 卒業論文を執筆する学生は、「観光学ゼミナールⅢ」と「卒業論文」を同時に履修してください。また、履修にあたって指導教員からの許可を得るようにしてください。
- 第4セメスター・第5セメスターの「観光学部留学プログラム」の留学条件が満たせず、出発延期になった場合は「観光学ゼミナールⅡ」「観光学ゼミナールⅢ」「卒業論文」を履修することができません。
- 「English Communication Strategies」の単位修得のためには、通常の授業に出席して合格することに加えて、卒業要件である*TOEIC*® Listening & Reading Testで700点以上のスコアを指定する期日までに獲得し、報告することが必要です。

8 観光学部 観光学科　教育課程表

凡例　履修条件 ●：必修科目　◆：必修選択科目　無印：選択科目
他学科受講 ○：他学科受講可

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
UNIV 201	二年次セミナー 201	2	100	春						●										
UNIV 202	二年次セミナー 202	2	100	秋															●	
UNIV 106	人文科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1	50	春秋						●										
ANTH 100	文化人類学	2	100	春秋				●	●											
CWC 101	比較文化論	2	100	春秋				●												
HIST 102	歴史（世界）	2	100	春秋										●						
HIST 103	歴史（日本）	2	100	春秋										●						
ECON 100	経済学（国際経済を含む。）	2	100	春	●									●					●	
INTL 201	国際関係論	2	100	春秋										●						
INFO 105	データ処理	2	100	春秋	●				●			●								
STAT 101	統計学入門	2	100	春秋	●									●						
COPR 100	インターンシップ A	2	100	秋春	●					●				●	●					
COPR 101	インターンシップ B	2	100	秋春	●					●				●	●					
GLS 115	国際研究 A	2	300	秋春				●		●										
GLS 116	国際研究 B	2	300	秋春	●			●		●										
GLS 117	国際研究 C	2	300	秋春	●			●		●										
GLS 118	国際研究 D	3	450	秋春				●		●										
GLS 119	国際研究 E	4	600	秋春				●		●										
GLS 120	国際研究 F	5	750	秋春				●		●										
ENG 201	ELF 201	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 202	ELF 202	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 301	ELF 301	4	200	春秋	◆		1年次より履修可			●										
ENG 302	ELF 302	4	200	秋春	◆		1年次より履修可			●										
ENG 401	ELF 401	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
ENG 402	ELF 402	4	200	春秋	◆		2年次より履修可			●										
学科専門科目																				
TOUR 100	観光概論	3	150	春	●				●											
ENG 104	College English Ⅰ	2	100	春	●					●										
ENG 112	Intensive English Training A	1	50	春						●					●					
TOUR 102	観光立国論	1	50	秋	●									●						
GEOG 100	観光地理学	2	100	秋	◆	○		●	●											
HIST 100	観光史	2	100	秋	◆	○			●											
ENG 105	College EnglishⅡ	2	100	秋	●					●										
ENG 113	Intensive English Training B	1	50	秋						●					●					
INTD 204	リサーチ・メソッド	2	100	春	●						●			●						●
ENG 205	College EnglishⅢ	2	100	春	●					●			●							
ENG 217	Intensive English Training C	1	50	春秋						●					●					
CWC 203	留学準備セミナー	1	50	春秋	●			●	●					●						
B　A 201	観光経営学 A	2	100	春	◆	○						●	●							
MKTG 200	デスティネーション・マーケティング A	2	100	春	◆	○			●		●									
SOC 201	観光社会学 A	2	100	春	◆	○			●											
TOUR 201	観光政策論	2	100	春	◆	○								●						
TOUR 202	国際観光論 A	2	100	春	◆	○		●										●		
B　A 202	観光経営学 B	2	100	春秋		○						●	●							
MKTG 201	デスティネーション・マーケティング B	2	100	春秋		○			●		●									
SOC 202	観光社会学 B	2	100	春秋		○			●											
TOUR 203	国際観光論 B	2	100	春秋		○		●										●		
ENG 207	English for Business Purposes Ⅰ	3	150	秋春						●										
ENG 208	English for Business PurposesⅡ	3	150	秋春						●										
ENG 206	English for Academic Purposes	2	100	秋春						●										
ENG 212	English for Specific Purposes Ⅰ	2	100	秋春						●										
ENG 213	English for Specific PurposesⅡ	2	100	秋春						●										

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間（分）	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力													
								知識・理解		汎用的技能					態度・志向性						
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
COMM 201	Business Communication Ⅰ	2	100	秋春						●										
COMM 202	Business Communication Ⅱ	2	100	秋春						●		●								
COMM 204	Intercultural Communication	2	100	秋春				●		●										
CWC 200	Intercultural Case Studies	2	100	秋春				●		●										
COMM 203	Communicative Skills in English	2	100	秋春						●										
MATH 200	Methods for Analysis	2	100	秋春							●		●	●						
TOUR 200	Tourism & Hospitality Systems	2	100	秋春					●	●										
B A 200	Management & Marketing Studies	2	100	秋春						●		●								
TOUR 305	観光時事講義	2	100	春秋		○								●						●
ENG 303	College Reading & Writing Ⅰ	2	100	秋	●					●										
TOUR 302	観光学ゼミナールⅠ	2	100	秋	●							●								
TOUR 300	観光開発論 A	2	100	秋	◆	○			●					●			●			
TOUR 303	観光行動論 A	2	100	秋	◆	○			●		●									
TOUR 306	観光文化論 A	2	100	秋	◆	○		●	●									●		
TOUR 308	航空事業論 A	2	100	秋	◆	○			●				●							
TOUR 311	宿泊事業論 A	2	100	秋	◆	○			●				●							
TOUR 314	旅行事業論 A	2	100	秋	◆	○			●				●							
AREA 302	地域文化論	2	100	秋		○		●				●								
CARE 300	観光キャリア論	2	100	秋		○			●			●			●					
INTD 302	観光文献講読	2	100	秋		○		●	●											
LAW 300	観光関連法規	2	100	秋		○			●				●							
TOUR 310	交通事業論	2	100	秋		○			●				●							
TOUR 313	ホスピタリティ・マネジメント	2	100	秋		○			●					●						
TOUR 301	観光開発論 B	2	100	春秋		○			●					●			●			
TOUR 304	観光行動論 B	2	100	春秋		○			●		●									
TOUR 307	観光文化論 B	2	100	春秋		○		●	●									●		
TOUR 309	航空事業論 B	2	100	春秋		○			●				●							
TOUR 312	宿泊事業論 B	2	100	春秋		○			●				●							
TOUR 315	旅行事業論 B	2	100	春秋		○			●				●							
ENG 403	College Reading & Writing Ⅱ	2	100	春秋	●					●		●								
ACCT 400	観光財務情報分析	2	100	春		○					●	●		●						
CWC 400	異文化交流論	2	100	春		○		●										●		
ECON 400	観光経済学	2	100	春		○					●	●		●						
INFO 401	観光メディア論	2	100	春		○			●				●							
INTL 401	国際協力	2	100	春		○			●					●						
LAW 400	観光まちづくり関連法規	2	100	春		○			●				●							
MKTG 400	サービス・マーケティング	2	100	春		○			●		●									
TOUR 400	アート・ツーリズム	2	100	春		○			●					●						
TOUR 401	イベント・ツーリズム	2	100	春		○			●				●							
TOUR 402	エコ・ツーリズム	2	100	春		○			●					●						
TOUR 403	観光学ゼミナールⅡ	2	100	春									●							
ENG 405	English Communication Strategies	2	100	秋	●					●										●
ENG 404	College Reading & Writing Ⅲ	2	100	秋						●		●								
INFO 400	観光情報システム	2	100	秋		○						●		●				●		
TOUR 405	ホスピタリティ論	2	100	秋		○				●				●						
TOUR 404	観光学ゼミナールⅢ	2	100	秋					●					●						
INTD 403	卒業論文	2	100	秋																●

【履修にあたって】

（1）必修科目はすべて履修してください。
（2）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどのローマ数字がついている同一名称科目は原則としてⅠ→Ⅱ→Ⅲの順番で履修してください。
（3）ELF科目に関しては、201→202→301→302→401→402の順で履修してください。なお、ELF 201以上の科目の中から3科目12単位は必修選択になります。ただし、1年次の履修レベル決定テストの結果により、201より下位のクラスから始まる場合があります。
（4）A、B、C、Dがついている同一名称科目は履修の順番を問いません。

Ⅲ

資格を取得するために

1 資格の種類 …… 224
2 取得できる各種資格・修了証等一覧 …… 225

1 保　育　士 …… 226
2 学校図書館司書教諭 …… 231
3 図書館司書 …… 232
4 社会教育主事・社会教育士 …… 233
5 学　芸　員 …… 234
6 日本語教員 …… 236
7 環境再生医初級 …… 238
8 ＩＢ教員 …… 239
9 食品衛生管理者および食品衛生監視員 …… 240
10 基本情報技術者 …… 241
11 ピアヘルパー …… 242
12 キャンプインストラクター …… 243
13 小学校英語指導者 …… 244
14 社会調査士 …… 245
15 宗教文化士 …… 246
16 TAPリーダー …… 247

1 資格の種類

資格を取得するためには、自分の所属する学部・学科の卒業要件以外に、定められた科目を履修する必要があります。
「何でもいいから資格が欲しい」といった安易な姿勢ではなく、強い意志と責任感をもって資格取得を目指してください。
本学で取得できる資格は、右ページの一覧表のとおりです。

▶国家資格
国や地方自治体、それに準ずる機関が試験を行い認定する資格。

▶任用資格
所定の科目を修得し、卒業後にその資格に関連する職務に就業した場合に、申請のうえ、取得できる資格。

1 国家資格

●本学で取得できる国家資格は、以下の 4 つのタイプがあります（一覧表参照）。

① 在学中に指定科目の単位を修得することにより、取得できる資格

② 卒業後、申請が必要な資格

＊本学の指定している科目の単位を修得し、卒業後その職務に就くことにより申請資格が得られます（任用資格）。ただ、それだけで免許証や資格証書等が発行されるわけではなく、卒業後に所定の場所で申請手続きを取る必要があります。

③ 在学中に指定科目の単位を修得することにより、国家試験の受験科目が一部免除になる資格

④ 在学中に指定科目の単位を修得することにより、国家試験受験が免除になる資格

2 企業・団体等による修了証など

●法律に基づく公的な資格ではありませんが、他の免許・資格と組み合わせて取得することによって、付加価値が生じます。

●在学中に指定科目の単位を修得することにより、証明書が授与されます。

●資格によっては、履修するための条件が設定されている場合があります。その条件を確認してから履修登録を行うようにしてください。

2 取得できる各種資格・修了証等一覧

各種資格・修了証等に必要な科目は、◎の記載された学部・学科で開設されます。
したがって他学部・他学科の学生が希望しても、時間割上履修できないこともあります。
履修登録前に各学科の教務担当教員に相談してください。

「なし」と記載されている各種資格・修了証等の詳細については、各学科の教務担当教員に相談してください。

資格によっては、履修するための条件が設定されている場合があります。その条件を確認してから履修登録を行うようにしてください。

		文学部		農学部			工学部				経営学部	教育学部		芸術学部			リベラルアーツ学部	観光学部	資格取得に必要な科目が掲載されているページ	対応窓口
		国語教育学科	英語教育学科	生産農学科	環境農学科	先端食農学科	情報通信工学科	ソフトウェアサイエンス学科	マネジメントサイエンス学科	エンジニアリングデザイン学科	国際経営学科	教育学科	乳幼児発達学科	音楽学科	アート・デザイン学科	演劇・舞踊学科	リベラルアーツ学科	観光学科		
国家資格	指定の課程を卒業することにより取得																			教師教育リサーチセンター
	保育士												◎						226～230	
	学校図書館司書教諭	△		△								●		●	●				231	
	図書館司書	△		△	△	△						●	●	●	●	●	●		232	
	社会教育主事（任用資格）・社会教育士	△		△	△	△						●	●	△	△	△	●		233	
	学芸員	△		△	△	△	△	△	△	△		△	△	●	◎	●	●		234～235	
	卒業後要申請																			授業運営課
	食品衛生管理者					◎													240	
	食品衛生監視員（任用資格）					◎													240	
	国家試験受験科目一部免除																			
	基本情報技術者（午前試験免除） ☆							◎											241	
企業・団体等による修了証の発行など	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）																			
	小学校英語指導者											◎							244	
	NPO法人自然環境復元協会																			
	環境再生医初級			◎	◎	◎													238	
	日本教育カウンセラー協会																			
	ピアヘルパー											◎	◎						242	
	㈳日本キャンプ協会																			
	キャンプインストラクター											◎	◎						243	
	㈳社会調査協会																			
	社会調査士																◎		245	
	国際バカロレア機構																			
	IB教員	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	239	
	宗教文化推進センター																			
	宗教文化士	●					●	●	●	●		●	●	●	●	●	◎		246	
	玉川大学																			
	日本語教員	△	△									●	●	●	●	●	◎		236～237	
	児童のための体育教育指導者											◎							156	
	児童のための心の教育指導者											◎	◎						156	
	児童のための野外活動指導者											◎	◎						156	
	TAPリーダー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	247	

◎＝主に科目を開設している学部・学科　●＝資格が取れる学部・学科　△＝教務担当教員に要相談（4年間では取得不可能な場合があります）
☆＝オープンバッジ対象

保　育　士

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

［表 1］必修科目および教養科目

児童福祉法施行令に定める科目					本学で開設する科目					修得単位	備考
		科目	授業形態	単位	科目	授業形態	授業時間（分）	単位			
告示別表第1による教科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	100	2		14	
		教育原理	講義	2	教育原理	講義	100	2			◎幼１種に同じ
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	100	2			
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	100	2			
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	100	2			
		社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護	講義	100	2			
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	100	2			◎幼１種に同じ
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	100	2		10	乳幼児発達学科 卒業要件「必修選択」
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子どもと家庭の発達心理学	講義	100	2			乳幼児発達学科 卒業要件「必修選択」
		子どもの理解と援助	演習	1	幼児理解と教育相談	演習	100	2			◎幼１種に同じ
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	100	2			
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	100	2			
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育カリキュラム論	講義	100	2		2	◎幼１種に同じ
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	100	2		2	◎幼１種に同じ
		保育内容演習	演習	5	保育内容指導法（健康）	演習	100	2		10	◎幼１種に同じ
					保育内容指導法（人間関係）	演習	100	2			◎幼１種に同じ
					保育内容指導法（環境）	演習	100	2			◎幼１種に同じ
					保育内容指導法（言葉）	演習	100	2			◎幼１種に同じ
					保育内容指導法（表現）	演習	100	2			◎幼１種に同じ
		保育内容の理解と方法	演習	4	音　楽（幼）	演習	100	2		8	◎幼１種に同じ
					図　工（幼）	演習	100	2			◎幼１種に同じ
					体　育（幼）	演習	100	2			◎幼１種に同じ
					国　語	演習	100	2			◎幼１種に同じ
		乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	100	2		2	
		乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	100	1		1	
		子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	100	1		1	
		障害児保育	演習	2	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助Ⅰ	演習	100	1		1	◎幼１種に同じ
					特別な支援を必要とする子どもの理解と援助Ⅱ	演習	100	1		1	
		社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護演習	演習	100	1		1	
		子育て支援	演習	1	子育て支援演習	演習	100	1		1	
	保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（※3）	実習	—	4		4	
		保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	100	2		2	
	総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習	演習	100	2		2	◎幼１種に同じ
	必修科目群単位合計			51	資格取得に必要な単位数					62	
教養科目	外国語、体育以外の科目		不問	6以上	生命と性の教育	講義	100	2		4	2科目4単位必修選択
					異文化理解と教育	講義	100	2			
					歴　史（日本）	講義	100	2			
					哲　学	講義	100	2			
					コミュニケーション論	講義	100	2			
					科学入門	講義	100	2			
					情報科学入門	講義	100	2		2	学部 卒業要件「必修」
	外国語		演習	2以上	「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」のうち、1科目	演習	200	4		4	ユニバーシティ・スタンダード科目 学部 卒業要件「必修選択」
	体　育		講義	1	健康教育（※1）	講義	100	1		1	US玉川教育・FYE科目群「必修」
			実技	1	体　育	実技	100	1		1	US玉川教育・FYE科目群「必修」
	教養科目合計			10以上	資格取得に必要な単位数					12以上	

［表２］選択必修科目

児童福祉法施行令に定める科目					本学で開設する科目				修得単位	備考
科目			授業形態	単位	科目	授業形態	授業時間（分）	単位		
告示別表第２による教科目	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15単位以上	子どもと家族の福祉	講義	100	2	6以上（※２）	
	保育の対象の理解に関する科目				○学習・発達論	講義	100	2		◎幼１種に同じ
	保育の内容・方法に関する科目				○幼児指導論 児童文化 保育実践論Ａ 保育実践論Ｂ 保育実践論Ｃ 子どもの遊びと育ち	講義 講義 講義 講義 講義 講義	100 100 100 100 100 100	2 2 2 2 2 2		◎幼１種に同じ
	保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ（※３） 保育実習Ⅲ（※３）	実習 実習	－ －	2 2	2	「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」の組み合わせで修得すること
		保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	演習 演習	100 100	1 1	1	
	選択必修科目単位合計			18	資格取得に必要な単位数				9以上	

［備考］

1．課程表内の「授業時間（分）」の表記については、履修ガイドp.16の「授業のしくみ」、p.19の「単位のしくみ」を参照のこと。

2．特記事項については以下に示す。

※１　健康教育については、授業形態が「講義」となっているが、本学の建学の精神に則した科目として開設している。履修ガイドp.56「履修上の留意事項」に示すように講義と実技の双方を組み込み、講義（理論）100分×８回に加え、実技100分×７回の時間数をもった科目で隔週での実施をし、総計し、１単位としている。
なお、講義の時間数の算出根拠は、履修ガイドp.19の「単位のしくみ」に則す。

※２　［表２］選択必修科目については○印の科目を含み、６単位以上とする。

※３　保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについての実習時間数は、37.5時間を１単位とし、保育実習Ⅰは150時間で４単位、保育実習Ⅱ・Ⅲは75時間で２単位として換算する。なお、時間数の算出根拠は、履修ガイドp.19の「単位のしくみ」に則す。

保育士資格の取得に関する規則

1．**目的**　この規則は、玉川大学学則第11条第５項により保育士の資格を取得する場合に必要な事項について定める。

2．**受講の条件**　保育士資格を取得するためには以下に定める条件を満たす必要がある。(１)教育学部乳幼児発達学科に在籍していること。(２)第１、または第２セメスターに実施するガイダンスに出席していること。(３)教育学部が定める各種資格の登録に関する規定に示された条件を満たしている者。なお、各種資格の登録に関する規定については学生要覧による。(４)「保育実習受講届」を決められた期日までに提出し許可を受けた者。なお、提出期日は、ガイダンスで通知する。(５)決められた期日までに受講料を納入していること。(６)上記の条件を満たしていても、以下に該当する場合は、受講を許可しない。①保育士になる意志のない者。②学力不足、適性等からみて、保育士としての資質に問題があると認められる者。

3．**受講継続の条件**　保育士資格の取得の継続については、教育学部が定める各種資格の登録に関する規定に示された継続条件を満たさねばならない。各種資格の登録に関する規定については、学生要覧による。

4．**受講取消・中止**　(１)保育士資格の受講を取消すには、「保育実習受講取消届」に学科教職担当教員の承認印を受けたのち、教師教育リサーチセンターに提出しなければならない。(２)以下に該当した学生は、保育士資格付与の対象外とする。①各種資格の登録に関する規定に示された条件に抵触した者。②保育士としての資質に問題があると認められる者。ならびに保育士資格履修にあたり望ましくない行為があった者。③保育士になる意志のない者。なお、これらの事由により保育士資格の受講を中止された場合は、「保育実習取消届」を提出する必要はない。

5．**履修科目**　(１)保育士資格の取得に必要な児童福祉法施行規則第39条の２第１項第３号の規定により厚生労働大臣の定める科目に関する本学での履修方法および単位については、学生要覧による。(２)保育士資格を取得しようとする者は、必要な科目を自らの責任において履修登録期間に登録しなければならない。(３)保育実習については、「保育実習に関する規則」に定める。

6．**保育士資格の申請と交付**　(１)保育士資格に必要なすべての要件を満たした者は、教授会の議を経て、保育士資格授与に関する申請ができる。(２)保育士資格の申請は大学が行なう一括申請による。一括申請については、一括申請ガイダンスに出席し所定の手続きをとることとする。なお、ガイダンス日程については掲示等で通知する。

7．**保育士証の交付**　保育士証の交付については、各都道府県が審査、決済し、保育士となる資格を有すると認められたときは、都道府県知事が保育士証を交付する。

8．**事務主幹**　保育士資格に関する事務は、教師教育リサーチセンター及び授業運営課において行う。

9．**規則の改定**　この規則の改定については、教育学部と教職課程委員会で審議し決定する。

保育実習に関する規則

1．**目的**　この規則は、本学で保育士資格を取得しようとする学生が、児童福祉法施行規則の定めにより、保育実習を行なう場合に必要な事項について定める。

2．**保育実習**　(１)保育実習は、「保育実習に関する事前指導」、「現場における保育実習（以下「本実習」という）」および「保育実習に関する事後指導」に分けられ、これらすべてを履修しなければならない。(２)保育実習は、３年次（第５セメスター）に保育実習指導Ⅰ、４年次（第７セメスター）に保育実習指導Ⅱまたは保育実習指導Ⅲを受講しなければならない。(３)保育実習Ⅰは必修科目とし、必ず修得しなければならない。保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲは、選択必修科目とし、どちらか一方を修得し、かつ保育実習指導Ⅱまたは保育実習指導Ⅲを受講しなければならない。(４)保育実習の単位数については、児童福祉法施行規則に則り、本学学則に定められた時間数とする。

3．**受講条件**　本実習を行なう者（以下「実習生」という）は、事前に以下の条件を満たしている者とする。(１)保育士資格の取得許可を受けている者。(２)指定された期日に健康診断等を受け、伝染のおそれのある疾病がないと認められた者。(３)正常な保育活動を妨げるおそれのない者。(４)保育実習に関するガイダンス及び保育実習指導Ⅰ～Ⅲの単位を修得し、所定の手続きを行なった者。なお、ガイダンス日程は、掲示等により連絡する。(５)「保育実習受講届」を決められた期日までに提出し許可を受けた者。なお、提出期日はガイダンスで通知する。(６)指定された期日までに受講料を全額納入している者。

4．**本実習の時期および期間**　(１)本実習の時期はそれぞれ次のとおりとする。①保育実習Ⅰ･･･第５セメスターおよび第６セメスター　②保育実習Ⅱ･･･第７セメスター　③保育実習Ⅲ･･･第７セメスター (２)本実習について、実施する施設、修得すべき単位数、履修すべき時間数等は「指定保育士養成施設における保育実習の実施基準について」（厚生労働省雇用均等児童家庭局通知）に基づき、別に定める。また、その期間等は、直前指導時に通知する。

5．**欠席**　(１)欠席は認められない。やむを得ない事由により欠席する場合は、ただちに教師教育リサーチセンターに連絡し指示を仰ぐこと。(２)欠席した場合は、その不足時間数を補わなければならない。(３)欠席した場合は、「保育実習欠席届」に理由を明記し、内容を証明する書類（病気の場合は医師の診断書）を添えて、欠席した日から１週間以内に教師教育リサーチセンターに提出すること。

6．**保育実習生の義務**　実習生は、以下のことに注意し現場での保育実習を行なわなければならない。これに違反した場合は、ただちに保育実習を中止する。また、実習終了後であってもこのような事実があった場合には、その保育実習は無効とする場合がある。①実習生は、受入先の規則を守り、施設の目的を理解し、受入先の秩序を乱したり、児童、利用者の人格、尊厳を傷つけることが無いよう、注意を払わなければならない。②実習生は、受入先の施設長・職員の指示に従わなければならない。③実習生は、保育士を志す学生としての本分を忘れず、その態度、服装および言動に注意しなければならない。④保育実習により知り得た児童、施設利用者のプライバシーに関する情報については、守秘義務がある。

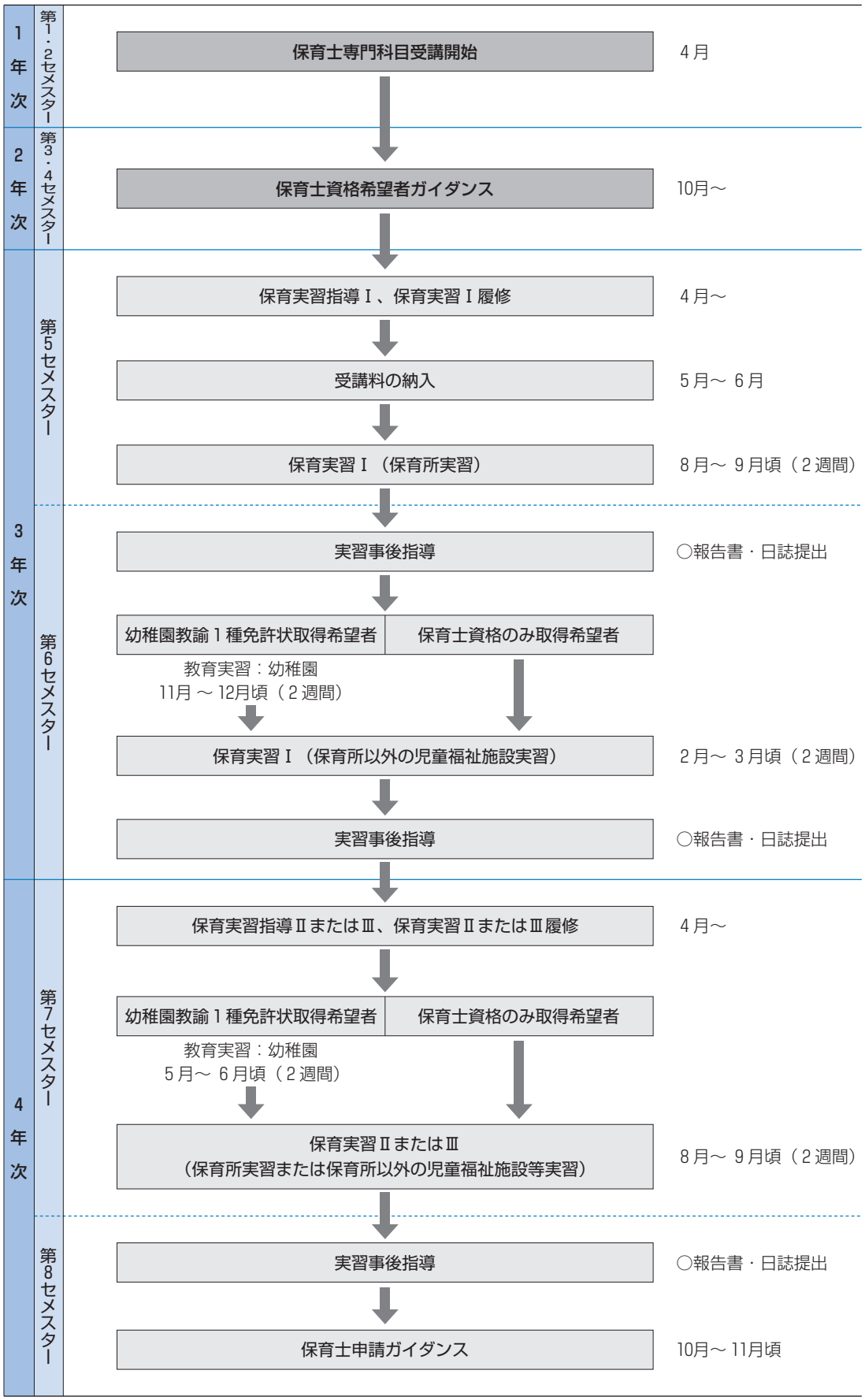
7．**事後指導等**　(１)実習終了後、事前指導で配布した「事後指導報告書」をただちに作成して保育実習指導担当教員の事後指導を受けなければならない。(２)実習生は、実習終了後決められた日時までに「保育実習日誌」（感想文を含む）を提出しなければならない。特別な理由無く提出が遅れた場合は、保育実習の単位認定は行なわない。なお、提出先、締切日時は、直前指導時に指示する。

8．**辞退**　保育実習の辞退は、原則として認めない。ただし、やむを得ない事情で辞退する場合には、「保育実習辞退届」に学科教職担当教員の承認印を受けたのち、教師教育リサーチセンターに提出しなければならない。

9．**事務主幹**　保育実習に関する事務は、教師教育リサーチセンター及び授業運営課において行う。

10．**規則の改定**　この規則の改定については、教育学部と教職課程委員会で審議し決定する。

1　保育士資格を取得するための手順



2 保育実習

●保育実習受講にあたっては、必要な時期に保育実習受講についてガイダンスを行いますので希望者は、必ず出席しなければなりません。
●ガイダンスでは、「保育実習希望施設調査票」をはじめ、指定される関係書類を提出しなければなりません。
●なお、実習施設・実習期間等は、実習をする学期始めに発表する予定です。
●保育実習に関しては、すべて本学が別に定める「保育士資格の取得に関する規則」によるものとします。

▶保育士資格の取得に関する規則
p.228

1 受 講 料

保育実習にかかる費用は 3 年次ならびに 4 年次で徴収する教職課程受講料に含まれます。

第 5 ・ 7 セメスターに、保証人宛送付の納入書により所定の納入手続きを完了してください。
いったん納入した受講料は、原則として返金できません。
なお、受講料は経済状勢の変動等により、今後改定されることがあります。
その他、手続き上の重要事項は、そのつど掲示により指示します。

2 登録の手順　1 年次秋学期（第 2 セメスター）

ガイダンスに出席 ▶ 「教職課程受講届」を受け取る ▶ 必要事項をもれなく記入 ▶ 教師教育リサーチセンターに提出

＊受講届の提出期日は、ガイダンスの際に指示します。

3 取消の手順

教師教育リサーチセンター窓口で「保育実習受講取消届」を受け取る ▶ 必要事項をもれなく記入 ▶ 取消届の所定欄に教職担当の承認印をいただく ▶ 教師教育リサーチセンターに提出

3 幼稚園教諭免許状関係科目との関わりについて

●幼稚園教諭 1 種（または 2 種）免許状の取得については、別冊『教職課程受講ガイド』等に示されているとおりです。
●幼稚園教諭免許状取得のための教職課程の受講と保育士資格取得のための関係科目の受講が許可された場合、幼稚園教諭免許状と保育士資格に共通する下記の授業科目・単位数については、重複して履修する必要はありません（単位修得について振替認定が行われます）。

科目		単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2
	保育者論	2
	学習・発達論	2
	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助 I	1
	保育カリキュラム論	2
領域および保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項	音楽（幼）	2
	図工（幼）	2
	体育（幼）	2
	国語	2

科目		単位
領域および保育内容の指導法に関する科目 保育内容の指導法	保育内容総論	2
	幼児指導論	2
	保育内容指導法（健康）	2
	保育内容指導法（人間関係）	2
	保育内容指導法（環境）	2
	保育内容指導法（言葉）	2
	保育内容指導法（表現）	2
教育実践に関わる科目	保育・教職実践演習	2

注：1）上記の各授業科目については、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得上、履修条件の扱いが異なるので、履修科目を登録する際に注意する必要があります。
2）幼稚園教諭免許状の取得に必要な科目・単位数であって、保育士資格の取得に必要とされていないその他の科目・単位などについては、幼稚園教諭免許状の取得条件をすべて満たさなければなりません。

学校図書館司書教諭

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

●「学校図書館司書教諭」とは、学校教育に必要な図書や視聴覚教材、電子資料等の図書館資料を収集・組織・蓄積し、児童または生徒、教員の利用に供することにより、教育課程の展開に寄与するとともに、児童生徒の読書活動を支援する専門的職務に従事する教諭です。

●学校図書館司書教諭講習規程に定められた科目を、下記の方法により修得することによって、資格が与えられます。

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目		本学で開設する科目		修得単位	備　考
科　目	単位	科　目	単位		
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	2	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	2	
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	2	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	2	
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	2	
		資格取得に必要な単位数		10	

資格取得にあたって

教職課程履修条件を受講していること。なお、最終セメスター開始時に教職員免許状の取得が見込めない学生は、「修了証書」の取得申請を行う事ができません。

「修了証書」の取得申請について

小・中・高等学校教育職員免許状および学校図書館司書教諭講習規程に定められた科目ならびに単位を修得すれば、「学校図書館司書教諭講習修了証書」（以下「修了証書」という）の申請資格が得られます。

① **資格取得に関するガイダンス**

第２・４セメスター １月に実施します。学校図書館司書教諭科目の履修計画等について説明します。資格取得を希望する学生は必ず出席しなければなりません。

② **資格科目の受講許可条件**

教職課程を受講中であること。

③ **申請手続き**

卒業該当年次の最終セメスター開始時に、UNITAMAにて申請手続き等に関する通知をします。

申請手続きは、前号の通知に従って行うこととし、申請書の提出および申請料の納入によって所定の手続き完了とします。

申請料　5,000円　（申請料は改定されることがあります）

なお、正式手続き後の申請料は、理由のいかんにかかわらず返金しません。

申請書の受理後判定審査し、合格すれば卒業した年の８月頃に本学を経由して「修了証書」の申請を行い、翌年の３月頃に文部科学省より「修了証書」の授与となります。

④ 手続き等に関する各事項は、そのつどUNITAMAで連絡します。

図書館司書

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

- 「図書館司書」とは、公共図書館において、図書館資料を収集・組織・蓄積し、利用者の情報・資料への要求に対して図書館サービスを提供する職務に従事する専門的職員です。
- 図書館法施行規則に定められた科目を、下記の方法により修得することによって、司書となる資格が与えられます。
- これらの科目を履修することにより、公共図書館のみならず、大学図書館の専門的職員として図書館サービスに従事する場合に必要な知識・技能の修得にもつながります。

図書館法施行規則に定める科目			本学で開設する科目		修得単位	備考
	科目	単位	科目	単位		
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	26	
	図書館概論	2	図書館概論	2		
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2		
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2		
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2		
	情報サービス論	2	情報サービス論	2		
	児童サービス論	2	児童サービス論	2		
	情報サービス演習	2	情報サービス演習A	1		
			情報サービス演習B	1		
			情報サービス演習C	2		
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2		
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習A	1		
			情報資源組織演習B	1		
			情報資源組織演習C	2		
選択科目	図書館基礎特論	1	―	―	2科目以上修得のこと	
	図書館サービス特論	1	―	―		
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論	1		
	図書・図書館史	1	図書・図書館史	1		
	図書館施設論	1	図書館施設論	1		
	図書館総合演習	1	―	―		
	図書館実習	1	―	―		
			資格取得に必要な単位数		28	

「司書資格取得証書」の取得申請について

① **資格取得に関するガイダンス**

第２・４セメスター １月に実施します。資格取得を希望する学生は必ず出席しなければなりません。

② **申請手続き**

卒業該当年次の最終セメスター開始時に、UNITAMAにて申請手続き等に関する通知をします。

申請手続きは、前号の通知に従って行うこととし、申請書の提出および申請料の納入によって所定の手続き完了とします。

申請料　5,000円　（申請料は改定されることがあります）

なお、正式手続き後の申請料は、理由のいかんにかかわらず返金しません。

申請書の受理後判定審査し、合格すれば「司書資格取得証書」の授与します。

③ 手続き等に関する各事項は、そのつどUNITAMAで連絡します。

資格 4

社会教育主事・社会教育士

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

●「社会教育士」とは、教育委員会事務局におかれる「専門的教育職員」です。社会教育・生涯学習行政の企画・実施を通して、地域づくり・人づくりを担います。
●2020年からは、「社会教育主事」とともに「社会教育士」の称号を取得できます。社会教育を学修した人が、学校・地方自治体・企業・NPOなどの多様な組織や機関で活躍することが期待されているからです。
●中央教育審議会答申では、地域学校協働活動の推進のため、教職課程の学生にも社会教育士の称号取得を奨励しています。

社会教育主事講習等規程に定める科目		本学で開設する科目		修得単位	備考
科目	単位	科目	単位		
生涯学習概論	4	生涯学習概論	2	4	
		生涯学習と生涯教育	2		
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論 A	2	4	
		生涯学習支援論 B	2		
社会教育経営論	4	社会教育経営論 A	2	4	
		社会教育経営論 B	2		
社会教育特講	8	民俗学入門	2	8	
		世界の宗教と文化	2		
		コミュニケーション論	2		
		市民社会と法	2		
		ボランティア概論	2		
		健康スポーツ理論	2		
		環境教育	2		
		野外教育	2		
		教育原理	2		教職課程受講学科のみ受講可
		特別活動の理論と方法	1		教職課程受講学科のみ受講可
		特別活動の理論と方法（中・高）	1		教職課程受講学科のみ受講可
		異文化理解と教育	2		教職課程受講学科のみ受講可
		情報メディアの活用	2		
		図書館概論	2		
		社会体育論	2		~~隔年開講（奇数年）~~
		博物館概論	2		
社会教育実習	1	社会教育実習※	2	4	「生涯学習概論」を履修中または修得済であること
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 のうち一以上の科目	3	社会教育課題研究※	2		「社会教育実習」を履修中または修得済であること
		資格取得に必要な単位数		24	

〔備　考〕
（1）※印の科目は資格取得を希望する学生以外は受講できません。
~~（2）隔年開講科目については見通しを持って計画的に履修してください。~~
（2）社会教育実習では、数回にわたり野外実習を実施する予定です。その費用は、自己負担とします。

「証明書」の取得申請について

① **資格取得に関するガイダンス**
第２セメスター １月に実施します。資格取得を希望する学生は必ず出席しなければなりません。

② **申請手続き**
卒業該当年次の最終セメスター開始時に、UNITAMAにて申請手続き等に関する通知をします。
申請手続きは、前号の通知に従って行うこととし、申請書の提出および申請料の納入によって所定の手続き完了とします。
　申請料　5,000円　（申請料は改定されることがあります）
なお、正式手続き後の申請料は、理由のいかんにかかわらず返金しません。
申請書の受理後判定審査し、合格すれば「証明書」の授与します。

③ 手続き等に関する各事項は、そのつどUNITAMAで連絡します。

学　芸　員

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

- 「学芸員」とは、美術館などさまざまな博物館で「資料の収集、保管、展示および調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」専門的職員のことです。
- 現在、日本には多くの博物館が設立されており、社会教育施設として、共生社会の構築に向けた幅広い取組をする拠点として位置づけられています。今後、新たな「生涯学習社会」の実現に向けて、その存在はますます重要になると考えられます。「学芸員」はその博物館での企画・運営に携わる中心的な役割を担っています。
- 資格取得には、博物館法施行規則に定められる下記の必修科目のほか、下記の本学で定めた選択科目を修得する必要があります。

博物館法施行規則に定める科目			本学で開設する科目		修得単位	備考	
科目		単位	科目	単位		開設学部・学科	履修条件等
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	19	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	博物館概論	2	博物館概論	2			
	博物館経営論	2	博物館経営論	2			
	博物館資料論	2	博物館資料論	2			
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2			
	博物館展示論	2	博物館展示論	2			
	博物館教育論	2	博物館教育論	2			
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2			
	博物館実習	3	博物館実習	3			「博物館概論」を履修中または修得済
選択科目			美術史	2	6以上	ユニバーシティ・スタンダード科目	芸術学部は、自学科開講科目を履修
			音楽史	2			
			民俗学入門	2			
			西洋音楽史	2		芸術学部音楽学科	
			日本音楽史	2			
			現代音楽史	2			
			民族音楽概説	2			
			西洋美術史	2		芸術学部 アート・デザイン学科	
			日本美術史	2			
			東洋美術史	2			
			デザイン史	2			
			工芸史	2			
			世界演劇・舞踊史Ⅰ	2		芸術学部演劇・舞踊学科	
			世界演劇・舞踊史Ⅱ	2			
			日本演劇・舞踊史Ⅰ	2			
			日本演劇・舞踊史Ⅱ	2			

＊各科目の履修にあたっては、開設学部・学科の教育課程表および履修条件を確認しておくこと。

学芸員資格を取得するには

① **学芸員資格取得に関するガイダンス**

第 2 セメスター 1 月に実施します。博物館実習をはじめとする学芸員科目の履修計画などについて説明をします。出席は任意ですが出た方が望ましいです。

② **博物館実習受講に関するガイダンス**

第 4 セメスター 1 月に実施します。このガイダンスには必ず出席しなければなりません。

③ **学芸員関係科目の開講セメスター**

学芸員関係の講義科目は第 3 セメスターから順次開講されており、履修可能です。

学部によっては専門科目と開講時期が重なる科目がありますので、早くから履修計画を立てましょう。

博物館実習の受講について

① **博物館実習受講届の提出**

「博物館実習受講届」に必要事項をもれなく記入し、教師教育リサーチセンターに提出してください。提出期日は第 4 セメスターのガイダンスの際に指示します。

② **博物館実習受講許可**

受講届が受理された後、教職課程委員会の承認を経て、受講が許可されます。受講は第 5 セメスターからとします。

③ **博物館実習受講取消**

受講許可後、途中で資格の取得を取りやめた場合は、「博物館実習受講取消届」に必要事項をもれなく記入し、すみやかに教師教育リサーチセンターに提出してください。

博物館実習について

① 博物館実習を受講するためには「博物館実習受講の許可」を受け、実習受講料を納入していなければなりません。また、「博物館概論」を受講中か、単位修得済みでなければなりません。

② 博物館実習のガイダンスは、 4 月初旬に行います。

③ **博物館実習受講料**

博物館実習受講料は博物館実習受講許可者に対して請求するものとし、下記のとおりとします。受講料は、保証人宛送付の納入書によって所定の納入手続きを完了するものとします。

博物館実習受講料　30,000円（受講料は、経済情勢などの変動により改定されることがあります）。

④ 審査判定の結果、授与不可となったり、その他いかなる理由があっても、いったん納入した受講料は返金しません。

⑤ 博物館実習では、学外の博物館等の見学実習を実施します。その交通費と飲食費は、別途自己負担とします。

「学芸員資格取得証書」の取得について

「博物館実習受講届」提出者に対して第 8 セメスターに判定審査し、合格すれば「学芸員資格取得証書」の授与となります。

日本語教員

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「日本語教員」とは、日本語を母語としない人を対象に日本語を指導する教員のことです。日本語教員の多くは、大学における留学生や日本語教育施設における就学生、外国人研究生や地域に居住する外国人等、国内外の多様な日本語学習者に対して日本語を教育することに携わっています。

2024年度より、国家資格として「登録日本語教員」が創設されましたが、本学で取得できる「日本語教員」資格は旧基準の民間資格であり、国家資格「登録日本語教員」ではありません。ただし、本学の「日本語教員」資格を取得した学生は、2028年度までに日本語学校等で１年以上勤務した場合、国家資格「登録日本語教員」の試験の一部が免除されます。

本学における日本語教員の資格

この教育プログラムは、日本語教育施設推進に関する調査研究会（旧文部省）の「日本語教員養成のための標準的教育内容」（1985年５月）に基づき開設され、その後日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議（文化庁）の「日本語教育のための教員養成について」（2000年３月）に沿って進めています。

① 本学における日本語教員の資格取得には、次頁の表に定める必要科目の単位を修得しなければなりません。
② 前号の履修条件を充足した者には、本学より「日本語教員養成プログラム修了証書」を授与します。
③ この日本語教員資格取得希望者は、国語あるいは英語の教育職員免許状取得のための関係科目を履修中であることが望まれます。

国家資格「登録日本語教員」との対応

2024年度から、日本語教員の国家資格「登録日本語教員」が創設されました。これに伴い、2029年度以降は従来の日本語教員資格（本学で取得する資格も含みます）は無効となり、国家資格を持っていなければ、告示された日本語教育機関で働くことができなくなります。

ただし、本学で日本語教員資格を取得し、2028年度までに日本語学校等で１年以上勤務した場合、2028年度までは国家資格の「登録日本語教員」の試験の一部（基礎試験・実践研修）の免除を受けることができます（詳細は資格取得ガイダンスで説明します）。

修了証書の取得申請について

① 資格取得に関するガイダンス
第１セメスター（７月予定）・第２セメスター（１月予定）に実施します。資格取得を希望する学生は、いずれかのガイダンスに必ず出席し、所定の登録手続きを行い、かつ、特段の事情がない限りは、ガイダンスでの説明通りに履修を進めなければなりません。
② 卒業該当年次の最終セメスターに、掲示板にて申請手続き等に関する通知をします。
③ 申請手続きは、前号の通知に従って行うこととし、申請書の提出および申請料の納入によって所定の手続き完了とします。
申請料　5,000円　（申請料は改定されることがあります）
なお、正式手続き後の申請料は、理由のいかんにかかわらず返金しません。
④ 申請書の受理後は、審査のうえ、合格した者に「日本語教員養成プログラム修了証書」を授与します。

日本語教員に必要な知識・能力		本学で開設する科目		開設する学部・学科							修得単位	備考
科目	単位	科目	単位	ユニバーシティ・スタンダード科目	文学部国語教育学科	文学部英語教育学科	経営学部国際経営学科	教育学部教育学科	教育学部乳幼児発達学科	リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科		
言語	10	○日本語学	2	●							10以上	
		○日本語音韻論	2		●							
		○日本語文法論Ⅰ	2		●							
		○日本語語彙論	2		●							
		日本語文法論Ⅱ	2		●							
		日本語学演習	2		●							
		日本語学研究	2		●							
		日本語表現 101	2	●								
		日本語表現 102	2	●								
		言語表現入門 A	2		●							国語教育学科のみ受講可
		言語表現入門 B	2		●							国語教育学科のみ受講可
		音声表現法研究	2		●							
		日本語表現演習	2			●						英語教育学科のみ受講可
言語と心理	2	教育心理学	2	●							2以上	教職課程受講学科・リベラルアーツ学科のみ受講可
		読み書きの認知と指導	2		●							
		言語心理学	2							●		
		こどもと心の科学	2							●		
社会・文化・地域	1	日本国憲法	2	●							4以上	教職課程受講学科のみ受講可
		日本文学	2	●								
		歴史（日本）	2	●								
		Japanology	2	●								
		日本学入門	2	●								
		日本文学概論	2		●							国語教育学科のみ受講可
		日本語史	2		●							
言語と社会	4	Language and Society	2			●					2以上	
		Issues in Second Language Acquisition	2			●						
		Global Communication	2			●						
		異文化間コミュニケーション	2		●							
		Intercultural Studies	2				●					リベラルアーツ学科のみ受講可
言語と教育	9	○日本語教育概論	2							●	10以上	
		○日本語教育演習	2							●		
		○日本語指導法Ⅰ	2							●		
		○日本語指導法Ⅱ	2							●		
		言語表現教育研究	2		●							
		日本語教育現場研究	2							●		
		◇日本語教育実習 A	1							●		いずれか1科目修得すること
		◇日本語教育実習 B	2							●		
		◇日本語教育実習 C	2							●		
		教育の方法と技術（中・高）	2	●								教職課程受講学科のみ受講可
		教育の方法と技術（幼・小）	2					●				教育学科のみ受講可
		コンピュータと学習支援（幼・小）	2					●				教育学科のみ受講可
		教育の方法と技術	2						●			乳幼児発達学科のみ受講可
		コンピュータと学習支援	2						●			乳幼児発達学科のみ受講可
	26	資格取得に必要な単位数合計									28	

○は必修科目
◇は必修選択科目

環境再生医初級

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「環境再生医」とは、対象となる現場の環境状況を、「診断し、処方を作り、治療し、治療後のケアをする」という公益性の高い一連の作業を、地域住民とともに担っていく「環境の総合医」のことです。

この資格は、NPO法人自然環境復元協会・自然環境復元学会が協働して創設・公開された公益・非営利団体主宰の「民間資格」です。自然再生、環境再生を推進するための指導者育成を目的としています。

本学農学部は「環境再生医資格認定校」です。下記該当科目を修得し、認定試験に合格することによって、卒業前に資格の仮認定を受けることができます。

〈農学部〉

① 認定試験の受験対象者は第５セメスター終了時以降において、以下に示した学科認定講習科目の資格取得に必要な単位のうち、３ジャンル以上から６単位以上を修得しており卒業までに必要な単位の修得が可能な者とします。

② 本資格取得希望者は、第５セメスターに実施される事前ガイダンスに必ず出席してください（ガイダンス時期については掲示等で案内します）。

③ 認定試験は、毎年秋学期に実施します。詳細は掲示で指示されます。資格取得希望者は、指定された期日までに授業運営課へ申請書を必ず提出してください。

④ 認定試験の受験には、テキスト「環境再生医」を購入し、試験当日に持参すること、試験料2,000円の納入が必要です。

⑤ 認定試験合格者には、合格証（仮認定証）が交付されます。この時点で「環境再生医初級取得見込み」と名乗ることが可能です。卒業時に卒業証書とともに「認定証」が授与されます。これらの申請費用8,000円（証明書発行機で証書を購入）を指定期日までに授業運営課に申請してください。

初級認定講習科目	本学で開設する科目						修得単位
	生産農学科		環境農学科		先端食農学科		
	科　目	単位	科　目	単位	科　目	単位	
1．地球環境の危機 自然環境復元概論	生態学 昆虫資源学	2 2	環境と生態 分類学 地球環境科学	2 2 2	生物学	2	2以上
2．自然環境の再生	自然環境保全学 緑地保全学	2 2	自然環境保全学 緑地生態学	2 2	農薬化学 自然環境保全学	2 2	2以上
3．物質資源の循環・再生	果樹園芸学	2	農業と自然環境 持続的農業論 環境倫理学 環境マネジメント論	2 2 2 2	環境倫理学 フィールド管理実習 A	2 2	2以上
4．環境教育・市民活動	フィールド実習 A フィールド実習 B	2 2	環境教育＊ 環境農学概論 農学国際協力	2 2 2	環境教育＊	2	2以上
5．環境行政と関係法令	環境科学＊	2	環境と法令 環境科学＊	2 2	環境科学＊	2	2以上
資格取得に必要な単位数							10以上

＊ユニバーシティ・スタンダード科目

ＩＢ教員

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

●「IB教員」とは、国際バカロレア機構（International Baccalaureate Organization）が認定する教員資格です。本学は2013年12月に国際バカロレア機構からカリキュラムを認定されました。

●本学大学院教育学研究科教育学専攻（修士課程）で開講する「IB研究コース」の所定の単位を修得することによって、IB教員資格が得られます。

●IB関連科目を10単位修得することによってCTL（IB Certificate in Teaching and Learning）の資格を取得することができます。

IB教員（CTL）の資格取得に必要な科目

科　目　名	PYP	MYP	DP	修得単位
IB 教師教育Ⅰ A	○	○	○	2
IB 教師教育Ⅰ B	○	○	○	2
IB 教師教育Ⅰ C	○	○	○	2
IB 教師教育（PYP）Ⅱ A	○			2
IB 教師教育（PYP）Ⅱ B	○			2
IB 教師教育（MYP）Ⅱ A		○		2
IB 教師教育（MYP）Ⅱ B		○		2
IB 教師教育（DP）Ⅱ A			○	2
IB 教師教育（DP）Ⅱ B			○	2

※PYP（Primary Years Programme）、MYP（Middle Years Programme）、DP（Diploma Programme）のいずれか１つのみ取得可能です。

在学中に資格を取得するには

●大学院科目を履修する

在学中に資格を取得するには、大学院科目を履修するための受講資格（履修ガイドp.47参照）を充足し所定の手続きをすることが条件になります。

卒業後に資格を取得するには

●科目等履修生として履修する

科目等履修生として上記10単位を修得することにより、最短１年間で「CTL」※の資格を取得できます。

※CTL（IB Certificate in Teaching and Learning）

●本学大学院に進学する

本学大学院教育学研究科教育学専攻（修士課程）に進学した場合は、IB研究コースの所定の単位を修得することにより、「CTL」「ACTLR」※の資格をともに取得できます。ただし、ACTLRの資格申請のためには、IB認定校において３年以上の教員経験が必要です。

その他の研究科に進学した場合は、他研究科科目の受講許可を得たうえで上記10単位を修得することにより、「CTL」の資格を取得できます。

※ACTLR（IB Certificate in Teaching and Learning Research）

資格証明の取得申請について

① 卒業該当年次の最終セメスターに、UNITAMAにて申請手続き等に関する通知をします。（申請期間は１月下旬の予定）

② 申請書の提出および申請料の納入によって所定の手続き完了とします。
申請料（令和２年度実績　265ドル）は掲示でお知らせします。（振込期間は３月中旬を予定）
なお、申請料は正式手続き後には理由のいかんにかかわらず返金しません。

③ 申請書の受理後は、「IB教員資格認定証」を送付します。

資格 9

食品衛生管理者および食品衛生監視員
（食品衛生管理者等資格コース）

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

●「食品衛生管理者」とは、食品衛生法施行令で定める食品および食品添加物の製造または加工の過程において、食品衛生法および関連法規に対して違反が行われないよう、食品または添加物の製造・加工に従事する者の監督を行う。

●「食品衛生監視員」とは、食品衛生行政を直接担当する技術公務員で、例えば海空港での輸入食品の検査・監視、食品関連の営業者や食品添加物、病院・学校・寄宿舎等の給食施設などの施設に対して、監視指導を行う。

① 本学は、「食品衛生管理者」と「食品衛生監視員」の養成施設として厚生労働省の登録を受けているので、下記表のとおり所定の専門科目の単位を修得し卒業すると同時に資格を取得できます。

② 本学からはとくに修了証等は発行されませんが、証明書類を必要とする場合は、証明書発行カウンターに、「卒業証明書」（食品衛生管理者等資格コース入り）の発行を申請してください。「先端食農学科食品衛生管理者等資格コース」と記載された卒業証明書が発行されます。

＊ただし、食品衛生監視員は、公務員として任用され、食品衛生の部局に配属された場合に得られる任用資格です。

＊なお、転学部生、転学科生および編入生は、資格を取得することができません。

食品衛生法第49条および施行規則第50条第１項第２号・第３号に定める科目		本学で開設する科目	単位	修得単位	
A群 化学関係	分析化学 有機化学 無機化学	※分析化学 ※有機化学 A ※有機化学 B ※化学入門 ※化　　学	2 2 2 2 2	10	24
B群 生物化学関係	生物化学 食品化学	※生物化学 A ※生物化学 B ※食品機能化学	2 2 2	6	
C群 微生物学関係	微生物学 食品製造学	※微生物学 ※食品製造科学	2 2	4	
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	※公衆衛生学 ※食品衛生学	2 2	4	
E群 その他関連科目		※農薬化学 ※畜産物利用学 ※先端食農実習 ※先端食農実験 植物生理学 植物栄養学 水 産 学 栄養生理化学 応用栄養学 食品加工実習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	16	
A群からD群までの科目を各群１科目以上、計22単位以上修得し、E群科目を含めて総計40単位以上修得すること		資格取得に必要な単位数		40	

※資格取得のための必修科目

基本情報技術者

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

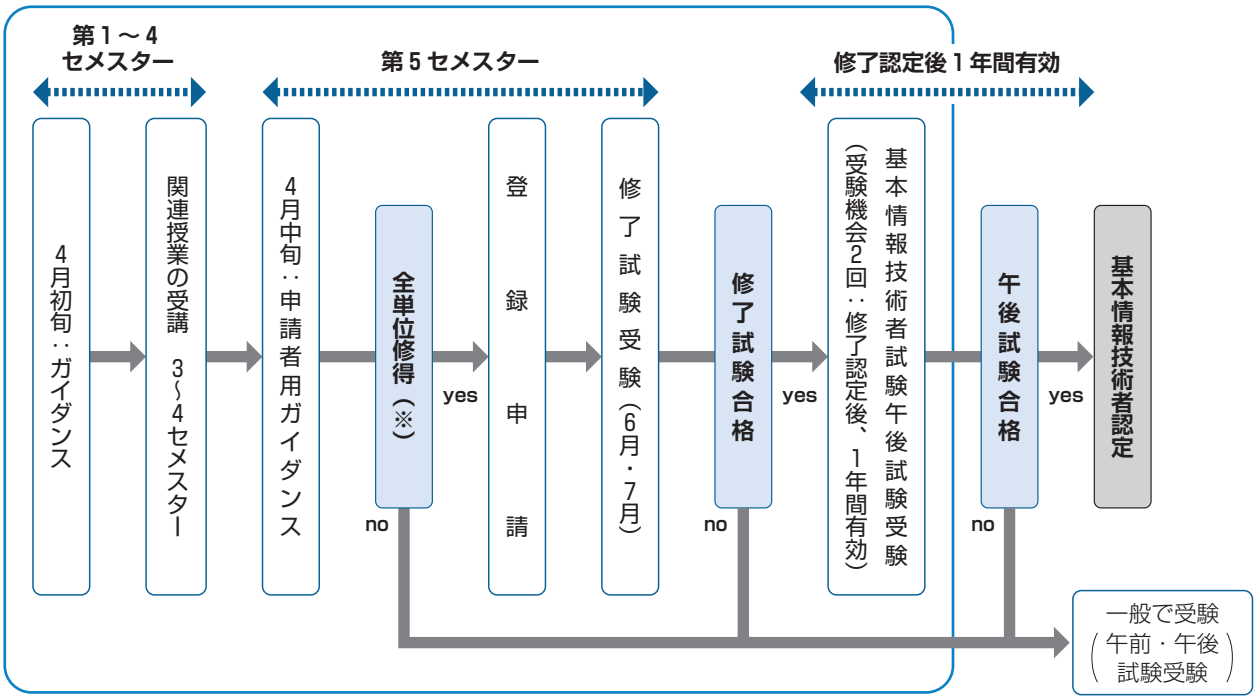
「基本情報技術者試験」とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」の水準がある程度以上であることを認定している国家試験である情報処理技術者試験の一つです。システムエンジニアなど、ソフトウェアサイエンス学科卒業生の多数が携わる職業に関わる多くの企業でその取得を勧める資格です。

午前試験免除制度

基本情報技術者試験は、午前試験と午後試験の２つの試験で構成されています。以下に示す本学科で指定したすべての科目の単位を第４セメスターとそれに続く特別学期までに修得し（※）、第５セメスターに実施される修了試験に合格すると（修了認定）、その後の１年間は、午前試験が免除され、午後試験だけに専念することができます。ただし、１年を過ぎると午前試験免除の権利は無効となるので、注意が必要です。

本学科で指定する科目	修得単位	履修セメスター
論理回路	2	3
情報処理技術	2	3
情報システム	2	3
アルゴリズムとデータ構造	2	4
経営情報分析	2	4

基本情報技術者資格取得までの流れ



資格 11

ピアヘルパー

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「ピアヘルパー」（Certified Peer Helper）とは、「カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけた者」と特定非営利活動法人（NPO）日本教育カウンセラー協会が認定する資格です。

ピアヘルパーの資格を取得するためには、日本教育カウンセラー協会が認定する資格取得に必要な次の科目を履修し、同協会が実施する認定試験（試験会場は本学）に合格することが必要です。教育学部は日本教育カウンセラー協会から認定を受けて、資格取得に必要な科目を開講しています。

資格取得に必要な科目	修得単位
臨床心理学	2
精 神 保 健【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2
人間関係論【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2
単　位　数　合　計	6

① ピアヘルパーの資格取得者は、日本教育カウンセラー協会の準会員資格も同時に取得することができます（初年度の会費は無料）。また、ピアヘルパー資格の取得後、ヘルピングやカウンセリングの学習を続け、教育・福祉・保育などの分野での実践経験を積むことで、さらに初級教育カウンセラーあるいは中級・上級教育カウンセラーの資格を取得することも可能です。

② 認定試験の受験には、別途受験料が掛かり、個人負担となります。

ガイダンス

第１セメスターにおいて、資格取得のためのガイダンスを開催しますので必ず出席してください。

資格 12

キャンプインストラクター

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「キャンプインストラクター」とは、公益社団法人日本キャンプ協会が養成、認定している指導者の資格です。キャンプインストラクターは、キャンプでの活動（アクティビティ）を指導できる能力を持った指導者です。基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定する指導者の資格です。

また、この資格はキャンプディレクター 2 級、1 級へとステップアップするための基礎資格となります。受講資格は満18歳以上であることです。

※本学教育学部は2009年 6 月に（公社）日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター養成のための課程認定団体になっています。

科　　目	修得単位
フィールドワークA・B・C	2

＊資格を得るためには、日本キャンプ協会公認キャンプディレクター 1 級有資格者が担当する野外教育演習を受講しなければなりません。

本学教育学部における履修方法と資格認定

① 第 3 セメスターに行われるガイダンスに必ず出席すること

② 1 週間程度で実施される「野外教育演習」に出席し、「キャンプ指導者入門」のテキストに基づきキャンプインストラクター養成カリキュラム（理論10時間・実技10時間）を受講すること

③ 講習を終了後、希望者は日本キャンプ協会で作成した試験（理論）を受験すること
試験範囲：テキスト「キャンプ指導者入門」　※購入希望者は自己負担
試験時間：60分
合格基準：6 割以上の得点

④ 登録諸費用（2017年度改訂時）

受験料	公認料	登録料	入会金	年会費（日本協会）	年会費（支部協会）	課程認定団体手数料	合　計
1,000円	1,000円	1,000円	5,000円	3,000円	2,000円	2,000円	15,000円

＊諸費用は改訂されることがあります。

その他留意事項

① キャンプインストラクター資格は毎年更新の必要があります。
更新時には、会費（3,000円）・更新料（1,000円）・支部会費（2,000円）の合計6,000円が必要です。
＊BUCを期間内に受講した場合は、更新料の1,000円が免除になります。BUC（ブラッシュアップ＆コミュニケーション）とは、日本キャンプ協会が認定した日本キャンプ協会および都道府県キャンプ協会が実施する公認指導者のための研修事業です。

② 12月 1 日～ 3 月末日の間の受付分は、次年度扱いとなります。

③ 合格者には次年度の 4 月以降、個人宛に以下のものが届きます。
1．しおり「公益社団法人日本キャンプ協会へようこそ」
（キャンプインストラクター登録完了のお知らせ）
2．キャンプインストラクター資格章（バッジ）
3．（公社）日本キャンプ協会会員証・資格証（カード）
＊当該年度有効のもの
4．会報「CAMPING」

小学校英語指導者

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「小学校英語指導者資格」とは「小学校での英語の普及・発展を支援する。」という趣旨のもと、2003年に設立されたNPO法人である小学校英語指導者認定協議会（略称：J-SHINE）が認定する「民間資格」です。

教育学部はJ-SHINE認定団体の一つであり、本学部で開講される以下の科目が指導者養成認定講座として認められています。よって、講座受講の修了後に、本学部が規定する条件と、右の推薦基準をすべて満たした学生を小学校英語指導者認定協議会に推薦し、資格授与の審査を受けることになります。

J-SHINEで定めている推薦基準

（J-SHINE　公式ホームページ「小学校英語指導者資格認定制度規約 第８条」より要約）

J-SHINEの認定を受けた登録団体が主催する講座を修了し、次の２点を満たしている必要があります。

1．50時間以上の指導経験があること
2．英語力の目安は英語で授業が行えること

教育学部が認定を受けている科目

資格取得に必要な科目	修得単位
外国語（英語）	2
外国語（英語）指導法	2
教育インターンシップA	2
単位数合計	6

教育学部における推薦条件

① 指定された科目を所定の期間に履修すること
② ①の科目の評価は全てA以上であること
③ 履修する科目以外に、本資格に関わるガイダンス、学習会（集中）、定例会に全て出席をすること
④ J-SHINE推薦条件となる「1.　50時間以上の指導経験があること」は、本学部と連携する小学校での「教育インターンシップA」およびボランティア等での主に外国語（英語）の学習活動への参加、外国語（英語）の研究授業（実習）の経験等を中心とした学修をもってこれに代える。（ただし、研究授業（実習）前教材研究、研究授業（実習）模擬授業、研究授業（実習）報告書の作成、および教育インターンシップA、ボランティア記録の記載に要する時間は、これに含めない。）
⑤ 学修の過程において、資格取得にふさわしくないと判断された学生は、本資格取得プログラムの参加継続や推薦をされない場合があります。
⑥ 資格認定審査にあたっての申請料7,000円*1 は、個人負担となります。また、申請手続き後は、理由のいかんにかかわらず、返金はいたしません。　＊1 申請料は改訂されることがあります。
⑦ 資格認定後の更新は、小学校英語指導者認定協議会から情報を得て、個人の責任において行ってください。

教育学部における受講条件

本資格取得のための受講条件および受講人数は別途定める。詳細は履修ガイダンス、Web掲示等で確認をすること。

社会調査士

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「社会調査士」とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場調査、社会事象をとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」です。

社会調査士の資格を取得するためには、一般社団法人社会調査協会（http://jasr.or.jp/）が認定した「資格取得に必要な科目」を履修し、大学を卒業することが必要で、卒業後の申請により資格が認定されます。リベラルアーツ学科は、資格取得に必要な標準カリキュラムに準拠した授業科目を設置し、科目認定校として登録されています。

社会調査士資格取得に必要な科目と、リベラルアーツ学科が開講する科目は下記のとおりです。

資格取得に必要な科目	本学科で開講する科目	修得単位
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社　会　学（LAUS）	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	4
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目		
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	統計学入門（LAUS）	2
【E】多変量解析の方法に関する科目		
【F】質的な調査と分析の方法に関する科目	社会分析基礎論	2
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ	各 2

＊ただし、【E】【F】はどちらか１つ選択　本学では【F】分野のみ開講します。

申請方法

大学卒業後、社会調査士資格の認定を申請することができます。
各自、申請書、単位修得、卒業を証明する書類と共に、大学へ申請します。
提出先・提出期間の詳細は卒業該当セメスターにおいて、掲示にて通知します。
手数料として16,200円（税込）が必要です（手数料は改定されることがあります）。

ガイダンス

第１セメスターにおいて、資格取得のためのガイダンスを開催しますので、必ず出席し、詳細を確認してください。

宗教文化士

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

「宗教文化士」とは、日本や世界の宗教の歴史と現状について、専門の教員から学んで視野を広げ、宗教への理解を深めた人に対して与えられる資格です。

宗教文化士の資格を取得するためには、宗教文化推進センター（http://www.cerc.jp/index.html）が認定した「資格取得に必要な科目」を修得し、その後同センターが開催する宗教文化士認定試験に合格することが必要です。

本学は、資格取得に必要な標準カリキュラムに準拠した授業科目を開設しています。

宗教文化士資格取得に必要な科目と、本学で開設する科目は下記の通りです。

資格取得に必要な科目（3つの到達目標）※1	本学で開設する科目	修得単位	備　考
【1】教えや儀礼、神話を含む、宗教文化の意味について理解できる。	宗教学（US）	2	
	民俗学入門（US）	2	
	儀礼文化論	2	
	造形理論B（MD）	2	芸術学部メディア・デザイン学科開講科目
	宗教的文化研究	2	
【2】キリスト教、イスラーム、ヒンドゥー教、仏教、神道などの宗教伝統の基本的な事実について、一定の知識を得ることができる。	世界の宗教と文化（US）	2	
	キリスト教学（US）	2	
	キリスト教思想史	2	
	宗教的人間研究	2	
【3】現代人が直面する諸問題における宗教の役割について、公共の場で通用する見方ができる。	宗教学の諸問題	2	
	死生論	2	
	リベラルアーツセミナーⅠA　※2	2	リベラルアーツ学科のみ受講可
	リベラルアーツセミナーⅠB　※2	2	リベラルアーツ学科のみ受講可
	リベラルアーツセミナーⅡA　※2	2	リベラルアーツ学科のみ受講可
	リベラルアーツセミナーⅡB　※2	2	リベラルアーツ学科のみ受講可
	リベラルアーツセミナーⅢ　※2	2	リベラルアーツ学科のみ受講可
	リベラルアーツセミナーⅣ　※2	2	リベラルアーツ学科のみ受講可
認定試験受験のために必要な単位数		16以上	

※1【1】、【2】、【3】の各科目群から各4単位以上を履修し、合計16単位以上を修得すること。
※2「リベラルアーツセミナーⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、Ⅲ、Ⅳ」は、宗教学・民俗学分野のものとする。

認定試験の受験と申請について

① 認定試験は年2回（原則として6月と11月）に実施されます。原則として大学2年生後期以上（大学院生含む）です。また、卒業・修了後2年以内であれば受験できます。

② 受験を申請する者は、①「受験申請書」②「受験料の振込確認書類のコピー」③「資格取得に必要な科目の単位取得を証明する書類」を宗教文化推進センターに指定の期日までに提出します（受験申請料4,000円）。必要な書類は、宗教文化推進センターのホームページからダウンロードできます。

③ 試験に合格後、認定料を振り込むと宗教文化推進センターから認定証（カード形式）が発行されます（認定料6,000円）。

（上記の受験申請料・認定料は改定されることがあります）

ガイダンス

第1セメスターにおいて、資格取得のためのガイダンスを開催しますので、必ず出席し、詳細を確認してください。

資格 16

TAPリーダー

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	音楽	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	アート・デザイン		
	先端食農	マネジメント			演劇・舞踊		
		エンジニアリングデザイン					

- TAPとは、Tamagawa Adventure Programの略称で、本学の建学の精神である全人教育を達成していく上で求められる、個と集団の資質・能力を高めていくための教育手法です。TAPセンターでは、「行動する全人教育」の理念を掲げ、アドベンチャー教育が主軸にしている体験学習を応用したTAPの手法により、児童・生徒・学生の持つ能力を引き出す支援を行っています。
- このTAPの手法を理論と実践を通して学ぶことにより、コミュニケーション能力に優れ、社会的ニーズに対応したリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、「TAPリーダー」を養成するためのプログラムを展開しています。
「TAPリーダー」は本学独自の資格であり、以下の資格取得条件を満たした学生に付与されます。

資格取得条件

1）ユニバーシティ・スタンダード科目「TAPファシリテーションⅠ（2単位)」、「TAPファシリテーションⅡ（2単位)」を修得していること。
2）TAPリーダー資格試験に合格すること。

資格取得までの流れ

1. ガイダンス	春学期に、資格取得のためのガイダンスを開催します。資格取得希望者は必ず出席してください。 日程は、UNITAMA掲示にてお知らせします。
▼	
2. 資格申込	「TAPリーダー資格希望申込書」をTAPセンターに提出（詳細はガイダンス時に説明します)。
▼	
3. 科目履修	「TAPファシリテーションⅠ」（2単位）定員：25名※ 「TAPファシリテーションⅡ」（2単位）定員：60名※
▼	
4. 資格申請	「TAPリーダー資格申請書」をTAPセンターに提出（詳細はガイダンス時に説明します)。
▼	
5. 資格試験	面談及び知識・スキルチェックを実施します。
▼	
6. 資格取得	資格試験合格者に資格認定証が授与されます。

※定員を超えた場合は、上級学年の申込者を優先し、さらに同一学年で定員を超えた場合は抽選とする。

TAPリーダー養成プログラムの理念

「TAPファシリテーションⅠ」においては、基本的なアクティビティをシークエンスに則りながら体験し、振り返りを通じて体験による気づきや学びを認識し、実生活などに応用・転用する体験学習サイクルの重要性を体験的に学ぶ。

またチームビルディングの過程を通じて、コミュニケーションや意思決定、目標設定と振り返り、自己主張と協調性、リーダーシップとフォロワーシップ等を学び、個と集団の質的な成長を体験的に学ぶ。

「TAPファシリテーションⅡ」においては、TAPで用いられる概念や用語を整理し、「TAPファシリテーションⅠ」での実践的学びと基礎的な理論を往還し、総合できるようになる。

また、リーダーやファシリテーターに必要とされる知識（プログラミング・グループダイナミクス等）を修得し、実際にグループのリーダーとして活躍できるようになる。

Ⅳ

規　程

玉川大学特別学期に関する規程 …… 250
玉川大学試験規程 …… 251
玉川大学学位規程（抄）…… 253

玉川大学特別学期に関する規程

（目的）

第１条　玉川大学学則第６条第３項に基づき、特別学期に関して本規程を定める。

（名称）

第２条　夏季休業期間および春季休業期間中の特別学期の名称は、それぞれサマーセッション、ウィンターセッションとする。

（期間）

第３条　各セッションの期間は別に定める。

（開講科目）

第４条　原則として、春学期・秋学期において不合格になった必修科目のうち当該セッションでの履修が必要な科目及び各セッションに集中で行う必要がある科目を開講する。

（受講科目・単位数）

第５条　原則として、各セッションの受講可能科目数・単位数は、３科目、６単位とする。ただし、年間授業計画等により、受講可能科目数・単位数は変更になる場合がある。

２　卒業年次の最終セメスター後のセッションの受講はできない。

（単位の認定）

第６条　受講した科目の単位認定の時期は、各セッションの次学期とする。

２　セッションで修得した単位は、単位認定する学期の履修上限には含めない。

（受講料）

第７条　各セッションで開講する科目の受講料は、１単位につき4,000円とする。また、授業により検定料等を徴収する場合がある。

２　既に納入した受講料は、原則としてこれを返還しない。

（規程の改廃）

第８条　この規程の改廃は、大学部長会の議を経て学長が行う。

（事務主管）

第９条　この規程に関する事務主管は教学部とする。

玉川大学試験規程

（目的）

第１条　この規程は、玉川大学学則（以下「大学学則」という。）第16条第５項の規定に基づき、玉川大学の定期試験に関して必要な事項を定める。

（試験の成績評価）

第２条　成績評価の定義を次のように定める。

Ｓ：当該科目の到達目標の内容をほぼ完全に修得し、かつ応用する力がついていると認められる。

Ａ：当該科目の到達目標の内容を十分に理解し修得したものと認められる。

Ｂ：当該科目の到達目標の基幹部分は理解し修得したものと認められる。

Ｃ：当該科目の到達目標のうち、最低限の理解は得られたものと認められる。

Ｆ：当該科目の到達目標に及ばない。

（試験の方法）

第３条　定期試験の実施方法は、筆記試験、実技試験・口述試験のほか、オンライン上で行う遠隔試験とする。ただし、科目担当教員の判断によって、レポート提出等をもって試験に代える場合がある。

（試験時間割）

第４条　試験の時間割は、原則として、試験開始日の１週間前までに所定の掲示板に掲示する。

（受験資格）

第５条　次の事項のいずれかに該当する場合、定期試験の受験資格が認められない。

(1)　当該科目の履修登録をしていない者。

(2)　所定の学費が未納の者。

(3)　当該科目の授業の出席回数が４分の３に満たない者。

(4)　学生証を所持していない者。

（遅刻及び退出）

第６条　試験開始後20分以上経過したときは、試験場への入室は認めない。

2　試験開始後30分以上経過しなければ試験場からの退室は認めない。

3　遠隔試験の場合は、試験監督の指示に従うこと。

（受験者の義務）

第７条　受験者は試験場において次の事項に従わなければならない。この義務が守られない場合、不正行為とみなす。

(1)　学生証を机上に提示すること。

(2)　試験監督の指示に従うこと。

(3)　試験中の私語及び筆記用具の貸借をしないこと。

(4)　試験中は携帯電話等の電源を切り、机上に置かないこと。なお、これらの機器を時計代わりに使うことを理由に机上に置くこともできない。

(5)　答案用紙には、氏名等もれなく記入すること。記入のない答案は無効とする。

(6)　答案用紙は、解答の有無に関わらず試験場外に持ち出さないこと。

(7)　不正行為若しくは不正行為と紛らわしい行為をしないこと。

(8)　遠隔試験の場合は、別途、試験監督の指示に従うこと。

（追試験）

第８条　病気その他やむを得ない事情により、定期試験を受験できなかった者に対して追試験が許可されることがある。その際、当該科目の試験実施日（レポート提出締切日）を含めて４日以内に欠席の事由並びにその事由を証明する書類を付して、追試験願を提出しなければならない。ただし、次の事項のいずれかに該当する者で、かつ所定の手続きを完了した者に限る。

(1)　第４条の定期試験受験資格に準じ、受験資格のある者。

(2)　天災地変のため出席不可能となった者。

(3)　公共交通機関の遅れにより欠席した者（事故又は延着の証明書が必要）。

(4)　疾病・傷病により欠席した者（診断書などが必要）。

(5)　忌引きにより欠席した者（会葬礼状など証明する書類が必要）。

(6)　教員採用試験、就職試験、編入学試験、大学院入学試験等で欠席した者（受験を証明する書類が必要）。

(7)　裁判員制度による裁判への参加（裁判所が発行する証明書が必要）。

(8)　その他特別な事情により、教務委員会が正当と認めた者。

2　追試験受験の可否については、各学部の教務主任が決定をする。

3　前項の審議結果は掲示する。

4　第２項により追試験を認められた者に対しては、追試験期間に追試験を行う。

5　追試験は１回限りとし、追試験の追試験は行わない。

（単位認定試験）

第９条　定期試験期間以外の授業期間に考慮される事情（病気・就職試験）が発生し、成績評価が保留（インコンプリート）になった者に対しては、単位認定試験を実施する。

2　単位認定試験は次学期の履修登録期間の１週間前（春学期：８月末、秋学期：２月末）までに、特別指導を経て実施する。

3　単位認定試験は有料とし、１科目5,000円とする。

（不正行為の取扱い）

第10条　定期試験において不正行為を行った学生は、大学学則第38条により懲戒する。

2　不正行為を行った場合には当該学期の全定期試験を無効とし、懲戒の内容を学内に掲示で公表する。

3　複数の学生によって不正行為が行われた場合の処分に関しては、これに軽重の差はつけない。

4　不正行為が在学中２度目の行為であった場合は、大学学則第39条に基づき退学処分とする。

5　試験終了後に不正行為が判明した場合も、前項に準じる。

6　制作物及びレポートについても不正と認められた場合、第４項に準じる。

7　学生に対する処分及びその解除の通告は本人及び保証人に対し学部長がこれを行う。

（不正行為の種類）

第11条　試験における不正行為とは、次に該当する行為を含むものとする。

⑴　試験問題又は答案を盗むこと。

⑵　他人の答案を見たり、他人に見せたりすること。

⑶　他人に受験を代行させたり、他人の受験を代行したりすること。

⑷　参照を許可されていない物件を試験中に参照したり、又はそれを参照できるような状態の下で受験をしたりすること。

⑸　参照を許可された書籍・ノート類を貸し借りすること。

⑹　机、身体、所持品又は身の回りの物品に文字等を記載し、試験中に参照したり、又はそれを参照できるような状態の下で受験をしたりすること。

⑺　音声、動作等により答案作成に役立つ情報を伝えること。又はそのような行為に加担すること。

⑻　指定された用紙以外の用紙に解答すること。

⑼　答案作成に関して、試験監督の指示に従わないこと。

⑽　答案の交換を行うこと。

⑾　その他、明らかに公正な試験の実施を阻害すると認められる行為をすること。

玉川大学学位規程（抄）

（目的）

第１条　この規程は、学位規則第13条及び玉川大学学則（以下「大学学則」という。）第21条第４項及び玉川大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第16条から第19条に基づき、玉川大学（以下「本大学」という。）において授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

（学位の名称）

第２条　本大学において授与する学位は、学士、修士、博士及び教職修士（専門職）とし、それぞれ次の各号による。

⑴　学士

文学部　学士（文学）：
Bachelor of Arts

農学部　学士（農学）：
Bachelor of Agriculture

工学部　学士（工学）：
Bachelor of Engineering

経営学部　学士（経営学）：
Bachelor of Business Administration

教育学部　学士（教育学）：
Bachelor of Education

芸術学部　学士（芸術学）：
Bachelor of Fine Arts

リベラルアーツ学部　学士（リベラルアーツ）：
Bachelor of Arts

観光学部　学士（観光学）：
Bachelor of Arts in Tourism

（学士の学位の授与要件）

第３条　学士の学位は、本大学の学部学科を卒業した者に授与する。

（学位の表示）

第25条　学位の授与を受けた者が学位の名称を用いるときは、学位の後にこれを授与した本大学名「(玉川大学)」を付記するものとする。

（学位記の再交付）

第28条　学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を付し、所定の手数料を添えて学長に願い出なければならない。

（学位記及び申請書類等の様式）

第29条　学位記及び学位申請関係の書類の様式は、別表第１、第２による。

（その他）

第31条　この規程に関する事務主管は、教学部とする。

別表第１

（１）　学士（大学学則第21条・学位規程第３条）

第　　号 学　位　記 氏名 大学印　　年　　月　　日生 本大学○○学部○○学科所定の課程を修めたので卒業と認め学士（○○）の学位を授与する 年　　月　　日 玉川大学長　氏名　　㊞	Degree　Number：000 Tamagawa　University hereby　certifies　that 氏名（英文） has　fulfilled　all　the　requirements for　the　Bachelor's　program in　the（学科），（学部）， and　thus　has　been　conferred the　Degree　of　Bachelor　of（学位）. On　年月日（英文） 学長氏名（英文） President Tamagawa　University

MEMO

MEMO

MEMO

履修ガイド

玉川大学

東京都町田市玉川学園6-1-1